

2003(平成15)年度

講義内容

国文科 英文科 放射線科
専攻科(放射線技術科学専攻)
仏教科

講 義 內 容

目 次

国文科・英文科・放射線科

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	11
2	教 養 教 育 科 目	23
3	外 国 語 科 目	107
4	保 健 体 育 科 目	143
II	專 門 教 育 科 目	
1	国 文 科	181
2	英 文 科	247
3	放 射 線 科	307
III	他 学 部 履 修 科 目	353
IV	「日本語」・「日本事情」科目	413
V	教 職 課 程 ・ 資 格 講 座 科 目	427
	專 攻 科 (放射線技術科学專攻)	445
	仏 教 科 (夜 間 開 講)	
I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	463
2	教 養 教 育 科 目	469
3	外 国 語 科 目	497
4	保 健 体 育 科 目	507
II	專 門 教 育 科 目	517
III	他 学 部 履 修 科 目	537
IV	仏 教 学 部 開 設 科 目	559

国文科	全学共通科目	宗教教育 教養教育
	外国語科目	外国語
	保健体育科目	保健体育
	専門教育科目	国文科 英文科 放射線科
放射線科	履修科目	他学部
	「日本語」 「日本事情」	「日本語」 「日本事情」
	資格講座	教職課程
専攻科	科学専攻	放射線技術
仏教科	全学共通科目	宗教教育 教養教育
	外国語科目	外国語
	保健体育科目	保健体育
	専門教育科目	専門教育
（夜間開講）	他学部履修	仏教学部開設

国文科・英文科・放射線科

I 全 学 共 通 科 目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (短国)	〈奥野光賢〉	11
仏教と人間 (短国)	〈木村誠司〉	11
仏教と人間 (短英)	〈石井公成〉	11
仏教と人間 (短英)	〈袴谷憲昭〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈熊本英人〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈木村誠治〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈吉津宜英〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈晴山俊英〉	14
文化と宗教 (短国・短英)	〈長谷部八朗〉	14
社会と宗教 (短国・短英)	〈池上良正〉	15
自然と宗教 (短国・短英)	〈小川順敬〉	15
坐 禅 (短国・短英)	〈熊本英人・木村誠治〉	16

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	奥野光賢 <small>おくの みつよし</small>	短国1必	4

講義のねらい

本学（駒澤大学・駒澤短期大学）は、仏教の教義、中でも曹洞宗の教えを建学の理念とする私立大学である。したがって、この講座が開講されている意義をまずしっかりと認識してもらいたい。講義は、仏教の基本的教義と歴史の解説を主とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、下記に指定する教科書によって進める。教科書に入る前に、宗教学上における仏教の位置など基本的事項について概説する。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。授業においてくわしく触れることになるが、この授業はけっして宗教としての仏教の信仰を勧める授業ではない。その点くれぐれも誤解のないようにして欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。試験は教科書・参考書等の持ち込みを不可とする。なお、年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）定価1,400円（税別）を教科書とする。その他、プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

受講者の人数の関係上、授業は講義方式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	木村誠司 <small>きむら せいし</small>	短国1必	4

講義のねらい

前半は、インド・中国・日本の仏教を年代順に考察し、教理上重要な問題にも言及する。後半は、般若心経などの經典や道元の著作などにも触れ、原典から仏教を学ぶ。

成績評価の方法

評価はペーパーテストによって行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	石井公成 <small>いし い こうせい</small>	短英1必	4

講義のねらい

釈尊に始まる仏教の基本的な立場、インド・中国・朝鮮・日本などの仏教史の流れ、禪および道元禪師の思想について十分な理解を得、宗教に関する様々な問題について自分で調べ、また考えることができるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原始仏教の基本的な立場を明らかにしたうえで、仏教史の流れ、禪および道元禪師の思想について講義する。その際は、受容と変容の過程に注意し、仏教以外の宗教との違いやまた呪術的な習俗とのかかわりなどにも注意する。

履修上の留意点

一人一人に頻繁に質問を行うほか、問題によっては討論を行うこともあるため、進んで取り組む態度が必要である。

成績評価の方法

試験の成績を重視し、あわせて講義に積極的に参加しようとしたかどうかを考慮する。

教科書

使用しない。

参考書等

平川彰著『インド・中国・日本 仏教通史』（春秋社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	はかま や のり あき 袴 谷 憲 昭	短英1必	4

講義のねらい

19世紀のイギリスが生んだ不世出のサンスクリット学者、モニエル・ウィリアムズ（1819-1899）は、その不朽の業績である『梵英辞典』編纂のかたわらで、ヒンドゥー教やキリスト教との対比において、仏教についての入門書も著わしている。本講義では、この原英文テキストを講読しながら、現代の研究成果も踏まえて、仏教とはなにかということを、現代の我々人間を取り巻く状況を視野に入れて追求してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、このテキストの最終章 XVIII. Buddhism contrasted with Christianity から読み始める。なお、本書を最初から読みたいと思う人は、駒澤大学図書館請求番号 241-63 もしくは 241-119 によって求めることができるから、それによって読まれたい。

履修上の留意点

ただ英文を読むだけの授業ではないことに留意されたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験によって評価する。普段の英文講読を評価に考慮することは言うまでもない。

教科書

Sir Monier Monier-Williams, *Buddhism in its connexion with Brāhmanism and Hindūism and in its contrast with Christianity*, New York: Macmillan and Co. (1889)

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	くま もと えい にん 熊 本 英 人	短国・短英・短放	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	木村 誠 治 <small>きむら せい じ</small>	短国・短英・短放	4

講義のねらい	仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。
履修上の留意点	静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。
成績評価の方法	定期試験と出席率による。
教科書	なし。
参考書等	授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	吉津 宜 英 <small>よしづ よし ひで</small>	短国・短英・短放	4

講義のねらい	先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人も否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起り、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。
講義の内容・授業スケジュール	前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。
履修上の留意点	この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。
成績評価の方法	毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。
教科書	特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。
参考書等	授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	ほれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	短国・短英・短放	4

講義のねらい	<p>仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。</p>
講義の内容・授業スケジュール	<p>釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。</p>
履修上の留意点	<p>仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。</p>
成績評価の方法	<p>期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。</p>
参考書等	<p>授業において適宜指示する。</p>

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせ べ へち ろう 長谷部 八 朗	短国・短英選	4

講義のねらい	<p>本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。</p> <p>また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。</p>
成績評価の方法	<p>未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。</p>
教科書	<p>使用しない。</p>
参考書等	<p>授業の中で適宜紹介する。</p>

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会と宗教	池上良正 <small>いけがみよしまさ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然と宗教	小川順敬 <small>おがわとしゆき</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようなようにとらえ、考えてきたのでしょうか。
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐 (前期)(後期) 禅	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	短国・短英選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはごこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしょう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13 「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教 養 教 育 科 目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野 (短国・短英)

文学	〔日本文学〔古典〕〕	〈増尾 聡 哉〉	23
歴史学	〔日本中世史〕	〈栗原 修〉	23
芸術学(1)	〔日本美術〕	〈北野 良 枝〉	23
芸術学(2)	〔西洋美術〕	〈矢野 陽 子〉	24
芸術学(3)	〔音楽〕	〈赤羽 由規子〉	24
哲学	〔西洋思想の源流〕	〈河谷 淳〉	25
論理学	〔科学方法論と現代論理学〕	〈山口 祐 弘〉	25
論理学	〔知の技法〕	〈箭野 浩 司〉	26
論理学	〔知の技法〕	〈伊古田 理〉	26
科学史	〔科学と技術〕	〈小宮山 隆〉	27
倫理学(1)	〔人間観〕	〈古田 知 章〉	27
倫理学(2)	〔応用倫理学〕	〈黒崎 剛〉	28
倫理学(3)	〔価値観〕	〈滝沢 正之〉	28
倫理学(4)	〔応用倫理学〕	〈箭野 浩 司〉	29
倫理学(5)	〔制度とモラル〕	〈滝口 清 栄〉	29
倫理学(6)	〔東洋倫理〕	〈末木 恭 彦〉	30
宗教学(1)	〔比較宗教文化〕	〈池上 良 正〉	30
宗教学(2)	〔聖と俗〕	〈田中 かの子〉	31
宗教学(3)	〔思想と儀礼〕	〈小川 順 敬〉	32
宗教学(4)	〔組織と運動〕	〈洗 建〉	32
人文地理学(1)	〔風土と文化〕	〈竹林 和 彦〉	33
人文地理学(2)	〔風土と文化〕	〈高橋 健太郎〉	33
人文地理学(3)	〔空間と行動〕	〈山口 太 郎〉	34
人文地理学(4)	〔空間と行動〕	〈伊藤 修 一〉	35
教育	の 思想	〈北村 三 子〉	35
教育	と 社会	〈北村 三 子〉	36
発達と学習	の 心理学	〈大浜 幾久子〉	36
カリキュラム	と 学習	〈大浜 幾久子〉	37

(2) 社 会 分 野

社会学〔社会生活を考える〕(短国・短英・短放)	〈呉 炳 三〉	…… 37
社会学〔現代社会を考える〕(短放)	〈呉 炳 三〉	…… 38
社会学〔現代社会を考える〕(短放)	〈金 澤 朋 広〉	…… 38
社会学〔現代文化を考える〕(短放)	〈金 澤 朋 広〉	…… 39
社会学〔現代文化を考える〕(短放)	〈呉 炳 三〉	…… 39
社会学〔社会生活を考える〕(短放)	〈小 畑 和 三〉	…… 40
社会学〔現代社会を考える〕(短放)	〈呉 炳 三〉	…… 41
社会学〔現代文化を考える〕(短放)	〈橋 爪 敏 敏〉	…… 41
統計学〔社会現象の統計的分析〕(短国・短英)	〈稲 葉 敏 夫〉	…… 42
文化人類学〔文化と人間〕(短国・短英)	〈藤 崎 康 彦〉	…… 42
法学(短放)	〈長谷川 日出世〉	…… 43
法学(短放)	〈和 知 恵 一〉	…… 44
法学(短放)	〈沼 田 雅 之〉	…… 45
法学(短放)	〈鷄 徳 啓 登〉	…… 46
法学(短放)	〈沼 田 雅 之〉	…… 47
法学(短放)	〈佐 藤 多 美 夫〉	…… 48
法学(短放)	〈新 田 浩 司〉	…… 49
法学・憲法〔法と国家〕(短国・短英)		
法学(短放)	〈織 田 晃 子〉	…… 50
法学(短放)	〈茂 野 隆 晴〉	…… 51
法学・憲法〔法と権利〕(短国・短英) 一夏季集中一		
法学(短放) 一夏季集中一	〈西 修 一〉	…… 52
法学(短放)	〈鷄 徳 啓 登〉	…… 53
法学(短放)	〈長谷川 日出世〉	…… 53
政治学〔社会生活とデモクラシー〕(短国・短英)	〈大 山 礼 子〉	…… 54
経済学〔現代経済と人間〕(短国・短英)	〈瀬 戸 岡 紘 一〉	…… 54
社会科学論〔社会認識の思想〕(短国・短英)	〈大 石 雄 爾〉	…… 55
教育学〔デス・エデュケーション〕(短国・短英)	〈柳 堀 素 雅 子〉	…… 56
教育心理〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から-〕(短国・短英)		
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕(短放)	〈野 中 弘 敏〉	…… 57
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕(短放)	〈高 橋 良 博〉	…… 57
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕(短放)	〈横 山 剛 一〉	…… 58
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕(短放)	〈山 岸 直 基〉	…… 58
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕(短放)	〈山 岸 直 基〉	…… 59
心理学〔人間関係を考える〕(短放)	〈高 橋 良 博〉	…… 59
心理学〔人間関係を考える〕(短放)	〈鈴 木 順 一〉	…… 60
心理学〔人間関係を考える〕(短放)	〈高 橋 良 博〉	…… 60
心理学〔人間関係を考える〕(短放)	〈北 川 公 路〉	…… 61
心理学〔心を科学する〕(短放)	〈高 橋 良 博〉	…… 61
心理学〔心を科学する〕(短放)	〈名 取 志 保〉	…… 62
心理学〔心を科学する〕(短放)	〈中 丸 茂 一〉	…… 63
心理学〔心を科学する〕(短放) 一夏季集中一	〈堀 内 正 彦〉	…… 64
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕(短放)	〈鈴 木 順 一〉	…… 65
心理学〔人間関係を考える〕(短放)	〈鈴 木 順 一〉	…… 66

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕	(短国・短英)	〈清水善和〉	… 67
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	(短国・短英)	〈藤井 享〉	… 68
自然環境論〔環境と保全〕	(短国・短英)	〈古藤田 一雄〉	… 69
自然環境論〔環境と保全〕	(短国・短英)	—夏季集中— 〈山 縣 毅〉	… 70
自然誌〔現代の自然像〕	(短国・短英)	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣 毅〉	… 71
数学 (1)〔微積分学入門〕	(短国・短英)	〈小 沢 誠〉	… 72
数学 (2)〔線型代数学入門〕	(短国・短英)	〈小 沢 誠〉	… 72
数学 (3)〔現代数学入門〕	(短国・短英)	〈福 田 賢 一〉	… 73
情報数学〔情報と論理〕	(短国・短英)	〈上 原 隆 平〉	… 73
物理学〔光と物質〕	(短国・短英)	〈篠 原 正 雄〉	… 74
化学〔衣食住の化学〕	(短国・短英)	〈持 丸 真 里〉	… 75
宇宙科学〔星と銀河〕	(短国・短英)	〈篠 原 正 雄〉	… 75
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)	〔コンピュータの実際〕	(短国・短英) 〈小 沢 誠〉	… 76
コンピュータ基礎(2)(7)	〔コンピュータの実際〕	(短国・短英) 〈山 本 博 信〉	… 77
コンピュータ基礎(3)(8)	〔コンピュータの実際〕	(短国・短英) 〈小 川 健 次 郎〉	… 78
コンピュータ基礎(5)	〔コンピュータの実際〕	(短国・短英) 〈竹 田 洋 一〉	… 78
コンピュータ基礎(10)(23)(24)	〔コンピュータの実際〕	(短国・短英) 〈上 原 隆 平〉	… 79
コンピュータ基礎(11)(15)	〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— (短国・短英) 〈竹 田 洋 一〉	… 80
コンピュータ基礎(12)	〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— (短国・短英) 〈小 沢 誠〉	… 81
コンピュータ基礎(13)(17)	〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— (短国・短英) 〈山 本 博 信〉	… 82
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)	〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— (短国・短英) 〈長 坂 浩 史〉	… 83
コンピュータ基礎(16)(20)(22)	〔コンピュータの実際〕	—夏季集中— (短国・短英) 〈小 川 健 次 郎〉	… 85
コンピュータ応用(1)(2)	〔コンピュータの原理〕	(短国・短英) 〈上 原 隆 平〉	… 86
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	(短国・短英)	〈遠 藤 萬 里〉	… 86
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	(短国・短英)	〈山 岸 直 基〉	… 87
心理学〔心を科学する〕	—夏季集中— (短国・短英)	〈堀 内 正 彦〉	… 88
基礎物理学 (短放)		〈佐藤昌憲・小林久夫〉	… 89
基礎化学 (短放)		〈山 本 裕 右〉	… 90
情報処理技術 (短放)		〈杉 田 徹〉	… 91
〔平成12年度以前入学生：計算機言語概論〕			
基礎生物学 (短放)		〈清 水 善 和〉	… 92

(4) 総合分野 (短国・短英)

総合Ⅰ	〈 休 講 〉		
総合Ⅱ	〔自然観察入門－富浦をめぐる人と自然〕	〈清水 善和・他〉	93
総合Ⅲ(1)	〔人 権 と 社 会 問 題〕	〈ピアス, D.M.〉	94
総合Ⅲ(2)	〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	95
総合Ⅲ(3)	〔スペイン語圏文化の諸相〕	〈上野 勝広〉	95
総合Ⅳ(1)	〔現代アメリカ事情〕	〈林 明人〉	96
総合Ⅳ(3)	〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸小 哲雄〉	96
総合Ⅴ(1)	〔イギリス文化探訪〕	〈川股 陽太郎〉	97
総合Ⅵ(1)	〔民 族 と は 何 か〕	〈大野 祐二〉	98
総合Ⅵ(2)	〔イ ス ラ ム〕	〈吉田 京子〉	98
総合Ⅵ(3)	〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早川 紀代〉	99
総合Ⅶ(1)	〔ト ラ ブ ル と 法 的 解 決〕	〈北野 かほる・他〉	100
総合Ⅶ(2)	〔都 市 論〕	〈早川 純貴・他〉	101
総合Ⅷ	〈 休 講 〉		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学〔日本文学「古典」〕	増尾聡哉	短国・短英選	4

講義のねらい

『大鏡』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

平安時代の代表的な文学作品には、女性の手になるものも多いが、一方では男性による和文も決して少なくない。本年度は『大鏡』の兼家伝から道長伝を中心に読み、『源氏物語』や『枕草子』等に描かれた世界とは、また違った視点でとらえた平安貴族のありようを見直したい。併せて、歴史物語が成立する社会的・精神的背景にも触れる予定である。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。

教科書

佐藤謙三校注『大鏡』（角川文庫）

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学〔日本中世史〕	栗原修	短国・短英選	4

講義のねらい

中世の歴史を講義する。とくに中世社会の成立、社会のあり方を中心に見ていき、中世という時代の特徴を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は武家政権の成立について、後期は武家政権の展開について、見ていく。

履修上の留意点

テーマごとに取り上げるため、年表などを用意してもらいたい。

成績評価の方法

年度末試験と平常点などにより総合的に評価する。

参考書等

その都度紹介するが、日本史辞典、年表などは用意してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(1)〔日本美術〕	北野良枝	短国・短英選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は室町から桃山まで、後期は江戸時代を扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学(2)[西洋美術]	矢野陽子	短国・短英選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学(3)[音楽]	赤羽由規子	短国・短英選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』(公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわ 谷 淳 <small>かたに あつし</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では次のような内容を取り扱う。
- (1) ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
 - (2) キリスト教哲学（教父哲学・スコラ哲学）
 - (3) 近代哲学（デカルト、ロック、カント）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	やま ぐち まさ ひろ 山 口 祐 弘	短国・短英選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対応
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	箭野浩司	短国・短英選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、特に話すことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、司会術、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	伊古田 理	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいつさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著「なぜ悪いことをしてはいけないのか」（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹「論理トレーニング」（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科学史 〔科学と技術〕	こみやま たかし 小宮山 隆	短国・短英選	4

講義のねらい

近代科学の成立およびその展開に深いかかわりをもつ「技術」のいくつかを軸に、科学と技術および社会との関連を視野に入れ、歴史を概観する。科学と技術はしばしば車の両輪にたとえられるが、新しく登場した技術が科学の進展を促すばかりでなく、阻害するケースもあり、そうした個々の事例をふまえて今日の科学技術文明を考える手がかりとしたい。
後期には、IT、バイオ、ナノテクノロジー等、現代技術の動向についても紹介する。

履修上の留意点

自然科学的な知識は特に前提としないが、それだけに講義に対する積極的な取り組みが受講の要件となる。

成績評価の方法

出席状況、レポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。
なお、試験については、「覚える」ことを強いる必要はないと思われるので、原則として、教科書・ノート等の参照を可とする。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 (1)〔人間観〕	ふる た とも あき 古 田 知 章	短国・短英選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的な生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(2)〔応用倫理学〕	くろ さき つよし 黒 崎 剛	短国・短英選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなしなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(3)〔価値観〕	たき ざわ まさ ゆき 滝 沢 正 之	短国・短英選	4

講義のねらい

現代倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、善い悪いというものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。人は殺してはいけない、とよく言うが、死刑はあるし、戦争もある。
また、何かについて「善い」とか「悪い」とか述べたときに、我々は何をやっているのだろうか。少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。
そこで、善悪についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

現代倫理学の主要なトピックを体系的に紹介する。具体的には、まず、契約論、カント主義、功利主義など、規範倫理の学説を解説する。その後、道徳の本性についてのメタ倫理的な考察に移行する。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(4)[応用倫理学]	箭野 浩司 <small>の ひろ し</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の「応用」という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

『原典による哲学の歴史』(公論社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(5)[制度とモラル]	滝口 清栄 <small>たき ぐち きよ えい</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代であっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会はどのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、そのあとの検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト(10月上旬を予定)と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』(公論社) 3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(6)〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知るとは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基いて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(2)〔聖と俗〕	田中かの子	短国・短英選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはかならない。「聖」と「俗」に異なる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立つよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学(4)〔組織と運動〕	洗 建 <small>あらい けん</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実 に即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(1)[風土と文化]	たけばやし かずひこ 竹林和彦	短国・短英選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験 80%、平常点 20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(2)[風土と文化]	たかほし けんたろう 高橋健太郎	短国・短英選	4

講義のねらい

文化や風土などを地域社会と関連づけて理解するという、人文地理学の基本概念について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかにかに重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。①人文地理学の位置づけ、②文化領域、③文化伝播、④文化生態、⑤文化景観、⑥認知地図、⑦風土、⑧生活様式、⑨居住、⑩風水、⑪言語、⑫民族、⑬宗教・巡礼、⑭観光、⑮ジェンダー、⑯中国。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、定期試験の結果にレポートの提出状況を加味して採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学(3)(空間と行動)	やまぐち たろう 山 口 太 郎	短国・短英選	4

講義のねらい

空間（本講義では主に都市空間を取り上げる）における実践のなかで、人文地理学的知を通じて、人文地理学的事象を見出し、あるいは感じ、理解することを目的とする。空間に生きる人々や、その空間に関係する他者（特に観察者）の行動や振舞い方を理解し、考えることに主軸をおく。

具体的には1年間かけて、以下の3点について習得してほしい。

- 1) 都市（事例として主に東京を対象とする）を観察し、記録するメソッド
- 2) 人文地理学の研究手法のうち、特に知覚、行動に関する研究手法
- 3) 空間を理解する方法のひとつとしての景観観察法と、空間における実践としてのまちづくりの事例（国内各地の事例を紹介する）

講義の内容・授業スケジュール

- I インTRODクシヨン
- II 都市を観察し、記録するメソッド
 1. 先達により観察され、記録された東京
例) 小田内通敏、今和次郎、石井實、川本三郎、陣内秀信、路上観察学会、泉麻人、三浦展
 2. 人文地理学における研究手法
時間地理学、認知地図、近代歴史地理学的史料分析、テキスト分析、居住環境評価、フィールドワーク
- III 景観論の系譜と観察方法
 1. 景観行政の系譜 2. 景観の考え方 3. 景観観察方法
- IV まちづくり実践の事例紹介
 1. 歴史的町並みの事例 2. 市街地再開発の事例 3. 現在のまちづくりの潮流

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期、後期に行う試験によって評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）

その他

地理的知識を取り扱う学問は、現在狭義の地理学のみではない。そのため本講義では隣接分野の研究成果も多く取り上げる。広く都市論に興味を持って欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(4)[空間と行動]	伊藤 修一	短国・短英選	4

講義のねらい

日常生活の身近な事象の中にも、規則性や一般性が認められることが少なくない。このような事象を地理学ではどのように捉えているのだろうか？講義では、それらを人文地理学の研究成果を踏まえて紹介する。地理学の基本的な理論や考え方についての解説を通して、空間的な見方や考え方の理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

特に都市の人文社会的事象に関して、都市と人間活動の相互作用に注目して概説する。前期には、都市空間とその変容についてみていく。具体的には、(1)都市の分布と立地、(2)都市システムと都市機能の変化、(3)都市構造の変化、(4)都市の生活環境と行動、後期には、おもにその変容のメカニズムをみる。具体的には、(1)人口変動と分布・人口移動、(2)グローバル化、(3)産業立地・モビリティ、(4)都市空間における知覚・認知、といったテーマを予定している。

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがある。

成績評価の方法

出席状況と試験の結果から評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

文献などについては適宜講義のなかで紹介する。
なお、高校で使用したものなどでかまわないが、地図帳を準備することが望ましい。

その他

原則として、授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	北村 三子	短国・短英1選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したものうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周延的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

教場で指示。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	短国・短英1選	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参考書等

教場で指示

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	短国・短英1選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま 幾久子	短国・短英1選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在のカリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	お びよん さん 呉 炳 三	短国・短英・短放選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー(社会的な性)」の問題を考える。
- ④若者文化(ユース・カルチャー)が現代において果たす役割とは?など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』(学文社)2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

その他

水曜H・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 炳 三 <small>びよん さん</small>	短放選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」「性」「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

その他

水曜日・2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	か 金 澤 朋 広 <small>かみ ざわ とも ひろ</small>	短放選	4

講義のねらい

現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に對する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

医療・福祉・組織・情報などの分野で「現代社会」を取り巻く状況を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの見方を身につけられるようにしていく。

成績評価の方法

講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。

教科書

開講時に指定。

参考書等

講義時に指定。

その他

土曜日・2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	かな 金 澤 とも ひろ 朋 広	短放選	4

講義のねらい	現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に対する理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	医療・福祉・組織・情報などの分野で「現代文化」を取り巻く状況を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの見方を身につけられるようにしていく。
成績評価の方法	講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。
教科書	開講時に指定。
参考書等	講義時に指定。
その他	土曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	短放選	4

講義のねらい	社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。 ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。 ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。 ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。
履修上の留意点	授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のよように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。
成績評価の方法	開講時に説明する。
教科書	労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円
参考書等	講義の中に、その都度お知らせします。
その他	水曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	小畑 和 お ば た か ず 畑 和	短放選	4

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切切包み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一の立場を見出だし難しい性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- ①マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)
- ②誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)
- ③幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
- ④家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)
- ⑤消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
- ⑥会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
- ⑦老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	呉 炳 三 <small>お びよん さん</small>	短放選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

その他

水曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	橋 爪 敏 <small>はし つめ さとし</small>	短放選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門 1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

その他

金曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	稲葉敏夫 <small>いなばとしお</small>	短国・短英選	4

講義のねらい	情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。
講義の内容・授業スケジュール	前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。
成績評価の方法	平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。
教科書	稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円
その他	授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらおう。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	藤崎康彦 <small>ふじさきやすひこ</small>	短国・短英選	4

講義のねらい	文化人類学は「文化」と「人」についての研究分野である。従って、文化概念の明確な把握と、「人のカテゴリー」の発想と理解を得ることを目標とする。あわせて、文化人類学の基礎的な知識を身につけることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	次のような大項目とそこに含まれる小項目を想定している。各項目の比重は必ずしも均等ではない。 (i) 導入（文化の中核としての「宇宙論」、文化とコミュニケーション等） (ii) 社会構造（親族概念、キンドレッド、単系出自集団、結婚、家族概念等） (iii) 信念体系（妖術、呪術、シャーマニズム等） (iv) 文化と性／ジェンダー（性と年齢に基づく社会構造、あいまいなジェンダーと人のカテゴリー等） (v) 文化と心理（文化／日常の心理化、文化とパーソナリティ、文化と深層心理等）
履修上の留意点	質問等積極的な授業参加は歓迎するが、私語めいわく行為は厳禁。授業中携帯電話等の呼び出し音が鳴ったりしたらその時点で授業は打ち切る。その他社会常識は守ること。
成績評価の方法	学年末のテストを基本とし（比重約60%）授業時のミニ・テスト、ミニ・レポート、出席点及び自主レポート等（比重約40%）を総合的に勘案し評価する。これらは加点法で扱う。なお学年末のテストは最終授業時間においてのテストを想定しているが、学事暦によっては定期試験期間内とすることも有る。開講時の説明を確認すること。
教科書	なし。授業時配布のプリントを基本とする。
参考書等	トピックごとの参考書等は授業時に紹介する。
その他	ビデオ資料を用いることがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学	長谷川 日出世 <small>はせがわ ひでよ</small>	短放選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教 科 書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参 考 書 等

『ポケット六法』（有斐閣）

そ の 他

金曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	わち 和知恵 いち	短放選	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれている。たとえば、電車やバスに乗ること、コンビニで文具を買うこと、アパートを借りることなど、すべて、法的な側面を持っている。自分は法と無縁であると思っている人は、そのことを知らずにいるだけなのである。講座名は、「法学・憲法」であるが、サブタイトルに（法と社会生活）とあるように、本講義においては、「良き社会人として生活していくために、社会にある『法』とは何であるかの理解をすること、またその『法』を社会生活の上で活かしていく能力を身につけること」を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により解答してもらおう。つまり、全員が参加する授業を目指す。授業中では、「三茶の駅頭で『うまい儲け話がある』とさそわれ、出資金の手付として1万円を払ってしまった。後で冷静に考えると失敗したと思う。この契約の効力はどうか、どうしたら『手付け金』を返してもらえるか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。さらに、たとえば「今朝の新聞に、官僚が『取賄罪』で逮捕された記事が掲載されていたが、どんな罪であるのか、また逮捕に際し憲法上の問題があるとあったが、どんな点で、なにが問題なのか」など、より up to date な話題を提供したい。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

- (1) 法学
 1. 法学を学ぶにあたって
 2. 法とは何か
 3. 法の体系と分類
 4. 法の目的
 5. 法と裁判
 6. 裁判の基準（法源）
 7. 法の解釈
 8. 法と道徳をめぐる問題
- (2) 社会生活と法
 9. 犯罪と刑罰
 10. 財産生活と法（人・物・契約など）
 11. 家族生活と法（婚姻・親子・相続など）
 12. アクシデントと法（交通事故・医療事故・欠陥商品など）
 13. 企業と法（就職と労働契約・会社・手形小切手など）

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書したいと思うが、その単なる写し作業で終わらないでほしい。つまり、授業の中で十分考察し、理解することを要求する。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

法学・憲法（新版） 小林弘人・松村格編著（八千代出版）
 ポケット六法（平成15年版） 塩野宏等編（有斐閣）
 ※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

トピックスくらしの法 大久保治男監修（芦書房）
 その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらおう。特別の事情のない限り、初回から出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	沼田 雅之 <small>ぬま た まさ ゆき</small>	短放選	4

講義のねらい

法学は難しい学問であるけれども（なぜなら法律用語というのは一見難解であるから）、決して堅苦しいものではありません。なぜなら、社会で起きている問題をどのように評価するかという手段の一つに過ぎないからです。つまり法学的アプローチを身につけるには、社会を見る適切な「目」を育てること、「教養」をたくさん身につけることが必要です。この講義では、抽象的で難解な法律用語の解説に終始するのではなく、社会を見渡せる「リアリティ」を大切にしてゆこうと考えています。したがって、公務員受験などに役立たせようと考えているみなさんには物足りないと感じられるかもしれませんが、物事を「考える」ことに重点をおいているみなさんには、いい刺激となるようなものを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には講義形式ですすめるつもりです。ただし、担当教員としてはインタラクティブな講義を目指しているので、場合によっては発言を求めることがあります。その際には間違いを気にせず遠慮なく発言してもらいたいと考えています。講義のスケジュールは下記の通りです。

（前期）

1. ガイダンス
2. 法の考える「自由」について
3. 「約束」と「契約」の違い
4. 「規制」について考える
5. 「自己決定」や「自己責任」の話
6. 診療契約とガンの告知
7. B to Eについて考える（雇用関係と法）
8. B to Cについて考える（消費者契約法）
9. フランチャイジーは、ビジネスかコンシューマーか

（後期）

1. 児童向けテレビCMの是非
2. 食品の安全性について
3. 企業活動と訴訟社会
4. 「罪」と「罰」について
5. 映画「12人の怒れる男」と陪審制
6. 日本の紛争処理システムと司法制度改革の行方
7. 人間の生・死と法
8. 平等社会の実現

前期・後期を通して、習熟度によって適宜調整しながらすすめます。また、一つ一つをゆくりと解説するつもりです。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言ってもらいたいと考えています。

成績評価の方法

基本的に後期試験（筆記）のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書は特に指定せず、レジュメを配布いたします。ただし、次の本は適宜参照しますので、是非とも用意していただきたいと思います。また、最新版の六法は購入してください（何でもよい）。

エリック・シュローサー著・楡井浩一訳『ファストフードが世界を食いつくす』（2001年草思社）

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

レジュメは何度も配布いたしませんので、入手できなかった方は、友人等で融通しあってください

水曜日・2時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	けい たく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	短放選	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

- (1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
- (4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
- (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- (1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
- (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
- (6) 各種基本的人権の内容 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
- (8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

その他

水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	めま た まさ ゆき 沼田雅之	短放選	4

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。前期は、「民事法」を中心にして今の社会を見ていきます。「自動販売機で缶ジュースを買う」という行為も法的に見れば「契約」です。そして民事法とは、契約関係を中心とする「人」と「人」の関係を扱う法分野です。みなさんが想像しやすいように、この私的関係の問題から講義をはじめます。後期は、「刑事法」を中心に、新たな法の課題などについても取り上げる予定です。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつでも、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には講義形式ですすめるつもりです。ただし、担当教員としてはインタラクティブな講義を目指しているので、場合によっては発言を求めることがあります。その際には間違いを気にせず遠慮なく発言してもらいたいと考えています。

講義のスケジュールは下記の通りです。

(前期)

1. ガイダンス
2. 法の考える「自由」について
3. 「約束」と「契約」の違い
4. 「規制」について考える
5. 「自己決定」や「自己責任」の話
6. 自由な取引とその規制
7. 社会保障制度について考える（社会権）
8. 消費者の保護と新たな流れ
9. 診療と情報の開示・プライバシー

(後期)

1. 表現の自由と規制
2. 人身の自由と「罪」と「罰」
3. 映画「12人の怒れる男」と陪審制
4. 日本の紛争処理システムと司法制度改革の行方
5. 国際社会と法
6. インターネット社会と知的財産権の保護
7. 人間の生・死と法
8. 平等社会の実現

前期・後期を通して、習熟度によって適宜調整しながらすすめます。また、一つ一つをゆくりと解説するつもりです。

履修上の留意点

注意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的に後期試験(筆記)のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書は特に指定せず、レジユメを配布いたします。ただし、最新版の六法は用意してください(何でもよい)。

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

レジユメは何度も配布いたしませんので、入手できなかった方は、友人等で融通しあってください。

水曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	佐藤多美夫	短放選	4

講義のねらい

1. 近代憲法の思想史のなかの日本国憲法の位置を考える。
2. 日本国憲法の構造を人権の視点から考える。
3. 判例を材料として、日本国憲法の姿を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 憲法の概念
2. 憲法の歴史
3. 日本国憲法の特徴
4. 人権と憲法
5. 人権の種類①～③
6. 人権規定の効力①～③
7. 人権と政治機構①～⑦
8. 人権と裁判①～⑤
9. 思想と人権①～④
10. 教育と人権
11. 宗教と人権
12. 生存と人権
13. 刑事手続と人権①～③
14. 平和と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	新田 浩司 <small>にっ た ひろ し</small>	短放選	4

講義のねらい

日本国憲法（以下「現行憲法」と略称）が制定されて半世紀が過ぎた。敗戦による占領下において制定されたという経緯等、当初よりさまざまな問題を孕んでの制定であった。自衛隊をめぐって国論を二分する論議が続きながらも、我が国は、日米安保条約というアメリカの傘の下で、高度経済成長をおう歌してきたのであるが、その歪みが社会の隅々に露呈している。たとえば、公務員の不祥事、教育問題、凶悪犯罪の増加、環境問題等々。

法は社会のルールであり、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものであるが、法はそれらの問題の解決となりうるのだろうか。このような問題に対しては、法による解決に加え、我々国民が持つ習俗、習慣、あるいは道徳をふくめた、その国の文化も多いに影響するものであるといえる。

現行憲法による過度の民主主義、個人主義の蔓延、また、我が国の文化及び伝統もまた憲法によって歪められてしまっていることは大いに指摘されているところである。このことの妥当性、あるいは、戦前の軍国主義を否定するあまり我が国の文化までも現行憲法は破壊しては来なかったか。いずれにせよ、我々の生活にとって法や憲法を無視することは不可能である。法や憲法を良く知ることは、とりまなおさず我々日本国民がより幸福に生きるために不可欠な作業である。

この講義においては、我々が国民として住民として生活する上で必要な法学・憲法学的知識を得ることができるように、現実が発生する様々な問題にも言及しつつ講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目	ガイダンス	第14回目	信教の自由
第2回目	法学の基礎知識①	第15回目	表現の自由
第3回目	法学の基礎知識②	第16回目	学問の自由／教育権
第4回目	法学の基礎知識③	第17回目	経済的自由
第5回目	憲法の基礎知識	第18回目	身体の自由
第6回目	憲法とは何か	第19回目	新しい人権
第7回目	日本国憲法の制定過程	第20回目	社会権
第8回目	日本国憲法の基本原理	第21回目	参政権
第9回目	国家の安全保障（戦争放棄）	第22回目	国務請求権
第10回目	基本的人権①	第23回目	統治機構①（天皇）
第11回目	基本的人権②	第24回目	統治機構②（国会）
第12回目	平等権（法の下での平等）	第25回目	統治機構③（内閣）
第13回目	思想・良心の自由	第26回目	統治機構④（裁判所）

履修上の留意点

私語は慎むこと。

成績評価の方法

夏休みレポート及び定期試験の成績により評価する。 ※レポートは必ず提出すること。

教科書

佐伯宣親・酒井憲郎・高乗正臣編『現代法学と憲法』（成文堂）2,500円＋税

参考書等

小六法（何でも可）があれば持参することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法〔法と国家〕 法 学	お だ て る 織 田 晃 子	短国・短英選 短放選	4

講義のねらい

法とは何かに始まり、日本国憲法と人権、法と国家について判例を多く使って講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 法とは何か
 - (1) 法と道徳
 - (2) 法の解釈
- 2 日本国憲法と人権
 - (1) 人権の主体
 - (2) 私法関係と人権
 - (3) 生命・自由および幸福追求権
 - (4) 法の下での平等
 - (5) 精神的自由権
 - (6) 居住・移転・外国移住・国籍離脱の自由
 - (7) 経済的自由権
 - (8) 社会権
 - (9) 人身の自由・裁判手続の保障
 - (10) 新しい人権
- 3 法と国家
 - (1) 日本における近代憲法の成立
 - (2) 日本国憲法の統治原理
 - (3) 司法権とその限界
 - (4) 平和主義と戦争の放棄

履修上の留意点

授業にはポケットサイズのもので十分であるが、六法を忘れないように持参し、講義中に条文がでてきたらそのつど面倒でも指摘された条文を見ること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

『コンパクト六法』（岩波）
最近の判例を重視するため、プリントの配布が多くなる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	しげの茂 野 隆 晴	短放選	4

講義のねらい

年間の授業は、前期においては、「法」というものが、いかなるものであり、いかなる特徴をもつものであるかを、教科書に掲載の事例・判例などの資料を用いて成べく平易な説明をなすことによって進めていきたい。進むにつれて、法を学ぶ面白さが感じられるようになればと思う。後期においては、主に憲法典の条文に則して、その基礎的な知識を学んでいけるように、やはり平易な授業ということに留意して進める。その際、日々に生起する具体的事件などを取り上げるなどによっても憲法が身近に感じられるようにつとめたい。さらには、現代社会のなかに未だ色濃く残存する封建法意識であるが、そうした観点から、かつての「家」制度についても触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

4・5月

- 法とは何か
- 法の種類
- 法源
- 法の生成（日本法の歴史）
- 法と裁判の基礎知識
- 国家の基礎知識

6・7月

- 民法と商法の考え方
- 裁判法、刑法、社会法の考え方

後期

9・10月

- 憲法とその原理について
- 基本的人権の保障

11・12月

- 統治機構について
- 年間のまとめ

履修上の留意点

資料ならびに条文に則して行うことの多い授業ですので、テキスト、六法は毎時間必ず持参のこと。また、授業時の私語は厳禁ゆえ、守れない者には、直接、指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味し評価する。

教科書

大久保治男監修『トビックスくらしの法』（芦書房刊）2,500円

参考書等

小型の六法、そのほかは、ばあいにより、指示しよう。

その他

授業の方法は講義です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法(法と権利)(夏季集中)	にし 西	短国・短英選	4
法学 (夏季集中)		短放選	

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画(シラバス)を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し(質問欄あり)、双方向性を大切にした授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。

要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展(国際的視野にたつて)
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界(法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など)
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験 30%、後期試験 40%、出席・レポート 30%

教科書

開講時に指示。
授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	けい たく ひろ とし 鶏 徳 啓 登	短放選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - 法の意義
 - 法発生の背景
 - 法とその近辺の社会規範
 - 法の種別と解釈
 - 法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

その他

土曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学	はせがわ ひでよ 長谷川 日出世	短放選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

その他

金曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	おおやま れいこ 大山礼子	短国・短英選	4

講義のねらい

この講義の目的は、一人一人が良き有権者として、選挙での投票をはじめとするさまざまな機会に政治と適切に関わっていくための基礎づくりにある。政治学の基本的な知識を身につけることによって、マスメディアの政治報道を鵜呑みにせず、自分自身で考える力を養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には教科書の順序にしたがって講義を進めるが、そのときどきの時事的な問題も扱う。わかりやすい教科書なので、必ず事前に一読し、予習しておくこと。また、一方的に講義を聴くだけでなく、毎回、感想や簡単なレポートなどの提出を求めるので、積極的な参加を期待する。

履修上の留意点

新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

定期試験を中心に、レポートや小テストの結果を加味して評価する。

教科書

真淵勝、久米郁男、北山俊哉『はじめて出会う政治学』（有斐閣アルマ）（新版が刊行される予定なので、そちらを入手すること）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	短国・短英選	4

講義のねらい

現代経済のしくみを概観し、あわせて現代経済の諸現象を人間の目をとおしてながめてみます。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容として以下を予定していますが、受講者の希望により随時追加・割愛します。
 《前期》現代経済の基本的なしくみ：◇資本主義経済のしくみ、◇資本主義の前史、◇等価交換のもとで利潤はなぜ生まれるか、◇価格のメカニズム、◇なぜ違う先進国と後進国の価格差、◇景気循環のメカニズム、◇技術革新と構造的転換、◇経済学という学問をつくった（そだてた）人びと、など
 《後期》人間の目をとおして現代経済をながめる：◇制度と人間——人間にとって大切なものは人間そのもの、◇要らないものまで欲しがらる——働きすぎの構図、◇クルマ社会の問題点、◇戦争と経済◇大量生産・大量販売・大量消費・大量廃棄の経済、◇食料と資源、◇適度な規制かそれとも自由と規制緩和か、◇いつおこってもおかしくない国際金融恐慌、など

履修上の留意点

原則として1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげます。毎回の講義では、まず、テーマに即した最新のニュースを話題にするところから話をはじめ、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。

成績評価の方法

年間をとおして随時、受講者のみなさんに小論を書いてもらい、それをもって成績評価をします。この平常点重視のたてまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しない方向です。また、この成績評価のたてまえから、再試験も実施いたしません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。日々のニュースとみなさんの周囲にあるさまざまな文献の全体が、いわばテキストです。よい文献などの紹介は随時いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいしゆうじ 大石雄爾	短国・短英選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 資本主義と民族
9. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても随時とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことで社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり 柳 堀 素雅子	短国・短英選	4

講義のねらい

第二次世界大戦後、医学、医療はめざましい勢いで発達し、50年前には人類が考えもしなかったような問題が数多く出てきた。人工呼吸器の登場によって、呼吸停止しても心臓が動いている状態を作り出すことができるようになったし、脳が死んでも肉体は生きている「脳死」という状態も生み出された。このような複雑な状況を生み出してしまった現代に生きている我々は、医療の問題を単に医療関係者の問題としてだけでなく、患者ひとりひとりの重要な問題として受けとめざるをえない状況へと追い込まれている。人の死の迎え方をめぐって、医療者と患者や患者の家族の意見が対立したり、人それぞれの死生観によって死のあり方をめぐっての考え方が異なってくる。そのときに何を自らの思考の手引きにするのかは各人の努力によって、自分の考え方をはっきりさせていくしか方法がないことに気がつくはずである。現代に生きる我々にとっての新しい「生と死」の考え方を探り出すことを目的として講義を進めていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代の先端医療が、過去の死生観や思想によって解決できない問題を生み出したのはなぜか？
2. 新しい生命観は生み出されているのか
3. 科学技術時代の生と死とは？
4. 我々はどこへ行くのか？

履修上の留意点

講義中に私語をしたい人は、履修をしないでいただきたい。

成績評価の方法

総合的に評価する。
何回もレポートを提出してもらうので、レポートを提出したくない人は履修しない方がよいでしょう。

教科書

なし。

参考書等

講義の中でその都度お知らせします。

その他

講義の他にビデオ、OHPを大量に使用します。時間があれば、グループディスカッションや全体の討論も行ないます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理・教育臨床心理学の立場から〕	野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	短国・短英選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はさまざまに多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	高橋良博 <small>たか はし よし ひろ</small>	短放選	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。

その他

水曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	よこ 横 山 つよし 剛	短放選	4

講義のねらい

心理学の主要な領域・対象・方法について、基礎的な知識を解説し、人間の行動・心の動きの理解を深めるよう考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、感覚知覚、学習、記憶、行動などを取り上げていく。そして後半は、感情とイメージ、パーソナリティ、成長と発達、心の健康などを取り上げていきたい(詳細な講義スケジュール・成績評価の方法については、最初の授業時に提示する)。

履修上の留意点

授業中、感じたこと・体験したことを書いてもらうことも予定しています。“素人考え”でよいですから、積極的に参加してください。コミットしていくことで、自分の心の動きを察知できるということもありますから。履修しようとする方は第一回より必ず出席し、教科書を持参してください。

成績評価の方法

平常点+筆記試験

教科書

山内宏太郎ほか『はじめての心理学』(北樹出版)

参考書等

霜山徳爾編『臨床心理学』(学術図書出版)

その他

他、プリント資料、VTR、スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やま 山 岸 なほ 直 基	短放選	4

講義の内容・授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を修得できません。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなります。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

参考書等

授業時にいくつか紹介します。

その他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

金曜日・5 時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やま ぎし なお き 山 岸 直 基	短放選	4

講義の内容・
授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を修得できません。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなります。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

教科書

授業時にいくつか紹介します。

その他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

金曜日・1時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	短放選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。

その他

水曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	すずき しゆん いち 鈴 木 順 一	短放選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきたい。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直す方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択してください。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』－自己理解ワークブック－（ナカニシヤ出版）1,600円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	短放選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。

その他

火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	きたがわこうじ 北川公路	短放選	4

講義のねらい

心理学をこれから学ぼうと考えている人のなかには先入観をもっている人が多いと思われる。それはマスコミなどで取りあげられることの多い深層心理やカウンセリングの問題である。そのため心理学ではそれだけを扱うものであるという誤解が生まれやすい。臨床心理の問題も、心理学の中で重要な問題領域であるが、心理学が扱う問題は、それだけではないということ学ぶ。
心理学全般をおさえ、日常生活において心理学を生かしていく「きっかけ」を身につけることが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

心理学は独立した学問として認められてから、多くの研究領域に分化し、それぞれ多くの基礎的事実を蓄積してきた。そのようなすでに確立した基礎的な事実と考え方を、いずれの学派にも偏らない立場ですすめるとともに、できるかぎり最新の成果をとりいれてすすめていく。基礎的分野だけではなく、社会生活の広い分野で心理学が応用されている現状を反映させて、心理学の応用分野についてもふれていく。前期は主に基礎的分野について、後期は主に応用分野について進めていく予定である。

履修上の留意点

具体的な内容、成績評価については初回の授業時に説明する。

成績評価の方法

定期試験、レポート提出、出席など総合評価とする。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜案内をする。

その他

授業方法は履修者数により決めるが、基本的なスタイルとして講義形式を考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	たかほしよしひろ 高橋良博	短放選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

履修上の留意点

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

成績評価の方法

講義の中で指示する。

その他

水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕	なとりしほ 名取志保	短放選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶという事の根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をささぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕	なか まる しょう 中 丸 茂	短放選	4

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. オリエンテーション | 心理学って何？ |
| 2. 血液型と性格 | 本当に関係あるの？ |
| 3. 科学としての心理学 | 科学って何？ |
| 4. 行動分析学Ⅰ | ラムちゃんの電撃 |
| 5. 行動分析学Ⅱ | バナナとリンゴ |
| 6. 行動分析学Ⅲ | 月に向かって吠える |
| 7. 認知心理学Ⅰ | マジカルナンバー |
| 8. 認知心理学Ⅱ | カクテルパーティ |
| 9. 認知心理学Ⅲ | 悩めるオマタかおる |
| 10. 心霊現象の心理学 | 幽霊は乗り物がお好き？ |
| 11. 社会心理学Ⅰ | 他人を好きになる時 |
| 12. 社会心理学Ⅱ | 恋、愛、そして、意志決定 |
| 13. 無意識の心理学 | UFOは存在するか？ |
| 14. 人格心理学 | 社交的な人は朝に弱い |
| 15. 占いの心理学 | ラッキーカラーは、赤！！ |
| 16. 呪いの心理学 | 呪殺は可能か？ |
| 17. 所信の心理学Ⅰ | 知識は人類を駄目にする！！ |
| 18. 所信の心理学Ⅱ | マインド・コントロール |
| 19. 宗教の心理学 | 神社の石段 |
| 20. スポーツ心理学 | イメージトレーニング |
| 21. プロファイリング | モラル・ハラスメント |
| 22. テクノ・コミュニケーション | 顔文字は使ったほうがいいか |
| その他（リクエスト可） | |

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというのではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。（教科書 理解度 UP++）

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教 科 書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000（北大路書房）
講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚

参 考 書 等

講義用の配布資料で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	堀内正彦 <small>ほりうちまさひこ</small>	短放選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水						

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 [ヒューマン・ウォッチング]	すずき じゆん いち 鈴 木 順 一	短放選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心悩む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

その他

月曜日・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	鈴木 木 順 一 <small>すず き じゆん いち</small>	短放選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようであり、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

その他

月曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	短国・短英選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅 (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 利他的行動と血縁淘汰 (4) 性選択と性比 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果 (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生 (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化) (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) さまざまな遷移 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバルゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ 藤 井 すすむ 享	短国・短英選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯といつて過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔環境と保全〕	ことうだ かず お 古藤田 一 雄	短国・短英選	4

講義のねらい

地球は“水の惑星”と呼ばれるように、地球表面の約70%は水で占められている。地球の水は、地球上の大気・陸地・海洋の三圏を絶え間なく循環し、自然環境を形成する重要な要素の一つになっている。本講義は、先ず地球上の水循環(水文循環)に関する基礎知識を理解し、つぎに大気・地上・地下を巡る水の動態の把握とその環境場との相互関係についての理解を深める。最後に、人間生活とかかわりの深い水環境・水資源・水質の保全について考究する。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容に沿って、講義を進める。

1. 水と人間の関わり合い
水と古代文明
2. 地球上の水循環
水循環の思想の変遷
陸水の循環
日本の水土循環
3. 水利用と土地・水循環
わが国の水利用
循環汚染
水と生活

履修上の留意点

やむを得ず欠席した場合には、欠席届を担当教員に直接提出すること。

成績評価の方法

前期の試験はレポート提出(課題は夏休み前に掲示する)。
 期末試験は定期試験(筆記)で行う。
 出席率は10%を総合評価の際、加味する。

教 科 書

特に教科書は指定しない。

参 考 書 等

参考書は講義中に随時紹介する。

そ の 他

高校で使用した地図帳を持参すると講義の理解の手助けになると思われる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕(夏季集中)	やまがた たけし 山 縣 毅	短国・短英選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水	△	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	短国・短英選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
 - (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
 - (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
 - (1) 地球環境の変遷（プレートテクトニクスからプレュームテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズム
 - (3) 火山活動のメカニズム
 - (4) プレュームの活動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
 - (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）
 - (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）
 - (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
 - (4) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	短国・短英選	4

- 講義のねらい** 数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。
- 履修上の留意点** 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
- 成績評価の方法** 試験の結果で評価する。出席も考慮する。
- 教科書** 石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,000円
- 参考書等** 石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円
- その他** 毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠	短国・短英選	4

- 講義のねらい** 数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。
- 履修上の留意点** 毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。
- 成績評価の方法** 試験の結果で評価する。出席も考慮する。
- 教科書** 石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000円
- 参考書等** 石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円
- その他** 毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田賢一 <small>ふく だ けん いち</small>	短国・短英選	4

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実際の応用力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期： 論理の基礎と応用、情報理論、情報数値、言語理論、線型代数とその応用、後期：線型計画法、確率現象と社会現象、数値解析とその応用
履修上の留意点	高校数学の初歩的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な定義、性質を確実に把握する必要がある。
成績評価の方法	試験結果を中心に、レポート、小テスト、出席状況等を加味し総合的に判定する。
教科書	使用しない。プリントを配布する。
参考書等	必要となり次第指示する。
その他	プリントは数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	上原隆平 <small>うえ ほん りゅう へい</small>	短国・短英選	4

講義のねらい	形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。
講義の内容・授業スケジュール	まず始めに形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。次にオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行わない。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。特に小テストを授業の最後に適宜行ない、その結果を重視して成績をつける予定である。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する。また Web や電子メールを使って補助資料を配布するので、インターネットに接続されたコンピュータが使用できることが望ましい。ただしこれは必須ではない。使用できない学生には個別に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお の 正 雄	短国・短英選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 蜃気楼 透明人間
光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ
色即是波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線
光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作術著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円。
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸 眞里	短国・短英選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維 合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む） 食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題 内分泌攪乱物質 フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのほらまさお 篠原正雄	短国・短英選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。

太陽： 構造 エネルギー源

恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源

後期は銀河をとりあげます。

銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域

銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造

宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	小 沢 誠 <small>お ざわ まこと</small>	短国・短英選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教科書

HTML 4.01 Specification(<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参考書等

The World Wide Web Consortium(<http://www.w3.org/>)

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信	短国・短英選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“情報リテラシー”を実習を通じて理解する。インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

これまでのコンピュータシステムは、たとえば企業では、情報システム部門や専門家によって作られ、エンドユーザ部門に提供されてきた。パッケージソフトウェアの普及などによって身につけることができる情報処理技術に伴って、ユーザ自身がコンピュータシステムを作り上げることも可能になった。このように情報技術の環境が整いつつある。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。本講座では、情報を読み、書き、プレゼンテーションし、応用する能力（情報活用能力または情報リテラシー）をエンドユーザであるみなさんがどのようにして身につけるか、実習を通じて学習する。

- ・表計算ソフトの計算処理と各種操作方法（起動と終了、表示窓と格納箱の切り替え、ブックの保存、データの入力と編集、数式の入力、相対参照と絶対参照、オートフィル、書式設定、罫線、グラフの作成と編集、関数の利用、データの並び替え、複数のワークシートの利用、作図のツール）
- ・Web ページの概要
- ・インターネットの諸サービスの活用

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。試験前にあらかじめ提示した課題を最終回の授業において実施し、提出するという形態をとる。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お <small>がわ</small> けんじろう 小 川 健次郎	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕(前期)	たけ <small>だ</small> よういち 竹 田 洋 一	短国・短英選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的な操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして学期末に行うテスト（実技+筆記）の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	う え は ら り ゅ う へ い 上 原 隆 平	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(11) (15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	たけだ よういち 竹田 洋一	短国・短英選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして学期末に行うテスト（実技+筆記）の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

授業日程(11)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	△	△	△			8月27日	水					

△は予備日

授業日程(15)

前半						後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金			○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月			○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火			○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水			○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木			○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金			△	△	△	8月27日	水					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お <small>ざわ</small> 沢 <small>まこと</small> 誠	短国・短英選	2

講義のねらい	HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。
成績評価の方法	レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。
教科書	HTML 4.01 Specification(http://www.w3.org/TR/html4/)、Cascading Style Sheets, level 2 (http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/)
参考書等	The World Wide Web Consortium(http://www.w3.org/)
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。 授業日程(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	△	△	△				8月27日 水						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎(13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもとひろのぶ 山本博信	短国・短英選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた“コンピュータリテラシ”および“情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。PC（パソコン）で作成できる画像をどのように処理して活用するかについて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及している。日常生活においても、パソコンなどに接する機会が増え、これらを活用することがますます必要となってきた。パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理して情報を作成、発信することができるようになった。学習と情報技術を結びつけ、知的生産性を向上させるためには、各個人（エンドユーザ）の情報活用能力を高めることが重要である。パソコンでどのようにして画像を作成してホームページの発信に活用するかについても学ぶ。

- ・コンピュータによる情報処理と組織による情報処理について
- ・表計算ソフトの基礎、応用
 - (1) 行列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用（ワープロ文書へ表やグラフを埋め込み仕上げる） (6) VBAによる問題解決
- ・Windowsの環境について（個人情報の自己管理方法など）
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用（情報を収集して文書を作成する）
- ・Webページの作成（内容の構造化、表現（画像）およびその作成技術について）

履修上の留意点

予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程(13)

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○			8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○			8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○			8月22日	金					
8月6日	水	△	△	△			8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○			8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○			8月27日	水					

△は予備日

授業日程(17)

前半							後半							
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6	
8月1日	金						8月20日	水				○	○	○
8月4日	月						8月21日	木				○	○	○
8月5日	火						8月22日	金				○	○	○
8月6日	水						8月25日	月				○	○	○
8月7日	木						8月26日	火				○	○	○
8月8日	金						8月27日	水				△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (14)(18)(19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	短国・短英選	2

講義のねらい 初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Web ページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール 情報教育センターのパソコン (OS は Windows) を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excel による表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用 (電子メール、WWW) 等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成してもらう。この資料は Web ページの体裁で作成してもらうので、HTML の入門等、Web ページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点 初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。(課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2 日目はフロッピーディスクを持参すること。)

成績評価の方法 課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思っていよい。

教科書 使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等 同上

その他 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○				8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○				8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○				8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○				8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○				8月26日 火						
8月8日 金	△	△	△				8月27日 水						

△は予備日

コンピュータ基礎(18)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金				○	○	○	8月20日 水						
8月4日 月				○	○	○	8月21日 木						
8月5日 火				○	○	○	8月22日 金						
8月6日 水				○	○	○	8月25日 月						
8月7日 木				○	○	○	8月26日 火						
8月8日 金				△	△	△	8月27日 水						

△は予備日

コンピュータ基礎(19)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

コンピュータ基礎(21)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水				○	○	○
8月4日	月							8月21日	木				○	○	○
8月5日	火							8月22日	金				○	○	○
8月6日	水							8月25日	月				○	○	○
8月7日	木							8月26日	火				○	○	○
8月8日	金							8月27日	水				△	△	△

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お ^{がわ} ^{けんじろう} 川 健次郎	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。

なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教 科 書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程(16)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金				○	○	○	8月20日	水						
8月4日	月				○	○	○	8月21日	木						
8月5日	火				○	○	○	8月22日	金						
8月6日	水				○	○	○	8月25日	月						
8月7日	木				○	○	○	8月26日	火						
8月8日	金				△	△	△	8月27日	水						

△は予備日

授業日程(20)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○				8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○				8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○				8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○				8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○				8月26日	火						
8月8日	金	△	△	△				8月27日	水						

△は予備日

授業日程(22)

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金							8月20日	水	○	○	○			
8月4日	月							8月21日	木	○	○	○			
8月5日	火							8月22日	金	○	○	○			
8月6日	水							8月25日	月	○	○	○			
8月7日	木							8月26日	火	○	○	○			
8月8日	金							8月27日	水	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用(1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえ ほん りゆう へい 上 原 隆 平	短国・短英選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料は WWW を通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数 log など）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学(1)(2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	短国・短英選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤万里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については 遠藤万里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やまぎし なおき 山 岸 直 基	短国・短英選	4

講義の内容・
授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょうか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を修得できません。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなります。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

参考書等

授業時にいくつか紹介します。

その他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさそぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○		8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○		8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○		8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○		8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○		8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○		8月27日 水						

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎物理学(前期)	佐藤 昌憲・小林 久夫	13以降入学生/短放1選	1
		12以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

高校で「物理」を履修していない学生や物理が苦手であった学生を対象とした補習的な科目である。基礎物理学で必要となる物理の基本的な法則や基礎的事項について演習をまじえて理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 力と運動
速度、加速度、運動の法則、エネルギー
2. 波動
波の性質、音波と光波、反射と屈折
3. 電気
電圧と電位、コンデンサ、電流と抵抗、オームの法則
4. 磁気
電流と磁場、電磁誘導、コイル

履修上の留意点

高校で履修しなかった学生を対象としますから、4月と5月の2ヶ月間での集中授業である。基礎物理学Aでは、力と波動を、基礎物理学Bは、電気と磁気を中心に焦点をしぼり平易に解説する。物理における最低限の知識の修得と苦手意識を克服してほしい。

成績評価の方法

基礎物理学A・Bの小テスト、定期試験により評価する。

教科書

基礎物理学A：力武常次 都築喜弘著『〈チャート式〉新物理I B・II』（数研出版社）1,701円

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎化学（前期）	やまもと ゆうすけ 山本裕右	13以降入学生/短放1選	1
		12以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

高校で「化学」を履修していない学生、履修していてもきちんと理解できていない学生には、1年次の必修科目である「放射化学序論」、「放射線写真学」および2年次の「放射化学」の講義を十分理解できないケースが多く見受けられる。ここでは、高校までの化学の学力が十分身につけていない学生のために、今後必要となる化学の基礎的事項、重要事項について演習をまじえて平易に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

以下の内容について演習を行いながら進める。

1. 物質とは
2. 元素と単体、化合物
3. 原子、分子、イオン
4. 電子配置
5. 化学結合
6. 化合物の名称
7. 化学方程式
8. 化学量論
9. 物質の量
10. 濃度の計算

履修上の留意点

高校で化学を履修しなかった学生、履修していても学力が不十分だと自覚している学生、そして化学が苦手な学生、嫌いな学生を対象としています。高校までのただひたすら暗記する化学はここにはありません。不明なこと、理解できないことはどしどし質問してください。理解しようとする努力、知ろうとする意欲をもって臨んでいただければ、きっと新しい化学の世界が開けてくることでしょう。

成績評価の方法

平常の小テスト、定期試験で評価する。

教科書

井本稔、岩本振武著『化学－その現代的理解』（東京化学同人）1,930円＋税

参考書等

R. J. Ouellette 著（岩本他訳）『化学その基礎へのアプローチ』（東京化学同人）2,400円
P. W. Atkins 他著（千原他訳）『物理化学の基礎』（東京化学同人）3,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理技術(前期)	すぎた 杉田 徹	13以降入学生/短放1選	1
計算機言語概論(前期)		12以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

情報化社会にあつて、コンピュータによる情報処理技術の習得は大変重要と考える。この授業の目的は、パーソナルコンピュータを用いた情報の処理技術を習得することにある。誰もが、文書作成、編集、表計算とグラフ化、プレゼンテーション等にパソコンを自由に使いこなすことができる様、演習形式で授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

各自パソコンを操作して授業を進める。アプリケーションソフトは Win.Office.XP を利用する。授業スケジュールは下記の通りである。
 パソコンの構成 (ハードウェアとソフトウェア)
 オペレーティングシステムの概要
 キーボード操作技術 (ブラインドタッチの練習)
 インターネットと電子メールの利用
 アプリケーションソフトの活用
 MS ワードの利用 (文書作成と編集・管理)
 MS エクセルの利用 (表の作成と計算、グラフ化、マクロ技術 (VBA の初歩))
 MS パワーポイントの利用

履修上の留意点

情報教育センターでの授業になるので遅刻は厳禁。

成績評価の方法

試験は行わない。授業における提出物、演習成績、出席状況によって評価、単位認定を行う。

教科書

入沢寿美、田中伸英、高林茂樹、高橋裕著『インターネット時代の新情報活用』(サンウェイ出版) 1,800 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎生物学(後期)	し清水 よし善 かず和	13以降入学生/短放1選	1
		12以前入学生/短放1選	2

講義のねらい

地球上の生物はすべて、約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後の連綿と続く進化の過程を経て現在に至った歴史的産物である。体の構造、生理、生態、種の分布などあらゆる面に過去の歴史が反映されている。一方、すべての生物の基本単位となる細胞には生命の根元物質である遺伝子(DNA)が含まれ、この遺伝子の情報に基づいて体がつくられ、そのコントロールのもとに生命が維持されている。生命活動のどの部分をとっても、遺伝子と無関係なところはないといってよい。現代生物学は遺伝子という物質的な拠り所をえて、より厳密で実証的な学問に変わったといえる。そこで、本講義では生物の進化(縦系)と遺伝子(横系)を二つのキーワードにして、現代生物学(生命科学)の各分野の基礎的な内容を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|------------------|----------------|
| 第1章 生体を作る物質 | 第6章 免疫 |
| (1) 生元素 | (1) 抗原と免疫のしくみ |
| (2) 有機物 | (2) 免疫のネットワーク |
| (3) 生体高分子 | (3) 血液型 |
| (4) 生命活動(酵素とATP) | 第7章 性と生殖 |
| 第2章 細胞 | (1) 遺伝子と染色体 |
| (1) 細胞のしくみ | (2) 細胞分裂 |
| (2) 生体膜 | (3) 性の決定様式 |
| (3) 共生説 | 第8章 遺伝 |
| 第3章 遺伝子 | (1) メンデルの法則 |
| (1) 遺伝子の働き | (2) 遺伝病 |
| (2) タンパク質合成 | (3) 集団遺伝学の基礎 |
| (3) 突然変異と進化 | 第9章 系統と分類 |
| 第4章 発生 | (1) 分類体系 |
| (1) 発生と遺伝子 | (2) 生物五界説 |
| (2) クローン | (3) 生物多様性 |
| (3) 細胞系譜 | 第10章 進化と進化論 |
| (4) 個体発生と系統発生 | (1) ダーウィン進化論 |
| (5) ヒトの発育段階 | (2) ネオ・ダーウィニズム |
| 第5章 神経と脳 | |
| (1) ホルモンと神経 | |
| (2) 情報伝達のしくみ | |
| (3) 脳の構造と働き | |
| (4) 脳と神経ホルモン | |

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

出席点(回数に比例)と試験の点数を合算して評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

章ごとに必要な図表をまとめた補助教材のプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ 〔自然観察入門— 富浦をめぐる人と自然〕	清水 善和・上原 隆平 漆原 和子・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫・山縣 毅	短国・短英選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究方法の一部を実体験することが重要だからである。また、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然であるので、地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的・地理的な背景を知る必要もある。

本講義の前半（4～7月中旬）は、本校教室での植物、鳥類、地質・岩石、天体、身近な自然環境などの自然観察の方法を中心に講義をおこなう。また、植物観察やバードウォッチングなど一部の講義では駒沢公園を利用した実習もおこなう。

後半（7月20～24日）は、千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスに合宿して（4泊5日）、具体的な調査方法やデータ処理の仕方、レポートのまとめ方等の集中講義（午前）と植物・植生、地形・地質・土壌、歴史・地理の野外実習（午後）をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体望遠鏡を用いた天体観察の実習も行う。これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方と基本的な観察の手法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期講義

- 4月11日 (1) ガイダンス (清水)
- 18日 (2) 自然観察の方法、生物図鑑の使い方 (清水)
- 25日 (3) 植物観察 (駒沢大学) (清水)
- 5月2日 連休
- 9日 (4) バードウォッチングの方法 (柳澤)
- 16日 (5) バードウォッチングの実際 (駒沢公園) (柳澤)
- 23日 (6) 岩石・地質の見方1 (山縣)
- 30日 (7) 岩石・地質の見方2 (山縣)
- 6月6日 (8) 化学的な自然の見方1 (持丸)
- 13日 (9) 化学的な自然の見方2 (持丸)
- 20日 (10) 天体観測の方法1 (篠原)
- 27日 (11) 天体観測の方法2 (篠原)
- 7月4日 (12) レポートの作成法 (清水)
- 11日 (13) 富浦実習の準備 (清水)

7月20日～24日 富浦実習（4泊5日）：午前の講義と午後の野外実習、夜の天体観察など。

- 9月12日 (14) レポート提出
- 26日 (15) レポート講評・返却

履修上の留意点

前期半期の講義と7月下旬の富浦実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦実習に参加できない学生は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、富浦実習に参加できる学生のみ履修すること。なお、9月卒業を予定している学生は履修できない。

富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費16,000円は4月に徴収する）。

実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスをおこない、履修希望者が定員を越えた場合にはその場で抽選をおこなうので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

多数の教員が分担して講義と実習をおこなうので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価をおこなう。とくに、富浦実習については現地での実習をふまえた課題についてレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点を総合して最終的な成績判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試はおこなわない。

教科書

特になし。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(1) [人権と社会問題]	ピアス, D. M.	短国・短英選	4

講義のねらい

The most advanced English course available, it should give students the best preparation for study abroad. The course is conducted so that students may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will study something in English instead of studying English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Major emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Considerable time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	短国・短英選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(3) 〔スペイン語圏文化の諸相〕	うえの かつひろ 上野 勝広	短国・短英選	4

講義のねらい

英米圏に比較して、スペイン語圏は一般に我々日本人にはなじみが薄い。しかし、そこは多様性に満ちた実に豊かな文化を有する地域である。この講義では、そうした文化の諸相の一端を歴史的な視点を軸に紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容について3分の2はスペイン、3分の1は中南米に関する話題を取り上げる。地理、観光、言語、文学、思想、美術、建築、祭り、音楽、映画等に歴史的な視点を意識しながら紹介してゆく。しばしばビデオ等の視覚的資料も提示する。

履修上の留意点

スペイン語にはあまり興味がなくても（あればなお良いが）、歴史を含めた様々な文化に関心を持つ人の受講を歓迎する。講義の理解にスペイン語の知識は必要ない。なお講義中の私語は厳に慎むこと。場合によっては退場していただくこともある。

成績評価の方法

毎回の授業終了時に提出するミニレポート（40%）に年間2回（前期末・後期末）の試験の結果（60%）を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

日本語の参考文献やホームページは、講義内容に合わせて随時授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	ほやし 林 明 人	短国・短英選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ 丸 小 哲 雄	短国・短英選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンはそのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座（特権化された場所）を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化（帝国主義と植民地化にたいする批判）することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者（＝文化）をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン（横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
11. レビュー；冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ また よう たろう 川 股 陽太郎	短国・短英選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、スコットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性と其の崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識することである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあつて、最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙(A4)10枚程度のものを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラ等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おのの 大野 祐二	短国・短英選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしだ 吉田 京子	短国・短英選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを採用する。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的な分派、スーフイズム等々のトピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 M (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	短国・短英選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？、世間の男と女の座標軸はいったいどのようにつくられているのだろうか？。こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1年間の講義を4期にわけます。
- ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
 - 自分らしく働いて自分を高く売るってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法
男も女も自分らしく働く。
 - 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
 - セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考え
で性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映はする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・王 志安 小木曾 綾・佐藤多美夫 塩入みほも・西 修	短国・短英選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一様でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」塩入みほも
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔都市論〕	早川純貴・浦田早苗 品田知美・中野裕二 保坂尚郎	短国・短英選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4~6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。
 早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)
 品田友美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月) ——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。
 保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月) ——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。
 中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(4回/9月・10月) ——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較をしてみたい。
 早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(4回/10・11月) ——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月) ——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3 . 外 国 語 科 目

外
国
語

3 . 外国語科目

[英 語]

英語 I (短国) 〈田 中 保〉	107
英語 I (短国) 〈吉 沢 栄治郎〉	107
英語 I (短国) 〈藤 島 喬 樹〉	107
英語 I (短英) 〈吉 沢 栄治郎〉	108
英語 I (短英) 〈田 中 保〉	108
英語 I (短英) 〈藤 島 喬 樹〉	109

[ド イ ツ 語]

ドイツ語 I (短国) 〈井 村 行 子〉	110
ドイツ語 I (短英) 〈井 村 行 子〉	110

[フ ラ ンス 語]

フランス語 I (短国) 〈竹 田 正 純〉	111
フランス語 I (短英) 〈竹 田 正 純〉	111

[中 国 語]

中国語 I (短国) 〈宮 本 厚 子〉	112
中国語 I (短英) 〈宮 本 厚 子〉	112

[ス ペ イ ン 語]

スペイン語 I (短国) 〈佐 藤 紘 子〉	113
スペイン語 I (短英) 〈佐 藤 紘 子〉	113

《再履修クラス》

英語 I	〔再クラス〕 (短英)	〈西原克政〉	114
英語	〔再クラス〕 (短放)	〈武藤久緒〉	114
ドイツ語 I	〔再クラス〕 (短英)	〈五十嵐信子〉	114
ドイツ語	〔再クラス〕 (短放)	〈柴野博子〉	115
フランス語 I	〔再クラス〕 (短英)	〈長谷川光明〉	115
中国語 I	〔再クラス〕 (短英)	〈蘭明〉	115
スペイン語 I	〔再クラス〕 (短英)	〈佐藤麻里乃〉	116

《選択科目》

英文講読	(短国・短英)	〈林明人〉	117
英文講読	(短国・短英)	〈前田脩〉	117
英文講読	(短国・短英)	〈横森正彦〉	117
時事英語研究	(短国・短英)	〈竹村恵都子〉	118
時事英語研究	(短国・短英)	〈林明人〉	118
時事英語研究	(短国・短英)	〈河内賢隆〉	118
マルチ・メディア	(短国・短英)	〈落合和昭〉	119
マルチ・メディア	(短国・短英)	〈大庭直樹〉	120
マルチ・メディア	(短国・短英)	〈町田尚子〉	121
英会話 II	(短国・短英)	〈プラスキー, J. C.〉	122
英会話 II	(短国・短英)	〈ジトウィッツ, P. D.〉	122
英会話 II	(短国・短英)	—夏季集中— 〈ピアス, D. M.〉	123
英会話 III	(短国・短英)	〈ウェルズ, J. K.〉	124
英会話 III	(短国・短英)	〈ウエイド, D. A.〉	124
英会話 III	(短国・短英)	—夏季集中— 〈レーン, C. M.〉	125
英語 L L II	(短国・短英)	〈西村祐子〉	126
英語 L L II	(短国・短英)	〈町田尚子〉	127
英語 L L II	(短国・短英)	〈太田雅子〉	127
英語 L L III	(短国・短英)	〈岸本茂和〉	128
英語 L L III	(短国・短英)	〈西村祐子〉	128
英語 L L III	(短国・短英)	〈久保ひさ子〉	129
英語 II	(短国)	〈伊藤幸一〉	129
英語 II	(短英)	〈丹治弘昌〉	129
ドイツ語 I A (選)	(短国・短英)	〈栗原万修〉	130
ドイツ語 I B (選)	(短国・短英)	〈織田繁美〉	130
ドイツ語 II (選)	(短国・短英)	〈百済勇〉	130
フランス語 I A (選)	(短国・短英)	〈井田清子〉	131
フランス語 I B (選)	(短国・短英)	〈長谷川光明〉	131
フランス語 II (選)	(短国・短英)	〈桑田禮彰〉	131
中国語 I A (選)	(短国・短英)	〈蘭明〉	132
中国語 I B (選)	(短国・短英)	〈釜屋修〉	132
中国語 II (選)	(短国・短英)	〈松本丁俊〉	132
スペイン語 I A (選)	(短国・短英)	〈ナバローポロ, L. S.〉	133
スペイン語 I B (選)	(短国・短英)	〈亀山晃一〉	133
スペイン語 II (選)	(短国・短英)	〈荻野雅司〉	134
ロシア語 I A (選)	(短国)	〈クロチコフ, Y.〉	134
ロシア語 I B (選)	(短国)	〈木村英明〉	135

[英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	たなか たもつ 田 中 保	短国1選	2

講義のねらい

より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力をつける。
また、サブ・テキストを使用して、リスニング力の向上に努める。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。
1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教 科 書

- (1) *10 minute Basic Listening* (桐原書店) 950 円
(2) 『ビューリッツァー賞作家－傑作短篇集』(朝日出版社) 1,236 円

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	よしざわ えいじろう 吉 沢 栄治郎	短国1選	2

講義のねらい

短文を英訳していきます。兎も角も日常使われる表現をできるだけ数多く英訳します。

履修上の留意点

和英辞典を持参のこと。

成績評価の方法

2回ないし3回のテストを行ないます。(出席に留意のこと)

教 科 書

教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I	ふじしま たかき 藤 島 喬 樹	短国1選	2

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり〈語学は習うより慣れる〉。教わることはその一部に過ぎず、実際血となり肉となるようモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断の努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

成績評価の方法

平常点(出席、発表、小テスト)並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればそこでもう DROP OUT。また好成绩を取得するなら、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

(欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。)

履修上の注意項目を以下に記す。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

教 科 書

本教材と副教材を併用する。具体的には追って指示する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	よしざわ えいじろう 吉 沢 栄治郎	短英1年 短英1選	2

講義のねらい エッセイを中心に訳読していきます。読後、各自で訳文をまとめることが望ましい。

履修上の留意点 英和辞典を持参のこと。

成績評価の方法 2回ないし3回のテストを行ないます。(出席に留意のこと)

教科書 使用しない。

参考書等 『対訳モーム』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	たなか たもつ 田 中 保	短英1年 短英1選	2

講義のねらい より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力をつける。また、サブ・テキストを使用して、リスニング力の向上に努める。

講義の内容・授業スケジュール 授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法 以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教科書 (1) *10 minute Basic Listening* (桐原書店) 950円
(2) 『ビューリッツァー賞作家-傑作短篇集』(朝日出版社) 1,236円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	藤島喬樹	短英1年	2

外国語

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり〈語学は習うより慣れろ〉。教わる事はその一部に過ぎず、実際血となり肉となるようモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断の努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

成績評価の方法

平常点（出席、発表、小テスト）並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればそこでもう DROP OUT。また好成绩を取得するなら、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

（欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。）

履修上の注意事項を以下に記す。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

教科書

本教材と副教材を併用する。具体的には追って指示する。

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	井村行子	短国1選	2

外国語

講義のねらい

ドイツ語の基礎を身につけることを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

簡単なテキストを読みながら、文法事項の説明や練習を行います。できるだけ口頭演習の機会を多くしたいと思います。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	井村行子	短英1年 短英1選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を身につけることを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

簡単なテキストを読みながら、文法事項の説明や練習を行います。できるだけ口頭演習の機会を多くしたいと思います。

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績によります。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I	たけだまさずみ 竹田正純	短国1選	2

講義のねらい

フランス語の基礎的な部分を立体的に学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

話す・読む・書くの有機的なつながりを密に、しかもフランス文化を視野に入れつつ授業を進めていく。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。それをベースに前後期2度の試験で評価する。

教科書

青木博子『エグザゴヌ』（駿河台出版社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I	たけだまさずみ 竹田正純	短英1年 短英1選	2

講義のねらい

フランス語の基礎的な部分を立体的に学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

話す・読む・書くの有機的なつながりを密に、しかもフランス文化を視野に入れつつ授業を進めていく。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。それをベースに前後期2度の試験で評価する。

教科書

青木博子『エグザゴヌ』（駿河台出版社）1,800円

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	みやもと あつこ 宮本厚子	短国1選	2

外国語

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、簡単な会話を聞きとり、話せるようにする。前回学んだところを暗記して来ることが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教科書

『〈新版〉一年生のコミュニケーション』（白水社）2,200円

その他

詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I	みやもと あつこ 宮本厚子	短英1年 短英1選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、簡単な会話を聞きとり、話せるようにする。前回学んだところを暗記して来ることが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教科書

『〈新版〉一年生のコミュニケーション』（白水社）2,200円

その他

詳細は開講時に説明する。

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I	佐藤 紘子	短国1選	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『新版・スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I	佐藤 紘子	短英1年 短英1選	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『新版・スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する。

〔再履修クラス〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I 〔再クラス〕	にし ほん かつ まさ 西 原 克 政	短英2年	2

外国語

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850 語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているため、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただきたいと思います。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教 科 書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 〔再クラス〕	む とう ひさ お 武 藤 久 緒	短放2年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：The Cat and Cricket Game
The Rainy Afternoon
Spinnie The Spider's Solution
後期：Chipper and the Sunflower Seed Tray Perfume

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教 科 書

ジュリア・高矢著 *Tom Black and Friends* (英宝社) 1,200 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I 〔再クラス〕	い がらし のぶ こ 五十嵐 信 子	短英2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教 科 書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を!』(改訂版)(三修社) 1,700 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 〔再クラス〕	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	短放2・3年	2

講義のねらい	この授業は、初級ドイツ語のごく基本的な事柄を習得することを目標にしています。
履修上の留意点	ドイツ語の学習は、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。
成績評価の方法	試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。
教科書	高木実・常木実『新初級ドイツ語読本』（郁文堂）1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I 〔再クラス〕	長谷川光明 <small>はせがわみつあき</small>	短英2年	2

講義のねらい	フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期2回行います。
履修上の留意点	フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期後期試験及び平常点。
教科書	稲田晴年『納得できるフランス文法』（第三書房）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I 〔再クラス〕	蘭明 <small>らんめい</small>	短英2年	2

講義の内容・授業スケジュール	前期は最初の一ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。
成績評価の方法	出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。
教科書	董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅰ 〔再クラス〕	佐藤 麻里乃	短英2年	2

外国語

講義のねらい	文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。
履修上の留意点	初回の授業で述べる注意事項を守ること。
成績評価の方法	出席率、授業態度、課題の出来具合により評価する。
教科書	寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）
参考書等	『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館） 『新スペイン語辞典』（研究社）など

〔選択科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	はやし 林 あき 明 と	短国・短英選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから観賞できるようにになれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	まえ 前 だ おさむ 田 脩	短国・短英選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめにイギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みます。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教 科 書

- (1) 『イギリス庭園物語』(南雲堂) 1,200円
- (2) コピーを使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 講 読	よこ 横 もり まさ ひこ 森 正 彦	短国・短英選	4

講義のねらい

多読を行い、その内容を理解することを狙いとする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期1編、後期1編、約100ページ以内の小説を取り上げて読み進めていきたい。

履修上の留意点

十分予習を行い、授業に参加して下さい。

成績評価の方法

授業態度(発表など)、テスト100点、レポート100点、欠席一回4点減点などを総合して評価します。

教 科 書

The Woman in White, Wilkie Collins (南雲堂フェニックス) 1,200円+税

参 考 書 等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子	短国・短英選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイデオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

馬場彰・佐藤和哉『*Current English - 2002/2003 Edition*（時事英語 - 2002/2003年度版）』（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林 明人	短国・短英選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわ うち けん けいろう 河内 賢隆	短国・短英選	4

講義のねらい

本テキストは最新の新聞の論説やコラムを集めたものである。イギリス系のものが多いので、表現は少し堅いかも知れない。語法がしっかりしているので、きちんとした英語の力をつけるには恰好のテキストである。諸君と共に地味に学んでいきたい。「教えることは学ぶことである」

成績評価の方法

どの程度の学生が集まるかわからないが演習形式で授業をすゝめたい。出席点と発表点を重視する。それに二回の定期テストの結果を加えて評価する。真面目な態度ならば、少し位結果が悪くとも良い評価を下す。

教科書

『時事英語 2002/2003』（成美堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おちあいかずあき 落合和昭	短国・短英選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『11語英語の基本的総合演習』（鶴見書店）1,442円
- 2) 『Idioms』（オックスフォード大学出版局）2,200円
- 3) 『グッド・ウィル・ハンティング』（松柏社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おおば なおき 大 庭 直 樹	短国・短英選	2

外国語

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office2002を使いこなすことである。Office2002はWord（ワープロ）、Excel（表計算）、PowerPoint（プレゼンテーション）、Schedule+（スケジュール管理）を中心としたアプリケーションである。Wordと電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット（マルチメディア）の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよろしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	まち だ なお こ 町 田 尚 子	短国・短英選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-203教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

本学でのPC講習を受講し、KOMAnetのUserIDとPasswordを取得済みであることが前提となります。授業時間内に完結しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。受講人数は30名程度に限定します。4月第一回授業時間にアンケートを実施しますので、必ず出席してください。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語ⅡDの振り替え科目として選択できます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	プラスキー, J. C.	短国・短英2選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves beyond the basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. Emphasis will be placed on student-to-student exchange of information and negotiation of meaning of means of questions. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	ジトウィッツ, P. D.	短国・短英2選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.

To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.

To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピラス, D. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

The English intensive seminar is full-year course condensed into six days. Registration is voluntary, for students who are specially eager to improve English conversation ability. With these two properties in mind, the program is designed to provide incessant speaking practice in every period of the six days. By the end of the intensive practice, it will be much easier for students to speak in English. Practice will be on three levels: ordinary simple expressions, intelligent conversation, and academic topics. Lecture practice will concentrate on topics from American sociology. Concentrated listening comprehension will also be divided specifically into the same three levels. Most of the class time will be devoted to conversation practice between students in groups of two, three or four, according to the practice pattern. Audio-visual work, making use of a few short films, will be used for comprehension and composition practice in the final period of each day.

外国語

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student maybe. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水						

英 会 話 Ⅲ

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	短国・短英2選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
 Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
 I'm waiting to meet you and to improve your English...

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウエイド, D. A.	短国・短英選	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の小人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	短国・短英2選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
 25% attendance
 25% presentations
 50% participation and contribution to discussions.

参考書等

Reference Books Dictionary

その他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○		8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○		8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○		8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○		8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○		8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○		8月27日 水						

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコアー480点、TOEIC のスコアー700点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。英語 II D の振り替え科目として選択できます。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	短国・短英2選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC 700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

テキスト：Headway *pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway *elementary*、および *pre-intermediate*、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

そ の 他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90 分程度) をもってくることを。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	町田 尚子 <small>まち だ なお こ</small>	短国・短英選	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC, TOEFL のテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・授業スケジュール

4, 5月: ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
 6月と7月第1週: TOEICスコア700程度を目指した聞き取り練習(添削指導)。
 7月第2・3週: TOEICリスニング模擬テスト。
 9, 10月: TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
 11, 12月: パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
 最終授業日: テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。事前登録30名の選に漏れ、受講を断念する希望者のためにも、固い意思で続けることができることを確信して、登録することを望みます。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出示します。

教科書

LL事務室備付けの教材 *Basic Skills and Strategies, English Master Box (1) (2)*
Cambridge Preparations for the TOEFL Test 等を使用します。

参考書等

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	太田 雅子 <small>おお た まさ こ</small>	短国・短英2選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL Ⅱを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検 1 級、TOEFL のスコア 500 点以上、TOEIC のスコア 900 点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	岸 本 茂 和 <small>まし もと しげ かず</small>	短国・短英 2 選	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

前授業日数の 3 分の 1 以上欠席の場合は不可とする。授業の性質上筆記試験を実施するかどうかは未定。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	西 村 祐 子 <small>にし むら ゆう こ</small>	短国・短英 2 選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめた LL I のレベルに対して、レベル II では日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベル III は一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LL レベル II を終了し、英検一級程度 (TOEIC 900 程度) をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベル II を受講することをすすめる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、プレゼンテーションを中心とした会話コースとなる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

特に指定しない。

そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ (90 分程度) をもってくること。

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ (LL 事務室備え付け)。

使用ビデオ：Mapping the Landscape (ジェムコ出版、LL 事務室備え付け) その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	久保ひさ子	短国・短英2選	2

講義のねらい

natives の lecture が聞きとれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

workbook になっている text を、聞きとり、書きとり、録音、再生、反復練習する。前期と後期、各々 announcement を各一回、dedate を各一回、参加すること。

履修上の留意点

LL class は、本来、laboratory による practical training のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50%

教科書

Michigan Action English Step 6 (World Times Japan)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	伊藤幸一	短国2選	2

講義のねらい

皆、進学希望の様なので協力は惜しまない。テキストの英語は平明な上、その内容には興味がそそられるか。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、着席順に当てるので予習されたい。また、復習の為に宿題レポートを3回(5月末、夏休み、大学祭後)課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

評価は、以上の予習、復習、まとめの成果による。授業の進め方も含め、詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

Many Faces of Love - Reader's Link (松柏社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II	丹治弘昌	短英2選	2

講義のねらい

書評や映画評を読むことから授業を始め、各自が興味をもった本や映画についての解説や批評文の紹介並びに発表へと発展させていく。受講生は日頃より新聞や雑誌に目を通して書評、映画、劇評類に関心をもって、できるなら切抜きをして集めておかれることを望みます。

英語で書かれた書評や映画等の解説文に慣れた後には、モデル文を通して実際に各自が気に入った作品に対して実験的に英文を作成することを目標とします。

成績評価の方法

成績評価は授業での課題への取り組み方とそのレポートの結果によって決定します。ペーパーテストは別に行わないので、日頃の授業への参加に留意してください。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A (選)	くりはらかずのぶ 栗原万修	短国・短英選	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I A は文法です。このクラスもドイツ語の文法を最初からやります。でもこのクラスは選択なので、1科目だけしか履修しない人もおりますから、できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に続けたいと習得できませんので、出席を重視します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

大岩『快速ドイツ文法 (14 課)』(朝日出版社) 2,100 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B (選)	おだしげみ 織田 繁美	短国・短英選	2

講義のねらい

これからドイツ語を修得し、将来はドイツ人と話せる位まで上達したい、或は高度な本を読めるようになりたい、でも、自分には無理だろうと諦めるのが殆どの場合かも知れないが、ドイツ語の世界に踏み込む最初の精神的ハードルを飛び越え、自分独りでその世界にどんどん突き進んでいく気構えさえあれば、今の時代は居ながらにして、大きな金銭的負担もなく実現できるようになっている。この授業では、諸君の前に立ちほだかるこの精神的なハードルが飛び越えられる一つの力強い機縁になるような方向に授業を進めたい。授業ではテキストの外に、プリント、カセットテープを併用し、多角的な面から勉強目標にアプローチをしていきたいと思う。

履修上の留意点

授業を2~3回も引き続き休むと、自分では気付かなくても語感が鈍り、他の学生に遅れを取ったという焦りが出るので、遅刻したり、欠席しないこと。

成績評価の方法

授業では一人に1~2行位のを辞書を見ながら訳してもらい、その都度出席簿にチェックされ、平常点として成績評価にかなりウエイトが置かれる。これに前、後期末のテスト結果が評価に加味される。

教科書

Stufen 1 (Klett 社) 3,580 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II (選)	ももずみいさむ 百 濟 勇	短国・短英選	2

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任しているが、そこでの真摯な学部学生、院生、研究者の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝授したい。

講義の内容・授業スケジュール

短期大学生を含めて専門課程に視野を置きながらの語学研修を目指す必要がある。これまでの蓄積を生かし、さらに使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英会話の併用を行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

毎回の出席が前提だ。それ故に出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

会話中心故に、毎回教場でプリントを配布する。

参考書等

既に1年次に購入している「ドイツ語辞書」及び「ドイツ語文法書」を毎回持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA(選)	井 田 清 子 <small>い だ きよこ</small>	短国・短英選	2

講義のねらい	フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、フランスの大学生の日常生活やパリをはじめ代表的な地方都市を話題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。
講義の内容・授業スケジュール	フランス人の日常生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。
履修上の留意点	辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。
成績評価の方法	前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。
教科書	小倉孝誠、小倉和子著『エメ・ヴ・ラ・フランス?』(第三書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB(選)	長谷川 光 明 <small>はせがわ みつ あき</small>	短国・短英選	2

講義のねらい	実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでももらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。
履修上の留意点	フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。
成績評価の方法	前期後期試験及び平常点。
教科書	モーリス・ジャケ他『カンピュス』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ(選)	桑 田 禮 彰 <small>くわ た のり あき</small>	短国・短英2選	2

講義のねらい	フランス語中級。
講義の内容・授業スケジュール	発音・文法についてもしっかり確認しながら、フランス語のテキストを丁寧に読んでいきます。
履修上の留意点	最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
成績評価の方法	ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
教科書	テキストは授業開始時に受講者と相談の上、決定します。
参考書等	そのつど授業で指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	らん 蘭 めい 明	短国・短英選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月(4回に分け)において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』(北京篇1)(朝日出版社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	かま や 釜屋 おさむ 修	短国・短英選	2

講義のねらい

発音の基礎、基本語法の習得をめざす。耳でしっかり聞き、大胆に発声、表現して現代中国語の楽しさを学んでもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

正確な発音の習得、発音表記であるピンインの修得を前期の目標とする。後期は学んだ発音のいっそうの向上をめざす。

履修上の留意点

I A (選)とあわせて受講することも可能であるが、この科目だけ選択した人は、週一回のみの学習となるので欠席のないようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況、日ごとの受講態度、平常点・小テスト・期末テスト等の成績を参考に総合的に判定する。

教科書

西川和男ほか『楽々中国語』CD付、(白帝社)2,400円

参考書等

開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつ もと あつ とし 松 本 丁 俊	短国・短英2選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活等が理解できる内容で、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点として、授業中の発音、訳し方、練習などをチェック、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・干小薇『中国語の魅力』(好文出版)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	ナバローポロ, L. S.	短国・短英選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞 1・TENER QUE と HAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞 2・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）、
『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	短国・短英選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ(選)	おぎのまさし 荻野雅司	短国・短英2選	2

- 講義のねらい** スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとします。
- 講義の内容・授業スケジュール** 上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。
- 履修上の留意点** 言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。
- 成績評価の方法** 成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。
- 教科書** 佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA(選)	クロチコフ, Y.	短国選	2

- 講義のねらい**
- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
 - 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切。
- 講義の内容・授業スケジュール** 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらおうようにします。
- 成績評価の方法** 平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。
- 教科書** 『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I B (選)	木 村 英 明 き むら ひで あき	短国選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思ひます。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教 科 書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

外国語

4 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを楽しむ能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤政之〉	143
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈三幣晴三〉	144
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈山口良博〉	145
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈田中佳孝〉	146
健康・スポーツ実習 (ティーツフトボール)	〈田中佳孝〉	147
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	148
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴木淳平〉	149
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳)	〈大石武士〉	149
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サッカー)	〈秋田浩一〉	150
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川村正義〉	151
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ゴルフ)	〈鈴木淳平〉	152
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (空手道)	〈高橋俊介〉	153
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧野茂〉	154
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈山口良博〉	155
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴木淳平〉	156
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	157
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	158
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	158
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/基礎 (卓球)	〈牧野茂〉	159
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	160
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石武士〉	161
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石武士〉	162
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/応用 (バドミントン)	〈長濱友雄〉	163
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/応用 (室内球技)	〈鈴木淳平〉	163
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/応用 (バドミントン)	〈鈴木淳平〉	164
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/応用 (卓球)	〈牧野茂〉	165
生涯スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ前後期/応用 (バスケットボール)	〈牧野茂〉	166

生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	167
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江口 淳一〉	168
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三幣 晴三〉	169
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈竹田 幸夫・他〉	170
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈佐藤 政之・他〉	171
健康・スポーツ論	〈佐藤 政之〉	172
健康・スポーツ論	〈三幣 晴三〉	173
保健理論	〈吉田 稔〉	174

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

	1 時限 (短国)		2 時限 (短英)	
金 曜 日	※佐藤	卓球	※田中	ティーツフトボール
	田中	テニス	三幣	ゴルフ
	山口	室内球技	佐藤	卓球
			山口	室内球技

※は、科目の主担当者

保健
体育

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日				
1 時限									
2 時限	長	大	石	野	野	前期・基礎	前期・応用	前期・応用	
						バドミントン	ニュースポーツ※	卓球	バスケットボール
	後期・基礎					後期・応用	後期・応用	後期・応用	
	バドミントン					ニュースポーツ※	卓球	バスケットボール	
3 時限	長	大	石	鈴 木	野	前期・応用	前期・基礎	前期・基礎	
						バドミントン	簡化太極拳※	室内球技	卓球
	後期・応用					後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・基礎
	バドミントン					簡化太極拳※	室内球技	卓球	バスケットボール
4 時限	大	石	鈴 木	鈴 木	野	前期・応用	前期・基礎	前期・応用	
						簡化太極拳※	室内球技	バドミントン	
	後期・応用					後期・基礎	後期・応用		
	簡化太極拳※					室内球技	バドミントン		

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	さ とう まさ ゆき 佐 藤 政 之	短英1必	2
		短国1選	

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	みぬきはるみ 三幣晴三	短英1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習 (7・9アイアン)
- 4 時限目：打撃練習 (7・9アイアン)・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習 (5アイアン)
- 6 時限目：打撃練習 (5アイアン)
- 7 時限目：打撃練習 (W1・W3)
- 8 時限目：打撃練習 (W1・W3)
- 9 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時限目：打撃練習 (パッティング)・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習 (パッティング)・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	やまぐち よしひろ 山 口 良 博	短英1必	2
		短国1選	

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70 点)、実技テスト (20 点)、態度点 (10 点)、60 点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	短国1選	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ティーソフトボール)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	短英1必	2

講義のねらい

ソフトボールから生まれたニュー・スポーツ「ティーボール」を行なう。このスポーツはピッチャーのいないソフトボールであり、ホームベース上のティーに置かれたボールを打つことからプレーされる。

より安全に広範囲の年齢層にプレーができる様ルールおよび用具が考えられている。ティーボールの基本技術を習得し、ルールを理解することにより見るスポーツから参加するスポーツに発展させる。また、模擬試合をすることにより戦術的なことを理解し、より楽しくゲームが行なえ、野球やソフトボール観戦にも興味を持つことができる様にする。

保健
体育

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション、授業内容の説明と諸注意
- 2 時 限 目：用具の説明と使い方、キャッチボールの基本、ゴロ補球の基本、ルールの説明と実際
- 3 時 限 目：キャッチボール&ゴロの補球、バッティングの基本、ルールの説明と模擬ゲーム
- 4 時 限 目：ゴロの補球と1塁送球、ティーバッティング、ルールの説明と模擬ゲーム
- 5 時 限 目：フライボール補球の基本、模擬ゲーム
- 6 時 限 目：ティーバッティング、ゲーム
- 7 時 限 目：ティーバッティング、ゲーム
- 8 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 9 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 10 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 11 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 12 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 13 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 14 時 限 目：W-up、リーグ戦
- 15 時 限 目：まとめ

履修上の留意点

服装は一般的運動服装。運動シューズを用意する事。用具は全て貸与する。

成績評価の方法

評価は出席点 70 点、実技点 30 点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。特別な実技テストは行わない。

そ の 他

30 分以上の遅刻は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	田中 佳孝・長濱 友雄 <small>たなか よしたか ながはま ともお</small>	短英・短放	2

講義のねらい

室内で行なう球技(卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール)の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

【前期】

- 1時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2時限目：卓 球 (ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム)
- 3時限目： 〃 (サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム)
- 4時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 5時限目： 〃 (シングルスゲーム)
- 6時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ゲーム)
- 7時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 8時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9時限目：バドミントン (ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム)
- 10時限目： 〃 (ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス)
- 11時限目： 〃 (ルール解説、シングルスゲーム)
- 12時限目： 〃 (ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム)
- 13時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 14時限目： 〃 (ダブルスゲーム)
- 15時限目： 〃 (まとめと評価)

【後期】

- 1時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2時限目：バレーボール (パスとサーブの技術、ミニゲーム)
- 3時限目： 〃 (アタックとブロックの技術、ルール解説)
- 4時限目： 〃 (フォーメーション、ゲーム)
- 5時限目： 〃 (ゲーム)
- 6時限目： 〃 (ゲーム)
- 7時限目： 〃 (ゲーム)
- 8時限目： 〃 (まとめと評価)
- 9時限目：バスケットボール (パス、ドリブル、ショットの基本技術)
- 10時限目： 〃 (レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説)
- 11時限目： 〃 (ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム)
- 12時限目： 〃 (ゲーム)
- 13時限目： 〃 (ゲーム)
- 14時限目： 〃 (ゲーム)
- 15時限目： 〃 (まとめと評価)

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	短英・短放	2

講義のねらい 室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点 ○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法 出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短英・短放	2

講義のねらい 太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・收勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法 出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	短英・短放	2

保
健
体
育

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習（キック、トラップ、ヘディング、ドリブル）チーム分け
1日目午後：　　〃
2日目午前：パス練習、ゲーム
2日目午後：ロングキック、ゲーム
3日目午前：ドリブル、ゲーム
3日目午後：シュート、ゲーム
4日目午前：ルールの解説、ゲーム
4日目午後：ゲーム（リーグ戦）
5日目午前：　　〃
5日目午後：　　〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装が良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後之二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむらまさよし 川村正義	短英・短放	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットティング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3 日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4 日目午前：ダブルスゲーム。
- 4 日目午後：ダブルスゲーム。
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5 日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点 70 点。実技点 30 点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(ゴルフ)	すず き じゆん べい 鈴 木 淳 平	短英・短放	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 日目：オリエンテーション
グリップ、アドレス、スイング
打撃練習 (7・9 アイアン)
- 2 日目：打撃練習 (7・9 アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
打撃練習 (5 アイアン)
打撃練習 (5 アイアン)
- 3 日目：打撃練習 (W 1・W 3)
打撃練習 (W 1・W 3)
打撃練習 (アプローチ)
打撃練習 (アプローチ)
- 4 日目：打撃練習 (バッティング) ・ルールの解説
打撃練習 (バッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
ラウンド (模擬コース)
- 5 日目：ラウンド (模擬コース)
実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点 70%・実技点 (実技テストを含む) 30% の割合で評価する。

そ の 他

- 雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。
再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川グラウンド
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(空手道)	たか はし しゆん すけ 高 橋 俊 介	短英・短放	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
実技試験

保健
体育

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	短英・短放	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的な能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	やまぐち よしひろ 山口 良 博	短英・短放	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

保健
体育

履修上の留意点

一般的体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- 実施場所：玉川体育館
- 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	短英・短放	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素（体力的・技術的）を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (簡化太極拳)		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身撇擺捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：〃
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	すず き じゆん べい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (室内球技)		短国・短英2選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎)	まきの 牧野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・基礎) (卓 球)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
 - 2 時 限 目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3 時 限 目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4 時 限 目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5 時 限 目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6 時 限 目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7 時 限 目：シングルスゲームの練習
 - 8 時 限 目：
 - 9 時 限 目：
 - 10 時 限 目：
 - 11 時 限 目：
 - 12 時 限 目：
 - 13 時 限 目：
 - 14 時 限 目：
 - 15 時 限 目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・基礎)	まきの 牧野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・基礎) (バスケットボール)		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (簡化太極拳)		短国・短英2選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	おお いし たけ し 大 石 武 士	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (ニュースポーツ)		短国・短英2選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4 時限目：総合練習
- 5 時限目：総合練習
- 6 時限目：
 - 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目：
 - 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 11時限目：
 - 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目：

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	すず き じゆん べい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (室内球技)		短国・短英2選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

- スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	オゾ 木 じゆん べい 鈴 木 淳 平	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (バドミントン)		短国・短英2選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用)	まきの 牧 野	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ	(後期・応用) (卓 球)		しげる 茂	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
3 時限目：サーブ、ラリー
4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
8 時限目： }
9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
10時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
13時限目： }
14時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
15時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ (前期・応用)	まきの 牧野 茂	短国・短英1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (後期・応用) (バスケットボール)		短国・短英2選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、-halfコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフense①-halfコート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフense②-halfコート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフense③-halfコート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフense①-halfコート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフense②-halfコート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフense③-halfコート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐちじゆんいち 江口 淳一	短国・短英選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス兼打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	短国・短英選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：平成15年12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけだゆきお 竹田 幸夫 他	短国・短英選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1 回目 4 月 10 日 (木) 12:20~12:40 2 研-101 教場
2 回目 4 月 16 日 (水) 12:20~12:40 2 研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。
1 回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2 回目を実施します。
- 事前授業 7 月 20 日 (日) 13:00~16:00 2 研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1 日目【9 月 8 日 (月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
 - 2 日目【9 月 9 日 (火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3 日目【9 月 10 日 (水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4 日目【9 月 11 日 (木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
 - 5 日目【9 月 12 日 (金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 実習日程：平成 15 年 9 月 8 日 (月) ~ 9 月 12 日 (金) の 4 泊 5 日 (現地集合解散)
- 場 所：①宿泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話 (0267) 46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話 (0267) 48-1211
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー 3 コース・その他
- 定 員：30 名
- 集合解散：現地 (軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 受講料：50,000 円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成 15 年 5 月 26 日 (月) ~ 6 月 7 日 (土)
- 服装・用具：
 - ① 一般的なゴルフ服装 (セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ (ソフトスパイクに限る) は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習 (5 日間) に参加終了し、2 単位が認められる。成績評価の方法は、出席点 70%、技術の上達度および小テスト 30% (ルール、マナー等)

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部 (第 2 研究館 9 階保健体育部資料室) に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	さとう まさゆき 佐藤 政之 他	短国・短英選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

- 実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。
- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
 - スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【2月16日(月)】午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目【2月17日(火)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目【2月18日(水)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目【2月19日(木)】
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目【2月20日(金)】
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)～2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 40名
スノーボード 10名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)～6月7日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	さ とう まさ ゆき 佐 藤 政 之	短国・短英1選	2

保
健
体
育

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に生活習慣病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりとした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に、運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 時限目：〃（食生活と栄養）
- 4 時限目：〃（運動不足と成人病）
- 5 時限目：〃（平均余命と寿命の伸び）
- 6 時限目：〃（健康のための生活習慣）
- 7 時限目：〃（喫煙・飲酒）
- 8 時限目：〃（ストレス社会と健康障害）
- 9 時限目：〃（ストレスと健康測定）
- 10時限目：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11時限目：〃（スポーツマンのトレーニング）
- 12時限目：〃（スポーツマンの運動処方法）
- 13時限目：〃（スポーツ医学の一般知識）
- 14時限目：〃（スポーツと環境・条件）
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

- ①「レポート」の提出3回で成績評価とする。

教 科 書

毎時限に配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論	み 三 幣 ^{ぬさ} ^{はる} み 三	短国・短英1選	2

講義のねらい

健康は、人間が生きて、何かを実現していく上で最も重要な基本的前提条件である。本講義は、医学的見地からの健康だけに焦点をおくのではなく、人間として生きる上で身体的・精神的健康とはどんな状態であるのか、また、その実現にはどうすべきかを論ずるものである。したがって健康にとって障害となる現代の社会的状況からのさまざまな問題（食・住・ストレスなど）について、どう対処すべきかを、実際の観点から探ろうとするものである。また、西洋医学と東洋医学の相異などから、心と体の関係などにも言及し、メンタルマネジメント・自律訓練法・ヨガ・健康体操などの実際的な健康づくりによって学生としての、また生涯にわたっての健康の必要性を認識することをねらいとする。その際、これまで一般的に常識とされていた種々の考え方を、別の角度から検証し、新しい認識を作り上げることを目指すものである。

スポーツは、過去から長い間にわたって築きあげられてきたが、いまや現代の人々によって欠かすことのできない《文化》である。文化としてのスポーツを楽しむことは、いまや現代人にとって生活のひとつの要素になりつつある。それは、実践することを楽しむことだけにとどまらず、観ることを楽しむ、あるいはマスコミからの情報によってスポーツから幅広い視点を提供されるなど、現代人にとって広範囲の影響力をもちつつある。本講義では、スポーツを《文化論》あるいは《遊戯論》から論じることで、人間とは何か、生きるとは何かについても言及するものである。また、《スポーツの技術論》、さらに《スポーツ運動学》、《メンタルトレーニング》などにも触れることで、スポーツの狭い領域だけにとどまらず、生きがいをもって仕事・生活・趣味をしていく上での共通点を見いだしていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の概要説明
- 2 時限目：健康とは何か（世界の長寿村と短命村の比較） - その I
- 3 時限目： 同 - その II
- 4 時限目：現代の生活と健康
- 5 時限目：ストレウス説（セリエ博士の学説） - その I
- 6 時限目： 同 - その II
- 7 時限目：西洋医学と東洋医学の比較
- 8 時限目：健康体操・メンタルトレーニング
- 9 時限目：遊戯論（ホモ・ルーデンス） - その I
- 10 時限目： 同 - その II
- 11 時限目：スポーツ論
- 12 時限目：スポーツ技術論
- 13 時限目：スポーツ運動学（カテゴリー論）
- 14 時限目： 同（発達論・学習論）
- 15 時限目：日本のスポーツ（組織編・考え方）／まとめ

履修上の留意点

教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。教科書の内容は各自であらかじめ読んでおいてほしい。

成績評価の方法

ペーパーテストを基本とし、毎時間の出席を参考にする。

教科書

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700 円

参考書等

『ホモ・ルーデンス』（中央公論社）
『マイネル・スポーツ運動学』（大修館書店）

その他

講義形式を基本とし、ビデオや実技も加える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 健 理 論 (前期)	よし だ 吉 田 稔	13以降入学生/短放1必	1
		12以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

「健康とは、肉体的に、精神的および社会的に完全に良好 (well-being) な状態であって、単に病気に罹患していないとか、病的ではないということではない」。これは WHO 憲章によって定義された健康の概念である。今や我が国の平均寿命が世界一となり、健康状態は諸外国に比べ極めて良好といえる。しかしながら、我が国は 21 世紀には本格的な高齢化社会を迎えようとしており、老人問題が重要な課題となっている。今や時代のニーズに対応した保健活動のみならず将来を展望した保健活動が重要視されて来ている。ここでは現在そして将来の健康の確保に必要な諸問題について考える。

教 科 書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』(改訂7版) (南江堂) 2,400 円

参 考 書 等

『国民衛生の動向』厚生指標 臨時増刊 (厚生統計協会)

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

1 国 文 科

国
文
科

II. 専門教育科目

(1) 国 文 科

上代文学演習 I	[平成12年度以前入学生：国文演習 I]	〈佐原 作美〉	… 181
中古文学演習 I	[平成12年度以前入学生：国文演習 I]	〈鈴木 裕子〉	… 181
中世文学演習 I	[平成12年度以前入学生：国文演習 I]	〈藺部 幹生〉	… 182
近世文学演習 I	[平成12年度以前入学生：国文演習 I]	〈伴野 英一〉	… 182
近代文学演習 I	[平成12年度以前入学生：国文演習 I]	〈石割 透〉	… 183
現代文学演習 I	[平成12年度以前入学生：国文演習 I]	〈小林 治〉	… 183
現代文学演習 I	[平成12年度以前入学生：国文演習 I]	〈松田 直行〉	… 184
国語演習 I	〈片山 晴賢〉	……………	184
国語演習 I	〈萩原 義雄〉	……………	185
上代文学演習 II	[平成12年度以前入学生：国文演習 II]	〈佐原 作美〉	… 186
中古文学演習 II	[平成12年度以前入学生：国文演習 II]	〈鈴木 裕子〉	… 186
中世文学演習 II	[平成12年度以前入学生：国文演習 II]	〈藺部 幹生〉	… 187
近世文学演習 II	[平成12年度以前入学生：国文演習 II]	〈越後 敬子〉	… 187
近代文学演習 II	[平成12年度以前入学生：国文演習 II]	〈石割 透〉	… 188
現代文学演習 II	[平成12年度以前入学生：国文演習 II]	〈小林 治〉	… 188
現代文学演習 II	[平成12年度以前入学生：国文演習 II]	〈松田 直行〉	… 189
国語演習 II	〈片山 晴賢〉	……………	189
国語演習 II	〈萩原 義雄〉	……………	190
卒業研究(上代)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 I]	〈佐原 作美〉	… 191
卒業研究(中古)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 I]	〈鈴木 裕子〉	… 191
卒業研究(中世)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 I]	〈坂口 博規〉	… 192
卒業研究(中世)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 I]	〈藺部 幹生〉	… 192
卒業研究(近世)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 I]	〈坂口 博規〉	… 192
卒業研究(近代)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 II]	〈石割 透〉	… 193
卒業研究(現代)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 II]	〈小林 治〉	… 193
卒業研究(現代)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 II]	〈松田 直行〉	… 194
卒業研究(国語学)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 III]	〈片山 晴賢〉	… 194
卒業研究(国語学)	[平成12年度以前入学生：卒業研究 III]	〈萩原 義雄〉	… 195
国語学	〈片山 晴賢〉	……………	195
国語史	〈萩原 義雄〉	……………	196
日本語文法	[平成12年度以前入学生：古典文法]	〈片山 晴賢〉	… 197
日本語教育	〈奥原 淳子〉	……………	197
表現法(話すこと)	〈萩原 義雄〉	……………	198
表現法(書くこと)	〈萩原 義雄〉	……………	199
テーマ研究 I	〈松田 直行〉	……………	199
テーマ研究 II	〈藺部 幹生〉	……………	200
テーマ研究 III	〈石割 透〉	……………	200
テーマ研究 IV	〈坂口 博規〉	……………	201
テーマ研究 V	〈坂口 博規〉	……………	201
テーマ研究 VI	〈佐原 作美〉	……………	202
テーマ研究 VII	〈小林 治〉	……………	202
テーマ研究 VIII	〈小林 治〉	……………	203
異文化コミュニケーション	〈奥原 淳子〉	……………	204
情報言語学	〈萩原 義雄・片山 晴賢〉	……………	205

国文学概論	〈坂口博規〉	206
国文学特殊研究	〈小林治・他〉	206
古典文学史	〈伴野英一〉	207
近・現代文学史	〈笹瀬王子〉	207
中国文学史	〈清水浩子〉	207
文献資料を讀む	I 〈休講〉	
文献資料を讀む	II 〈萩原義雄〉	208
古典文学を讀む	I 〈佐原作美〉	209
古典文学を讀む	II 〈休講〉	
古典文学を讀む	III 〈岡田万里子〉	209
古典文学を讀む	IV 〈休講〉	
近・現代文学を讀む	I 〈石割透〉	210
近・現代文学を讀む	II 〈休講〉	
中国文学講読	〈清水浩子〉	210
中原典講読	I 〈佐原作美〉	211
原典講読	II 〈坂口博規〉	211
歌謡	I 〈川上順子〉	212
歌謡	II 〈休講〉	
和歌文学	I 〈休講〉	
和歌文学	II 〈坂口博規〉	212
物語文学	I 〈休講〉	
物語文学	II 〈休講〉	
物語文学	III 〈鈴木裕子〉	213
物語文学	IV 〈鈴木裕子〉	213
日記文学	I 〈坂口博規〉	214
日記文学	II 〈休講〉	
随筆・評論	I 〈鈴木裕子〉	214
随筆・評論	II 〈休講〉	
歴史文学	I 〈休講〉	
歴史文学	II 〈藺部幹生〉	215
説話文学	I 〈休講〉	
説話文学	II 〈藺部幹生〉	215
軍記文学	I 〈休講〉	
軍記文学	II 〈田中伸作〉	216
連歌・俳諧	I 〈休講〉	
連歌・俳諧	II 〈越後敬子〉	216
短歌	I 〈笹瀬王子〉	217
短歌	II 〈休講〉	
俳句	I 〈笹瀬王子〉	217
俳句	II 〈休講〉	
近・現代詩	I 〈休講〉	
近・現代詩	II 〈井上優〉	218
現代小説	I 〈休講〉	
現代小説	II 〈内藤寿子〉	218
児童文学	I 〈休講〉	
児童文学	II 〈吉田司雄〉	219
比較文学	〈井上優〉	220
文芸化	〈松田直行〉	221
文芸化	〈藺部幹生・他〉	222

有職故実	〈近藤好和〉	223
話芸	〈三遊亭貴楽〉	223
女性史	〈高嶋めぐみ〉	224
女性学	〈藤田和美〉	224
女性と職業	〈藺部幹生〉	225
メディアと表現	〈松田直行〉	225
地域文化論	〈鈴木裕子〉	226
海外から見た日本	〈石割透〉	226
非言語コミュニケーション(音楽)	〈土井晴人〉	227
非言語コミュニケーション(囲碁)	〈松田直行〉	227
非言語コミュニケーション(将棋)	〈藺部幹生〉	228
映画と文学	〈小林治〉	228
美術と文学	〈石割透〉	229
映像論	〈石割透〉	229
古典戯曲演劇	〈岡田万里子〉	230
近代戯曲演劇	〈松田直行〉	231
現代演劇	〈松田直行〉	231
芸能研究	〈松田直行〉	232
服飾文化を考える	〈休講〉	
食文化を考える	〈内藤寿子〉	232
住まいの文化を考える	〈内藤寿子〉	233
手話	〈白須和子〉	233
点字	〈渡辺勇喜三〉	234
書道実習Ⅰ	〈那須隆吉〉	234
書道実習Ⅱ	〈那須隆吉〉	235
編集実務	〈長谷川孝〉	235
ジャーナリズム研究	〈旗野寿雄〉	236
ビジネス実務総論	〈森本正恵〉	237
オフィス実務演習	〈森本正恵〉	238
情報処理解	〈谷本玲大〉	239
応用情報処理解	〈谷本玲大〉	240

国文科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上代文学演習 I	さ 佐 原 さ 作 美	13以降入学生/短国1 選必	4
国 文 演 習 I		12以前入学生/短国1 選必	2

講義のねらい

『万葉集』を対象に演習を行う。多くの作者の中から、特に女流歌人を選んでその作者と作品の理解を深めることを目的に進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

受講生による読解や説明や鑑賞をもとに質疑応答をまじえながら展開していきたい。

履修上の留意点

演習という科目の性質上、受講生の調査読解等が中心となるので、各自積極的に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業での発表や出席状況（重視）及びレポートなどを見た上で、総合的に評価する。

教科書

土橋寛編『作者別万葉集』（おうふう）1,800円

参考書等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中古文学演習 I	す 鈴 き 木 ひろ こ	13以降入学生/短国1 選必	4
国 文 演 習 I		12以前入学生/短国1 選必	2

講義のねらい

- この授業の主な目的は、次の三つです。
- ①古典文学に親しむこと。
 - ②古典文学を正確に読む力を養うこと。
 - ③各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

『古今和歌集』を読みます。巻十・恋一から読み始め、恋の部の全体像を把握できるように心がけながら、一首ずつ精読します。歌の言葉や技巧についての知識を深めるだけでなく、歌の背後に広がる文化の豊かさも味わえるようにしましょう。

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨むことを求めます。なお、遅刻・早退は認めません。

成績評価の方法

授業中の発表内容・発言、出席状況（欠席・遅刻をしないことは前提。特に自分の発表を欠席した場合は不可）、学年末に提出するレポートなどから総合的にを行います。

教科書

『古今和歌集』校注古典叢書（明治書院）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学演習 I	その 蘭 部 幹 生	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習 I		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

今年度は、中世文学の代表的な文学ジャンルの一つである説話のなかから、『古今著聞集』を取りあげ、演習形式で授業を行なう。各自が短い説話を一話担当し、1年間かけて、解釈・伝承経路・その説話に含まれた視点など、さまざまな面から掘り下げて研究・発表する。これを通して、基礎的な研究の方法を身につけるとともに、作品を味わい、説話のおもしろさを満喫してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

全受講者が、前・後期に、それぞれ1回ずつの発表と、その追加・訂正の発表を行なう。

履修上の留意点

担当した説話についての研究・発表だけではなく、他の受講生の発表に対する問題意識も、たいせつな要件となる。また、各自が担当する話が異なるため、具体的な調査・研究の方法、および、鑑賞についての助言は、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して行なう。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を40点満点で評価する。必要に応じて、レポートを提出してもよいが、定期試験その他の筆記試験は一切行わない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学演習 I	ばん 伴 野 英 一	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習 I		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

日本近世における散文を扱う。
井原西鶴作『好色五人女』を読む。この作品を題材にし、各人が作品の部分を担当発表することで、実際の国文学研究に必要な作業の習得を目指す。

成績評価の方法

出席点と年度末試験を重視する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。及び、年度末試験の得点が60点に満たないものも単位を認定しない。また、時に臨みレポートを課し、それも評価する。

教科書

テキストは初回の講義で指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学演習Ⅰ	いしわり 石割透	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

夏目漱石の小説『坊ちゃん』『それから』『門』を読みつつ、夏目漱石の文学の特徴や日露戦争後のわが国の文学傾向を検討していくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の発表、報告を中心にして、授業を進めていきたい。発表者は、報告内容をまとめたプリントを作成し、それを受講者全員に配布し、それを中心にして、問題点を明らかにしていきたい。発表、報告は2,3度行うことになるが、多様な視角から小説を読み、近代文学の研究の方法の基礎を受講者が身につけるべく、指導していきたい。

履修上の留意点

発表者があらかじめ十分に作品を読み、その世界について考えをめぐらして授業にのぞむこと。とともに、発表者以外の受講者も作品を読み、いろいろな問題意識をもって授業にのぞんでほしい。発表者が発表時間に欠席すれば授業を進めることが不可能になるため、絶対に欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

2, 3回にわたる発表の内容、またそれを更に深め、焦点をしばらく分析検討したレポートにより評価する。それに出席状況を考慮、更に普段の授業時の積極的な姿勢を加味する。

教科書

夏目漱石『坊ちゃん』『それから』『門』（新潮文庫）各400円

参考書等

授業時に指示する。

その他

受講者が中心となって授業を進めていく時間。各自の積極的な姿勢、自覚を期待している。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学演習Ⅰ	こばやし 小林治	13以降入学生/短国1選必	4
国文演習Ⅰ		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

宮澤賢治の散文作品、および、安部公房・村上春樹の短編小説を読み、作家について調査することを通じて、個々の作家における思想と実践（行動）と作品の関係の様相、ならびにそれぞれが抱えこんでいる問題点について考える。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家の作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導、助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講者は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をおつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどりつきたいとは考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問していただきたい。年間を通じて文学研究に必要な基本的な手続きとその意義を知ることが当演習の目的である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代文学演習 I	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	13以降入学生/短国1選必	4
国 文 演 習 I		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

演劇ワークショップを行う。言葉と身体を使ったコミュニケーションによって成り立つ演劇という表現を、自分で実際に身体を動かして体験する。

講義の内容・授業スケジュール

演劇ワークショップは俳優になるための訓練ではなく、日常の自己表現に必要な声と体の使い方を学び、またシアター・ゲームと呼ばれるグループ活動によって集団のコミュニケーションを体験するものである。通常の教室以外で行う場合、また軽い運動ができる服装を必要とする場合がある。7月末に富浦セミナーハウスで2泊3日の合宿を行う予定があり、全員参加すること。

履修上の留意点

文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。自主的、積極的、創造的な参加が必要となり、また半期の欠席が3回を越えた場合は不可とするといった厳しい出席条件を設ける。

成績評価の方法

試験、レポートはない。通常授業での平常点で評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

必要な資料はプリントで配布する。

その他

科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。希望者が定員を越える場合は選抜を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 語 演 習 I	かた やま ほる かた 片 山 晴 賢	13以降入学生/短国1選必	4
		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

国語学研究の基礎的な知識を養うことに主眼をおき、中世の資料を中心に検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれ、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担当発表を中心に進めるので、自らの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

参考書等

授業時間に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 演 習 I	はぎ 原 よし お 萩 原 義 雄	13以降入学生/短国1選必	4
		12以前入学生/短国1選必	2

講義のねらい

明治時代の国語辞書である大槻文彦編『大言海』を読んでいく。読むというより、どのようなことばが収録されていて、どのように意味解説され、用例をどのように掲載しているのかを考察していくのである。この近代国語辞書を繙くとき、常に考えておきたいことは、近代から現代へと変遷する時代の流れのなかで古語と新語そして常語という多くのことばがどう生かされてきたのか文学資料・新聞・雑誌記事そして現代の国語辞書などへの影響をも見ていくことにある。ことばを常に意識していくことで、現実をもっともっと具現化できるに違いない。時には頭上高く舞い上がる鳥の目で見、ときには、地を這うような蟻の目で物事を考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 編纂者大槻文彦と周囲の人々について
 - ② 辞書編纂における意図するところとは
 - ③ 辞書の凡例内容を分析する
 - ④ 見出し語項目別によることばの数量的統計化について
 - ⑤ 意義分類項目別によるおのおのことばの意味記述の特徴について
 - ⑥ 逆引きによることばの理解とその検索方法
 - ⑦ 品詞別項目によることばの意味理解とコード化分類
 - ⑧ シソーラス形式による類義語の効用
 - ⑨ 異名・別名・別称の記述の有無
 - ⑩ ことばの語源探求は、如何に解明されてきているか？
 - ⑪ 引用用例と典拠とした書籍について
 - ⑫ 『大言海』引用の研究論文資料の確認
- 以上、12項目について検討を重ねていく。

[検討作業にともなう計画表案]

- 4月 受講手続き確認
5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく旅立ち調査とその方法
(夏休みを大いに利用しよう)
9月下旬 調査結果の報告書の作成
10月以降 結果報告を公開發表
1月 評価決定

成績評価の方法

毎月に辞書収載のことばを選択し、上記項目を常にふまえる形で提出発表していく。個人が分析することばの数を100語として、一語ずつ評価する。

教 科 書

私家版『大言海』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開中。FD 4 枚程度
URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>〉を使用する。

参 考 書 等

大槻文彦『大言海』初版から現代版まで(富山房)他国語辞書。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学演習Ⅱ	まほら さくみ 佐原 作美	13以降入学生/短国2選必	4
国文演習Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

平安朝の初期に成立したわが国最初の仏教説話集である『日本霊異記』を対象に演習を行う。授業では受講生による調査研究の発表を中心に進めるが、その狙いは古代社会の底辺に生きる人々が何を求め、何を願って生きていたか、その心的なありようを諸仏への信仰を通して考察していく点にある。

講義の内容・授業スケジュール

各自の担当分担を決め、そのスケジュールに従って進めていく。

履修上の留意点

授業に出席することが最重要。

成績評価の方法

出席（重視）や発表とともに、期末に提出してもらいレポートなどをもとに評価する。

教科書

日本古典集成『日本霊異記』（新潮社）2,200円

参考書等

必要に応じて紹介する。

国文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学演習Ⅱ	すずき ひろこ 鈴木 裕子	13以降入学生/短国2選必	4
国文演習Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

この授業の主な目的は、次の三つです。
 ①古典文学を深く読み味わうこと。
 ②古典文学を正確に読む力を養うこと。
 ③各自が自分の考えを持ち、それを言葉に表現して他者にわかりやすく伝える訓練をすること。

講義の内容・授業スケジュール

『伊勢物語』を読みます。歌物語とはいったいどのような作品なのか、和歌がどのように機能しているのか、また、この作品がどのような影響を後世に及ぼしたかなど、作品理解のための基本的なことはもちろん、物語やその注釈に反映されている様々なジェンダーの問題についても考えてみたいと思います。

履修上の留意点

授業は受講生の分担報告を中心として進めます。担当者はもちろん、発表を聞く者も、積極的にテキストを読み、調査し、考えて授業に臨みましょう。なお、遅刻・早退は認めません。

成績評価の方法

授業中の発表内容・発言、出席状況（欠席・遅刻をしないことは前提。特に自分の発表を欠席した場合は不可）、学年末に提出するレポートなどから総合的に行います。

教科書

『伊勢物語』校注古典叢書（明治書院）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学演習Ⅱ	その 菌 部 幹 生	13以降入学生/短国2選必	4
国文演習Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

中世文学における、代表的なジャンルの一つである説話文学を取り扱う。各自が、好きな説話を一話選び、1年かけて、その説話について、調査・研究し、演習形式で発表する。その実践を通じて、研究方法を身につけ、説話文学の本質を考え、他者に説明できるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期と後期にそれぞれ1回ずつの発表があるが、それぞれに追加・訂正の発表もおこなうので、年間の発表回数是一人5~6回程度となる。

履修上の留意点

各自の調査・研究は当然のことであるが、他の受講生の発表に対して問題意識を持つことも、たいせつな学修の要件となる。なお、受講生がそれぞれ異なった説話を取り扱うので、具体的な研究方法については、ひとりひとりに、授業時間外の空き時間を利用して助言する。

成績評価の方法

各自の発表を60点満点で評価し、他の受講生の発表に対する意見・質問を30点満点で評価する。それ以上の成績を得たい場合は、レポートを提出する。定期試験を含めた筆記試験は一切行わない。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じて、そのつど紹介する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学演習Ⅱ	えち 越 後 敬 子	13以降入学生/短国2選必	4
国文演習Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

「古典文学は難しい」という先入観を捨てて、数百年前の日本人のありさまを、さまざまな方向から楽しんでほしい。この授業では江戸時代の代表的作家、井原西鶴の『世間胸算用』を取り上げる。本書は、一年最後の収支決算日である大晦日を、江戸時代の町人たちがどのように過ごしているかを描いた作品である。古文を現代語訳するだけではなく、当時の人情・風俗・経済生活等にも触れ、本作品の面白さをレポートしてほしい。演習という科目の性質上、各自が調査・研究した上で自分の考えをまとめ、それを他の受講生にわかりやすく伝えることが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

初めの数回は、近世文学や西鶴、『世間胸算用』に関する概説を行なう。その後各自の分担箇所を決めて演習発表してもらう。

履修上の留意点

受講者の分担発表を中心として進める。各自の担当箇所はもちろん、他の受講者の発表に対しても問題意識を持ち、積極的に議論に加わってほしい。

成績評価の方法

担当の発表内容および学年末のレポートに、出席状況を加味する。

教科書

授業時にプリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学演習Ⅱ	いしわり 石割 透	13以降入学生/短国2選必	4
国文演習Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

芥川龍之介の代表的な小説を読みながら、芥川文学の特徴や彼の活躍した大正という時代の文学、文化傾向を検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

受講者に、授業時ごとの発表、報告者を決め、発表者の発表内容を中心にして、授業を進めていく。発表者は、担当する作品についての発表内容をまとめたプリントを作成し、それを受講者全員に配布し、それを中心に作品の問題点を明らかにする。発表は年間2、3回担当することになる。1時間に1つの作品をとりあげて進めていく予定。

履修上の留意点

発表者が十分に作品を読み、作品世界について考えをめぐらして授業にのぞむこと。発表者は、発表の折、充分に問題点を明確に示すこと。とともに、発表者以外の受講者も充分に作品を読み、問題意識をもって授業にのぞむこと。発表者が発表担当の時間に欠席でもすることになれば、授業を進めることが不可能になるため、絶対に欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

年間2,3回の発表の内容、またその内容を更に深め、焦点をしぼり分析検討したレポートにより評価する。それに普段の授業時の積極的な意欲、出席状況を加味する。

教科書

『芥川龍之介全集1, 2, 3』(ちくま文庫)

参考書等

授業時に指示する。

その他

演習は受講者が中心となり、主体的、積極的に授業を進めていく時間。各自の積極的な姿勢に期待しています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学演習Ⅱ	こばやし 小林 治	13以降入学生/短国2選必	4
国文演習Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

安部公房、高尾敏雄、深沢七郎、加賀乙彦、村上龍、村上春樹などの第二次戦後派以降、現在に至るまでの作家の小説作品、あるいは上野英信などによるルポルタージュ文学作品を読み、戦後の日本文学の可能性と限界について考える。演習Ⅰからの積み重ねの科目として、個々に自分が文学を読むこと、もしくは文学として作品を読むことを対象化して考えることを意識しながら、作品に向かってほしい。

講義の内容・授業スケジュール

上記の作家たちの作品をそれぞれ指定し、作品ごとに報告者ならびに質問者を決め、その報告を出発点として質問者との対話を経て、指導・助言していくという形で授業を進めていく。なお、対象作家、作品は開講時にプリントを配布し、希望によって決定する。

履修上の留意点

受講生は自分の担当作家、作品だけでなく、開講時に指示する全対象作品を通読して出席することが必須であり、報告者にどしどし質問をぶつけることで授業に参加していただきたい。理想としては、報告者、質問者、受講者、教員との討論にまでたどり着ければと考えている。

成績評価の方法

それぞれの報告および課せられたレポート等の内容に、出欠状況を加味して評価する。

教科書

開講時にプリントを配布し、現在、容易に入手可能なテキストを指示する。

参考書等

報告の過程で、必要に応じてその都度指示する。

その他

報告に必要な調査、報告の要領、ならびに留意事項等について、あらかじめ詳しく説明するが、作品を調査し、考察していく過程で不明な点が生じたならば、教員に相談、質問すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代文学演習Ⅱ	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	13以降入学生/短国2選必	4
国文演習Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

演劇ワークショップの応用編として、実際の上演を目標とする。上演する内容、演出、美術や衣装の製作などもすべて自分たちの手で行う。

講義の内容・授業スケジュール

最初に相談の上、具体的な上演の目標を設定するが、今のところ「仮装」をテーマとして考えている。詳細については、最初の授業で説明する。7月末に富浦セミナーハウスで2泊3日の合宿を予定しているので、全員参加すること。また上演スケジュールによっては、授業時間以外にもかなりの参加が必要となる可能性がある。

履修上の留意点

文字として書かれたテキストを対象としているわけではないので、授業の場でのコミュニケーションを通してしか学習できない。また共同作業となるため、欠席すると他の学生に迷惑となるので、基本的に毎回出席することが必要になる。

成績評価の方法

試験・レポート提出は行わないが、上演の成果と個々の参加姿勢により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

指定しない。

その他

科目登録の前に履修許可が必要となるので、初回の授業に必ず出席すること。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習Ⅱ	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	13以降入学生/短国2選必	4
		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

1年次に修得した国語・国文学研究法をさらに発展させるのために、各自が好む題材を選び研究を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

国語資料をもとに、時間ごとに発表者の報告に基づいて授業を進めたい。

履修上の留意点

演習であるので、出席を重視し、各自分担で発表を中心に進めるので、自らの問題意識を持って授業にのぞんでほしい。

成績評価の方法

レポートにより成績を評価する。

教科書

必要に応じてコピーを配付する。

参考書等

授業時間に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語演習Ⅱ	はぎ原 よしお 萩原 義雄	13以降入学生/短国2選必	4
		12以前入学生/短国2選必	2

講義のねらい

百科辞書『塵袋』(鎌倉時代)と『瑤囊鈔』(室町時代)を読む。前記書物の書写者印融上人は、神奈川県横浜市に縁ある関東輩出の高野山の学僧である。この資料は現在、上野国立博物館の所蔵するところであり、1998年印融上人展が、横浜市歴史資料館で催された折にも公開展示されている。現存する唯一の古写完本である。しかし、時を隔てず数十年の間に、高野山の他学僧による書写本(零本)などが知られていることもあり、原本『塵袋』の存在を窺わず根拠にも成っている。この書の成立について、本文記載内容から考察し、以下の課題項目について言及してみる。そして、多くの時代性豊かなことばについて考えてみるのも妙趣を感得することでもある。古人の知的関心度とは、如何なる物事であり、これを読み解くことで、受講者お一人おひとりにして、何か人生の糧となることを期待したい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①『塵袋』『瑤囊鈔』という百科辞書をみんなでもっと知ろう。
- ②書写者、印融上人って、どんな人?行誉という人物は?
- ③項目内容の目次作成って、どういう作業なの?
- ④ことばの索引は、なぜ近代まで作成されなかったの?
- ⑤書写表記する文字に、なぜカタカナと漢字が使用されているの?
- ⑥問答体による記述方法って、質問応答する人物は複数なの?
- ⑦鎌倉時代の知識者というのは、この内容をどう受容していったの?
- ⑧この資料の公開理会の度合いは、どの程度なの?
- ⑨この書籍を見た人って、どのような身分階層人なの?
- ⑩この書籍に引用されている内外の典籍って、どこからどのように入手し、その内容をどの程度で抄録したの?
- ⑪この書籍の文章を音読するとき、どう読むの?
- ⑫読めない文字漢字って、どんな漢字?筆法は?
- ⑬特徴のある古語・古句って、どんなふうに使っているの?
- ⑭回答内容は、当代にあって蕪蓄のある解釈表現からなっているの?
- ⑮この辞書を編集するに、どの程度の年月をかけて着想してなったの?
- ⑯後世、この書籍がどのように影響を及ぼしているの?
- ⑰この書籍と発想を同じくする内容の書籍は、他に知られていないの?
- ⑱現代人の目からみて、どんな事柄が役立つの?
- ⑲現代語訳するとしたら、どんなふうに表示できるの?
- ⑳この内容を一枚の絵として仕上げることができるのかな……。

- 4月 受講手続き確認
5月12日 受講再確認とカード表の入力締め切り
本格的に作業確立のための資料準備
分析「ことば」に基づく調査とその方法
〈夏休みに展示資料館を見に行こう〉
9月下旬 調査結果の報告書の作成
10月以降 結果報告を公開発表
1月 評価決定

成績評価の方法

担当割当てによる、演習内での発表を主とする。発表者としての出席も重視、また、発表者に対する質問はポイントとなる。発表者は規定の書式に従いプリントを作成し、配布できるように事前準備の状況も含め、評価としていく。

教科書

私家版『塵袋』〈情報言語学研究室“テキストデータ”にて公開予定。FD2枚程度
URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>〉を使用する。

参考書等

山崎 誠編『塵袋』の研究(勉誠社刊)。
佐竹昭広編『瑤囊抄』(臨川書店刊)。
原裝影印版 増補 古辞書叢刊『瑤囊抄』〈大東急記念文庫蔵・雄松堂出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究(上代)	さ はら さく み 佐 原 作 美	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究 I		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

万葉集や古事記、風土記あるいは日本霊異記など奈良朝から平安初期にかけての作品や作者を対象に、各自が選んだ研究テーマをもとに調査研究したその成果を論文にまとめることを目的としている。それに必要な基礎的な事項について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月にかけて論文作成に必要な事項を講義し、その間に各自による研究テーマを決定して貰うと共にその作業を進めていく。かくして、12月の最終授業に提出して貰うことになる。

履修上の留意点

2年間の学修の決算としての性格をもつだけに自主的に取り組んでほしい。卒業論文を書くことはその後の人生に大きな喜びと影響をもたらすことであろう。それほどに意義深いことと思われるので最善をつくしてほしい。

成績評価の方法

論文への取り組みやその態度、論文の内容等など、総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを使う。

参考書等

必要に応じて紹介する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究(中古)	す き ひろ こ 鈴 木 裕 子	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究 I		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

中古文学を対象に、各自が選んだ作品とテーマによって研究論文を作成するための講座である。論文作成に必要な基礎的な事項について指導する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な研究論文等を例示しながら、テーマの決め方、研究の方法、資料の用い方等について助言する。四月から五月までに各自がテーマを決定し、その後に個別に教員の指導を受けながら各自で研究と作業を進め、最終授業時までに論文を作成して提出する。

履修上の留意点

二年間の学修の総決算としての研究成果を残すのは有意義なことである。意欲的に取り組んで欲しい。なお、土曜4限に設定されているが、実際の指導時間は、別に各自と相談の上定めることとなる。

成績評価の方法

作成された論文の内容による。

教科書

特に指定しない。

参考書等

指導中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究(中世)	さかぐちひろき 坂口博規	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究 I		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

中世時代(鎌倉・室町時代)に成立した作品やその作家を取り上げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに中世文学を概観し、論文をまとめる準備として研究方法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じて段階を決めてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

中世文学で研究レポートを作成する者は、出来る限り「古典文学史」の授業を履修して欲しい。また「中世文学演習Ⅱ」といずれかの受講となるので、出席状況もチェックする。

成績評価の方法

卒業研究のレポートの内容とその準備作業をもとに評価する。

教科書

授業時にプリント等で学ぶ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究(中世)	そのべみきお 園部幹生	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究 I		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

短期大学2年間の集大成として卒業論文を作成することは、卒業後の人生のためにも、たいへん意義深いものがある。この時間では、中世文学に関連した卒業論文(原稿用紙30枚以上)を作成するための助言・指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主として、卒業論文作成のためのテーマ設定や資料集めとその読解、後期は、卒業論文の構成と作成に関する助言・指導を行なう。

履修上の留意点

授業時間は、土曜日の4時間目に設定されているが、実際には、各受講生と都合をあわせてうえで、空き時間を利用した授業となるので、履修届を提出する前に、必ず相談に来ること。

成績評価の方法

完成した卒業論文によって評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
卒業研究(近世)	さかぐちひろき 坂口博規	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究 I		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

近世時代(江戸時代)に成立した作品や作家を取り上げ、これを研究してレポートを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに近世文学の流れを概観し、論文をまとめる準備として研究法等を学び、各自のテーマを決定した後に準備に入る。各自の進度に応じてチェックする。レポート作成スケジュールは授業時に示す。

履修上の留意点

近世文学で研究レポートを作成するものは、「近世文学演習Ⅱ」を必ず受講してほしい。

成績評価の方法

研究レポートの内容と、その準備作業をもとに評価する。

教科書

授業時にプリント等で学ぶ。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究(近代)	いしわり 石割と おる透	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

2年間の学習成果のまとめとして、各自が最も関心がある学習テーマについて研究し、400字詰原稿用紙30枚以上の論文を作成する授業。研究、調査していく過程で、また書くという営みを通して、学習し、考え、知ることの喜びを味わえることと思う。また、その中で、研究ということの深さ、知らない不明な点までも明らかになり、知らない不明なことを知ることが勉強することである、という実感が味わえる筈である。研究方法やそれに必要な文献、資料については、示唆を与えるので、教員に質問する積極的な姿勢、意欲を見せてほしいと思う。書くことの意味をくみとるためにも、是非、分野を問わず(卒業研究)の授業をうけてほしいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

受講者の研究テーマを各自ができるだけ早い時期に決め、そのテーマに基づき、学習の方法、進行についての助言を与えていきたい。

履修上の留意点

不明な点があれば、いつでも質問をすること。テーマをできるだけ、しぼり、それまでの研究成果を踏まえて、新しい何かをつけ加えるほどの意欲、熱意を見せてほしい。

成績評価の方法

年度末に提出する原稿用紙30枚以上の論文の内容によって評価する。

教科書

各自のテーマに従って、指示する。

参考書等

各自のテーマに従って、指示する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究(現代)	こばやし 小林おさむ 治	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

二年間継続してきた学習の成果として、各自が選んだテーマによって、研究論文を作成することを目的とする。そのために必要な基本的知識と方法論を学びつつ、論文作成のための実際的な指導を受けることになる。なお、この科目は、研究テーマを近・現代文学に関わるものの中から選ぶとする者が受講する科目である。

講義の内容・授業スケジュール

四月から五月は、論文の具体的テーマを各自が決める期間であり、研究の基本的な方法、関連する参考文献の調査方法、文学研究の方法論などを学びつつ、それぞれのテーマを検討し、決定していく。六月以降は、対象に選んだ作家、作品ごとに、指導を受けていく。そして、一月のはじめまでに四百字詰め原稿用紙で三十枚以上の研究論文を完成、提出することになる。その間、逐次、進行状況、作成上の問題点等を検討し、指導する。

履修上の留意点

二年間、国文科の学生として学んできた成果をまとめ、それを形にして残すという意味でより多くの学生に挑戦してほしい。自分が選んだテーマを、実際に一つの研究論文にまとめていくことは喜びであると同時に、途中いくつもの難問にぶつかって悩むことも多いだろうが、大きな手応えとして卒業後の自信につながるであろう。

成績評価の方法

完成した論文の内容による。また、研究意欲、取り組みへの積極性にも高い評価を与えたい。

教科書

特に指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒業研究（現代）	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究Ⅱ		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

1年間かけて、卒業論文、または論文にかわる卒業制作作品（小説など）を完成させる。内容に応じて個別に指導する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として近代以降の演劇・芸能関係で卒業論文を書く場合、また論文にかえて、それに相当する内容の文芸創作作品（小説や戯曲など）を提出する場合には、私が担当することになる。小説の場合、400字×200枚以上で構想する。

履修上の留意点

受講者は必ず科目登録の前に申し出ること。小説など卒業制作作品の提出は、原則として1年次で「文芸創作」を履修していることを条件とする。またその場合、個人指導のほかに、履修者全員によるグループ指導や合評会を行う。

成績評価の方法

提出された論文または作品により評価するが、完成に至るまでの過程も重視する。

教科書

指定しない。

参考書等

個別に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
卒業研究（国語学）	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究Ⅲ		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

国語学についての研究論文を作成するための講座である。国語学研究上必要な方法論・資料収集等の方法について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な論文の例示をして、中世を中心とした音韻・文法・語彙・文字等の特質を概観し、各自の研究対象を確認し、助言した後でそのテーマにそった資料収集を進めてもらう。夏休み中に主な資料のカードを作成してもらい、10月初めに論文作成にとりかかり、12月に各自点検の為の面談を行った後に提出してもらう。

履修上の留意点

各自の自主的な作業で進められるので、論文を作成するという意欲が必要となる。

成績評価の方法

論文作成過程の中の努力・意欲をみて、さらに論文を評価する。

教科書

面談の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
卒業研究（国語学）	はぎ原よしお 萩原義雄	13以降入学生/短国2選必	4
卒業研究Ⅲ		12以前入学生/短国2選必	

講義のねらい

- 日本語資料にみえることは
1. 時代背景は、現代語から古典語まで（小説・物語・詩歌・マンガ・史集）
 2. 言語背景は、文書類 講演 TV ラジオ 方言（絵本類 辞典）
 3. DBの利用

講義の内容・
授業スケジュール

1. 資料作品の選定
2. 収集作業
3. 集めた資料を点検・整理
4. 整理方法の選択
5. はじめとおわりを考える
6. 内容を理解し、その資料内容が明確に示されているかを確認
7. 自身のまとめた資料内容をもって、解説文を作成する。
8. 作成した資料を推敲してみる。

履修上の留意点

定期点検を実施しますので、作業状況の進展を伝えてください。

成績評価の方法

作成過程をポイント制でみていく、最後に完成作品を公開できることがのぞましい。

教科書

多くの辞書類を使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かたやまはるかた 片山晴賢	短国1・2選	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
なお、概要は次の通りです。
- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
どのように声を作っているのか
音声をどのように表記するのか
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
 - ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
仮名遣いの諸問題
 - ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 史	萩原 義雄	短国1・2選	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、將來どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』（国宝真福寺本）&最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』『卷子本、東洋文庫所蔵の卷第廿四・皇極期の参照画像写真』
- 第3回の講義内容 『万葉集』について（現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記）
- 第4回の講義内容 天女幻想『竹取物語』《32頁》
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』（書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』）について
- 第6回の講義内容 『土左日記』（爲家本と定家本との異なり）について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』（人物系図・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察）
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について（源頼朝・頼家・実朝そして北条政子とその一族）
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書込みすることを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。〔山水経〕
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 『義経記』判官びいき。〔192頁〕
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎（浦島伝説・浦島太郎伝説の謎）・ものくさ太郎・鉢かづき・酒呑童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。〔260頁〕
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』〔362頁〕
- 第24回の講義内容 勸善懲惡『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』 について

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていただきますのでご承知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

『講座国語史』第1巻から第6巻（大修館）
『日本語の歴史』全7巻（平凡社）
紀田順一郎著作集第4巻『日本の書物』

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語文法 古典文法	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	13以降入学生/短国1・2選 12以前入学生/短国1必	4

講義のねらい

古典読解に役立つ文法理論を展開する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本語の特質・文法学説史の講義を中心として、後期は古典語の助詞・助動詞を中心とした授業となる。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、毎時間「古語辞典」を持参すること。

成績評価の方法

出席状況・定期試験・小テストをもとに総合的に評価する。

教科書

『国文法要説』文語篇（おうふう）1,500円＋税

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育	おく はら しゆん こ 奥 原 淳 子	短国1・2選	4

講義のねらい

目的は、「日本語を客観的に分析する態度を養うこと」にあります。「国語教育」と「日本語教育」は何が違うのでしょうか。

これまでみなさんが学んできたのは「国語教育」で、それは幼い頃から自然に無意識のうちに身に付けた言語知識を基に学ぶものでした。一方、本講義の「日本語教育」は、その自然に身に付けた日本語を、外国語としての日本語という視点から、改めてその規則を言語化しているというものです。

例えば、「私は奥原です」と「私が奥原です」という二つの文を考えてみましょう。それぞれの意味は同じでしょうか。それとも、何か違いがあるでしょうか。違いがあるとしたら、それは何でしょうか。仮に、初めての集まりで自己紹介をすとしてみましょう。どちらの表現が自然でしょうか。なぜその表現が自然なのか説明してみてください。

本講義では、日本語を外国語の一つとして位置付け、日本語の特性や日本語に内包されている日本人の考え方を明らかにしていきます。そして、それと同時に、日本語を母語としない人たちが何をどうやって習得していくのか、その具体的な方法や直面する問題をさぐります。

講義の内容・授業スケジュール

- 日本語教育の概観：日本語教育とは何か／日本語学習者の周辺
- 日本語の特徴：音声／文法
- 日本語教授法：いかに日本語を教えるか、その具体的な教材と指導法

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。グループ活動も多いので、自分の考えをしっかりと伝えるように心がけてください。

成績評価の方法

出席（毎回とります）・提出物・発表・試験（レポート）

教科書

開講時指示します。

参考書等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
表現法（話すこと） （前期）	はぎ 原 よし お 萩 原 義 雄	短英1・2選	2

講義のねらい

《パフォーマンス》

1. 話すこと

話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方とがあります。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろうか……。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身の人とが話しをしたら、どうでありましょう。また、ことばの豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とが会話したらどうなるでしょうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するのでありましょうか、実際の話し方のパフォーマンス表現者たちを毎回授業時間にお招きし、その会話表現の奥義を掴み取って見ようではありませんか。このことから、その話し方の特性について解明を進めて見たいと考えています。

2. 読むこと

声にだして読む、これを“朗読”といいます。声に出さずして目でおって読む、これを“黙読”といいます。後者の“黙読”は、どの程度のスピードさで、どの程度理會して読んでいるのか第三者には定かではありません。ですが、前者の“朗読”については、声の質や抑揚で、ある読み上げのテンポ・リズムカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになります。ここでその読み方について、「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

話し方のパフォーマンス表現者の顔ぶれ

- 1、海外歌舞伎公演のプロデュースアシスタントを手がけてきた関 健二さん
- 2、駒澤大学出身テレビ朝日アナウンサー藤井 暁さん
- 3、駒澤短期大学出身新人テレビタレント「王様のブランチ」の内藤 千晶さん
- 4、数学者で大道芸人そして『美しく面白い日本語』の著者ピイタ フランクルさん
- 5、映画監督として今も発信しつづけている〇〇さん

以上五人（時間調整と出向交渉中のため変更すべきことも今後ありますので、1から5としましたが、順位不動とさせていただきます）の方々をお招きし、トオク・ディスカッションを交えながら、とっときな乙なお話しを聞かせていただくとともに、その会話の魅力に迫ってみたいと考えています。

履修上の留意点

情報センター教室を使用のため、人数制限があります。

成績評価の方法

課題は、毎回お招きした方々からの貴重な意見やその洞察力を素に自らがどこまでそれらの話し方のパフォーマンスを習得しえたか、そこから得た実際の密度の高い能力を、最後に四分間スピーチとしてまとめて表現していただきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
表現法（書くこと） （後期）	はぎ 原 よし お 萩 原 義 雄	短国1・2選	2

講義のねらい

《パフォーマンス》次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在します。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し、伝えようとするメッセージ作成システムでもあります。これを受信した人が、これをどう見つめ、どう捉え、どう表現しているのでしょうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセンジャーとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期の最後に実施した話すパフォーマンスをこんどは画像と文字という形態を用いて活写していきます。多くの書く要素を私自身が皆さんに毎回問いかけ、これをキャッチしていただき電子の紙芝居を作っていくことを試みます。書くことの素晴らしさ、楽しさを存分に味わってみてください。

- 1 電子紙芝居とは、いったいどんなものか？ 実際、プレゼンテーションします
- 2 電子紙芝居（「パワポポイント」）の操作と手順の説明
- 3 画像面を最低十枚を設定構成してみます 画像面のファイル取り込みと加工
- 4 画像に併せてセリフ文章を取録します 複写→再編成
- 5 このなかに、名言名句・慣用句・四字熟語などをちりばめて調和の取れた文脈にしてみましよう
- 6 接頭辞「御（お、み、ゴ、ギョ）」を用いた表現がどの程度反映されているかを知覚してみましよう
- 7 象徴語表現（オノマトペア）を入力し、場面を引き立ててみましよう
- 8 二人称会話表現をとりいれ、会話表現がなされたものとしてみましよう
- 9 作品提出し、これを実際に動かして見ましよう

履修上の留意点

情報センター教室を使用のため、人数制限があります。

成績評価の方法

電子紙芝居による作品の提出をもって評価します。画像面は最低十画面とし、はじめと終わりまでが一続きのものとして仕上げてください。評価は、4から8までの講義課題を基準点としまして採点します。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
テーマ研究Ⅰ （前期）	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

国語の試験問題の解法について、現代文（評論・論説文）を中心に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

国語の試験問題では、本文の要旨を正確に読み取った上で、設問における出題者の意図を把握し、論理的な文章で簡潔な解答を書くことが要求される。実際に出題された問題を使って解法を講義することにより、単に試験で点数を取るだけでなく、論理的な思考力と記述力を身につけるための基礎的で重要な訓練を行う。

履修上の留意点

履修希望者は初回の授業に出席し、「テーマ研究Ⅱ」と合同のガイダンスを受けること。初回に出席できない場合は、登録前に直接相談に来ること。

成績評価の方法

教場試験と出席状況により採点する。

教科書

教科書・参考書は授業で指示する。主に過去の編入学試験の問題を教材として使用するが、それについてはプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
テーマ研究Ⅱ (後期)	その べ みき お 園 部 幹 生	短国1・2選	2

講義のねらい

国語の試験問題の解法について、古文を中心に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

単なる出題文の読解ではなく、設問の意図をどのように理解すればよいか、限られた時間の中でいかに効率よく解答を作成するか、そのためにはどのような基礎的知識が必要か、試験問題として出題されやすい事項にはどのようなものがあるか、論述問題の解答作成上の留意点は何か等々、国語の試験問題の解法と関連したことがらについて講義する。

履修上の留意点

後期科目であるために、履修届の提出前に授業がないので、この科目についての説明は、同一時限に開講される「テーマ研究Ⅰ」の1回目の授業の中で行う。したがって、この科目を履修しようとする学生は、必ず「テーマ研究Ⅰ」の初回の授業に出席するか、もしくは、担当教員のところまで直接相談に来ること。

成績評価の方法

教場試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

過去の編入学試験における国語の問題を中心としたプリントを配布する。

参考書等

必要に応じてそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
テーマ研究Ⅲ (前期)	いし わり とおる 石 割 透	短国1・2選	2

講義のねらい

明治維新以後の急激な西洋文化の移入に伴い、絵画においては西洋画が次第に普及し、浸透していく。それによって、新たな画題がいくつか生じたが、その中の一つに〈裸体画〉がある。〈裸体画〉は、多くの論争を生み、賛否両論の中で、次第にわが国に定着していくのだが、それと重なる形で、文学作品の表現の中にも、女性の裸体が対象となることが出現する。多くは男性による作家、画家によって女性の裸体がいかに表現されてきたか。近世の浮世絵、風俗画あたりから考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

近世の美人画あたりから、日本画にも裸体の表現が出現する明治末あたりまでの〈裸体画〉の表現を、とりあえず、絵画、彫刻、文学の面から考えてみたい。

履修上の留意点

多くの美術作品—近世から近代にかけての—にも、できるだけ接してほしいと思う。

成績評価の方法

数回のレポートを提出により、その内容によって評価、それに出席状況、授業態度を考慮する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

多くは講義の形式による予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅳ (後期)	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	2

講義のねらい

テーマは「変身譚の真実」である。変身譚は、人間が鳥獣・魚虫・植物に姿を変えること、あるいはその逆を語る話であり、世界の各地・諸民族が古代の昔から語り継ぐもので、現代文学に至るまで「幻想文学」のテーマとして、幾多の作品の創造を見る。変身物語は、それまでの自己を閉ざして、次元の異なる自己を創りたいという欲望に根ざしたり、あるいは変身することで古い思想や秩序の共通世界を喪失する疎外状況への恐怖・不安に根ざしたりするところの、人間存在を本源的に問う物語である。人間の尊厳を否定する「イジメ」ということも、会話(=言語)を断って疎外するという方法がとられたりする。変身譚が秘める問題は、古くてしかも新しいものでありその真実を考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

変身譚は日本においても古代の伝説があり、また近・現代の文学作品にも見ることが出来る。特に木下順二作『夕鶴』と中島敦作『山月記』を中心に、主人公の変身を「言語喪失」という観点から考えたい。その点では『竹取物語』のヒロインも言語喪失者である。まず古典文学から取材し、コミュニケーションの断絶という問題を考えてみたい。

履修上の留意点

上記した三作品の他、カフカ作『変身』なども読んでおいてほしい。なお人間以外の者が人間に変身して人間と結婚するという「異類怪婚譚」という話がある。これについては「テーマ研究Ⅴ」にて論じるので、併せて受講してほしい。

成績評価の方法

レポートによる評価に、出欠状況を参考にして判定する。

教 科 書

授業時に配布するプリントによって講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅴ (前期)	さか ぐち ひろ き 坂 口 博 規	短国1・2選	2

講義のねらい

テーマは「異類怪婚譚の諸相」である。異類とは人間と類を異にする鳥獣・魚虫・植物のことで、この異類が人間の男や女に変身して、人間と結婚する話を異類怪婚譚と称する。昔話(あるいは民話・民譚等)に様々な話があり、この異類物語は古代の文学から作品に登場するのであるが、この異類の郷土(人間界と別の異郷)を基礎として大きく三つの系統に大別される。本講義ではこれらの諸相を、古代の伝承から考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

異類怪婚譚のうちでも、特に異類女房の話を中心に、「空」を郷土とする白鳥処女説話(天女の羽衣伝説)、「海」を郷土とする浦島説話、「陸地(森林・山地等)」を郷土とする狐女房伝説等を考える。こうした話は室町時代の物語草子(御伽草子)に多く物語られ、それぞれの作品を考えてみたい。

履修上の留意点

異類女房の話は、例えば「鶴の恩返し」や「天女」「竜宮城の乙姫様」等々、昔話あるいはお伽話として馴染み深いものであろう。こうした話は古代の神話・伝説の世界から日本で綿々と語り継がれたものであるとともに世界各地で語られる世界大物語でもある。これらの話には、時代時代の思想や信仰が指摘される。そうしたものへの深い理解を求めたい。さらにこうした異類の変身の話には、人間の哲学的問題を秘めている。この点については「テーマ研究Ⅳ」にて論じるので、こちらの講義も受講してほしい。

成績評価の方法

レポート評価に出欠状況を加えて判定したい。

教 科 書

授業時に配布するプリント資料によって講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 VI (後期)	さ ばら さく み 佐 原 作 美	短国1・2選	2

講義のねらい

奈良平安朝頃に成立した作品を通して、古代人における言霊信仰や呪物信仰、更には他界観などを主テーマに見ていきたい。古代人の精神生活の一端に触れられればと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

いくつかの作品から適当な例文を引用しそれらを読解しながら進めていきたい。

履修上の留意点

授業に出席するだけでなく、広い分野にわたる読書を望みたい。

成績評価の方法

授業への出席（重視）や折々の提出物などを見て総合的に評価する。

教 科 書

プリントを使用する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 VII (前期)	こ ばやし おさむ 小 林 治	短国1・2選	2

講義のねらい

宮澤賢治の詩と童話を精読する。賢治作品はこれまで、そこに溢れるイメージの絢爛さが、言葉だけの世界におけるデザインの卓抜さということに囲い込まれ、消費されるという不幸にしばしばみまわれてきた経緯があり、それゆえ、賢治を遊民と錯視する見解も生まれてきた。しかし、その詩においても童話においても、注意深くそれらを読むならば、賢治の比類なき想像力の飛翔によって夢見られたイメージや虚構は、その飛翔に相当した深い喪失感と内省を生み出していることに気づくはずである。そこに表現者としての賢治の修羅があるのであり、ムードに流された生半可な鑑賞などはねつけてくるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の賢治作品の実相を、『春と修羅』第一集～第三集の詩と、『ポラーノの広場』、『グスコブドリの伝記』、『風の又三郎』など、後に「少年小説」と名づけられた作品の初期形から最終形までの生成の中みっていく予定。

履修上の留意点

開講時に、あらかじめ重点的に取り上げる作品を指示するので、文庫や全集などで、事前に作品を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

宮澤賢治『宮沢賢治全集7』（ちくま文庫）
その他、適宜プリントも配布する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
テ ー マ 研 究 Ⅷ (後期)	こ ばやし おさむ 小 林 治	短国1・2選	2

講義のねらい

戦後日本において、その新たな可能性が追究されたアヴァンギャルド文学運動の渦中から登場した安部公房が遺した作品のほとんどは、現実を写そうとする旧来のリアリズムと対極にある。皮相なリアリズムによっては切り捨てられ、あるいは隠蔽されて、闇に葬られてきた生活者の身体感を露出させているという意味において、これほど現実を映している作品は稀有といつてよいだろう。そのような安部公房の作品を精読する。

講義の内容・
授業スケジュール

昭和20年代の初期短編作品から、『砂の女』以前の昭和30年代の長編作品まで順次取り上げていく。

履修上の留意点

新潮文庫、安部公房全作品、安部公房全集などを用意して、あらかじめ作品を読んでおいて授業に出席のこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

安部公房『水中都市・デンドロカカリヤ』（新潮文庫）
『けものたちは故郷をめざす』（ク）
その他、適宜プリントも配布する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おくはらじゆんこ 奥原 淳子	短国1・2選	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。
「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思ひます。

国
文
科

講義の内容・
授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くことについてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従つて、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・試験（レポート）

教 科 書

開講時指示します。

参 考 書 等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報言語学	はきはら 萩原 よしお 義雄・片山 かたやま はるかた 晴賢	短国1・2選	4

講義のねらい

「電腦国文学」ということばをあなたは理解できますか。まさに電腦システムに基づく国語・国文学研究をめざします。ネット上には、電子テキスト・写本原画像はたまた学術研究者の公開論文など多種多様な研究すべき素材とテーマがそれぞれのホームページに常時拡張しつづけています。これらのデータをパーソナル・コンピュータという電子の道具をもって利用し、かつ自身がもっとも必要とする情報収集・整理そして自らのレポート・論文作成まで学習していくものとなります。前期で基礎編、後期で応用編を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

基礎編

I 情報収集

- ① URL の仕組み
- ② ブラウザの基本操作
- ③ 検索の方法
- ④ 役立つ情報資料
- ⑤ 周縁圏のガイドライン情報
- ⑥ 新聞記事を検索で読む
- ⑦ 展示会・催し物などの情報へのアクセス
- ⑧ 旅宿・地図・時刻表を読む
- ⑨ 就職情報へのアクセス
- ⑩ ネット交流—メール送受信・掲示板。著作権など

II 情報整理

- ① ことばのエディタ化とワープロ化（利便な機能習得）
- ② ことばのデータベース化（基礎データ作成）

応用編

発表用資料の組み立てを知りましょう
 自分の研究資料に基づく固有辞書の登録（歴史的假名遣い入力など）
 漢字（旧漢字や難字・難読漢字をどう理會し、どう活かすか）
 電子データのレポート原稿作成
 漢字索引・假名索引の製作

教科書

《前期分》
 漢字文献情報処理研究会編『電腦国文学』CD-ROM 付（好文出版）3,200円＋税
 《後期分》
 講義の際、追って指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	さか ぐち ひろ 規 坂 口 博 規	短国1・2選	4

講義のねらい

日本文学は原始の口承文学より長い歴史をもち、政治や社会や風土と深くかかわりながら、複雑多様で豊かな展開を示してきた。個々の作品や作家を考える上で、そうした日本文学がいかなる背景のもとで生成したのかを理解していることは大切なことである。日本文学の本質を理解し、その諸相を十分に把握することで、作品や作家の抱えた諸問題への深い関心が喚起される。即ち、日本文学を研究する上で様々な視点があることを知り、問題意識を多角的に持つ必要があるからである。文学作品を研究するには客観的立場に立って『論証』することが要求され、単に個人の主観的印象や価値判断を与えるものではない。日本文学とはいかなるものか、日本文学研究とはいかなるものかを考えるのが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

日本文学について、各ジャンルの様相・文学理念・風土との関係・時代や社会とのつながり等々を中心に概観する。主にテキストを読み進めることを中心に論述する。

履修上の留意点

テキストを読み進め、これを補うという形で授業を進めるので、必ずテキストを入手すること。また定期試験もテキスト持ち込み可とするので、入手が望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験の成績に、出欠状況を参考にして評価する。

教科書

阿部正路・上坂信男・神作光一・寺本直彦編著『日本文学概論』（右文書院）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	こばやし おさむ すずき ひろこ 小林 治・鈴木 裕子 のべ 幹生 まつだ 直行 蘭部 幹生 松田 直行	短国1・2選	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は、次の通りである。

- ① 近現代文学の中の音と音楽 〈4/10. 4/17. 4/24. 5/8. 5/15. 5/22. 5/29〉 小林治
- ② 説話文学における音 〈6/5. 6/12. 6/19. 6/26. 7/3. 7/10〉 蘭部幹生
- ③ 歌の近代史～J-POPへの道程
〈9/18. 9/25. 10/2. 10/9. 10/16. 10/23. 10/30〉 松田直行
- ④ 王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から— 鈴木裕子
〈11/6. 11/13. 11/20. 11/27. 12/4. 12/11〉

履修上の留意点

最初の授業時（4/10）にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典文学史	伴野英一	短国1・2選	4

講義のねらい

日本における古典文学史を、概観的に把握できるよう学ぶ。
「古典文学史」ということで、概ね、上古より中世までの範囲を考えているが、いわゆる文学史を学ぶだけでなく、なるべく各時代の文章そのものに触れて味わいたい。また、現代に生きる我々の持っている感覚と、古典の中に広がる世界に溢る感覚との相違点にも思いを巡らせ、日本古典文学史をミームとして捉えてみたい。

成績評価の方法

出席数と年度末試験を重視する。出席数が年間を通じての講義数の三分の二に達しないものは単位を認定しない。また、年度末試験の得点が60点に満たないものも単位を認定しない。

教科書

テキストは適宜指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近・現代文学史	笹瀬王子	短国1・2選	4

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら〈近代〉を問う意味で有意義となる。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察を手始めとして以降は時代の流れに沿って文芸思潮を中心にその時々々の文学運動を参看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともすれば作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品にじかにふれるようにしたい。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめ課題となる作品を自主的に読み、考える姿勢を強くもって講義に臨むことを要望する。

成績評価の方法

受講態度、学習意欲等の平常点、レポート、試験によって総合的に評価する。

教科書

岡保生、大久保典夫編『現代日本文学史』（おうふう）
〈近代日本の文学〉編集部編『近代日本の文学』（双文社出版）

参考書等

講義の際、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学史	清水浩子	短国1・2選	4

講義のねらい

テキストにより周代の文学から現代までの文学について概観し、代表的な作品講義を行い、中国文学への理解を深める。

履修上の留意点

レポートの締め切りを守ること。

成績評価の方法

各時代の講義が終るごとに簡単なレポートを提出してもらうので、レポートの内容の評価と出席などを総合的に判断して行う。

教科書

佐藤一郎著『中国文学史』（慶應義塾大学通信教育部）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 献 資 料 を 読 む Ⅱ	はぎ ばら よし お 萩 原 義 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

現代社会から見た「文化資源」資料としては、この2003年4月7日に誕生するという設定にした「鉄腕アトム」などの代表漫画作品がまず注目されている。この傾向は異文化西洋フランス国における日本学を研究する多くの研究者にその文化資源として受け入れられていることから知られよう。この漫画がもたらした世界的な「漫画のことは文化」を生みだした背景を考えながら、その代表者である手塚治虫さんにスポットをあてて、考察を深めてみたいと考える。この漫画も紙の世界からスティール撮影による動画すなわちアニメーションへと変遷していき、生き生きとした活写の中核を画像に併せて語る声優さんたちがその裏方を努めてきた。また、歌謡曲という分野にあっても、シンガー・ソングライターと称せられる多くの歌人（うたびと）・歌姫（うたひめ）により、うたことばによる交り紡ぎがなされてきている。こうした地球上に刻まれつつづけている人類の文字言語資料は、夜蒼穹の星の煌めきのごとく数知れない。この日本という風土に見合った形態内容に置換し、発展させてきたこれらのことばの群を過去に向かって問い返してみようではないか。文化融合利用の適合性。漢字仮名混じり文が織り成す文化土壌をここに知り、少しく見つめ直すことで、日本語の文化資源である漫画という分野から世界的視野で学習してみたい。

国文科

講義の内容・授業スケジュール

- 1 手書きの妙味と活字化した文字との違いとは何か
- 2 日本漫画の資料そのものを収集してみよう
- 3 日本漫画の資料としての手塚治虫とその作品群『鉄腕アトム』『リボンの騎士』など
和語漢語外来語混種語による会話表現・文字としての漢字、かな、カナの使用（変字法など）・符号、記号の使用・名言、名句の語表現。修辞技巧表現。画と文字の融合対話度合いなどを分析してみる
- 4 海外での日本漫画資料作品としては、どのようなものが主流にあるのかをここに検証する
- 5 漫画作家の真髄ともいえる漫画の原点とチムワック漫画づくり（プロダクション化）を見つめてみる
- 6 書くための道具とその作業工程には多くの発見は、あったのだろうか
- 7 アニメーション漫画作品群におけるその断ち切れと継続化を探る
- 8 現実社会に直面した事件文書などを追う新聞漫画性から明治・江戸の瓦版ヘタイムスリップ
- 9 写真記録では果たせない世界とは何か
- 10 歌謡曲の歌詞表現にみる世相とことば、アジア圏をつなぐ歌人とそのころ
- 11 シンガー・ソングライターとは、いかなる言語詩表現をなしてきているのかを知る

履修上の留意点

日本語をもって記録された多種多様の文化情報資源を現代そして未来へどう伝えていくのか。その情報量が膨大な宝庫として認定されるまでの時間と空間のなかにあっては安易に捨てられ、安易に生み出され、また安易作られてきた。だがこの世に成った一まとめの文化資源資料を体系的に掌握することで、いままで気が付かなかった世界を知ることになる。無用のように見えて無用ではないことばの集結を知り、これらの文献資料を正確に読みとる力を身につけることを第一義の目的とする。見る目・読む目・わかる目といった個人レベルの次元から一歩踏み出し、異文化領域からの疑問、なぜそう読めるの？いつそのように用いるようになったの？どこに行けばもっと詳しいことがわかるの？などといった実用質問に自信をもって対応できる日本語文化情報能力を養うことを目的とする。必要な資料は、その多くをネット公開資料を随時活用しつつ、実際の作品を利用し、毎回それぞれのテーマに見合う課題を提示し、考察を深めていくことにしたい。

成績評価の方法

随時テーマ課題レポートを提出して、話題と質問とを常時提供していただき、その発信と受信度数をもっとも重視し、これに評価点を最大100まで用意し、加点評価を継続していく。途中、参加不可能な状況に落ちいた場合には、評価点は現状維持とし、これを詔華することに努めてもらう。

参 考 書 等

手塚治虫著『手塚治虫マンガ全集』（他数種）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古典文学を読むⅠ	佐 原 作 美 <small>さ ばら さく み</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

授業では『万葉集』の講読を中心に進める。『万葉集』は承知の如く、約4500首の和歌を収めているが、その中から特異な作風を見せる山上憶良の作品を中心に読み、かつ憶良の人物像を見ていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

山上憶良を理解するにはその作品を精読するほかに、当時の社会的文化的背景を視野に入れて考えることが大切である。授業ではそうした点にも考慮しながら進めていきたい。

成績評価の方法

レポートや出席状況（重視）、質疑応答などをもって総合的に評価する。

教 科 書

土橋 寛編『作者別万葉集』（おうふう）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古典文学を読むⅢ	岡 田 万里子 <small>おか だ まりこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

近松門左衛門作の浄瑠璃『曾根崎心中』を読み、古典の読解力を養いつつ、メディアとしての浄瑠璃や演劇、文学について考えていく。『曾根崎心中』は、元禄16（1703）年4月、北の新地（大阪）天満屋の遊女お初と醤油屋平野屋の手代徳兵衛が曾根崎天神の森で心中をとげた事件を脚色して、翌月に大阪道頓堀の操芝居、竹本座で初演された。同時代の町人社会に取材した世話浄瑠璃の嚆矢として、浄瑠璃の性格をも変えた作品ともいうことができる。本作品を通して、ある事象を文学化する際の構成、筋立て、修辞等文学的要素を考察し、文学のもつ固有の性質とは何か考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

原典の講読が中心となるが、理解を深めるため、参考資料、関連論文の読解も行なう。まず、人形芝居のために書かれた本作品を読むにあたり、人形芝居に関する基礎知識を身につけたい。三味線を伴奏として浄瑠璃を語り、人形を遣って見せるこの様式は、今日でも人形浄瑠璃文楽として受け継がれている。講義において、ビデオや音声資料を用いて紹介も行なう予定ではあるが、各自劇場へ行って舞台を実見することが求められる。また、元禄期という時代や大阪という土地など本作品を生み出した文化的な背景についても考察する。そのため、地誌や地図といった大阪の資料や同時代の文学作品にもふれるほか、研究論文も随時紹介し、読んでいく予定である。

履修上の留意点

基本的には講義の形式をとるが、授業への積極的な参加も求められる。最初に、参考図書の使用法など、購読に必要な基礎知識を提示するので、それにしたがって、自らも調べながら読んでいく姿勢が必要である。

成績評価の方法

期末レポートと授業への出席ならびに貢献度によって評価する。

教 科 書

近松門左衛門、祐田善雄『曾根崎心中・冥土の飛脚―他五篇』（岩波文庫、岩波書店）760円

参 考 書 等

教場において指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近・現代文学を読むⅠ	いしわり 石 割 透	短国1・2選	4

講義のねらい

近代の小説、特にこの時間はわが国の1910年代から20年代にかけての代表的な小説、作家をとりあげて、この時代の文学的文化的傾向を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげる作家、小説は大体次の通りである。志賀直哉『清兵衛と瓢箪』『小僧の神様』『雨蛙』谷崎潤一郎『小さな王国』『白昼鬼語』『痴人の愛』『春琴抄』芥川龍之介『鼻』『芋粥』『地獄変』『奉教人の死』、他に菊池寛、宇野浩二、近松秋江、江戸川乱歩など。

履修上の留意点

授業で扱う作品は、前もって必ず読んで授業にのぞむこと。

成績評価の方法

年間2.3回の作品について分析検討した、原稿用紙7.8枚のレポートの内容、及び出席状況、授業時の態度などによって評価する。

教 科 書

年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）。他は授業時に指示する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義形式で授業を進める予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 文 学 講 読	し みず ひろ こ 清 水 浩 子	短国1・2選	4

講義のねらい

中国最古の詩集『詩経』から唐・宋までの詩文を中心に学び、漢文に親しみ、中国文学への理解を深め、日本文学への影響についても考える。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から5月にかけて授業は日本人のよく知っている漢詩文を用いて、漢文の読み方の基礎を学ぶ。それ以降はテキストにそって、講義を行い、10月から11月には受講生各位に好きな唐詩の発表をしてもらう。最後は中国文学の日本文学への影響を考える。

履修上の留意点

毎回出席を心がけて欲しい。

成績評価の方法

年間数回の試験と授業中の発言によって判定を行う。

教 科 書

中村璋八編『中国思想文学通史』（明治書院）、及びプリント。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原典講読Ⅰ (前期)	佐原 作美	短国1・2選	2

講義のねらい

わが国の古典和歌の中からその秀作を集めて成る「百人一首」を、活字本ではなく手書きの写本の複製本を用いて一首一首味読する。和歌文学と変体仮名による読解を目ざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

半期ではあるが出来るだけ多くの作品にふれていきたい。

履修上の留意点

活字本でないために当初は読みにくいかもしれないが、すぐに慣れるので忍耐強く対応してほしい。また、後期の「原典講読Ⅱ」も受講してほしい。

成績評価の方法

授業への出席（重視）や提出物をもって総合的に評価する。

教科書

影印本『百人一首』（新典社）750円 神戸平安文学会編『仮名手引』（和泉書院）400円

参考書等

必要に応じてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原典講読Ⅱ (後期)	坂口 博規	短国1・2選	2

講義のねらい

平家全盛の時代、平清盛の第四女と結婚した藤原隆房の家集（＝個人歌集）の『隆房集』を写本により読む。草仮名の読みを学ぶとともに、和歌鑑賞に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

小督局と考えられる、ある後宮女房との恋の経緯や彼女への慕情を、物語的な詞書とともに綴った恋歌百首の歌集である。授業で取り挙げる写本は、その詞書を極度に短縮させた定家本系写本を用いるが、その元となる長文の詞書を持つ御所本系本文を併せて活字本で読み、隆房の小督へ寄せる慕情を味わいたい。この小督が高倉天皇に召されたことにより、隆房の恋は悲恋に終るが、小督と高倉天皇の話は『平家物語』に見える有名な女人哀話で、これも読みたい。また隆房の悲恋は、『隆房卿艶詞絵巻』にも物語られるので、これも写本影印で読みたい。

履修上の留意点

百首の歌を受講者に分担して読解してもらおう。その際長文の詞書を持つ系統の本文も併せて考えてもらおう。なお、併せて「原典講読Ⅰ」（前期）も受講してほしい。

成績評価の方法

各自に分担した読解の報告を中心に、出席状況を参考に評価する。定期試験は実施しないが、授業時にレポートを課し、それも評価に加える。

教科書

プリント等で作品を読む。

参考書等

神戸平安文学会編『仮名手引』（和泉書院）400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
歌謡 I	川上 順子 <small>かわがみよりこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

今年度は歌謡の発生の問題を中心に、古事記歌謡をテキストとして講義を行う。また日本書紀歌謡・風土記歌謡等も講義の対象となる。和歌と歌謡の相違、さらに歌謡の豊かな内容・文学性等々について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ㉑ 最古の歌謡
- ㉒ 八千矛の歌
- ㉓ 久米歌
- ㉔ 歌垣
- ㉕ 童謡（ワザウタ）
- ㉖ マトタケル物語と歌謡
- ㉗ 酒宴（サカホガイ）
- ㉘ 矢河枝比売物語と歌謡
- ㉙ 髪長比売物語と歌謡
- ㉚ 服属儀礼の歌
- ㉛ 仁徳記歌謡
- ㉜ 志都歌・本岐歌・夷振・宮人振
- ㉝ 雄略記歌謡
- ㉞ 關歌

履修上の留意点

- ㉑ 出席を必ずとる。
- ㉒ 講義ノートにもとづく小テストを数回行うので、教室へは専用ノートを必ず持参すること。

成績評価の方法

- ㉑ 出席回数
- ㉒ 小テストの点数
- ㉓ 夏休みレポートの評価点
- ㉔ 期末レポート試験の評価点（上記のものを総合して成績を評価する）

教科書

- ・西宮一民編『古事記』（おうふう）1,900円
- ・日本書紀歌謡・風土記歌謡・続日本紀歌謡はプリントを配布する。

参考書等

参考書等はそのつど指示する。

その他

授業は講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
和歌文学 II	坂口 博規 <small>さかぐちひろき</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

平安時代最末期に生きた歌人西行法師は、我が国の歌人の中でも特に愛された歌人の一人である。西行は後代に影響を与え、その精神は継承されている。特に中世文学の開拓者としての位置が求められる。西行の生涯を通して、その中世文学の精神を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

西行の和歌のうち、特に旅の歌を中心に読みながらその生涯を考える。また西行は「花月の歌人」とも称される程、多くの桜と月を詠んだ歌を残している。その耽美的精神を考えたい。通年で若い時期の作歌から読み、所謂「円熟型」の歌人の詩精神を考えたい。

履修上の留意点

授業では西行の作歌の一部しか触れ得ないので、是非その他多くの作歌も鑑賞してもらいたい。授業の折々に紹介する。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、その評価に出席状況を加えて評価する。

教科書

目崎徳衛著『西行』（吉川弘文館）1,550円

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学Ⅲ	鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

仮名散文で書かれた「物語」とは、平安時代の文学作品の代表的な形態の一つと言えます。この授業では、一つの物語作品について精読するのではなく、できるだけ多くの作品を取り上げてそれらの一節を読みながら、古代の物語の系譜をたどってみたいと思います。また、本文解釈のための基礎知識・古典文法の知識についても復習しながら、古典が「読める」ようになることを目指したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

『竹取物語』、『うつほ物語』、『落窪物語』、『源氏物語』、『夜の寝覚め』（その他後期物語）など幾つかの物語作品の中から選んだ場面を、特に女性たちの人生がどのように描かれているかに着目しつつ、読んでいきます。

履修上の留意点

授業はプリント教材を用い、講義形式を基本としますが、実際に受講生にも課題を課して、授業中に発表もしてもらう予定です。なお、遅刻・早退は認めません。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

プリント教材。その他、古語辞典を用意すること。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物語文学Ⅳ	鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『源氏物語』は、それが書かれた平安の昔からたくさんの人々に読み継がれて来た日本文学の傑作です。『源氏物語』のどこにそのような価値があるのでしょうか。受講者の一人一人に答を見つけてもらいたいと思います。そのためには、とにかく原文を自分の力で読まなくてはなりません。作品を正確に読み、理解し、感じ、考え、といったことを授業を通して繰り返し、最後には、他者の評価を鵜呑みにするのではない、自分自身の『源氏物語』評価がもてるようになることを考えています。

講義の内容・授業スケジュール

今年は『源氏物語』第二部の若菜下の巻から精読します。第二部の物語は、朱雀院の皇女・女三宮の降嫁事件から始まりました。この、晩年の光源氏が迎えた若い妻・女三宮は、六条院世界に大きな波紋を投げかけました。授業では、『源氏物語』第一部の概要を説明し、第二部の物語へと読み進めていきたいと思っています。

履修上の留意点

授業はテキストを用いての講義形式を基本とします。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。なお、遅刻・早退は認めません。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

『源氏物語五』新潮日本古典集成（新潮社）

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日記文学Ⅰ	坂口博規	短国1・2選	4

講義のねらい

日記文学の文学性の本質は「自照（＝自己観照）精神」に見る。自己の内面に向き合う作者の自己省察の姿勢や精神を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに日記文学の流れを解説し、主に『土佐日記』と『蜻蛉日記』の果たした意義を考える。特に女流日記文学を史的に概観し、鎌倉時代後期、後深草上皇の後宮に仕えた二条という女性の回想の記『とはずがたり』を読む。前年度「中世文学を読むⅡ」の講座で巻一を中心に読んだので、本年は巻二以降を中心として読解したい。

作者は後深草上皇に愛されると同時に、他に二人の男性からも愛され交渉をもつ。当時の頹廢的な風潮の中で、特異な愛憎体験を赤裸々に告白する作者は、後に出家して理想と仰ぐ西行法師にならって諸国修行の旅に出るが、その生涯の回想の記に、作者二条の自照精神を考えてもらう。

履修上の留意点

作品の講読を主とするが、作品全体を味読することは叶わないので、取り上げた以外のところも、是非目を通してほしい。授業時注釈書等参考資料を紹介する。

成績評価の方法

定期試験時にレポートを提出してもらい、出席状況や授業時に実施する小テスト等を参考に評価する。

教科書

次田香澄校注『とはずがたり』（明治書院）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
随筆・評論Ⅰ	鈴木裕子	短国1・2選	4

講義のねらい

『枕草子』を読みます。この作品はそれまでにない新しい文学のスタイルを打ち出したものと言えるでしょう。そのような作品の表現の特色は何か、またこの作品はいかなる美意識に支えられているか、あるいはまた、そこに描き出される宮廷生活とはどのようなものかなど、考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

『枕草子』に描かれている記事の歴史的社会的な背景が理解できるように、周辺の資料も読みながら、作品のおもしろさを味わいましょう。今年は、基本的には、冒頭（初段）から順に精読していく予定。

履修上の留意点

授業は主としてテキストを用いての講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。なお、遅刻・早退は認めません。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の課題や発言、出席状況（欠席・遅刻しないことは前提）などから総合的に行います。

教科書

角川文庫『枕草子上・下』（角川書店）
必ず上下とも購入すること。その他プリント教材。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史文学Ⅱ	その 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

歴史文学のなかから、代表的な歴史物語である『大鏡』をとりあげる。昨年度の「歴史文学Ⅰ」の講座のなかで、『大鏡』を読み、序文と道兼伝、および、その関連作品を取り扱ったので、今年度は、道兼伝の続きに当たる道長伝を講読する。ただし、道長伝は長いために、その全てを1年間で読むことはできないので、始めの方のみの講読となる。また、道長伝の他に、『栄花物語』のような関連のある歴史物語や、日記・説話の類も読むことになる。それらを通じて、歴史の事象を多面的に捉え、立場による視点の違いを知ること、歴史文学についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通して『大鏡』道長伝や関連作品を読み進める。

履修上の留意点

毎時間、授業の最後に、その時間の講義内容に対する短い意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文によって50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の試験を行なう。試験には、ノート・テキスト・参考書・辞書など、何でも持ち込んで参照してよい。なお、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡(該当者・テーマ・提出期限など)を行なうので、必ず出席すること。

教科書

『大鏡』の全文が載っているものであれば、何でもよい。むしろ、各受講者が異なる出版社の『大鏡』を持って授業に臨み、比較・検討できれば、その方がよい。

参考書等

必要に応じて、授業時間内にそのつど紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
説話文学Ⅱ	その 菌 部 幹 生	短国1・2選	4

講義のねらい

説話文学のなかから、代表的な作品の一つである『宇治拾遺物語』をとりあげる。説話集は、伝承された話を編纂したものであるから、同じ話や類似した話が、他のさまざまな作品にも載せられている。それらの話との比較も、説話を理解するうえでは、たいせつな要件となる。したがって、『今昔物語集』のような他の説話集はもちろん、家集・歌学書・物語・歴史書・日記等々、あらゆるジャンルの作品も合わせ読むことになる。そうしたことを通じて、説話の本質を考え、また、『宇治拾遺物語』の秘められた特質も浮き彫りにしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前後期を通じて、『宇治拾遺物語』の編者の視点がどのように作品に反映しているか、その視点から考えると、作品に取められた説話をどのように読むのがよいかを中心に講義する。

履修上の留意点

毎時間の最後に、その時間の講義内容に対する意見文を書いて提出するので、必ず原稿用紙を持参すること。

成績評価の方法

毎時間提出する意見文で50点分を評価し、12月の授業時間内に50点満点の筆記試験を行なう(試験には、ノート・テキスト・辞書・参考書など、何でも持ち込んで参照してよい。ただし、受講者が極端に少ない場合はレポートに切り替える)。また、最後の授業時間内に、追・再試験に相当するレポートについての連絡を行なうので、必ず出席すること。

教科書

中島悦次校注『宇治拾遺物語』(角川文庫)

参考書等

『駒澤短大国文』33号。その他は必要に応じてそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
軍 記 文 学 II	たなか しん さく 田 中 伸 作	短国1・2選	4

講義のねらい

軍記文学の代表である『平家物語』を流布本によって読む。『平家物語』の諸伝本は語り本系統と読み本系統に大別されるが（流布本は前者に属する）、諸伝本による記事の異同等にも留意しながら物語を読み進め、『平家物語』の抱える諸問題について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

本文講読が中心。作品全体を理解できるようになるべく多くの句を講読し、内容と特色を把握する。また、作品論、時代背景、文化史的な問題も追求する。

成績評価の方法

定期試験の成績による評価。出席状況も重視する。

教 科 書

野村宗朔『昭和校訂平家物語』（武蔵野書院）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
連 歌 ・ 俳 諧 II	えちご けいこ 越 後 敬 子	短国1・2選	4

講義のねらい

元禄二（1689）年に「おくのほそ道」の旅を終えた芭蕉は、翌三年、四年としばらく各地を転々とする。そのような漂泊の旅の中で企画・編集の進められた『猿蓑』は、蕉風俳諧のあり方を明確に示した撰集であるといわれている。本書にはこれまでいくつかの注釈書が刊行されているが、それらを参考に各句を鑑賞し、蕉風俳諧の魅力に触れてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

芭蕉や『猿蓑』について概説を行なったのち、前期は発句、後期は連句の注釈と鑑賞を行なう。

履修上の留意点

毎回必ず出席の確認を行ない、年間授業回数数の三分の一以上欠席した者は失格とする。

成績評価の方法

前・後期末の試験に、平常点（出席、授業への貢献度）を加味する。

教 科 書

雲英末雄・佐藤勝明編『影印本 元禄版猿蓑』（新典社）1,800円

参 考 書 等

新日本古典文学大系『芭蕉七部集』（岩波書店）、幸田露伴『評釈猿蓑』（岩波書店）、荻野清『猿蓑俳句研究』（赤尾照文堂）、森田蘭『猿蓑発句鑑賞』（永田書房）、堀切実編注『蕉門名家句選』等、その他授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
短歌 (前期) I	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	2

講義のねらい

近代短歌を考える。短歌は日本固有の文学表現として長らく愛され続けて来た。伝統芸術の力がそれを可能にしたのである。しかし、他の文学と同じく、明治期にその存亡の危機を迎える。近代文学としての短歌が必要とされたからである。危機を乗り越え、先人達によって新たに、どのように歌い継がれて来たかを短歌史の流れに沿いながら見て行くこととする。

講義の内容・授業スケジュール

対象が広範にわたるので、明治・大正期の作家作品を中心に講義を進めることとなる。時間が許せば、現代短歌についても触れたい。講義の進め方は、正岡子規や詩歌雑誌『明星』に拠った与謝野鉄幹、晶子らによって提唱された近代短歌革新運動を起点に、代表的な歌人の作品を鑑賞して行くこととする。テキストを中心に、なるべくわかりやすい歌を選んで、あくまでも作品に親しむことを目標にして短歌の世界を味わいたい。

履修上の留意点

短歌は短詩形のスタイルを持つがゆえに、その作品数は他の文学と比べて比較にならないほど多い。また、特有の言葉遣いも目立つ。したがって、受動的に講義を聞くだけでなく、各自が前もって扱う歌人の作品を出来るだけ多く読み、その独特な表現に親しんでおいてもらいたい。そうすることで、より高度な鑑賞力を身に付けることが可能となると信じます。

成績評価の方法

平常点、レポート、試験等を総合的に評価。

教科書

安森・宋竹編『近代短歌と現代短歌』（双文社出版）2,000円
教場配布のプリント。

参考書等

必要に応じて教場にて指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
俳句 (後期) I	ささ せ おう じ 笹 瀬 王 子	短国1・2選	2

講義のねらい

近代俳句の検証ならびに鑑賞。俳句は江戸時代以降、特に庶民によって強い支持を得てきた文学表現である。伝統的でありながら、大衆でもある俳句の魅力はどこにあるのかを考えてみたい。また、俳句における〈近代〉を探ることにより、近代文学の上の史的位位置付けを試みられればと思う。

講義の内容・授業スケジュール

近代俳句の成立と展開を考える際、欠かせぬ存在として正岡子規と高浜虚子がいる。彼らの存在があったからこそ、他の文学同様に明治期に〈近代〉の洗礼を受けながらも、その伝統的な固有のスタイルを現代に伝えることが出来たといってもよい。よって、講義では当初、正岡子規による近代俳句革新運動を概観する。続いて、彼の後継者である虚子の俳句啓蒙（入門）書『俳句はかく解しかく味う』を中心に現代俳句への道程を探る。また、可能な限り、彼ら二人以外の近代俳人の作品についても触れていきたい。時に、実際の作句の機会を設け、俳句の世界に一步でも近づけられたらと考える。

履修上の留意点

俳句はあらゆる文学ジャンルの中で、私達にはもっとも親しみやすい短詩形のスタイルを持つ。したがって、始めから難解なもの、縁のない表現であるとの先入観をもつことなく、気軽にかつ自由な姿勢で名句と接して欲しい。そのためにも、率先して一句でも多くの俳句を各自、自主的に眼を通すようにして貰いたい。

成績評価の方法

平常点、レポート、試験等を総合的に評価。

教科書

高浜虚子『俳句はかく解しかく味う』（岩波文庫）
教場にて配布する各種プリント。

参考書等

必要に応じて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近・現代詩Ⅱ	井上優 <small>いのうえ まさる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

たとえば、与謝野晶子の歌、「その子二十櫛にながるる黒髪のおごりの春のうつくしきかな」に、「その人は今二十歳。くしけずると櫛に流れる黒髪は誇らしいほど豊かで、その青春の何と美しいことよ」といった大意が述べられる。この変換では、二つの表現を伝達されている意味においてはほぼ等価だとみなしている。しかし前者が詩的であると私たちは苦もなく判断する。もちろん韻律のあるなしが関与しているのだが、このことは、言語は思想感情の透明な伝達媒体だという、言語機能に対する分かりきった認識を失効させる。詩を考えることは、言語使用の可能性を見つめ直す大きな契機となる。先入観を排しながら実際に詩を読んでみよう。

国文科

講義の内容・授業スケジュール

明治期以降の詩作品を読む。石川啄木、北原白秋、萩原朔太郎、草野心平、高村光太郎、三好達治、吉岡実、伊藤比呂美などの作品を予定しているが、受講生の学習状況を見ながら、選択の変更があるかもしれない。小説などの散文作品なども導入しながら、近現代文学の中の「韻文」という広い視野の中で、詩的表現と付き合う方向で進めて行きたい。詩史的に論じるというよりは、テーマを数回ごとに設定し、それに即して考えるというやり方になるだろう。

履修上の留意点

指定された作品を前もって読まないで来た者や、授業中の私語、携帯電話の使用をした者については、以降の出席を許可しない。授業中に短いレポートを書いてもらったり、感想を口述してもらったり、時には学生の発表形式も取り入れたいので、科目登録時にはそうした努力が継続出来る意志が強固かどうかよく自省したうえで選ぶこと。

成績評価の方法

学年末の教場筆記試験の予定だが、他の課題、出欠遅刻や授業態度等を総合して判断する。

教科書

文庫本で手に入るものは各自が書店で購入することを求め、その他はプリントを配布する。

参考書等

授業の中で具体的に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代小説Ⅱ	内藤寿子 <small>ないとう ひさこ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

「ミステリー」とは、現在、もっとも注目をあつめている小説のジャンルです。「ミステリーとは何か」という定義をすることはとても難しいのですが、何らかの形で「犯罪」と結びついた出来事が「ミステリー」では頻繁に描かれています。なぜ、ひとびとは、このような小説に魅了されるのでしょうか。講義では、「ミステリー」というジャンルの特徴を多角的に考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

松本清張・井上ひさし・森村誠一・宮部みゆき・乃南アサたちの作品をとりあげる予定です。みなさんの読書体験を参考に、多彩な作品を選びたいと思います。

履修上の留意点

授業は講義形式ですが、映像資料も使用する予定です。また、教師の一方的な講義にならないよう、みなさんにも課題に取り組んでもらいます。現代小説を「読む」という行為に、積極的に参加する態度を求めます。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度、夏期レポート、出席状況などをあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教科書

授業中に指示します。
適宜プリントも配布します。

参考書等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学 II	よし だ もり お 吉 田 司 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

本年度は以下の二つを柱としたいと思う。一つは、実際に童話の創作にチャレンジしてもらうこと。と言っても、プロをめざすような創作指導を行うのではなく、自ら童話を書いてみることで、自分の中の児童文学観を見直すきっかけをつかんでほしいと考えている。もう一つは、アンデルセン童話や『ピーターパン』など、誰もが知っている童話を読み直し、その作品が書かれた背景について学ぶこと。子どものイメージは時代と共に変化し、児童文学の在り方も変わってゆく。とするならば、いま読まれ、いま書かれるべきなのは、どんな作品なのだろうか。固定的な「子ども」や「童話」のイメージから自らを解放し、そうしたことをきちんと考えられるようになってほしいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

まずは実際に童話の冒頭だけでも書いてもらう。次に有名な作品を読んで見る。作品の構造や背景について講義をする。その上で子供のために書くとはどういうことなのか考えてゆく。こうした書くことと読むこととの往還が授業の中心となる。最終的には10枚程度の短編童話を書いてもらおうと思っている。

履修上の留意点

子供のための文学を取り上げるからと言って、授業自体がやさしい訳ではない。また、子供のための童話だからと言って、誰でも簡単に書けるものでもない。何でも見てやろう読んでやろう書いてやろうという、旺盛な好奇心と読書意欲とチャレンジ精神をもって授業に臨むこと。

成績評価の方法

創作童話の習作や読書レポートの提出を幾度か求める他、夏休みに児童文学作品の批評レポート、11月末くらいをめどに10枚程度の創作童話を書いてもらう予定。場合によっては試験も行うかも知れない。出席は大事。遅刻もしないように。

教 科 書

牧野節子『童話を書こう』（青弓社）1,600円

参 考 書 等

児童文学関係に限らず、多様な資料や参考書を教場で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	井 上 優 <small>いのうえ まさる</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

森鷗外は小説家であるのみならず、陸軍軍医でもあり、翻訳家、詩人、俳歌人、評論家、考証家などでもあって、その業績は多岐に及ぶ。このような多面的文学者であったがゆえに、その作品にはさまざまな観点から比較文学的考察が可能である。現在鷗外を読もうという人の数は多くなく、ともすれば敬遠されがちでもあるが、逆にいえばそうした状況だからこそ多くの新たな発見の可能性に満ちているといえる。中学・高校で彼の作品に触れた人もいるだろうが、そこで作られた鷗外像とその作品についての偏向した固定的理解にくらまされることなく、鷗外文学を通して、日本近代文学の抱える問題の諸相や文学作品の読み方の可能性を探求してみよう。

講義の内容・授業スケジュール

鷗外の明治期の文学を、彼が読み翻訳した外国作品との照合から始め、文学作品同士の比較にとどまらず、それ以外のさまざまな領域の同時代言説とアクセスさせつつ考察して行く。取り扱う作品と内容は、『舞姫』と英仏露の文学および法制度、『半日』と精神病学、『キタ・セクスアリス』と近代セクシュアリティ、『大発見』と衛生学や仮名遣い調査との問題、『金毘羅』と宗教言説などを予定しているが、受講生の学習状況を見ながら選択の変更があるかもしれない。

履修上の留意点

指定された作品を前もって読まないで来た者や、授業中の私語、携帯電話の使用をした者については、以降の出席を許可しない。授業中に短いレポートを書いてもらったり、感想を口述してもらったりするし、様々な資料を緻密に解読していく粘りが必要なので、科目登録時にはそうした努力が継続出来る意志が強固かどうかよく自省したうえで選ぶこと。

成績評価の方法

学年末の教場筆記試験の予定だが、他の課題、出席遅刻や授業態度を総合して判断する。

教 科 書

『森鷗外全集Ⅰ』（ちくま文庫）を各自が書店で購入のこと。他にプリントを配布する。

参 考 書 等

授業の中で具体的に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 芸 創 作	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

小説、詩、シナリオ、歌詞など（ジャンルは問わない）の作品を、自分で実際に創作する。いわゆる「小説の書き方」といった技術の問題よりも、各自が表現する動機を発見し、自分自身のスタイルで表現できるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は各自にとって身近な表現から始める。授業の中で順次課題を出すので、その中から自分が書きたいと思うものを選んで作品を提出する。携帯メールのやりとりを表現形式としてとらえた創作演習も予定している。後期は自分の選んだジャンル（形式は自由）のまとまった作品を完成させることを目指す。提出された作品は、授業でプリントして全員に配り、お互いの作品を読んで批評しあう。最終的には、自分の作品をインターネット上で公開する作品集に掲載することを目標とする。

履修上の留意点

前期・後期あわせて数回の作品提出が課せられる。実際に作品を書くのは、授業時間ではないので、各自で創作のための時間を十分に取り、自分で納得できる作品を提出してほしい。また授業時間を使って年間数回ずつ個人面接を行い、個別の指導を行う。

成績評価の方法

文章の技巧的な巧拙よりも、それぞれが自分自身の表現をどこまで見つけ出すことができたかを重視した評価をしたい。出席回数と授業での提出物による平常点も加味して成績を評価する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

参考書は指定しないが、昨年度までのこの授業で提出された作品をホームページ上に掲載しているので、参照してほしい。

アドレスは、<http://www.komazawa-u.ac.jp/~naomats/bungei/index.html>

そ の 他

小説など作品の創作で2年次の卒業研究を履修したい者は、1年次でこの授業を履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 概 論	<small>そのべ</small> <small>菌部</small> 幹生・井上 優 <small>さとう</small> <small>のりあさ</small> <small>憲昭</small> ・町田 尚子 <small>すえふじ</small> <small>みつこ</small> <small>美津子</small> ・内藤 寿子 <small>ふじな</small> <small>かずみ</small> <small>藤田</small> 和美	短国1・2選	4

講義のねらい

「タブー」(taboo)を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。
本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月16日(水) オリエンテーション 菌部幹生

- | | |
|--------------------------------------|-------|
| ① 近代文学とタブー《4/23、5/7、5/14、5/21(4回)》 | 井上優 |
| ② タブーと宗教《5/28、6/4、6/11、6/18(4回)》 | 佐藤憲昭 |
| ③ 言語とタブー《6/25、7/2、7/9、7/16(4回)》 | 町田尚子 |
| ④ 教育におけるタブー《9/17、9/24、10/1、10/8(4回)》 | 末藤美津子 |
| ⑤ メディアとタブー《10/22、10/29、11/5(3回)》 | 内藤寿子 |
| ⑥ 慣習のタブー《11/12、11/19、11/26、12/3(4回)》 | 藤田和美 |
| ◎12月10日 まとめ | 菌部幹生 |

◎1月8日 レポート提出(資料室) 菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/16)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
有職故実	近藤好和 <small>こん どう よし かず</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男子・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である束帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、束帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

履修上の留意点

後期一回のレポートを予定。

成績評価の方法

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
話芸 (後期)	三遊亭 貴楽 <small>さんゆうてい きらく</small>	短国1・2選	2

講義のねらい

「笑話」の中で、特に「落語」を中心に上げます。
 「人にとって『笑い』とは何か。」
 「人は何故『笑い』を求めるのか。」などを考えていき、人とは何かの一端を発見してもらいたいです。

講義の内容・授業スケジュール

「落語」の源である中国笑話集『笑府』を題材とし、それが「落語」として発展、現在まで残存している理由をその時代の文化、風習などを踏まえた上で理解してもらい、それを現代に置き換えて考え、発想力・想像力を磨いてもらいます。

履修上の留意点

生とは言いませんが、せめてテープ等で結構ですから何か一つ落語を聴いておいてください。

成績評価の方法

- ①出席状況
- ②発想力・想像力を中心とした試験

教科書

プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 史	たかしま 高 嶋 めぐみ	短国1・2選	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価（①出席、受講の状況②レポートまたは試験）

教 科 書

特に指定はしない。

参 考 書 等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

そ の 他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
女 性 学	ふじた 藤 田 和 美	短国1・2選	4

講義のねらい

「女性学」とは既存の知や文化をジェンダー（性別）の視点から読み直し、読みかえるものである。近代以降の女性解放運動から現代の女性学研究まで「女性学」という学問の成立の歴史的経緯とその成果をふまえ、法律や制度に目をやりながら、家族関係、性、暴力、労働、教育、表現など現代の女性をめぐる諸問題を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、現代の女性学研究までの近代の女性解放運動の歴史を学び、前期は近代社会における家族関係、女性労働、教育、性と生殖の問題など、それぞれの変遷を追いながら、女性の主体的な生と性のあり方をさぐる。後期は女性と表現の問題を中心にすすめる。文学、美術、漫画、音楽、映画など女性芸術家の作品を鑑賞しながら、女性が何を表現してきたのか、どのように女性が表現活動に参入してきたのか、性による参加と排除のシステムを検討する。

履修上の留意点

あらゆることに広く関心をもち、主体的に取り組むこと。

成績評価の方法

年2回のレポートと授業時に毎回提出する感想文、出席などで総合的に判断する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義開始時に文献リストを配布する。

そ の 他

講義を中心とする。テーマによってはビデオなどの視聴覚教材を用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性と職業 (後期)	<small>その</small> 菌 <small>べ</small> <small>みき</small> <small>お</small> 部 幹 生	短国1・2選	2

講義のねらい

最近では就職がたいへん困難な社会状況にあり、ようやく就職したとしても、転職やリストラ、あるいは企業の倒産などが待ち構えていることも少なくない。そうした時代にあっては、働くことの意味を考えることの重要性が増してきているが、同時に、実際の労働とはどのようなものであるか、女性が働くうえで問題点にはどういったことがあるかなど、現実に関したテーマをしっかりと認識して、考えを深めておくことが必要であり、そこに本講座のねらいがある。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ毎時間、さまざまな職業に就いて活躍している女性をゲストに迎え、職業の内容や、豊富な体験、職業意識や考え方、等々についてのお話をいただく。講演形式の場合もあり、ゲストと担当教員との対談形式の場合もあり、学生も交えた討議形式のディスカッションの場合もある。細かなスケジュールについては、初回の授業時にプリントを配布する。

履修上の留意点

科目名の「女性と職業」は、受講生が全員女性であるところから命名したもので、職業に関して女性を差別化あるいは特化しようとするものではない。ただし、女性であるためにおこる職業上の問題が存在することも事実であり、そうした点については取りあげていく必要がある。

成績評価の方法

レポート・時間中の発言・出席状況などを総合的に判断して評価する。

教科書

なし。

参考書等

必要があればそのつど紹介する。

国
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	<small>まつ</small> <small>だ</small> <small>なお</small> <small>ゆき</small> 松 田 直 行	短国1・2選	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストはまだ未定だが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

成績評価の方法

レポートの提出と出席状況により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化論 (前期)	すずき ひろこ 鈴 木 裕 子	短国1・2選	2

講義のねらい

ある限定された空間(ひとつの地域)に視点を定めて、そこでの歴史的文化的な展開の様相を(時間軸により)たどってみようというのが、この授業のねらいです。具体的には、「東国・陸奥」を取り上げて、古代の文学作品や基本的な史料(「郡」=中央の立場からの記述)が、どのようにこの地域を把握してきたかを読み取っていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

平安時代、能因という有名な歌人が著した『能因歌枕』を見ると、そこには、多くの東国・東北の地名が記されています。なぜ、これらの地が、都の人々の興味を引いたのでしょうか。『伊勢物語』の「男」がさすらったのもこの地でした。『日本書紀』『続日本書紀』などといった歴史書の記述の他、和歌や説話・紀行文など、多くの作品に「東国・陸奥」は取り上げられています。それらの一節を実際に読み解きながら、古代から近代に至るまでの「東国・陸奥」を概観し、内在する様々な問題について多角的な視点から考えてみましょう。

履修上の留意点

授業は主として講義形式です。教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文などの課題を課す予定です。なお、遅刻・早退は認めません。

成績評価の方法

学年末に提出するレポート、授業中の課題や発言、出席状況(欠席・遅刻しないことは前提)などから総合的に行います。

教科書

適宜プリントを用意します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
海外から見た日本 (後期)	いし わり 透 石 割 透	短国1・2選	2

講義のねらい

近代に入り、多くの外国の人々が日本を訪れ、日本の文化、人々について記してきた。また、日本の文学者、美術家も海外にわたり、その文化に大きな影響をうけた。この時間は、特に、西洋と日本との関係をめぐって、外国の人たちの記した日本観、わが国の文学者、美術家の西洋体験による影響をテーマにして、国際化、グローバル化が問題となっている現代を生き、考える契機を与えたい。

講義の内容・授業スケジュール

この時間は特にラフカディオ・ハーン(小泉八雲)、ピエール・ロチ、ギメ、モラエス、日本側として、永井荷風、島崎藤村、高村光太郎、古くは久米邦武をとりあげて、検討していく材料としたい。

履修上の留意点

ラフカディオ・ハーンなどは、容易に文庫本などを通して、その日本観に触れることができる。受講を契機に、彼らの文章に接してほしく思います。

成績評価の方法

1, 2度のレポートを提出。その内容と出席状況、授業態度によって評価する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

ほとんど講義の形で進めていく予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション(音楽) (前期)	と い はる と 土 井 晴 人	短国1・2選	2

講義のねらい

音楽をコミュニケーションツールとしての側面から考察する。言葉は伝えたいコトを正しく伝えるために記号化、定義化している言語であるが、伝達したい内容を自分の言葉で明確化できない感情を伝えるにはとても不自由な言語でもある。音楽が言語としてどのように有効なのかを現代のモバイルコミュニケーションとともに推考する。

講義の内容・
授業スケジュール

音楽の学術面よりも文化性に着目する。記号化された言語で正しい情報を伝達するためには、その言語の持つ定義を共有していなければならないように、感情などのあいまいさを正しくコミュニケーションするためには価値観を共有していなければならない。受け手が自由に価値観を創造してしまう聴覚表現は映像や絵画、文字などの視覚表現と比べるとミスコミュニケーションやディスコミュニケーションのリスクが高くなる事例を検証する。音楽が持つ一定のルールや法則がどのように琴線に触れるのかを紹介しながら、同じ価値観を共有することとはどういうことなのかを考える。また、コミュニケーションツールとしての携帯電話端末における着メロなども自己表現例として分析する。

履修上の留意点

授業に出席することが前提。

成績評価の方法

出席状況と最後の授業で提出していただくレポートにより評価する。

教 科 書

教科書、参考書は指定しない。資料はプリントして授業で配付する。

国
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション(囲碁) (前期)	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

囲碁は「手談」と呼ばれる。言葉で会話するのではなく、手で碁石を並べることで互いの意図を察し、自分の考えを表現し、また相手の着手によって常に変わる新たな状況へ対応し続けることが必要になる。言語を使わないコミュニケーションとして日本の伝統文化に深く根ざした囲碁を、実際の対局を通して体験的に学び、言語によるコミュニケーションである国文学に対する視座をさらに広げてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

まったくの初心者を対象として囲碁のルールを講義し、実際に9路盤（通常の19×19の碁盤より小さい9×9の初心者用）を使った対局を行う。すでにルールを知っている者は、初心者の指導にあたってもらう。基本的な考え方や上達するためのヒントとともに、囲碁の文化史に関する講義もあわせて行う。

履修上の留意点

授業での対局が主になるので、毎回出席することが前提となる。碁石と碁盤は、紙で手作りすることも可能なのであらかじめ用意する必要はないが、希望者には初心者用の碁石・碁盤のセット（2,500円程度）を教場で販売する。

成績評価の方法

受講者同士の対局の記録（棋譜）を残し、それを対局後に互いに評価しあった結果（感想戦）を小レポートとして提出していただく。また囲碁の基本と文化史に関する小テストを教場で実施し、出席状況ともあわせて評価する。

教 科 書

梅沢由香里著『すぐに打てる9路盤』（日本放送出版協会、税別1,000円）を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
非言語コミュニケーション(将棋) (後期)	その 園 部 幹 生	短国1・2選	2

講義のねらい

将棋で勝つためには、相手の考えを読み取ったうえでそれをはずし、自分の主張を通さなくてはならない。本講座では、国文学の関連科目として、その中にある「言語によらないコミュニケーション性」を考えることを第一の目的とする。合わせて、将棋の文化史的な側面も講義したい。

講義の内容・
授業スケジュール

将棋のルール、棋譜のつけ方等について講義し、時間中の実戦をもとに自戦記を書くことで、言語によらないコミュニケーション性について考える。おりに触れて、将棋の歴史、将棋に関する格言等についても講義し、将棋の文化史的な側面についての理解も深める。

履修上の留意点

時間中の実戦を基に自戦記を書くので、遅刻をしないこと、また、出席をすること。

成績評価の方法

提出されたレポートとしての棋譜および自戦記による評価（勝敗によるものではなく、指し手についてのコミュニケーション性をどのように理解し表現してあるかをポイントに評価する）と、出席状況を総合して判断する。

教 科 書

テキストは必要に応じてプリントを配布するが、用具として、各自、将棋の駒（どのようなものでもよい）・盤（折り盤・紙盤・マグネット盤など、何でもよい）を用意すること。

参 考 書 等

必要があればそのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
映 画 と 文 学	こ ばやし 小 林 治	短国1・2選	4

講義のねらい

現代文学の作家と映画との関わりは、その作家及び作品の方向性を決定してしまうほど深いケースが多くなっていると言えるだろう。その関わり方は、大きく分けて二種類あると思われる。一つは、作家が観た映画に触発された、あるいは影響を受けた場合であり、もう一つは作家が実際に監督として映画を作った、もしくは脚本などを担当して映画作りに参加した場合である。これまで、映画と文学というテーマが掲げられると、前者の関わりから語られることが多かったが、ここでは具体的に後者の場合を中心にいくつか取り上げて、どのように関わっているか考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

代表作『砂の女』など昭和30年代から40年代にかけて先駆的に自作の映画化に数多く関わった安部公房についてと、昭和50年代にデビュー作『限りなく透明に近いブルー』を監督として映画化して以来、数多くの映画を制作した村上龍の二人について順次みていく予定である。

履修上の留意点

授業で触れる作品は、できるだけ多くを授業と併行して読むことが望まれる。また、特に詳しく触れる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

数回のレポートの内容に、出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

その都度、適宜、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
美 術 と 文 学	いし かり 透 石 割	短国1・2選	4

講義のねらい

幕末頃よりわが国に新しく移入された西洋画の手法は、伝統的なわが国の絵画の様式、方法に影響を与えるとともに、わが国に新たにもたらされたノヴェル（小説）、ポエトリー（詩）、それに従来和歌、俳句の表現に大きな影響を与えた。この時間は西洋画の手法、方法がわが国に移入された過程、状況の概観を示すとともに、1900年代初めまでの文学の表現に、西洋の美術がいかに影響を与えてきたのかを検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず洋画の受容の歴史のあらましを示すとともに、それがわが国の伝統的な日本画、浮世絵、錦絵の方法といかに異なっているかを検討し、あわせて他のこの時期の文化現象を重ねて、「近代」とは、いかなる時代なのかを考える契機を与えたいと思う。

履修上の留意点

美術の、特に近代の代表的な作品には度々触れることになる。常に美術全集、展示会図録を眺め、美術館などに赴いて鑑賞してほしい。

成績評価の方法

年に2回ほどのレポート提出。その内容と出席状況、授業時の態度、学習にとりくむ姿勢を加味して評価する。

教科書

年表の会編『近代文学年表』（双文社出版）など。他は授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

ほとんど講義形式によって授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
映 像 論	いし かり 透 石 割	短国1・2選	4

講義のねらい

フランスの画家、ダゲールが〈現像〉の技術を発展させ、〈写真術〉を発明したのは1839年、〈実〉をうつす写真は、折からの科学的、実証的精神の浸透、産業の進展によって急速に進歩し、普及する。こうした写真の構図は、絵画の影響を強く受けつつ、一方で絵画からの影響を離れ、独自のジャンルを獲得するにいたる。一方、絵画も〈写真〉の出現によって、大きくその役割の転換を余儀なくされ、絵画独自の美の追求に向かう。絵画と〈写真〉は、このように互いの強い影響関係のもとに、その歴史を展開させていく。この時間は、絵画とは異なる写真の独自性とは何か、というテーマを、絵画の展開と関らせながら考えていきたい。またエジソンがキネトスコープを完成したのは1889年、フランスのルミエール兄弟がシネマトグラフを発表したのは1895年、以後映画も急激に20世紀に入り、普及浸透し、急速な進歩発展をとげた。この時間は、後期には、簡単に、わが国の映画の歴史を説明しながら、とりあえずは、映画の技法を知るための映画用語を、実際に小津安二郎、溝口健二の映画を見ながら、確認していきたい。

履修上の留意点

写真や映画の歴史を知るために、古い写真、映画にできるだけ接してほしいと思う。

成績評価の方法

年間に2度ほど課題を与え、レポートを提出。その書かれた内容によって、評価する。それに出席状況、授業での態度などを考慮する。

教科書

授業時に指示する。

参考書等

授業時に指示する。

その他

講義により進行する。劇映画のビデオなどを実際に見ながら進める形式を、後期には時折採る予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
古 典 戯 曲 演 劇	おか だ まりこ 岡 田 万 里 子	短 国 1・2 選	4

講義のねらい

演劇を実演された戯曲であると坪内逍遙は定義したが、実際にわれわれが演劇と考える作品には戯曲に根ざしたこの演劇観で把握しきれない面があるのではないだろうか。今日古典的な演劇のジャンルにあげられる能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃には、出演者の極度な身体表現あるいは舞台上の仕掛けや象徴性、観客と一体化した場の創造などが見られ、これらは「古典」「戯曲」「演劇」といった近代的概念では理解しづらいものである。「戯曲」を超越したこのような表現こそが近代以前の演劇を支配していたともいえよう。本講義では主として歌舞伎を扱う。当然のことながら、歌舞伎を通して、「演劇」とは何か、「戯曲」とは何か、「古典」「伝統」といった問題について、あらためて考えていくことになるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

あることがらを考える際、その歴史をひもとくことはひとつの有効な方法である。歌舞伎は、今日では日本を代表する文化・芸術として、もっとも高尚な趣味のひとつに教えられているとあってよい。しかし、多くの芸術活動が既存の芸術への否定と新しさへの混沌とした欲求から生まれるように、歌舞伎もまたその例にもれない面が見られる。前期は、歌舞伎という演劇ジャンルの誕生から今日にいたる変遷を学び、後期は演技、演出など特徴と考えられていることらについてとりあげる。

履修上の留意点

履修前の歌舞伎に関する予備知識は問わないが、履修後は、テキストをはじめ教場で紹介する文献を設定された期限までに読むことを義務づける。また、導入的なビデオ鑑賞も行なうが、実際に劇場へ足を運び、レポートを提出することも求められる。このほか、自主的にかつ貪欲に古典芸能を鑑賞する意欲のある学生の履修が望ましい。

成績評価の方法

期末レポートと出席による。

教 科 書

古井戸秀夫、河野多恵子『歌舞伎』（新潮古典文学アルバム 22）（新潮社）1,300 円

参 考 書 等

教場において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代戯曲演劇 (前期)	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

日本における近代演劇の成立と展開を中心とした演劇史の講義を進めながら、近代戯曲を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の近代演劇は、まずは西洋の様々な文化とともに外からもたらされた。能や歌舞伎といった伝統芸能との根本的なあり方の違いを考えれば、その時日本人は初めて「演劇」を目にしたとも言える。近代演劇が日本に紹介された歴史的事情を理解した上で、近代演劇の理念に触れる。日本人が書いた作品だけでなく、西洋の近代戯曲がどう翻訳され紹介されたのかを検証し、西洋の演劇理念を日本人がどのように理解し、そこから何を生み出したのかを考える。その後の展開については、伝統的な表現と結びついた新派劇、近代文学の1ジャンルとしての戯曲文学、社会思想と結びついた左翼演劇など、多様な表現へと分化する。その多様性を見極めるには、近代の「演劇」という理念からはこぼれ落ちた様々な「芸能」をも視野に入れる必要があり、大正時代の浅草オペラや、エノケンの喜劇、宝塚のレビューなどにも触れたい。こうした作業を通じ、劇場という場で演者が観客に向かって何かを上演すること（＝パフォーマンス）の可能性を考える。戯曲のテキスト研究だけでなく、パフォーマンスという表現＝コミュニケーションの一形態に関する総合的な論考としたい。

履修上の留意点

授業で実際に戯曲の一部を読み、またビデオを使って上演の一部を見ることもあるが、作品を通読する時間はないので、残りは各自で読んでおくことが必要になる。

成績評価の方法

近代戯曲を読んで書くレポート1つと、近代演劇史に関する試験を行い、その合計で評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

演劇史についてはすべてプリントを配布する。読んでもらう戯曲や参考書は、適宜授業で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代演劇 (後期)	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

様々なメディアに囲まれた現代社会において、生身の俳優の演技を観客が目の前で見る演劇という表現形式が持つ意義と役割を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

舞台上で上演されるものは「虚構」であるが、俳優の身体が生み出す虚構を同じ空間で共有する観客が、それをなんらかの意味で「リアル」なものとしてとらえた時に初めて演劇は成立する。現代演劇を鑑賞するための基礎知識としての現代演劇史を講義し、また主に教科書を使って「演劇におけるリアル」とは何かを考えるが、その上で実際の舞台を見に行っていきたい。授業でVTRを使い上演の一部を見ることもあるが、演劇はその場に行き行って体験しなければ作品に触れたことにはならないので。

履修上の留意点

授業期間内（後期）に上演される演劇作品を、自分で実際に見に行くことが必要になる（授業で随時公演の案内を配布する）。本年度からの新規科目だが、内容は一部昨年度の「近代戯曲演劇」と重複するので、昨年度「近代戯曲演劇」を履修した者は、本年度のこの授業の履修は遠慮していただきたい。それ以外の者は、前期の「近代戯曲演劇」とあわせて履修することを勧める。

成績評価の方法

舞台を見に行き行って書くレポート1つと、教科書の内容に関する論述試験を行い、その合計で評価する。

教科書

平田オリザ『演劇入門』（講談社現代新書1422、税別660円）を教科書として使用する。

参考書等

適宜授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
芸 能 研 究 (前期)	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	短国1・2選	2

講義のねらい

芸能とは何か。人間は、生物としての存続に必要な衣・食・住とは直接関係のない、芸能という行為をなぜか必要としている。現代生活における芸能は、一見「趣味」とか「遊び」といった余剰生産的なものに思われるが、その本質は人間社会の成立に不可欠な表現行為である。本講では、いわゆる「演劇」の範疇に入らない「芸能」について、古代から現代に至るまでの、様々な形式の芸能を広く視野に入れることにより、現代社会においては見えなくなりがちな芸能の本質を考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

芸能の始原の姿に向けたアプローチとして、古代の呪術や神事と芸能の関係から説き始め、現在でも各地に伝わる風習や伝説、相撲、民俗芸能、大道芸などを素材として近代以前の芸能に触れるが、それをあくまで現代社会とつながる心性としてとらえたい。現在でも古い存在するし、成人式や結婚式などの儀礼には芸能が伴い、信仰がなくとも初詣に行き、ディズニールンドという祝祭空間で異界を体験する。そうした自分自身の生活や体験との関連を考えるための小レポートを、授業の中で何度か実施する。

履修上の留意点

情報センターの教場で、パソコンを使用する。各自でアドレスを取得する必要がある。キーボード入力とホームページを見る程度の初歩的な操作が必要となる。

成績評価の方法

出席と小レポートによる平常点に加え、最後に教場レポートを課す。レポートはすべてパソコンのワープロで作成し、メールで提出する。

教 科 書

指定しない。

参 考 書 等

指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
食 文 化 を 考 え る (前期)	ない とう ひさ こ 内 藤 寿 子	短国1・2選	2

講義のねらい

日本が経済大国としての地位を確立した1980年代から、じょじょにわたくしたちの食文化はかわってきました。たとえば、現在、東京では世界のあらゆる国の食文化を体験することができますが、このような豊かさを支えるものは、いったい何なのでしょう。講義では、食文化をとおして、わたくしたちとアジアの関係を考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

エビやバナナなど具体的な食材から、わたくしたちの食文化とアジアとの関係を見直した後、東京の中にあるアジアの食文化について考えていきます。

履修上の留意点

教師の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間をふりかえてフィールドワーク(実地調査や見学)を行う予定です。日程は調整しますが、フィールドワークに参加することが履修の条件です。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度、レポート、出席状況などをあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教 科 書

授業中に指示します。
適宜プリントも配布します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
住まいの文化を考える (後期)	ないとうひさこ 内藤 寿子	短国1・2選	2

講義のねらい

現在、「廃虚」をたどることがブームとなっていますが、ある地域や建物が「廃虚」となってしまったことにはさまざまな背景があります。もちろん「廃虚」が生み出された直接の原因は、「バブル経済の崩壊」ということでしょうか、住まいに対するわたくしたちの考え方が急速にかわってきたことも大きな原因なのです。講義では、住まいの文化の歴史を考えながら、わたくしたちじしんの生活スタイルを問いなおしてみます。

講義の内容・
授業スケジュール

台所など具体的な要素から、住まいの文化の歴史を考えます。現在とのつながりをとらえなおすことを主眼としますので、明治以降の時代が中心となります。

履修上の留意点

教師の一方的な講義にならないよう、〈見る〉〈読む〉〈聞く〉〈書く〉〈調べる〉といった形でみなさんに参加してもらいます。第1週目に具体的な説明をしますが、授業時間をふりかえてフィールドワーク(実地調査や見学)を行う予定です。日程は調整しますが、フィールドワークに参加することが履修の条件です。

成績評価の方法

授業では、ほぼ毎回課題に取り組んでもらいます。授業への参加度、レポート、出席状況などをあわせて、総合的に評価をおこないます。内容や提出方法については授業中に指示します。

教 科 書

授業中に指示します。
適宜プリントも配布します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
手 話 (前期)	しらすかずこ 白 須 和 子	短国1・2選	2

講義のねらい

言語としての手話の特徴を学び豊かに表現できるまでの基礎学習と日常会話ができるまでの学習。理論では聴覚障害とは何かを理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

手話技術の学習と聴覚障害に関連する諸問題についての講義。(カリキュラムは別途)

履修上の留意点

受講した内容については復習すること。予習は独断で学習するとまちがって覚える恐れがあるのでしない事。聴覚障害者も含め福祉関係の本、資料等目を通しておく事。

成績評価の方法

前期終了時に期末テスト。内容は講義内容のまとめの文章問題と手話表現の技術試験。

教 科 書

『手話教室』入門(財団法人全日本ろうあ連盟出版)850円
申し込み先 〒162-0801 新宿区山吹町130 SKビル8階
Tel 3268-8847

参 考 書 等

随時、講義のときに紹介

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
点 字 (後期)	わた なべ ゆきぞう 渡 辺 勇喜三	短国1・2選	2

講義のねらい

日本点字の習得

講義の内容・
授業スケジュール

①～② 50音 ③濁音半濁音 ④拗音拗濁音 ⑤数字、アルファベット ⑥～⑦ カナづかい ⑧数を含む言葉、外文字 ⑨ひとつづきを書く言葉 ⑩～⑬わかち書き ⑭～⑮符号など

履修上の留意点

教室の静粛 積極的参加

成績評価の方法

テスト

教 科 書

田辺淳也(たなべじゅんや)著『点字練習帳』(東京ヘレンケラー協会 点字出版所)業務課 Tel 3200-1310 900円+消費税
 「点字器」 点字器 N 632 (オレンジ/ブルー/グリーン/ピンク/グレーの5色スケルトンカラー) 1,030円(非課税) 20面以上単価980円(非課税)
 「点字用紙」 90キロ厚 寸長サイズ (一人50枚) 約110円～115円(税込み)
 ※点字器と点字用紙は、日本点字図書館 用具事業課(3209-0751)

参 考 書 等

当山啓(とうやまひらく)著『改訂版 点字点訳基本入門』1,890円(本体価格)

そ の 他

視覚障害者の教育、生活、福祉等を毎時短時間、講義に含める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 I	な す たか よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

芸術全体の中で書道が東洋独自の芸術として、どんな特質を持つのかを考察しながら、書道の基礎的知識と技法を習得すると共に鑑賞力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

執筆法、用筆法、運筆法及び用具用材とその取り扱い方について学ぶ。
 ・書体とその変遷を理解する。
 ・初歩的な楷書、行書、草書の書法を習得する。
 ・仮名の単体、連綿体を学び、平仮名、片仮名の成立、及びいろは歌、五十音図について理解する。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出(又、随時レポートの提出)等を総合して評価する。

教 科 書

『大学書写書道教育』(第一法規出版)

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道 実 習 II	な す たか よし 那 須 隆 吉	短国1・2選	2

講義のねらい

漢字仮名の代表的古典を学び、書道についての理解と鑑賞力を高め、書道文化の素晴らしさを味わいたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・古典の解説と臨書により、楷書法、行書法、草書法、仮名書法の習熟をはかる。
- ・変体仮名、及び代表的古筆について理解を深める。
- ・実社会で役立つ実用書道（手紙文、宛名書き、のし紙等の書き方）を学び、一層書道に親しめるようにしたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又道具を忘れないように。

成績評価の方法

出席、清書の提出（又、随時レポートの提出）等を総合して評価する。

教 科 書

『大学書写書道教育』（第一法規出版）〈書道実習 I、II 併用〉

参 考 書 等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編 集 実 務	は せ がわ たかし 長谷川 孝	短国1・2選	4

講義のねらい

編集とは、〈誰かに——何かを——伝える〉過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」（視点・視野・視角）をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の知識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した（自分なりに感じ気づき考えた）ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と授業で書く短文（感想文）など平常の提出物によります。

教 科 書

プリントを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ジャーナリズム研究	はた の とし お 旗 野 寿 雄	短国1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

記者やアメリカ生活などの経験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、日米ジャーナリズムの比較なども試みる。新聞社や新聞博物館の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なレポート、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教 科 書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参 考 書 等

その都度指示する。

そ の 他

私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス実務総論 (前期)	もりもとまさえ 森本正恵	短国1・2選	2

講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創り出す人間としての基本を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席の届を出したうえ「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇 道子 編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

参考書等

授業のなかで適宜、示します。

その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科目名	担当者名	配当学科	単位
オフィス実務演習 (後期)	もり もと まさ え 森 本 正 恵	短国1・2選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけないこと。
 基本的事項については個別学習(予習)により理解しておくこと。
 クラスでは、創造的学習を目標とする。
 ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
 ・疑問や質問は積極的に発言すること。
 『ビジネス実務概論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。
 また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教科書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』(嵯峨野書院) 2001年刊 2,400円

参考書等

プリントの他、授業で示します

その他

出席、レポート提出を自己管理できること。
 欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。
 連絡先：morimom@komazawa-u.ac.jp
 TEL&FAX:0467-33-1631

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理	谷本 玲大 <small>たに もと さち ひろ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
更に「情報をどのように利用し、どのように発信するか」、また、「ネットワーク上で他者とどのように付き合うか」（電子メール、文章表現、著作権問題、プライバシーの問題など）についても考えてゆくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期

- 1 ガイダンス アンケート
- 2 起動～ログオン～終了／WWW 体験／URL の仕組み
- 3 FDD 初期化／WWW 実習／Word 基礎講座
- 4 今までの復習／パソコンが欲しい人へのアドバイス
- 5 タッチタイピング練習
- 6～8 Word 実習 漢字の旧字体と長文入力に慣れよう
- 9 プライバシーについて／電子メール実習（1）メーラの設定
- 10 電子メール実習（2）送受信の練習
- 11～15 Word 総合実習

後期

- 16 前期の復習／Windows の TIPS
 - 17～20 Excel 基礎講座 Sort／オートサム／グラフ作成
 - 21～23 著作権／ハイパーリンク／相対パス・絶対パス／HTML・他
 - 24～29 My ホームページを作ろう（1）～（6）
 - 30 コンピュータを活かす方法（一年間のまとめ）／成績発表
- ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初心者～初・中級向け。受講希望者多数の場合は1年生を優先する。
実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。
課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。
学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点と、課題・レポートを総合的に判断して評価する。

教科書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用情報処理	谷本 玲大 <small>たに もと ざち ひろ</small>	短国1・2選	4

講義のねらい

本講座では、人文学分野と情報処理技術の両方にまたがる課題実習を重視して、その場その場で直面した諸問題をみずから解決できる「情報処理能力」を養うことを目的とする。
特に「情報活用」と「表現技術」について、就職活動の視点からアプローチしてゆくこととしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- 1 ガイダンス アンケート
 - 2 起動～ログオン～終了／WWW 体験／URL の仕組み
 - 3 FDD 初期化／WWW 実習／Word 基礎講座
 - 4 プライバシーについて／電子メール実習（1）設定・送受信
 - 5 電子メール実習（2）自己アピール文の作成と送信
 - 6 Excel 基礎講座（スケジュール作成）
 - 7～8 インターネットで自己診断／情報サイトに登録
 - 9 Word 実習（1）（定型文の作成／履歴書を作ろう）
 - 10～15 Word 実習（2）（インターネットで業界研究）
- 後期
- 16 前期の復習／Windows の Tips
 - 17 PowerPoint 講座（著作権／自己防衛・他）
 - 18～22 PowerPoint 実習（マナー研究）
 - 23～24 PowerPoint 発表会
 - 25～29 Excel 応用講座（Sort／簡単な計算／基本統計量／グラフ作成）
 - 30 コンピュータを活かす方法（一年間のまとめ）／成績発表
- ※ただし、進度によっては多少の調整を行う場合がある。

履修上の留意点

初級～中・上級向け。受講希望者多数の場合は2年生を優先する。
実習主体であるので、継続的な出席と主体的な取り組みが必要である。
課題は総合情報センターの自習室なども積極的に利用して取り組んで欲しい。
学生諸君の積極的参加を希望する。

成績評価の方法

受講態度や出席状況等の平常点と、課題・レポートを総合的に判断して評価する。

教科書

プリント、電子データを用いての実演などを適宜組み合わせる。

参考書等

授業中に紹介する。

II 專門教育科目

2 英文科

英
文
科

II. 専門教育科目

(2) 英 文 科

英米文学概論〈高野秀夫〉	247
英語講読 I 〈ホワイト, E.〉	247
英語講読 I 〈アントニー, B.〉	248
英語講読 I 〈滝 静 寿〉	248
Oral Communication I 〈デンドウ, G.〉	249
Oral Communication I 〈キ ー ズ, P.〉	249
英 文 学 史 〈滝 静 寿〉	250
英語講読 II 〈梅原敏弘〉	250
英語講読 II 〈高野秀夫〉	251
英語講読 II 〈ホワイト, E.〉	251
Oral Communication II 〈デンドウ, G.〉	251
Oral Communication II 〈キ ー ズ, P.〉	252
Intensive English I 〈モエ, R. A.・オーラ, B.・ゴマリーグーナー, L.・ハードグレイブ, B.〉	253
Intensive English II 〈アシュウエル, T.・クレイグ, J. R.・サリバン, C.・ヒントン, M. E.・ ランドルフ, M. F.〉	254
Intensive English III 〈ギャリソン, J. G.・エバラト, A.〉	255
Intensive English IV 〈アシュウエル, T.・オーラ, B.・デンドウ, G.・レオーネ, J.・ロルフ, M. F.〉	256
Intensive English V 〈モエ, R. A.・オーラ, B.・ゴマリーグーナー, L.・ハードグレイブ, B.〉	257
Intensive English VI 〈ロルフ, M. F.・クレイグ, J. R.・サリバン, C.・ヒントン, M. E.・ ランドルフ, M. F.〉	258
Intensive English VII 〈ギャリソン, J. G.・エバラト, A.〉	259
Intensive English VIII 〈エバラト, A.・オーラ, B.・デンドウ, G.・レオーネ, J.・ロルフ, M. F.〉	260
英語学概論〈岡本 誠〉	261
言語と文化〈岡本 誠〉	262
日英語比較〈梅原敏弘〉	263
英文法論〈梅原敏弘〉	263
英語音声学〈ホワイト, E.〉	264
作品作家研究〔イギリス文学と映画〕〈広川 治〉	265
作品作家研究〔世紀末文学〕〈滝 静 寿〉	266
作品作家研究〔20世紀アメリカ小説〕〈吉沢 栄治郎〉	266
作品作家研究〔19世紀英文学〕〈高野秀夫〉	267
作品作家研究〔アメリカ20世紀文学〕〈湯浅陽子〉	268
米文学演習〈ギャリソン, J. G.〉	269
20世紀イギリス文学〈高野秀夫〉	269
アメリカ演劇〈休 講〉	
20世紀アメリカ文学〈ギャリソン, J. G.〉	270
戯曲研究〈広川 治〉	271
英米文学講読〈アントニー, B.〉	271

英米文学講読	〈高野秀夫〉	272
英米文学講読	〈滝静寿〉	272
英米文学講読	〈湯浅陽子〉	273
聖書研究	〈水島陽子〉	274
西洋古典文学	〈水島陽子〉	274
イギリス史	〈ランドルフ, M.〉	275
イギリス文化事情	〈休講〉	
アメリカ史	〈休講〉	
アメリカ文化事情	〈モエ, R.A.〉	275
時事英語	〈岡本誠〉	276
英語演習〔英語音声の基礎〕	〈岡本誠〉	276
英語演習〔シャーロックホームズ〕	〈滝静寿〉	277
英語演習〔ボキャビュラリービルディング〕	〈梅原敏弘〉	277
英語演習〔時事英語へのアプローチ〕	〈吉沢栄治郎〉	278
英語演習〔センテンスの構造〕	〈アントニー, B.〉	278
英語演習〔英語表現〕	〈アントニー, B.〉	279
英語表現	〈梅原敏弘〉	280
英語表現	〈岡本誠〉	281
英語表現	〈高野秀夫〉	281
英語表現	〈滝静寿〉	282
英語表現	〈吉沢栄治郎〉	282
英語翻訳法	〈梅原敏弘〉	283
Advanced English A	〈アシュウェル, T.〉	284
Advanced English A	〈エバラト, A.〉	284
Advanced English A	〈モエ, R. A.〉	285
Advanced English A	〈レオーネ, J.〉	285
Advanced English A	〈ロルフ, M. F.〉	286
Advanced English A	〈トランブリー, J.〉	286
Advanced English B	〈オーラ, B.〉	286
Advanced English B	〈エバラト, A.〉	287
Advanced English B	〈モエ, R. A.〉	287
Advanced English B	〈レオーネ, J.〉	288
Advanced English B	〈ロルフ, M. F.〉	288
Advanced English B	〈トランブリー, J.〉	288
News English	〈ハードグレイブ, B.〉	289
English through Movies	〈岡本誠〉	289
英語とコンピュータ I	〈クレイグ, J. R.〉	289
英語とコンピュータ II	〈クレイグ, J. R.〉	289
同時通訳入門	〈モエ, R. A.〉	290
コンピュータ I	〈野崎芳秀〉	291
コンピュータ I	〈湯浅陽子〉	292
コンピュータ II	〈野崎芳秀〉	293
コンピュータ II	〈湯浅陽子〉	294
ビジネス実務総論	〈森本正恵〉	295
オフィス実務演習	〈森本正恵〉	296
オフィス・マナーズ	〈森本正恵〉	297
プレゼンテーション・スキルズ	〈湯浅陽子〉	298
ジャーナリズム研究	〈旗野寿雄〉	299
ビジネスイングリッシュ	〈町井靖〉	299

日本語教育法 A 〈石田小百合〉	300
日本語教育法 B 〈松代涼子〉	300
表現法 (話すこと) 〈萩原義雄〉	301
表現法 (書くこと) 〈萩原義雄〉	302

英文科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学概論(前期)	たかのひでおの野秀夫	短英1必(一類)	4
		短英1・2選必(二類)	

講義のねらい

中世(古英語 650-1150、中世英語 1150-1500)からいろいろな時代を辿り、最後にロマン派時代を経て来た19世紀英文学と、アメリカ入植のピューリタニズムからネオ・クラシズムを経て来た19世紀米文学とは、互いに係わり合いながら独自性を発揮し現代に至る。それぞれの英米文学の流れを概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前半
1. 19世紀までの英文学
 2. ヴィクトリア女王朝(The Victoria Age) 1837-1901
 3. 19世紀末および20世紀初頭
 4. 現代
- 後半
1. ロマンティシズムの時代(1830-南北戦争)
 2. リアリズムの時代(南北戦争後-第1次世界大戦)
 3. モダニズムの時代(第1次世界大戦-第2次世界大戦)
 4. ポストモダニズムの時代(第2次世界大戦-現在)

履修上の留意点

19, 20世紀英米文学の作品を読み、文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

中間、期末テストと出席代わりにレポート。

教科書

教場にて指示。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	ホワイト, E.	短英1必(一類)	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	アントニー, B.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

The central aim of this course is to help students improve their reading comprehension and to expand their functional vocabulary, yet we will also learn to translate and to write summaries of the works read.

講義の内容・授業スケジュール

A broad range of materials will be covered, consisting of short stories, essays, poetry and perhaps song lyrics.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance 25%
In-class Participation (Answering Questions, Reading Assignments) 25%
Notebook Folders (Vocabulary lists, Summaries, etc.) 25%
Final Test 25%

教科書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参考書等

Students are required to bring both an English-Japanese dictionary and their notebook folders with them to each class.

その他

The class will be conducted bilingually.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読 I (前期)	滝 静 寿	短英1必(一類)	2

講義のねらい

チャールズ・ラムの『シェイクスピア物語』の中の作品(未定)を取り上げ、輪読・鑑賞する。子供向けに平易に書き直されたものであるが、文学的格調の高い文体を通し、ラムのシェイクスピアに対する思い入れを考えていく。また、原典の一部を対訳を通して読み、シェイクスピアの言葉の特質を考えてみる。途中で映画を鑑賞する。

講義の内容・授業スケジュール

ラムの『シェイクスピア物語』を輪読・鑑賞する。原典の一部を対訳を通して読んだり、シェイクスピアの作品の映画を鑑賞し、劇作家とその作品を研究する。

履修上の留意点

小グループに分け、輪番制で研究発表をする。割り当てられた所は、文法的な問題はもとより、全て責任をもって質問や意見に答えてもらう。
予習が第一、授業に対する積極的な態度が第二、遅刻、欠席には厳しく臨む。

成績評価の方法

授業態度、出席率、意見の発表、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Oral Communication I (前期)	デンドウ, G.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his/her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Oral Communication I (前期)	キーズ, P.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners. The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教科書

The text will be announced later.
Supplementary material will be handed out by the teacher.

参考書等

Although the text will be announced later the students will require the following: —
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class). An English Japanese dictionary.

その他

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英文学史(後期)	たき せい じゆ 滝 静 寿	短英1必(一類)	4

講義のねらい

歴史を背景に、イギリス文学の流れを、その時代の代表的な作品、作家を取り上げながら概観する。講義形式であるので、ノートをとって貰う。

講義の内容・授業スケジュール

- イギリス文学史の年間講義の概略の説明、イギリスについての基礎知識、アングロ・サクソン時代までの簡単な歴史。
- 古英語時代の詩歌等「ベイウルフ」を中心に。ノーマン・コンクエストによる言語・文化の変遷。
- 16世紀までの歴史。中英語の文学チョウサー、ラングランドを中心に。ギリシヤ・ローマ演劇について。
- 17世紀までの歴史、中世のイギリス演劇。ヒューマニズムについて。
- エリザベス朝の文学と演劇、特にシェイクスピアを中心に。
- 18世紀までの歴史、・ビュウリタニズムについて、特にミルトン、バンヤンを中心に。王政復古について。
- 19世紀までの歴史。ポーブ等について。散文の登場、ジャーナリズムの発展、サムエル・ジョンソン等を中心に。
- ヴィクトリア朝の歴史と文芸。
- イギリス文学史の総まとめ

履修上の留意点

出欠はとらない代わりに、レポートを提出し、それが出席率になる。未提出(期日まで)者は単位修得はできない。

成績評価の方法

学年末のペーパーのテストが主で、提出のレポートを参考に評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

教場で説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語講読Ⅱ(後期)	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1必(一類)	2

講義のねらい

正確な英文読書力の養成を主眼とします。

講義の内容・授業スケジュール

まず、文型を中心とした構文の知識の整理と再確認を主眼としたハンドアウトを配り、例文を読みながら構文力の基礎の充実を図ります。その後で、雑誌や新聞の記事をハンドアウトにして配布し、読んでいくことにします。

履修上の留意点

受講者は必ず、毎回予習をしてくること。アットランダムにあてていくので、口頭での訳が困難な場合、訳をノートに書いてくること。

成績評価の方法

平常の授業時に行うテスト(3-4回を予定)の結果により成績判定をします。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、及び予習をしてこなかった場合、減点します。

教科書

使用しない

参考書等

出来れば、学習者用の英英辞書(Longman Dictionary of Contemporary EnglishやOxford Advanced Learner's Dictionary of Current English等の)を購入し、利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅱ(後期)	たかのひでのお夫 高野秀夫	短英1必(一類)	2

講義のねらい

Natural Speed の英語の読みと聞き取り、平易な英文の作成、作品の内容の理解に努める。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) Natural Speed で英語の読み、聞く能力を高める。
(2) 教科書を読み進める。

19世紀英国ヴィクトリア朝後期の作家 Thomas Hardy は、運命論者として知られ、「この宇宙には Immanent Will (内在された意志) があり、人は小我を持ち、これに立ち向かい破れる」という筋で主人公の皮肉な人生を描くのが得意である。

悲劇的運命を辿る主人公に焦点を当て、いろいろな視点から人生とは、文学とは何かを考えて行く。

履修上の留意点

教科書の逐語訳をするので必ず予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

中間、期末筆記試験、平常点(出席点、レポート等)

教科書

- (1) *To Please His Wife and Other Stories* (成美堂)
(2) プリント

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語講読Ⅱ(後期)	ホワイト, E.	短英1必(一類)	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Oral CommunicationⅡ (後期)	デンドウ, G.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・
授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week. Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Oral Communication II (後期)	キーズ, P.	短英1必(一類)	2

講義のねらい

To have the students speaking in English from the beginning of the course and to concentrate on subject matter that is of interest to the student. To put them on the road to greater fluency and to increase their listening skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Short conversations using authentic language in a wide range of situations and settings will be expanded upon and listening exercises will also be used. There will be a lot of group and pairs work with the students acting as teacher from time to time. The instructor will also develop blackboard stories so that the student can start to learn how to tell stories in English even though they are beginners. The lessons will cover everyday functions such as offering and accepting food, greetings, talking about the past and future, talking about oneself, family and friends, agreeing and disagreeing. The course will cover a variety of skill areas such as communications, business, socializing, travel, hotels, money, and hobbies and interests. Each of these themes will be expanded upon by the teacher.

成績評価の方法

The students will be graded throughout the year for classroom effort and will be required to keep a journal in English. This will also be graded. Marks will also be given for high attendance.

教 科 書

The text will be announced later. Supplementary material will be handed out by the teacher.

参 考 書 等

Although the text will be announced later the students will require the following: —
An A4 size journal and note pad (There is no need to bring these at the first lesson. The teacher will explain in more detail in class). An English Japanese dictionary.

そ の 他

Homework will consist in preparing a journal of activities and in preparation and reviewing what has been learnt.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English I (前期)	モエ, R. A・オーラ, B. ゴマリグーナー, L. ハードグレイブ, B	短英1必(二 類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Timed Paired Practice (TPP) exercises. Students are randomly paired and their conversations are timed. They are allowed to speak until they make a mistake at which time they are stopped and the duration of their conversation is recorded. Students may do this up to ten times per class. TPP will be conducted in every class and in the same way. During the first 10 times (TPP 1~TPP 10) students will be free to talk about anything they wish. During the next 5 times (TPP 11~TPP 15) students will be assigned a topic that must be discussed in the next class. That gives them time to prepare. For the next 5 times (TPP 16~TPP 20) the topic will be assigned at the start of the class. From TPP 21, topics will not be assigned and students may talk about anything. TPP will be conducted in every class and in the same way.

履修上の留意点

This is a course in which the students are expected to actually use the English they know in conversational situations. In other words, they should try to use what they have studied and are studying in other courses. Mistakes are any unnatural English usage. That includes grammatical errors, pronunciation errors, delivery errors, and also if the content is considered odd, that is an error. Pauses of more than half a second are also considered to be errors. Not speaking loudly enough will also be an error. If a student repeats a word, that also is an error. If a student realizes she has made a mistake, she may correct it by first saying, "Excuse me," and then repeating the corrected phrase. If a student thinks that her partner has made a mistake or if she cannot understand what her partner says, then she should say, "Pardon?" The other person must then repeat from the beginning, being careful to speak correctly.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula

$$\text{Avg} * (\text{Count} / 3) + (60 - (\text{TPP No.} * 3)) = \text{score}$$

Avg=the average length of all TPP conversations

Count=the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X=number of unexcused absences

Y=number of unexcused times tardy

Z=final score

α =adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

ありません

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should their talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English II	アシュウェル、T. クレイグ、J. R.・サリバン、C. ヒントン、M. E. ランドルフ、M.F.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will read a large quantity of graded English material (graded readers) in order to develop confidence and fluency in reading. This approach, which is broadly called 'extensive reading', has been shown to be an effective way of helping learners to gradually improve their ability to comprehend more and more complex extended texts. The intention is to make reading English an everyday activity through which students cultivate a reading habit.

講義の内容・
授業スケジュール

In the first class of the course, students will take a test to determine their reading level. Students will then start reading books at the appropriate starting level by borrowing them from the Book Bags which are brought to class or by borrowing them from the university library. Students are only allowed to borrow one book at a time from the Book Bags. After a student has read 5 to 7 books at her beginning level, she will move up one level and read the same number of books again at this new level. The target number of pages to be read over 12 weeks is 600 pages. Students will probably, therefore, move up two levels during the course of the semester. They will have to read 50 pages on average each week. In the penultimate week of classes in July a second test will be given to ascertain which level the students are reading at by this stage. In addition, students write reports (Reaction Reports) on every book they read. These are checked by the teacher and then returned to the student who then sticks the report into her notebook.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Below is an explanation of how the course is graded :

50% = pages read

601 and over = 50%

551 - 600 = 40%

501 - 550 = 30%

0 - 500 = 0%

25% = improvement in level between the first and second reading tests

25% = quality of Reaction Reports

+ attendance

+ effort shown

+ α [to be determined by individual teachers]

教 科 書

All graded readers are provided. [individual teachers may ask students to buy a textbook to supplement the graded readers].

そ の 他

Students will need a B5 (or slightly bigger) notebook to stick their Reaction Reports into.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English III (前期)	ギャリソン, J. G エバラト, A.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Designed to expose students to authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. Primary emphasis on comprehension of video materials selected by the instructor from American television; secondary emphasis on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. All material and instruction in English.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script.

During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced.

Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed-normally 3 to 4 (75%).

教 科 書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参 考 書 等

None.

そ の 他

Class conducted in the language laboratory.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English IV	アシュウェル、T. オーラ、B・デンドウ、G. レオーネ、J・ロルフ、M.F	短英1必(二類)	2

講義のねらい

- ①by the end of the course students will be able to speak English with improved confidence in situation they are likely to encounter when travelling abroad or when in a home stay;
- ②students will increase their general fluency in spoken English.

講義の内容・授業スケジュール

The emphasis in this course is on spoken English. Students will be judged on how functionally communicative they become in the set situations and on the improvements they make in their general conversational fluency. Starting with the English students have at their disposal, situations and the language needed to survive in those situations will gradually be built up in each class.

Students will take Entrance and Exit Tests at the beginning and at the end of the course. Improvement between the Entrance and Exit Tests is worth about a third of the final grade. Students will also take up to 5 Mini Tests through the semester to check on progress on material covered in class. Students will do 'Partner Taping' each week for homework.

履修上の留意点

This course is being provided in the new curriculum in part as an antidote to the years of "examination English" students have had to endure at high school and partly in response to the call for more conversation classes from students who have passed through Komazawa Junior College in previous years. It is imperative that students take an active part in this class for this course to be successful. Any student who does not speak English or who does not become proficient in the expressions needed for the different situations covered will not pass this course.

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students will be assessed on their English oral ability at the beginning and at the end of the semester. They will also have up to five mini tests on the material covered. Grades will be based on:

1. improvement in speaking ability over the semester based on the Entrance and Exit Test results (=30%);
2. performance on mini tests;
3. completion of homework partner taping;
4. effort shown in class;
5. attendance.

教 科 書

None. All materials will be provided by the teacher.

そ の 他

Students will need a mini cassette recorder and a B5 notebook.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English V (後期)	モエ, R. A.・オーラ, B. ゴマリグナー, L. ハードグレイブ, B	短英1必(二類)	2

講義のねらい

To develop and improve English conversational skills.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will build upon the skills developed in Intensive English I. Students will be randomly paired to practice extemporaneous conversations. Specific topics will be introduced and instruction given as to how to converse on these topics in depth. Every third or fourth class students will be tested on their ability, the testing method being the TPP exercise that was introduced in Intensive English I.

履修上の留意点

Practice outside of class will be essential in order to make the progress necessary in class to receive a passing grade. That is to say, students must be able to carry on conversations for at least one minute without making any mistakes.

成績評価の方法

The grades are based on the average length of a conversation and also the number of times that a student does TPP. This data is put into the following formula

$$\text{Avg} * (\text{Count} / 3) = \text{score}$$

Avg=the average length of all TPP conversations

Count=the number of times a student did TPP conversations

This provides a score for one TPP class. The scores for all the TPP, from 1 through 20 (or whatever the last one might be) are averaged to provide the final score. The final score is then put into the following formula to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) / 3) + \alpha = \text{final grade}$$

X=number of unexcused absences

Y=number of unexcused times tardy

Z=final score

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

ありません

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any questions or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English VI (後期)	ロルフ, M. F. グレイグ, J. R.・サリバン, C. ヒントン, M. E. ランドルフ, M. F.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

In this course students will develop their ability to write longer texts in English. The main aim is for students to produce three 500-word assignments. These may be essays or formal reports. Students will also keep journals in order to develop greater fluency and greater belief in using English as a means of communication and as a way of expressing themselves.

講義の内容・
授業スケジュール

Students are required to produce three essays or reports which need to be researched and drafted. These pieces of writing will involve the students in synthesizing information they have found through discussion or research and in presenting a point of view on a topic using evidence to support their position. Organising the writing so that it becomes a clear and reasoned statement of the student's own position will be a principle focus of the class. Each week students will also be asked to make entries of a particular length in their journals.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Students are graded as follows:

1). Three Assignments = 75% (Assn. 1, 2, and 3 = 25% each).

Each assignment receives one of five grades:

Very good (5 points)
Good (4 points)
OK (3 points)
Poor (2 points)
Weak (1 point).

To pass this course students need to have accumulated 11 points from the three assignments. If students are concerned that they are not accumulating enough points, they can resubmit assignments any number of times until a final deadline in December.

2). Journal assignments. = 25% (10 × 2.5)

教 科 書

No textbook will be used.

参 考 書 等

Students should bring an English-Japanese dictionary to each class. Students will be advised about buying a good English-English dictionary in the first class.

そ の 他

Students will need a B 5 notebook.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Intensive English VII (後期)	ギャリソン, J. G. エバラト, A.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

Continuation of Intensive English III. Designed to further develop students' ability to understand authentic English spoken by Americans from a variety of social and cultural backgrounds in a broad range of natural, conversational situations. As with IE III, primary emphasis will remain on comprehension of video materials while secondary emphasis will once again be on mastering the use of vocabulary, idioms and syntactical patterns. The material selected for inclusion in this class will be more advanced than that of IE III.

講義の内容・
授業スケジュール

An incomplete script of each lesson will be passed out to students one week in advance. Students will be expected to go to the Language Laboratory, borrow the appropriate video, take it home overnight or to the L. L. study booths, and watch it as many times as necessary to fill in the words, phrases or idioms missing from the script. During class, the lesson will be reviewed, students' understanding checked, and idioms and sentence patterns practiced. Each lesson will be followed by a short test.

履修上の留意点

More than three unexcused absences will result in a lowered grade.

成績評価の方法

Grades will be based on class participation (25%) and the results of tests given after each lesson is completed—normally 3 to 4 (75%).

教科書

Teaching material, including copies of scripts and vocabulary lists, will be provided by the instructor.

参考書等

None.

その他

Class conducted in the language laboratory. All material and instruction in English.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Intensive English Ⅷ (後期)	エバラト, A・オーラ, B. デンドウ, G・レオーネ, J. ロルフ, M. F.	短英1必(二類)	2

講義のねらい

The purpose of this course is to familiarize students with the TOEIC test and improve their test scores so that they feel ready to attempt the real TOEIC test for themselves.

講義の内容・
授業スケジュール

At the beginning of this course, students will take a baseline TOEIC test and at the end an exit TOEIC test. Improvement over the course in terms of test scores constitutes a major part of the assessment for the course. In class, students will study strategies for taking the test and will have opportunities to take practice TOEIC tests. The scores on these tests will also contribute to the final grade. Students will be expected to organise their work outside class properly too. Work outside class also figures in the assessment of this course. Not all class time will be spent studying TOEIC directly. In order to maintain students' speaking abilities, speaking activities will also be incorporated in the course each week.

英
文
科

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. Reasons for absences should be communicated to the teacher preferably in advance. Unexcused absences or lateness will incur penalties in the final grade.

成績評価の方法

Your grade in this class will be calculated in the following way:

25% Final TOEIC Test score compared to Initial TOEIC Test score. (70 points higher=25%; 50 points higher=20%; 30 points higher=15%; 10 points higher=10%; no change=5%; a drop=0%).

25% Scores on two Practice Tests. (Practice Test: Much better than previous Test=12%; a little better than previous Test=9%; no better than previous Test=6%; a little worse than previous Test=3%; much worse than previous Test=0%).

25% Completion of homework tasks.

25% Awarded at individual teacher's discretion.

教 科 書

Students will be told by individual teachers if a textbook is required.

そ の 他

REMEMBER: you can get 4 extra credits if you get 530 or over on the real TOEIC test under the 'Kentei shiken' system. (Your teacher will explain more when this course begins).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 概 論 (前期)	おかもと まこと 岡 本 誠	短英1・2選必	4

講義のねらい

英語は言うまでもなく、まずイギリスの言語であったわけで、それは現在でもそうであるわけだが、アメリカを代表とする若い国々の言語ともなり、さらに世界各地で使われるようになってきた。英語を母語とはしていない人までも国際的な場でのコミュニケーションの手段として英語に頼る。分かりやすく言えば、日本と韓国の人でさえ英語でなら話し合えるのだ。つまり、非英語圏での外国語教育のナンバーワンは英語である。言ってみれば、英語という言語は非常に出世したのである。

どうして英語はこのように出世したのであろうか。中学校以来、英語の学習をつい当たり前のようになってしまっているのかもしれないが、なぜだろう、即ち、なぜ英語はかくも世界中で使われるようになったのか、考えてみることは意味のあることであろう。

ところで、その世界のあちこちで使われているという英語がどれもぴったり同じというわけではない。ご先祖のイギリスの地を離れて各々いささか趣を変えている。このことは、社会が言語に影響を与えるという普遍的な側面を窺い知ることができる。

この講義では、上に記した趣旨に従って、国際的な視野で英語という言語を考えてみる。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歴史的区分。インド・ヨーロッパ語と英語の関係。英語が影響を受けることになったブリテン島の対外関係。ノルマン人によるフランス語の影響。ルネサンスと英語との関係。17世紀の英語の自己発見。大英帝国を背景とした英語。アメリカの台頭とその英語。世界各地の英語。英語の方言ならびにその変異種。

履修上の留意点

教科書を使用することもあるが、その際は事前に次のところを読んでおくこと。ケータイは切っておくこと。

成績評価の方法

筆記試験。レポート。小テスト。出席状況。

教 科 書

必要の際に指示する。

参 考 書 等

適宜プリントを配布するが、お金があまっていてどうしても欲しい、という際は次のものが最も網羅的である。

ポー／ケイブル著・永嶋大典他訳『英語史概説』（研究者）2,000円

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
言語と文化 (後期)	岡本 誠 <small>おかもと まこと</small>	短英1・2選必	4

講義のねらい

日本は高 context 文化であると言われる。つまり特定の場面で発話する際、全部を言わずともあとは状況で察してほしいということである。電車をおりた人が駅から電話をかけてきて「今着いたんだけど」と言う。電話を受けた人は「だからなんなのさ？」などとは応じない。「じゃ待って。今車で迎えに行くから」などと言う。これが我々の住んでいる文化である。英語圏で、日本語あるいは日本人の発想で "I'm here at the station" と電話すればそれこそ "What do you mean?" と言われかねない。つまり我々は状況に頼っていてストレートにものを言わない文化の中にいる。

この文化の特徴は直接的に言わずにほめかして、あとは相手に察してほしい、というわけであるから、必然的に目立とうとしないことを多とする。目立つ人は出しゃばりになるのである。ところが欧米ではいい意味で目立つ人が評価されるわけで、ユニークであることはいいことである。他の人と違うからである。出しゃばらない文化では先輩をさしおいてなどという行動はありえない。先輩はたてまつるのである。悲しいかな中学校の部活で既に「先輩」「後輩」の意識はできあがってしまうようだ。しかるに、こういう言い方が英語にはない。彼らはファーストネームで呼び合う You and I are equal の世界にいる。従って英語には敬語がないとよく言われるが、「へりくだり」の言い方はもったない。「愚妻」だとか「豚児」などの語はないのである。

本講義では異文化間コミュニケーションとも相通じる、言語と文化の関係を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この趣旨にそった話題を新聞や雑誌に求め、ディスカッションの場とする。

履修上の留意点

事前に問題点を吟味してくる。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

出席状況。発表状況。レポート提出。小テスト。

教科書

特定の教科書は使わない。

参考書等

適宜教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 英 語 比 較 (後期)	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1・2選必	4

講義のねらい

日本語と英語を比較・対照させることによって、両語の特徴と差異を探る。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の「腰」という言葉と英語の"hip"とは同じであろうか、何故 hips と複数でいうのであろうか、というような語彙レベルでの問題、英語圏の国に手紙を書くとき、どうして番地を先に書いて、町名、国名などを後に書くのか、また英語では主語の次に動詞がきてその後に目的語が来るのに対して、日本語では動詞が目的語の後に来るのはどうしてなのか、というような語順の問題、日本語の敬語に相当するような表現が英語にあるのだろうか、という待遇表現の問題等、様々な「違い」が日英両語の間には存在する。それらを順次取り上げ、両語の特徴を探りながら、英語の表現上の特徴を明らかにしていく。授業は講義形式で行うが、完全な一方通行ではなく、日英両語の特徴と差異について、受講者自らに様々な具体的な例をあげてもらい、ディスカッションもしていく予定。

履修上の留意点

言葉に興味をもっている受講者が望ましい。履修希望者は必ず履修届を出す前に、授業に出て受講許可を受けること。コンピュータを利用するので、受講者は最低限のコンピュータの操作ができることが望ましい。コンピュータの操作ができない受講者は必ず英文科のコンピュータの授業を合わせ受講すること。

成績評価の方法

学期末の試験、レポートの出来映え、特にその独自性と授業への積極的参加と貢献度を勘案して決める。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教 科 書

使用せず。

参 考 書 等

小島義郎 著『日本語の意味 英語の意味』(南雲堂)
 国広 編 『日英語比較講座』全5巻(大修館)
 国広哲哉 著『日英語の比較』(現代英語教育-8)(研究社)
 榎垣 実 著『日英比較表現論』(大修館)
 中石 実 編『日英語比較選書』全10巻(研究社)

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 文 法 論 (前期)	うめ はら とし ひろ 梅 原 敏 弘	短英1・2選必	4

講義のねらい

基本的な文構造の知識の再確認と日本人が特に苦手とする文法項目の克服を主眼とする。

講義の内容・授業スケジュール

ハンドアウトに従って、5文型を中心とした基本的な文構造の批判的再確認を先ず行う。次いで、指定の教科書の中から時制、アスペクト(完了相、進行相)、法助動詞と仮定法、不定詞、冠詞、前置詞等の重要な文法項目もしくは日本人に難しい文法項目を順次取り上げ、解説をし練習問題をこなしていくことにする。

履修上の留意点

数多くの問題練習をやりながら、各文法項目の理解を確実なものにするという方法をとるので、各自、問題練習は全て自分でやってみて、レポートとして提出すること。

成績評価の方法

平常の授業時間内に2~3回テストを行い、その平均点に基づいて成績評価をする。レポートの提出は重視し、レポートを提出しなかった場合、欠席が多い場合にはテストの平均点から減点します。

教 科 書

Raymond Murphy 著 *Grammar in Use* (Cambridge University Press)

参 考 書 等

クワーク著『現代英語文法』(紀伊国屋書店)
 松波 有編『英文法』(大修館)
 正保富三著『英語の冠詞がわかる本』(研究社)
 江川泰一郎著『英文法解説』(金子書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語音声学（後期）	ホワイト, E.	短英1・2選必	4

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究 〔イギリス文学と映画〕(後期)	ひろかわ おさむ 広川 治	短英1・2選必	4

講義のねらい

イギリス文学の作品(小説・劇)を1~3作品ほど取り上げ、原文の抜粋と翻訳を利用し作品を鑑賞する一方で、映画化と比較分析しながら作品を研究していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業で取り上げる作品は、開講時の映像資料の入手状況や、上演、映画公開予定、受講者の知識、関心等を確認してから、その時点で最適なものを授業内で発表するが、候補となるのは以下のような作家作品および映画化である。(選ばれなかった作品も選択レポートの課題対象として授業で紹介する場合がある。)

1. ジェーン・オースティン (Jane Austen, 1775-1817, 小説家)
 - A. 『別れと多感』(*Sense and Sensibility*, 1811) …理性的で分別に富んだ姉と多感で情熱的な妹が主人公。二人の結婚に至るまでの期待と失望、誤解と和解の物語。映画化は1995年の『いつか晴れた日に』(*Sense and Sensibility*: アン・リー監督、エマ・トンプソン、ケイト・ウィンスレット主演)。
 - B. 『高慢と偏見』(*Pride and Prejudice*, 1813) …高慢な性格のために誤解される紳士と第一印象で彼に偏見を抱いてしまう少女の恋愛物語。映画化は1940年の白黒版(ロバート・Z・レナード監督、ローレンス・オリヴィエ、グリア・ガースン主演)もあるが、BBCによるテレビ映画(1995: サイモン・ラングストン監督、コリン・ファース、ジュニファー・エイル主演)の評価が高い。さらに、現代ロンドンのOLのラブ・ストーリー『ブリジット・ジョーンズの日記』(*Bridget Jones's Diary*)も、『高慢と偏見』の現代版と言える。
 - C. 『エマ』(*Emma*, 1816) …人の恋の世話ばかり焼いているエマの失敗や誤解、反省と精神的成長が描かれる。1996年の映画化(ダグラス・マクグラス監督、グウィネス・パルトロウ、ジェレミー・ノーサム主演)と、同じ年のテレビ映画化(ダイヤモンド・ローレンス監督、ケイト・ベッキンセイル、マーク・ストロング主演)を見て、それぞれの原作との違いや共通点を分析するのも興味深い研究となるだろう。『クルーレス』(*Clueless*, 1995)という現代版の映画化もある。
2. チャールズ・ディケンズ (1812-70, 小説家)

『クリスマス・キャロル』(*A Christmas Carol*, 1843) …クリスマスの前夜、強欲で孤独な老人スクルージの前に7年前に死んだ共同経営者の幽霊が現れ、彼に人生の反省を促し、その後スクルージは精霊にみちびかれ、自分の過去・現在・未来を見る旅をする。白黒版(1934, 38, 48)、ミュージカル版(*Scrooge*, 1970)、テレビ版(1984, 99)、現代版(『3人のゴースト』*Scrooged*, 1988)、人形版(『マペットのクリスマス・キャロル』*The Muppet's Christmas Carol*, 1992)など数多くの映画化がある。
3. オスカー・ワイルド (1854-1900, 詩人・小説家・劇作家)
 - A. 『ウィンダミア夫人の扇』(*Lady Windermere's Fan*, 1892) …ロンドンの社交界を舞台にして、一本の華麗な扇を中心にして展開する、ウィットに富んだ会話に満ちた喜劇。1925年の無声映画(エルンスト・ルビッチ監督、ロナルド・コールマン、アイリーン・リッチ主演)のほか、BBCによるテレビ版がある。
 - B. 『理想の夫』(*An Ideal Husband*, 1895) …19世紀の華やかなロンドン社交界の中心にいる夫婦に起こる危機を、しゃれたセリフのやり取りで描く喜劇。映画化に1999年の『理想の結婚』(*An Ideal Husband*: オリバー・パーカー監督、ルパート・エベレット、ケイト・ブランシェット主演)、およびBBCによるテレビ版がある。
 - C. 『まことが大切』(*The Importance of Being Earnest*, 1895) …"Ernest"という名前の男性にここがれる女性二人のハートを獲ようと奮闘努力するおかしな二人の喜劇で、巧みな状況設定と逆説に満ちたセリフにあふれたイギリス喜劇の名作中の名作。映画化は1952年の名演にあふれた作品(アンソニー・アスキス監督、マイケル・レッドグレーヴ、イーディス・エバンス主演)、遊び心にみちた2002年の新作(オリバー・パーカー監督、コリン・ファース、ジュディ・デンチ主演)、BBCによるテレビ版がある。
4. ガズオ・イシグロ (1954-, 小説家)

『日の名残り』(*The Remains of the Day*, 1989) …人生の終わりに近づいた老執事の回想と悔悟の物語。作者のイシグロは、5歳の時に家族と共に渡英。日本語よりも英語に堪能で、完璧な英語の文学の書き手である。『丘の淡い眺め』(*A Pale View of Hills*, 82)、『浮世の画家』(*An Artist of the Floating World*, 86)という二編の日本を舞台にした小説の後に書かれ、極めて英国的な世界が描かれている。1993年の映画化(ジェイムズ・アイヴォリー監督、アンソニー・ホプキンス、エマ・トンプソン主演)がある。

履修上の留意点

遅刻は欠席扱いにする。授業中の集中度、参加度、積極性、発表、発言を重視して評価の対象にするので、毎時間が勝負の授業となる。

成績評価の方法

出席などの平常点、レポート、テストを総合して成績評価を出す。

教科書

原文、シナリオの抜粋はプリント配布する。翻訳の購入については授業内で指示する。

参考書等

野町二、荒井良雄（著）、広川治、逢見明久（増補）『イギリス文学案内』（朝日出版社）4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究 〔世紀末文学〕(前期)	たき 滝 せい 静 じゆ 寿	短英1・2選必	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの作品を中心に、世紀末の文芸を考えてみる。童話や戯曲を中心に輪読し、ワイルドの文体をも研究する。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式で行う。毎時間、議長と書記を選び、討論しながら進めていく。
 ○世紀末文芸と概観。ワイルドについて、作品鑑賞（童話を中心に）。
 ○戯曲『サロメ』の輪読。世紀末画家（ピアズレーを中心に）について。
 ビデオで、バーコフの『サロメ』鑑賞。小説『ドリアン・グレイの画像』福田恒存訳を一部原文と比較しながら輪読しワイルドの芸術観への導入。

履修上の留意点

必ず予習し、積極的に意見や考えを述べることを義務づける。テーマを割り当て、研究発表を行う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、前後期レポート等の総合評価。

教科書

O. Wilde: *The Happy Prince and Other Tales* (北星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品作家研究 〔20世紀アメリカ小説〕(後期)	よし 吉 ざわ 沢 えいじろう 栄治郎	短英1・2選必	4

講義のねらい

原文で作品を読み、自分なりに感想をまとめてみるとよい。原文のこと故、すばやく意味をとらえられないかも知れないが、想像をたくましゅうして、辞典を何遍も引いて、情況を描いてみる努力をされたし。

履修上の留意点

英和辞典、必携のこと。

成績評価の方法

2回ないし3回のテストを行ないます。(出席に留意のこと)

教科書

教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 作 家 研 究 〔19世紀英文学〕(前期)	たかのひでお夫 高野秀夫	短英1・2選必	4

講義のねらい

英国では英文学の入門書となっている「サイラス・マーナー」の作品を読む。その著者、ジョージ・エリオットがなぜ19世紀英文学において特異な存在になったのかを考える。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書

神への信仰を失い、親友、恋人そして仲間にも裏切られた主人公、サイラス・マーナーは、住み慣れた都会からラヴィロー村に移る。金を貯めることが人生の唯一の楽しみになり、ついに、天涯孤独な守銭奴となる。16年後その金が盗まれ、再び絶望の淵をさ迷う。その時、たまたま、迷い児、エッピーが家に転がり込んで来る。サイラスはその児を育てながら、美しい自然のなかで暮らす村人の温かな心に触れ、生きることの素晴らしさを知る。そして可愛い娘に成長したエッピーと幸せに暮らす。

この物語を原書で読み、他の作品の物語も言及する。登場人物の様々な問題点（孤独、神、偶然等）を採り挙げ、ジョージ・エリオット文学への扉を開く。

口頭発表

各自が課題を決めて20分程度でまとめる。

履修上の留意点

主要な19世紀英国作家の作品に触れ、絶えず文学とは何かを考える機会を多く持つこと。

成績評価の方法

(1) 口頭発表 (2) レポート (3) 7枚程度の論文

教 科 書

(1) George Eliot: *Silas Marner*
(2) プリント

科目名	担当者名	配当学科	単 位
作品作家研究 〔アメリカ20世紀文学〕(前期)	湯 浅 陽 子 <small>ゆ あさ よう こ</small>	短英1・2選必	4

講義のねらい

今から100年前にアメリカのミネソタ州セントポール市に生まれ、1920年～1930年代に活躍した Francis Scott Key Fitzgerald の『The Great Gatsby』を読む。フィッツジェラルドは44歳で死んだ短命な作家である。

第一次世界大戦後の狂騒的な好況の1920年代とあまりにも密着していたところに、この作家の華々しいスタートと成功の、ひいては1929年の大恐慌を経た後の30年代における閉却と不遇の原因を求めるのが今日のほぼ通説と見てよいかもかもしれない。

正味10年程の短い活動期を自分の夢を追いかけて駆け抜けていった男に「アメリカの夢」を重ね合わせる人も多い。

いま若い女性に人気のある村上春樹氏も実は相当フィッツジェラルドに傾倒していることを知っている人も少なくないことだろう。また、本木雅広演ずる某男性化粧品会社のCMに出てくる化粧品の名前もたしか"Gatsby"だった。不景気な世の中だからこそ、この名前には彷彿としたものを感じさせる何かがあるのだろうか。作品を通してそれが何であるかを感じとってほしい。

英
文
科

講義の内容・
授業スケジュール

4月	映画に描かれている The Great Gatsby 鑑賞
5月	発表 第1章 19ページ
	第2章 14ページ
	第3章 19ページ
	第4・5章 33ページ
6月	発表 第6章 13ページ
	第7章 31ページ
	第8章 15ページ
	第9章 17ページ

7月 レポート提出 Fitzgerald と作品および家族、作品のテーマ、人生観、女性観について等。なお、試験もあり得る。

履修上の留意点

『The Great Gatsby』は中編小説だが、全章読破するとなると中々大変である。テキストは発表形式で読み進める。受講者は幾つかのグループに分かれ、そのメンバーで自分たちの担当する章を決めたうえで、分担して発表する。

発表は次の要領で行う：

1. 担当した部分の Reading、(文章が把握できているかどうかを読み方で判る)
2. その部分の要約、
3. 調べて気がついた注目すべき／難解な英語表現、
4. その部分にまつわるエピソード等、調べてわかった周辺の事柄、
5. その他

成績評価の方法

毎回の出席および発表評価表への記入姿勢に見られる授業への参加度 (35%)、何回か回ってくる発表の為の準備度平均点 (25%)、宿題レポート (15%)、最終試験結果 (25%) の総合で評価する。

教科書

F. Scott Fitzgerald: *The Great Gatsby* (英潮社 Penguin Book)

参考書等

野崎孝編『20世紀英米文学案内-7-F. Scott Fitzgerald』(研究社)
 小堀用一朗著『スコット・フィッツジェラルド-人と作品-』(弓書房)
 ナンシー・ミルフォード著 大橋吉之輔訳 『ゼルダ-愛と狂気の生涯』(新潮社)
Fitzgerald's The Great Gatsby - The Novel, The Critics, The Background Henry Dan Piper 著 (Charles Scribners)

その他

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行う。その際は第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行する。受講許可書を受理した者のみ、履修登録をすることができる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
米文学演習（後期）	ギャリソン, J. G.	短英1・2選必	4

講義のねらい

The literature, art and music of the Harlem Renaissance during the 1920s, how they reflect the social changes brought about by World War I, Industrialization, the Great Migration and the search by Black Americans for their African roots. The poetry, novels and short stories of Langston Hughes, Claude McKay, Countee Cullen, Jean Toomer and James Weldon Johnson will be introduced in order to present an overview of prevailing literary and social trends in America and encourage a deeper understanding of the forces at work forging racial identity and pride among African-Americans during the period.

講義の内容・授業スケジュール

Introductory comments on American culture and slavery, followed by discussion of the social, cultural and literary trends in America during the early 1900s. Reading, discussion and analysis of selected authors, both Black and White, whose works are available in Japanese translation. Limited reading in English. Participation in seminar discussions and scheduled group and individual presentations on subjects and authors assigned upon consultation with instructor.

履修上の留意点

There will be no retests; term papers, however, may be rewritten within certain time limits. Computer and internet skills required.

成績評価の方法

Completion of assignments, class participation and presentations (50%) and either one 7-10 page research paper (50%) on an author or artist selected by the student in consultation with the instructor or a final Exam (50%).

教科書

Steven Watson 著 *The Harlem Renaissance: Hub of African-American Culture, 1920-1930*, (Pantheon Books, New York) 1995

参考書等

None

その他

Sophomores will be given preference in admission.
Completion of 20世紀アメリカ文学 or アメリカ演劇 required.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
20世紀イギリス文学 （前期）	たかのひでお夫 高野秀夫	短英1・2選必	4

講義のねらい

- (1) Natural Speed で英語の聞く能力を高める。
- (2) 教科書：
19世紀には、偉大な女流作家が英文学史上に次々に登場した。男性優位の甚だしい社会の陰で、女性弱者の立場から自らの文学をこつこつ築き上げて、英文学をより一層豊かなものにした。その伝統をしっかり受け継いで、現代に生きる人の心を魅了し続けている20世紀の新しいタイプの女流小説家、20世紀英国文壇の旗手ヴァージニア・ウルフの作品を読む。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 20世紀英国小説の“意識の流れ”の作家、ウルフの作品理解に努める。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

研究発表、筆記試験、平常点（出席、レポート等）

教科書

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
20世紀アメリカ文学 (前期)	ギャリソン, J. G.	短英1・2選必	4

講義のねらい

A survey course introducing the student to American literature in the 20th Century and the problems, approaches and styles characteristic of each age and genre from the early 1900s to the late 1990s.

講義の内容・
授業スケジュール

[Lesson content may vary somewhat from scheduled lesson plan as result of holidays, class cancellations and the need to spend more or less time on certain subjects.]

20世紀アメリカ文学の展望を講義しながら自然主義やリアリズムからエスニック文学、そしてミニマリズムまで代表的な作品を翻訳文で読んでディスカッションを行う。

- 4月 2週 Introduction and explanation of syllabus.
3週 Naturalism and Realism Part I: Stephen Crane's "The Open Boat" & Jack London's "To Build a Fire"
4週 Naturalism and Realism Part II: Theodore Dreiser's *An American Tragedy* (Film)
- 5月 2週 The Roaring Twenties: Riot and Riches, Scott Fitzgerald's *The Great Gatsby* (Film)
3週 The "Other America" The Harlem Renaissance: Langston Hughes, Claude McKay & Countee Cullen
4週 William Faulkner's "A Rose for Emily"
- 6月 1週 The Lost Generation: Ernest Hemingway's "The Killers," & *Old Man and the Sea*
2週 The Great Depression: John Steinbeck's *Of Mice and Men* (Film)
3週 Language, Sex and Censorship: Henry Miller's *Tropic of Cancer* (exerpts): The Beats: Allen Ginsberg's "Howl" & Jack Kerouac's *On the Road*
4週 Black Women Writers: Alice Walker's *The Color Purple* (Film)
- 7月 1週 Post Modernism and Minimalism: short stories by Raymond Carver and Richard Ford
2週 スケジュール調整 (or Test)
3週 スケジュール調整 (or Test)

履修上の留意点

There will be no retests.

成績評価の方法

Grades will be based on one in-class presentation on the works of an author selected in consultation with the instructor (30%), one short (3-5 page) paper on a subject assigned by the instructor (40%) and class participation (20%).

教科書

Selected novels, collections of poetry and short stories in translation (to be announced).

参考書等

None

その他

Nothing

科目名	担当者名	配当学科	単 位
戯曲研究 (前期)	ひろ <small>かわ</small> 広川 <small>おさむ</small> 治	短英1・2選必	4

講義のねらい

イギリス演劇の名作戯曲より1~3作品を選び、原文の抜粋と翻訳を利用し、作品を鑑賞する一方で、映画化と比較分析しながら授業を進めていきたい。その他、レポートとして英米演劇の翻訳（あるいは原語）上演の観劇レポートの課題を重視する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業で取り上げる作品は、開講時の映像資料の入手状況、上演、映画公開予定、受講者の知識、関心などを確認してから、その時点で最適なものを授業内で発表するが、候補となるのは以下のような作家作品および映画化である。(選ばれなかった作品も、選択レポートの課題の対象作品として紹介する場合がある。)

1. ウィリアム・シェイクスピア：『から騒ぎ』、『ヘンリー四世』、『冬物語』
2. オスカー・ワイルド：『ウィンダミア夫人の扇』、『理想の夫』、『まことが大切』
3. ロバート・ボルト：『すべての季節の男』
4. テレンス・ラティガン：『ウインズロー家の少年』、『銘々のテーブル』
5. ピーター・シェファール：『フォロ・ミー』、『エクウス』、『アマデウス』

履修上の留意点

遅刻は欠席扱いにする。授業中の集中度、参加度、積極性、発表、発言を重視するので、毎時間が勝負の授業となる。

成績評価の方法

出席などの平常点、レポート、テストを総合して成績評価する。

教科書

原文、シナリオからの抜粋はプリント配布する。翻訳の購入は授業内に指示する。

参考書等

野町二、荒井良雄（著）、広川治、逢見明久（増補）、『イギリス文学案内』（朝日出版社 4800円）

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英米文学講読 (後期)	アントニー, B.	短英1・2選必	2

講義のねらい

The central aim of this course is to help students improve their reading comprehension and to expand their functional vocabulary, yet we will also learn to translate and to write summaries of the works read.

講義の内容・
授業スケジュール

We will begin by reading selections from the Harry Potter books, but I hope we will cover a broad range of materials, consisting of short stories, essays, poetry and song lyrics.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the reading assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but will also result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance 25%
Participation (Answering Questions, Reading Assignments) 25%
Notebook Folders (Vocabulary lists, Summaries, etc.) 25%
Final Test 25%

教科書

No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.

参考書等

Students are required to bring both an English-Japanese dictionary and their notebook folders with them to each class.

その他

The class will be conducted bilingually.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	高野秀夫	短英1・2選必	2

講義のねらい

- (1) Natural Speed で、テープの英語を聞き取る。英語の質疑応答で教科書の内容を把握し、英語の基本構文を理解する。
- (2) 教科書「クリスマス・キャロル」はいわゆるクリスマスの読物のなかでとりわけ有名な作品である。特に、冷酷な主人公が、亡霊に導かれてやさしい人間に生まれ変わる心の動きに注目しながら読み進め、様々な視点からディケンズ文学の理解を図り、英文学の面白さに迫る。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) テープの英語
- (2) 教科書を逐字訳しながら、内容、文構造の基本理解を図り、英国文学の知識を広げる。

履修上の留意点

英語の質疑応答があるので予習は欠かさないこと。

成績評価の方法

期末筆記試験、平常点(発表、出席、レポート)

教科書

- (1) Charles Dickens: *A Christmas Carol*
- (2) プリント

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	滝 静 寿	短英1・2選必	2

講義のねらい

旧約聖書の『創世記』を輪読し、西洋文化の根底をなす世界観に接し、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の違いを概観してみる。平易な英語で書かれているので、速読に馴れることを目的にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 『聖書』、『聖書物語』について
- 「創世記」“天地創造”から“バベルの塔”まで
- “ノアの箱舟”
- “天地創造”のビデオ鑑賞
- “アブラハム”
- “ソドム”
- “イサク”
- “ヨセフ”から“モーゼの十戒”(出エジプト記)への導入と、ビデオ鑑賞
- 全体のまとめ

履修上の留意点

教員のみでなく学生からも常に問題を提起し、読むだけでなく、各ストーリーにもられた意味等を考えながら進めていく。

必ず予習し、積極的な意見の発表を義務づける。予習しない者は入室を拒否する。

成績評価の方法

授業を進めていく過程での平常点、出席率、小テスト、学年末テスト等の総合評価。

教科書

The Story Bible by Pearl S. Buck Vol. 1 (英宝社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文学講読(後期)	湯 浅 陽 子	短英1・2選必	2

講義のねらい

“Lost Generation”という単語を聞いたことがあるだろうか。これは、アーネスト・ヘミングウェイ(1899~1961)が、最初の長編*The Sun Also Rises*の扉にガートルード・スタイン(1874~1946)の言葉として掲げた「あなた方はみんな失われた世代よ」という一句から取られたものである。そして、これはスタインが第一次世界大戦後のパリで、自分の周辺に集まってきた若い芸術家たちに向かって言った文句と考えられ、失われた世代とは戦後の社会的混乱の中で生活の指針を失ってさ迷っている若い世代を表す言葉と解釈されている。文学史上ではその世代に属するF・スコット・フィッツジェラルド(1896~1940)、ジョン・ドス・パソス(1896~1970)、ウィリアム・フォークナー(1897~1962)、ヘミングウェイといった、第一次世界大戦後に輩出した一群の作家たちを総称する言葉とされてきた。

その世代の中から、ヘミングウェイの*A Farewell to Arms*(武器よさらば)を読む。ヘミングウェイは、フォークナーとならんで、20世紀アメリカ文学界の巨星であった。そして、この彼の代表作*A Farewell to Arms*は、20世紀アメリカ文学の古典として既に定評がある。その意味でこの作品は20世紀アメリカ文学を知る上に欠くべからざるものであり、何よりもまず読むべき好個の入門書である。アメリカを代表する偉大な作家でありながら、ヘミングウェイは必ずしもアメリカを描いた作家とは言えず、むしろヨーロッパを、スペインをそしてアフリカを書いた。そうした所を舞台に、彼は暴力に打ちひしがれ、絶望する人間を書いた。そして、その絶望から立ち上がろうと必死にもがきながらも、絶望を見事に克服し、忍耐と勇気を持つ逞しい人間を描いた。人一倍生きることと死ぬことを直視したヘミングウェイの作品に触れてみて欲しい。

英文科

講義の内容・授業スケジュール

9月	映画に描かれている <i>A Farewell to Arms</i> 鑑賞
10月	<i>Book One</i> 第1章~第12章 <i>Book Two</i> 第13章~第24章
11月	<i>Book Three</i> 第14章~第32章 <i>Book Four</i> 第33章~第37章
12月	<i>Book Five</i> 第38章~第40章

履修上の留意点

テキストに入る前に受講者をグループに分け、分担して発表してもらう。発表は次の要領で行う：担当した部分の*Reading*、(文章が把握できているかどうか、単語の意味を辞書で調べたかどうかが読み方で判る)その部分の要約、気がついた注目すべき/難解な英語表現、その部分に関係する作家のエピソード等調べてわかった周辺の事柄、その他自分の感想等。

万が一自分の発表の日に欠席すると、所属するグループ全体の責任となり、他のメンバーがその部分の穴埋めをしなければならない。発表者はメンバーの迷惑をかけないように注意してもらいたい。したがって、グループ間の連絡を密にしておく必要があることは言うまでもないが、万が一の場合に備えて、自分の担当の前後についても一応準備しておくことよ。なお、発表日に休むと本人の大きな減点になるだけでなく、その部分をメンバーがカバーできなかった場合はメンバーも減点になる。その意味で発表はグループの連帯責任なのである。

発表以外の人は担当者の発表をよく聴き、発表終了後に質問事項と発表に関する評価を所定用紙に記入し提出する。発表に関するこのコメント用紙への記入の仕方が、発表者以外の人の授業への参加度点として評価の対象になるので、発表者でないからといって気を抜かないでほしい。

成績評価の方法

毎回の出席および質問等を含めた授業への参加度(25%)、何回か回ってくる発表の為の準備度平均点(25%)、宿題レポート(25%)、最終試験結果(25%)の総合で評価する。

教科書

Ernest Hemingway: A Farewell to Arms (英潮社 Penguin Books)

参考書等

佐伯彰一編『20世紀英米文学案内-15-Ernest Hemingway』(研究社)
石 一郎著『アーネスト・ヘミングウェイ研究』(南雲堂)
中島顕治著『ヘミングウェイの考え方と生き方』(弓書房)
E. L. アレン著 藤久ミネ訳『オンリー・イエスタディー1920年代・アメリカ』(研究社叢書)

その他

後期の授業でも、前期履修登録前に受講者数の確認を行ないたい。前期同時限の「作品作家研究」第1回目の授業時に、併せてこの「英米文学講読(英文講読)」について受講希望者には受講願書を提出してもらうことにする。その時間に他の科目に出席していて、「作品作家研究」の教場に来れない場合は、その日のうちに短大英文科事務室まで来て、受講許可願書を提出してもらいたい。また、受講予定していたが、後期になって受講を取り消す場合もあり得るであろう。その際も、短大英文科事務室に来て、受講取り消しの旨を伝えていただきたい。そ

うしないと、グループ分けに支障を来してしまうからである。これは最低限の礼を尽くす挨拶というものである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
聖書研究	みずしまようこ 水島陽子	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

講義のねらい

言うまでもなく、聖書をぬきにして西洋文明は語れず、また、日本を含む様々な非キリスト教文化圏においてもその影響は多大かつ複雑である。永遠のベストセラーと呼ばれるこの書物は、ありとあらゆる言語に翻訳され、人々の信仰を支えると同時に、キリスト教とキリスト教文化を知るための最も有効な手掛りのひとつとなっている。ここでは日本語訳聖書を実際に読み進めながら、その意味、構造、歴史的背景などを理解し、さらに、英文学をはじめとする数々の文学、音楽、美術などに親しく触れながら、それらの中に聖書との関係を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……主として旧約聖書について
(天地創造、アダムとイヴ、ノア、アブラハム、モーセ、ダビデ、ソロモン、詩篇、預言書など)
後期……主として新約聖書について
(福音書とたとえ話、イエスの生涯、パウロ書簡など)

履修上の留意点

1限の授業なので、年間を通して遅刻・欠席のないように。
いかにベストセラーといえども、聖書を「読む」のは骨が折れる。授業でも紹介するが、いわゆる「聖書物語」を読むことで予備知識をつけておくとわかりやすいであろう。何より望まれるのは授業への積極的な参加である。各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、意見・感想を述べたりコメントを書いたりしてもらおう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

レポート・出席重視

教科書

『新共同訳聖書』(日本聖書協会編)

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋古典文学	みずしまようこ 水島陽子	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

講義のねらい

二千年をはるかに超える昔、ギリシアに花開いた文化は西洋文化の源流の一端となって、今もなお多様な形でその消息をたどることができる。文学・哲学・歴史、その他人間のあらゆる文化的営みの原型がギリシアにあると言っても、過言ではないだろう。

そのギリシアの、自他ともに認める後継者となったのは、古代ローマ人であった。本講義では、ギリシア文化とローマ文化の差異に留意しつつ、両文化の神話の集大成である、ローマ人オウィディウスの『転身物語』を読む。その中で、数々のエピソードの原型と、後代への影響を確認していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期……神話と詩人
『転身物語』(上)
後期……ギリシア文化とローマ文化
『転身物語』(下)

履修上の留意点

テキストに必ず目を通しておくこと。受講人数によっては個々に発表してもらおうかもしれない。また、各授業の中で得た知識等について必ずフィードバックし、コメントを書いてもらう予定である。そのことが、次のステップへの学生側からの貢献となることを期待している。

成績評価の方法

発表・筆記試験及びレポート

教科書

オウィディウス『転身物語』(上・下)(岩波文庫)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス史(後期)	ランドルフ, M.	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文化事情(前期)	モエ, R. A.	短英1・2選必(一類) 短英1・2選(二類)	4

講義のねらい

To provide a comprehensive understanding of American culture by examining major components and influences that determine it.

講義の内容・
授業スケジュール

The course will begin with an examination and discussion of "culture" and then using the definition obtained from that discussion, elements of American culture will be analyzed and discussed, and comparisons will also be made to Japan.

履修上の留意点

The course will be conducted as a discussion so it will be imperative that students participate actively.

成績評価の方法

The following formula is used to determine the final grade.

$$((100 - 10X - 5Y) + 2Z) / 3 + \alpha = \text{final grade}$$

X=number of unexcused absences

Y=number of unexcused times tardy

Z=average of tests and reports

α =adjustments made by teacher

If a student is unavoidably late to class, or has a legitimate reason for being late, she must immediately notify the teacher her reason for being late. In the case of tardiness caused by delayed trains, the student must obtain a notice from the train station and then submit it to the teacher. The final grade is the grade that the student will receive at the end of the course.

教 科 書

There is no specified textbook for this class so students are free to use any reference materials and resources at their disposal. Use of the Internet is especially encouraged.

参 考 書 等

Students may bring dictionaries to class. Students should bring notebooks to class.

そ の 他

Students should either talk to their teacher or to Prof. Moe about any question or concerns they have regarding this course. Scores will be posted regularly outside the office of the English Department.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 (前期)	おか もと まこと 岡 本 誠	短英2選必	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば"Current English"ということになるのか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分を lead という。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞や Newsweek などの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

『時事英語講座』(研究社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 〔英語音声の基礎〕(前期)	おか もと まこと 岡 本 誠	短英2選必	4

講義のねらい

英語音声の認識をディクテーションの手法で行なう。英語を聴いて、それを正確に書き上げるという作業はその人の実力をずばりと表す。例の "r"音と "l"音の認識といったレベルにとどまらず、ここで文が完結したな、じゃここでピリオドを打って次が文頭になるな、などといったイントネーションのレベルに至るまで幅広く力量が要求されるからである。TOEFL500点以上、TOEIC700点以上を達成したい人はどうぞ。

講義の内容・授業スケジュール

聴く英語の内容は慣用語句の成立背景を説明したもの。同じ聴いて書くならば、面白くてためになるものが多い。例えば、アメリカでは「近所の人と生活振りを張りあう、世間に遅れをとらないようにする」ということを "to keep up with the Joneses" と言う。また、もともとは人物の名前(実在の市長さん)であったのだが "maverick" は「一匹狼」の意味で現在は用いられている。こういう表現の成立をついでに知って、自分達も使いこなそう、という意図でもある。

履修上の留意点

遅刻して物音をたてながら入ってくるは迷惑至極。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。そういう授業なのである。

成績評価の方法

小テスト。発表情況。出席情況。

教 科 書

教科書は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 〔シャーロックホームズ〕(後期)	滝 静 寿 <small>たき せい しゅ</small>	短英2選必	4

講義のねらい

推理小説の古典『シャーロック・ホームズ』ものの中から1篇を、受講者の希望を考慮して選び、輪読し、推理しながら当時のロンドンの風俗やイギリス人気質など研究する。

講義の内容・授業スケジュール

輪読しながら、ロンドンを中心に地図をもとにしながら、推理過程における町や鉄道の様子、生活状況を研究していく。2、3篇の作品をビデオ鑑賞する予定。

履修上の留意点

必ず予習し、時間中は積極的に意見や考えを述べることを義務づける。また他の全作品を日本語訳で必ず読んで貰う。

成績評価の方法

輪読を進めていく過程での平常点、出席率、学年末のペーパー・テスト等による総合評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語演習 〔ボキャビュラリービルディング〕(前期)	梅原 敏 弘 <small>うめ はら とし ひろ</small>	短英2選必	4

英
文
科

講義のねらい

英文読解の基礎は単語と文法と文脈を読む力にある。文法は高校までの文法がしっかりしていれば日常の読書には殆ど問題はない。文脈を読む力は単語力に左右される。要するに問題は単語である。辞書を引き引き1時間かけて1ページ読むというのでは、実用的な読書にはほど遠い。こうした読書をせざるをえないのは単語を知らないからである。実用的な読書をするためには、単語力の増強が不可欠である。とはいっても、英語の単語の数は膨大であるし、覚えなくてはいけない単語の数は気が遠くなるほど多い。特に読書の際に必要な長音節語は、会話の際頻出する基本語に比べて出現頻度も高くなく、読書をしながら覚えていくにしても、あまり効率よく覚えられない。そこでどうしたら効率よく単語を覚えるかが問題となる。本演習では、効果的単語力増強の一方法として語源を利用することとし、実際に語源を使って語彙を増やしながら、語源を使った単語力増強法を身につけてもらう。また、単語力の増強を図りながら、一言一句細かく英文を読みながら正確に英文を読み取ることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

新聞や雑誌の記事、ちょっとしたストーリーや逸話など、異なった種類の英文を取り上げ、まずそれらを綿密に読む。その後で、その中で使われている単語の中から語源的に興味ある単語を抽出して、語根、接頭語、接尾語を中心とした語源的観点から当該単語の意味を解説する。次いで同じ語根、接頭語、接尾語を持つ関連語を教師が受講生に提示し、それらの意味・用法を説明する。時には受講生自ら辞書を使い、教師のヒントをもとに関連語を探し出し、簡単な語源的記述をして、教師の用意した例文を読んで、実際に文の中でどのように当該単語が使われるかを観察することもある。一つの記事もしくはストーリーが終わるごとに小テストをして、扱った単語の記憶を図る。

履修上の留意点

単語力をつけるためには普段からの努力の積み重ねが必要である。そうした努力を厭わない受講者が望ましい。授業ではパソコンを使うので、受講者はコンピュータの授業を履修するか、履修はしなくてもワープロソフトを使えることが必要となります。パソコンの台数に限りがあるので、受講希望者は必ず第1回日の授業に出席すること。

成績評価の方法

主に、授業時間中に頻繁に行う小テストの合計点で成績判定をする。

教科書

使用しない。ハンドアウトを配る。

参考書等

小川芳男 編『ハンディ語源英和辞典』(有精堂)
渡部昇一 著『英語の語源』(講談社現代新書)
梅田修 著『英語の語源物語』(大修館書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 [時事英語へのアプローチ](前期)	よし ざわ えいじろう 吉 沢 栄治郎	短英2選必	4

講義のねらい	時事文を訳読していきます。読んだ文を聞いて書取ってみます。 AFN (American Forces Network = ラジオ 810) を活用するとよい。
履修上の留意点	英和辞典を携帯のこと。
成績評価の方法	2回ないし3回のテストを行ないます。(出席に留意のこと)
教 科 書	使用しない。
参 考 書 等	『プログレッシブ英和中辞典』(小学館)

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 [センテンスの構造](後期)	アントニー, B	短英2選必	4

講義のねらい	The aim of this class is to improve students' ability to express themselves in writing. We will learn three types of composition 1) personal--keeping a diary and writing letters ; 2) formal--writing reports and opinion papers ; 3) creative--short stories and poetry. We will make use of audio-visual materials to gather themes for writing.
講義の内容・授業スケジュール	Taking up the themes of "Life as it should be" and creativity, innocence and wisdom, etc., students will watch the assigned movies on a weekly basis and write their reactions in a journal. After learning the characteristics and elements of the three types of composition, students will be expected to develop their writing journal over the entire semester.
履修上の留意点	Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade.
成績評価の方法	Attendance 25% In-class Participation and writing journals 50% Final Report 25%
教 科 書	No textbook will be used in this course. Teaching materials will be copied and provided by the instructor.
参 考 書 等	Students are required to bring their writing journals with them to each class and a Japanese-English dictionary is recommended.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 演 習 〔英語表現〕(前期)	アントニー, B	短英2選必	4

講義のねらい

The aim of this course is to improve students ability to not only converse in English but to express ideas and voice opinions. We will make use of both audio-visual and written materials to stimulate discussion.

講義の内容・
授業スケジュール

Taking up the themes of love and respect, dreams and courage, etc., students will watch the assigned movies on a weekly basis, write short essays based on their reactions and then we will need to talk about and correct their papers in forum discussion. Also in class we will review brief sections of the movies to better understand the language and concepts involved.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to be punctual. While valid excuses will be accepted, unexcused absences and tardiness will be reflected in one's final grade. Additionally, since the assignments will be discussed orally in class, shyness will not only be an obstacle to participation, but also will result in a poorer grade.

成績評価の方法

Attendance 25%
In-class Participation (Discussion, Questions, Editing) 25%
Homework (Writing Assignments, Opinion Papers) 25%
Final Speech 25%

教 科 書

No textbook will be used in this course.

参 考 書 等

Students are recommended to bring a Japanese-English dictionary and prepare notes for discussion.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語表現（前期）	梅原敏弘 <small>うめ はら とし ひろ</small>	短英2選必	4

講義のねらい

英語で自分の意志を表現するための基礎力の養成を目指す。具体的には、まず第一に基本的な英語表現をセンテンス単位で完全に覚え込み、それを使いこなせるようにする。第二にはテープを反復練習することによって英語の音声に慣れ、基礎的な英語聴解力を養うと同時に、英語の音声・特にリズムの基礎を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

受講者はあらかじめ家でテープに録音された英語のセンテンスを聴き、それをノートに書き写しておく。毎回15センテンス程度。そして教室でその結果をコンピューターに入力し、教師から正答を聞き、聞き取れなかった単語を補い、また誤って聞き取ってしまった単語を訂正する。その際、各々の表現について語法上の注意点及び聞き取れなかった箇所の音声上の問題点につき説明をうける。その後でテープを使って各々のセンテンスの反復練習をおこなう。限られた授業時間では反復練習は十分におこなうことが出来ないの、家で十分に反復練習することが求められる。

毎回、授業は前回の授業で習った文を完全に覚え込んでいるかどうかを確認することから始まる。この際、テープの後についてよどみなく且つ正しい英語のリズムで英文を言うことが出来るかどうかには注意が払われる。その後で、各々の表現を使った英問英答練習及び口頭英作文の練習をおこなう。

履修上の留意点

コンピューターを利用するので、受講者は最低限のコンピューターの操作ができることが望ましい。コンピューターの操作ができない受講者は必ず英文科のコンピューターの授業を合わせ受講すること。受講希望者は第1回目の授業に出席し、説明を聞き、第2回目の授業のときに履修するかどうかをはっきりさせてください。講義の説明を受けないで、履修届を出すことはやめること。

成績評価の方法

毎回授業の最初におこなうテープを使った再現練習の出来具合、学期の半ば及び終了時におこなう試験の結果及び出席を総合的に勘案して成績評価をする。出欠席は重視する。

教科書

テキストは使わない。

参考書等

東後勝明『英会話のリズムとイントネーション』（金星堂）

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (後期)	おかもと まこと 岡 本 誠	短英2選必	4

講義のねらい

英語が話せるようになりたいと願う人は多い。しかし、いきなり話せるようになるものではない。聴く力がまず備わることが前提になっている。つまり listening comprehension の力なくして話せるようにはならない。これは真理である。この講義ではリスニングの力を養い、それをいかに発話に結びつけていくか、つまり、いかに英語で表現してみるか、ということに力点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

- 聴く対象としてはアメリカに関する面白そうな話題を用意している。例えば
- ・アメリカへの移民の歴史
 - ・入植者と先住民の対立
 - ・黒人の苦勞
 - ・Fast food の文化と健康の問題
 - ・Walt Disney とその事業
 - ・Hawaii の歴史
 - etc.

履修上の留意点

こういった話題のテープをダビングし、まず自分で下見ならぬ下聴きをし、授業に臨む。話の展開に応じての英語による質問に英語で答えることが要求される。遅刻は物音をたてるので減点の対象。ケータイを鳴らした者には単位を与えない。

成績評価の方法

発表力。出席情況。

教科書

教科書の類は使用しない。

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (後期)	たかのひでお 高 野 秀 夫	短英2選必	4

講義のねらい

英作文の教科書と英語ニュースで英語表現能力を高め、平易な英語で自由に自分の意思を伝えることができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 各授業時間一つのニュースを Natural Speed の英語で聞き、その役立つ英語表現で自由に英文を作る練習を重ねる。
- (2) 教科書に従って授業計画を立てているので、教科書参照。
- (3) A Short Speech は身近な話題を自分の英語で表現する

履修上の留意点

- (1) 出来るだけ Natural Speed の生の英語に慣れ親しむこと。
- (2) 一日 30 分間でよいから自分の思ったことを英語で書き表してみる。

成績評価の方法

- (1) レポート
- (2) 中間・期末各 1 回テスト
 - (a) 英語ニュース
 - (b) 教科書の英作文
 - (c) 自由英作文
- (3) 平常点

教科書

- (1) *Unique English Composition (Vol I・II)*
- (2) *TV News Watching・21 Approaches*

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (前期)	たき せい じゆ 滝 静 寿	短英2選必	4

講義のねらい

日本の文学作品が多数英訳され、世界中で読まれている。しかし日本の伝統ある文化がどのように伝えられているだろうか。必ずしも適正に伝達されているとは思えない。翻訳者の優劣もさることながら、他国語に移しかえることは大変難しい。文学作品なら更に困難な問題が山積している。この授業では、名訳とされている作品の一部を取り上げ、原典と比較して、言葉の違いが理解、鑑賞する上でどのような影響をおよぼすか研究する。

講義の内容・授業スケジュール

最初に、世界の古典『源氏物語』を取り上げ、二、三の現代日本語訳を比較し、英訳ではウェーリー、サイデンスティフカー等の訳を検討する。その他漱石、川端の作品、短歌、俳句等研究する。

履修上の留意点

英語のみならず、日本語の学習を充分することを要求する。

成績評価の方法

定期テスト 60 点、出欠 20 点、平常点 20 点で評価する。

教科書

すべて配布プリントによる。

その他

積極的に意見発表することが肝要。

英
文
科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 表 現 (後期)	よし ざわ えいじろう 吉 沢 栄治郎	短英2選必	4

講義のねらい

基本本文を順次、英訳していきます。その際いくつかの可能訳があります。目頃から英文をメモして、何度も繰り返し口で言うこと。

履修上の留意点

和英辞典を携帯のこと。

成績評価の方法

2 回ないし 3 回のテストを行ないます。(出席に留意のこと)

教科書

教場で指示します。

参考書等

『プログレッシブ和英中辞典』(小学館)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語翻訳法（後期）	梅原敏弘	短英2選必	4

講義のねらい

「A translator is a traitor」（翻訳者は反逆者である）とはよく言われる。これは、完全な翻訳がいかに難しいかを指摘するためにしばしば引き合いに出される言葉である。確かに、翻訳は難しいし、所謂「名訳」は一流の翻訳家の「名人芸」によってしか、生み出されないのかもしれない。勿論、この講義で目指すのはそうした「名人芸」の修得ではない。授業やテストの際お目にかかる、妙な、理解に苦しむ直訳からいかに脱し、出来るだけ自然な訳文に近づけるにはどうしたらよいか、その方法を勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

「直訳という名の誤訳」という本が出版されたことがある。直訳が全て誤訳というわけではないが、この本の指摘する通り、英文を正しく理解していなくても、直訳によって、英文を日本語にすることは出来る。しかし、こうした直訳では、正しい意味や微妙なニュアンスを伝えることが殆ど不可能であると言ってよい。意味不明の訳文には、えてして直訳によるものが多い。こうした事態に陥るのは、一つには、英語と日本語の構造の違いを無視して、英語の構文に訳語をあてはめて、英文の構文はほぼそのままにし、語順だけを日本語にするからである。そこで本講義では、直訳を避け、出来る限り自然な日本語訳にするための一つの大きな要素として、英語の構文をいかに日本語の構文に移し変えるかという点を取りあげ、それを重点に講義を進めていくことにする。

授業を3段階に分け、学生の翻訳実習と添削を中心に授業を進める。

第1段階：翻訳の基礎練習。（読み下し練習、辞書の訳語と“定訳”、代名詞と省略、漢語と和語、無生物主語、その他）

第2段階：文法項目を中心とした翻訳練習。（名詞構文と動詞構文、所有格、時制、関係代名詞、形容詞・副詞、仮定法、話法、その他）

第3段階：総合練習。（長文翻訳練習）

履修上の留意点

授業はコンピュータを使って行うので、受講者はワープロ・ソフトを使いこなせるようにしておくこと。

成績評価の方法

平常の授業時に行う翻訳の小テストの結果（50%）、毎回提出してもらった課題の英文翻訳練習の出来具合（30%）、期末長文翻訳問題の出来具合（20%）。正当な理由無くして遅刻・欠席が多い場合、総合成績から減点します。

教科書

使用しません。

参考書等

別宮貞徳 著 『翻訳を学ぶ』（八潮出版社）
 別宮貞徳 著 『翻訳読本』（講談社）
 河野一郎 著 『翻訳上達法』（講談社）
 東田千秋 著 『直訳という名の誤訳』（南雲堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	アッシュウエル、T.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・
授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that, in addition to a great deal of free conversation practice, students will read and discuss books and will make formal presentations about films.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities.

Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教 科 書

なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	エバラト、A.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

This course is designed to help you improve your reading ability and enjoy reading in English. We will read various types of text, both fiction and non-fiction. The focus will be on learning skills to help you understand what you read, and on discussion about the texts studied.

講義の内容・
授業スケジュール

One day a week we will learn and practice reading skills. On the other day we will read for enjoyment. You will be expected to read a chapter each week outside of class, to keep a weekly journal recording your reading and your reactions to the story, and to come to class ready to join discussions based on that reading.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to arrive on time. Lateness and failure to complete homework reading assignments will not be accepted.

成績評価の方法

Final grades will be based on attendance and participation, your reading journal, and skills tests.

教 科 書

Select Readings Pre-Intermediate. Oxford University Press (2002)
Love Story. Eric Segal. Oxford Bookworms Library. Level 3.

そ の 他

File folder (2-ring) and loose-leaf paper (A4 or B5).

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	モ工, R. A.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

To encourage students to develop their own ideas by introducing them to selected readings over which discussions will be held.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be expected to read the following books on their own outside of class. They may read these texts in either English or Japanese; understanding the contents of them will be essential as these will provide the basis of discussions in class. The books should be read in the order in which they are listed.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and α represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

Tao by Lao tzu, *The Art of War* by Sun tzu, *Nineteen Eighty-four* by George Orwell, and *Brave New World* by Aldous Huxley. Some of these books are difficult to obtain, so students are free to use any versions they can find.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a make up test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English A (前期)	レオーネ, J.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills.

講義の内容・授業スケジュール

Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点

In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebooks, texts, dictionaries, etc. with them.
- attend a minimum of 80% of classes.
- provide explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法

Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance. . .

教 科 書

To be announced.

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A (前期)	ロルフ, M. F.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

Advanced English IIA is an independent press. Students will be required to handle all aspects of journalism. This class will produce a monthly newsletter for the students of this school.

履修上の留意点

Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法

Grades will be based on attendance, quality of work and research reports.

教科書

Required text or materials will be announced at a later date.

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English A (前期)	トランブリー, J.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
Advanced English B (後期)	オーラ, B.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

The aim of this course is to develop students' all-round abilities in English in a small group environment.

講義の内容・
授業スケジュール

The content of this course will largely be decided by the teacher and the students as we go along. It will depend on students' interests and goals, but it is anticipated that, in addition to a great deal of free conversation practice, students will read and discuss books and will make formal presentations about films.

履修上の留意点

Students will be expected to have a strong commitment to improving their English abilities. Only a small number of students who can demonstrate a real determination to get better at English will be admitted to this class.

成績評価の方法

開講時に指示します。

教科書

なし

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B (後期)	エバラト, A.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

This is a content-based course in which students will use all four languages skills, reading, writing, listening and speaking, to increase their knowledge of Australian culture.

講義の内容・
授業スケジュール

Topics covered in class will include history, literature, art and natural features. You will learn by reading, listening and discussion. You will also be expected to research and present two projects, which will contribute largely towards your final grade. This course will require extensive reading and research outside class hours.

履修上の留意点

Students are expected to attend all classes and to arrive on time. Lateness and failure to complete homework assignments will not be accepted.

成績評価の方法

Final grades will be based on attendance and participation, class work and two projects.

教科書

To be advised.

その他

File folder (2-ring) and loose-leaf paper (A4 or B5).

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
Advanced English B (後期)	モエ, R. A.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

Students will be given the opportunity to expand and develop the skills they have developed in Advanced English A through discussions of any topics that interest them.

講義の内容・
授業スケジュール

The emphasis of the course is in conducting and maintaining natural conversations in English over a broad range of topics. Reading newspapers, weekly magazines and other periodicals, listening to the news on the radio or watching it on TV, and researching subjects of interest on the Internet are encouraged as they provide valuable material for discussion.

履修上の留意点

Students will be expected to participate actively in class discussions. Students who are passive, shy, and who do not make any effort to participate in the discussions will not pass this course. All communications, reports, and tests will be conducted by email. Therefore, if a student does not have a personal email address, she will have to get one at the Information Center of the university.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all test scores and grades on papers submitted, and α represents adjustments, made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教科書

There are no assigned texts for this course.

参考書等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

その他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	レオーネ, J.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい The purpose of this class is to help students improve their overall English ability with special emphasis on listening and speaking skills. There will also be a strong focus on increasing practical English vocabulary.

講義の内容・授業スケジュール Students will work in pairs and groups. They should be active in class and participate by using English as much as possible with the teacher and with each other. There will be variety of speaking activities including role-plays, group discussions, and information gap type interviews. There will also be extensive listening activities and vocabulary work.

履修上の留意点 In this class students should:

- be willing to work and cooperate with others in class.
- be prepared and always have pens, notebook texts, dictionaries, etc. with them.
- attend a minimum of 80% of classes.
- prove explanations for all valid absences and tardiness.

成績評価の方法 Students' grades will be based on scores on tests and quizzes (50%) and class participation (50%). Class participation means homework, class exercises, speaking English in class, and attendance. . .

教科書 To be announced.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	ロルフ, M. F.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい Advanced English IIA is an independent press. Students will be required to handle all aspects of journalism. This class will produce a monthly newsletter for the students of this school.

履修上の留意点 Regular attendance is mandatory.

成績評価の方法 Grades will be based on attendance, quality of work and research reports.

教科書 Required text or materials will be announced at a later date.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
Advanced English B (後期)	トランブリー, J.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義の内容・授業スケジュール 開講時指示します。

成績評価の方法 出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
News English(後期)	ハードグレイブ, B.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
English through Movies (後期)	おかもとまこと 岡本 誠	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義のねらい

映画が嫌いだという人はまずいない。邦画でなければ、世界を席捲しているハリウッドものになってしまい、いきおい英語が飛び交うことになる。その映画を手段にして英語を勉強しよう、というのが本講義のねらいとするところで、「エーガでエーゴ」というのがモットーである。

講義の内容・
授業スケジュール

しかし、いわゆる「アクションもの」というか「刑事もの」というか、カーチェイスがあったりとかいう「ドカン!バキューン!」の類は我々英語を外国語とする者にとっては勉強にならない。勉強するのにわざわざ“汚ない英語”を目標とすることはないのである。外国語を勉強するときは、その国の王様や大統領とも話せるような言葉を身につけるべきだ。そこで、担当者の好みのせいもあるが、落ち着いた雰囲気のものいい作品を対象とする。

また逆に、邦画を観て、登場人物の台詞をいかに要領のいい英語に訳すか、ということも行なう。つまり、逆トダ・ナツコをやるのである。どちらにしても、事前にシナリオをこちらから提供する。

履修上の留意点

シナリオを事前に自分で吟味し、対訳を考えてみること。ケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

発表状況。小テスト。出席情況。

教科書

教科書の類は使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語とコンピュータⅠ (前期)	クレイグ, J. R.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語とコンピュータⅡ (後期)	クレイグ, J. R.	短英2選(一類) 短英2選必(二類)	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単 位
同時通訳入門(後期)	モ工, R. A.	短英1・2選(一類) 短英1・2選必(二類)	4

講義のねらい

To teach students the basic skills of simultaneous interpreting.

講義の内容・
授業スケジュール

After introducing the basic skills of interpreting, students will be expected to apply them in practice. Both Japanese to English and English to Japanese interpretation will be covered. Each student will be expected to be able to give two short talks, one in English and the other in Japanese. As she does so, another student will simultaneously interpret the talks.

履修上の留意点

Students will need to practice speaking smoothly and clearly prior to class so that time in class will not have to be taken to correct their English. The emphasis of this course is on interpreting and not grammar or pronunciation, so students should practice those skills in other classes. Much preparation will be required to speak naturally in class without notes. Inability to do so will adversely affect a student's evaluation. Students will be evaluated at each class.

成績評価の方法

The formula for determining the final grade is $((100 - (10X + 5Y)) + 2Z) / 3 + \alpha$ where X represents the number of unexcused absences, Y the number of unexcused tardy attendance, Z the average of all evaluations, and α represents adjustments made to the grade based on the instructor's subjective impression of the student's overall performance.

教 科 書

There are no assigned texts for this course.

参 考 書 等

Dictionaries are permitted and taking notes is advised.

そ の 他

If a student should be absent or tardy for a valid reason, such as illness, personal problems, train accidents, or the like, it is essential that the student contact the teacher as soon as possible and explain her reasons. If the teacher accepts the reason for absence or being tardy, then that student will be allowed to take a makeup test at a later date.

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ I (前期)	野崎芳秀 <small>の ぎま よし ひて</small>	短英1選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。情報処理の業務には、必ず第一にキーボードの入力、すなわちコンピュータの入力装置（マウス、キーボード）を使って正確で敏速な入力技能が必要です。次にコンピュータの心臓部である OS [Operating System]（アプリケーションソフトは OS の基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です）の基本操作、次に代表的なアプリケーションソフトの基本操作等、以上基本操作を中心にパーソナルコンピュータを使用して繰り返し操作を行う事により、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習
ハードウェアの基本的な操作
電子メールの送受信
- 6～7月 OSの基本操作、
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成及び編集
表計算ソフト（Excel）を使用して表の作成及び機能習得

履修上の留意点

操作を繰り返す事で技能を身につけるため、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。基本操作の積み重ねですから、授業を欠席した場合等は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特にありません。
データ保存用フロッピーディスク（3.5インチ2HD）を2枚が必要です。
駒澤大学発行（KOMAnet）の電子メールアドレスが必要です。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ I (前期)	湯 浅 陽 子 ゆ あ さ よ う こ	短英1選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータが普及しており、実社会では職種に関係なくコンピュータが使うことができ、また、使いこなせることが就職の基本条件となってきました。とはいえ、実際の情報処理業務では、第一にデータの入力を正確に早く行うことが要求されます。それにはタッチタイピング技能（手元を見ないで打つ技能）を身につけることが必須となります。この授業では、独自の方法で短期間にタッチタイピング技能を習得し、その上で社会に出てすぐ役立つ代表的なアプリケーションソフトの基本操作を身に付けます。

講義の内容・授業スケジュール

4～5月 入力装置（マウス、キーボード）の操作練習
ハードウェアの基本的な操作
タッチタイピング習得練習
メールでレポート提出をする方法
授業時間割表を Excel で作って送信してみよう。
日本商工会議所のキータッチ2000テスト模擬試験

5～6月 OSの基本操作
ワープロソフト（Word）を使用して文書の作成および編集
日本商工会議所の日商文書検定試験対策
実務技能検定協会のビジネス文書検定試験対策

6～7月 表計算ソフト（Excel）を使った表およびグラフの作成
日本商工会議所のビジネスコンピューティング検定試験対策

7月に日本商工会議所主催のキータッチ2000テスト用CD-ROMを使用して入力レベルテストを行います。このテストでの入力文字数が成績評価基準の大きな部分を占めます。

履修上の留意点

必ず入学式後に行なわれる総合情報センターのオリエンテーションに出席してコンピュータのユーザー登録を行ってください。ユーザーIDが無いとパソコンが使えません。従ってIDを取得していない方の受講は認められません。また、総合情報センターの自習室利用登録を同時に行ない、タッチタイピングの練習やキータッチ2000テスト対策、課題の作成に自習室を利用してください。IDを受領すると、すぐにメールアドレスが発行されます。今後、教員との連絡は、そのメールアドレスを使って行ないます。欠席しないことが肝要です。

成績評価の方法

出席を重視します。また、キータッチ2000テスト結果も重要なポイントになります。この他、タッチタイピング習得のために自習した練習時間の合計や、指示に従って作成した提出物の良否、日常の理解度、機器操作習得のための工夫や必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。なお、欠席が多い人、提出物が8割に満たない人、最終的にタッチタイピングが習得できていない人、または10分間の入力文字数が1,000字未満の人はかなりの減点になります。また、コンピュータIを落とすと同時に後期のコンピュータIIの受講資格が無くなる場合があります。

教 科 書

正式な教科書は特にありません。ただし、作成したデータの保存用フロッピーディスク（各自調達）と、入力レベルテストに使用するキータッチ2000テスト用CD-ROMを用意していただきます。（これについては教室で指示します。）

参 考 書 等

必要に応じて使用するアプリケーションの使用説明書等各自ご用意ください。

そ の 他

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行います。第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行しますので、勝手に履修登録をすることはできません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータⅡ (後期)	野崎芳秀 <small>の さま よし ひで</small>	短英1選	2

講義のねらい

情報化社会の中で急速にコンピュータは普及しております、実社会では職種に関係なくコンピュータの導入が盛んになっています、今後ますますコンピュータを操作しての業務が増えて来ることが予想されます。コンピュータの心臓部であるOS〔Operating System〕(アプリケーションソフトはOSの基本的な操作を使い、なお、独自の機能を使って操作をしますから大変重要です)の操作を学び、良く使われているアプリケーションソフト(ワープロ、表計算、データベース、プレゼンテーション等)の豊富な機能を習得し、幅広い実務に使えるように、パーソナルコンピュータを使用して、社会で役立つ技能を身につけることを目的とします。

なお、本講義を受講するためには、コンピュータⅠを受講済みであるか、もしくはそれと同等の操作が出来ることが必要です。

講義の内容・
授業スケジュール

9～10月 OSの基本操作の修得
ワープロソフト (Word) を使用して表現力のある文書の作成及び編集を学ぶ
10～11月 表計算ソフト (Excel) を使用して表の作成、グラフの作成及びデータベース機能を修得し、実践的な資料を作成して学ぶ
12～1月 プレゼンテーションソフト (PowerPoint) やホームページ作成ソフトを使用してパソコンを使っての表現力を学ぶ

英
文
科

履修上の留意点

授業に入る前にその日の資料を配布しますので、遅刻をしない事。アプリケーションソフトは多くの機能を学びます、授業の時間だけでなくパーソナルコンピュータに接する時間を授業以外にも多くつくってください。授業中に作品が完成出来なかったり、授業を欠席した場合は早めに遅れを取り戻すこと。なお、その様な時は4号館の自習室を利用しましょう。

ただし、自習室は使用登録申請が必要です。

成績評価の方法

提出された課題の出来映え、日頃の作業の習熟度と技能習得の熱意、出欠席を総合的に勘案して、成績評価をします。授業を欠席するとクラス全体の進捗にも影響するので、出欠席は評価のかなりの部分を占めます。

教科書

正式の教科書は特に有りません。
データ保存用フロッピーディスク (3.5インチ2HD) を1枚が必要です。
駒澤大学発行 (KOMAnet) のメールアドレスが必要です。

参考書等

駒澤大学総合情報センター『パソコン使いこなし術』

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータⅡ (後期)	湯浅陽子 あさ よう こ	短英1選	2

講義のねらい

本講義ではコンピュータⅠで習得した Word や Excel の基本的技能を応用し、さらに高度な情報処理ができる能力を養う授業を行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

- 9～10月 キータッチ2000テスト模擬試験
Wordで各種検定試験対策
Excelで表計算技能をさらにバージョン・アップ
- 10～11月 プレゼンテーションソフト (Power Point) を使用して、スライド作成－自己表現力を試してみよう。
- 11～12月 ホームページ作成ソフト (Homepage Builder V6.5) を使用し自分のホームページを作ってみよう。
- 12～1月 入力レベルテスト

履修上の留意点

本講義を受講するには、コンピュータⅠを受講し合格しているか、もしくは高校生の時に、既にタッチタイピングの習得や Word・Excel の基本的技能を習得済みであることが必要です。必ず、同時限に前期に行うコンピュータⅠの最初の授業を受けてください。前期は他の科目を履修する場合には、先にそちらの授業に出て、その後に必ず短大英文科事務室まで来て受講許可書を受け取ってください。

コンピュータⅠを履修しない場合は、授業についていけるかどうかを確認する試験を受ける必要があります。

前期履修登録前に私の発行する受講許可書を受理した人のみ、受講資格がありますので、勝手に履修登録をしても許可できません。

その他の注意事項としては、

1. 総合情報センターの自習室利用登録を行なってあること。
2. 総合情報センターのオリエンテーションもしくはネットワーク講習会を受講し、メールアドレスを取得してあること。
3. キータッチ2000テスト専用CDを購入してあること。
4. 欠席しないこと。病気等でどうしても出られない場合は事前にメールで伝えること。
5. 3回以上連続して休まないこと。
6. データが保存してあるディスクや必要なプリントを忘れないこと。
7. 教場内では携帯電話の電源を切るか、留守電モードにすること。
8. 教場に飲みかけの飲物を持ち込まないこと等です。

成績評価の方法

出席を重視します。また、キータッチ2000テスト結果も重要なポイントになります。その他、指示に従って作成した提出物の良否および提出期限の遵守、日常の理解度、機器操作習得のための工夫や必需品を忘れないなどに顕れる授業への参加度・熱心さなどによって総合評価を行います。

なお、欠席が多い人、提出物が不備で8割に満たない人、最終的にタッチタイピングが習得できていなかった人、または10分間の入力文字数が1,000字未満の人には単位を認めません。

教科書

正式な教科書は特にありません。ただし、種々のアプリケーションソフトで作成したデータ保存用ディスク（各自調達）と、キータッチ2000テスト用CDが必要です。

参考書等

必要に応じて使用するアプリケーションソフトの使用説明書等を各自ご用意ください。

その他

後期の授業でも、機械台数に限りがあるため、受講者数の確認を行ないます。前期同時限の「コンピュータⅠ」第1回目の授業時に、併せてこの「コンピュータⅡ」についても受講希望者には受講願書を提出してもらい、引き換えに受講許可書をお渡しします。その時間に他の科目に出席していて、「コンピュータⅡ」の教場に來れない場合は、その授業後にすぐに短大英文科事務室まで来て、受講許可願書を提出してください。また、受講予定していたけれども、後期になって受講を取り消す場合もあり得るでしょうが、キャンセルを決めた時点で、短大英文科事務室に來て、その旨を伝えてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス実務総論 (前期)	もりもとまさえ 森本正恵	短英1・2選	2

講義のねらい

高度情報化社会にともない、社会のグローバル化、少子・高齢化など私たちを取り巻く社会環境の変化は著しいものがあります。

このような中で求められているのは、自律した個性ある創造性豊かな人材であり、働き方も営利・非営利を問わず多様化しています。

ビジネス社会において求められる能力とは何か、ビジネス実務について理解を深め、知識・技能だけでなく人間を知り、文化の違いを感じとって、社会に広がるビジネス実務の「実践の知（知恵・知識・技術）」を創りだす人間としての基本を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション（授業のねらいと進め方）
2. ビジネス実務とは何か 1
3. ビジネス実務とは何か 2
4. 個人業務とマネジメント
5. 協働業務とマネジメント
6. ビジネス実務を支える基本1
7. ビジネス実務を支える基本2
8. ビジネス実務を支える基本3
9. これからのビジネスワーカー
10. これからのビジネスとビジネスワーカー

履修上の留意点

講義と演習問題によるグループ討議など参加型学習で授業を進めます。各自の個別学習（予習）と全員での学習を効率よくかみ合わせ、発表の機会などを設け自分の考えが表現できるように創造的学習を行います。

欠席などで他のメンバーに迷惑をかけないように心掛けること。

止むを得ず欠席した場合、課題などを確認し自己学習によってカバーしておくこと。

成績評価の方法

出席およびレポート提出を重視します。毎回課するレポートがあるので、課題に対して問題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できるようになることを望みます。

課題は、指定された提出日に必ず出すこと。期限の遅れたものは評価しない。

2年生は就職活動で欠席を余儀なくされることもあります。欠席の届を出したうえで「就職活動の報告」を翌週に発表してもらい、欠席分を補えるものとします。

教科書

森脇 道子 編著『ビジネス実務総論』（実教出版）2000年刊 2,200円

参考書等

授業のなかで適宜、示します。

その他

1. オフィスワーカーとして多領域に亘る学習をするので、予習を必ずしておくこと
2. 出席を重視するので、止むを得ず欠席する場合は、必ず届を提出すること
3. 授業中私語が多かったり、遅刻して他人の迷惑になるような行動は慎むこと
4. 授業中は、大人の女性としての意識を持ち行動するように心掛けること

科目名	担当者名	配当学科	単位
オフィス実務演習 (後期)	もりもと まさえ 森本正恵	短英1・2選	2

講義のねらい

急激なビジネス社会の変化に気づき、理解し、対応できる能力を身につけることを目指します。『ビジネス実務概論』で学んだことを基礎に、企業で働くために必要とする実務能力を修得します。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション (授業のねらいと進め方)
2. ビジネス実務とは
3. 仕事の流れと進め方
4. タイムマネジメント
5. 職場のコミュニケーションと人間関係
6. ドキュメントコミュニケーション
7. 会議とコミュニケーション
8. 社交コミュニケーション
9. キャリアプランニング
10. IT時代の働き方

履修上の留意点

グループ別で進めることが多いため欠席してメンバーに迷惑をかけないこと。
 基本的事項については個別学習(予習)により理解しておくこと。
 クラスでは、創造的学習を目標とする。
 ・課題に対して自分の考えを人に伝えられるようになること。
 ・疑問や質問は積極的に発言すること。
 『ビジネス実務概論』をベースに授業を組み立てていますので、共に受講することを勧めます。
 また、就職対策にもなるので1年次で受講するのが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席を重視します
2. 筆記テスト
3. レポート提出
4. その他：検定取得、授業への参画意欲等の総合的評価

教科書

鎌田和江・大津洋子編著『新ビジネス実務の基本』(嵯峨野書院) 2001年刊 2,400円

参考書等

プリントの他、授業で示します

その他

出席、レポート提出を自己管理できること。
 欠席の場合、必ず理由を明記した届を提出すること。
 連絡先: morimom@komazawa-u.ac.jp
 TEL&FAX:0467-33-1631

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オフィス・マナーズ (前期)	もりもと まさえ 森 本 正 恵	短英1・2選	2

講義のねらい

ビジネス社会で組織を構成している人たちの世代は、学生時代とは異なっている。顧客、上司、先輩、後輩と多種であり、しかも、それぞれの年代も異なる。オフィス・マナーは、このような世代を超えて、人と人との人間関係を良好に結ぶために、お互いを尊重し好印象を与えて業務を推進するための基本的な心得である。オフィス・マナーを心得ていることは、自分も相手も大切にす人間としての基本であるといえる。
社会人となって活躍するためには、オフィス・マナーズの習得と実践が不可欠である。

講義の内容・
授業スケジュール

1. オリエンテーション(授業のねらいと進め方、評価について：第1章 ビジネス社会の常識)
2. ビジネス社会での人間関係
3. 第2章 仕事をするための基礎知識：好感をもたれる服装、挨拶、言葉づかい
4. 仕事のすすめ方：仕事への取り組み方と確実な仕事の基本
5. 第3章 ビジネスマナーの基本：敬語の種類と使い分け
6. 電話対応の基本と応用：電話のかけ方と受け方、取次ぎ電話、伝言を受ける場合
7. 来客対応の基本：訪問のマナー-訪問の心得、名詞の扱い
来客対応-心構え
8. 来客対応の応用：受付、取次ぎ、案内、接待、見送り
9. 社会人としてのつきあい：冠婚葬祭の知識とマナー
10. 慶弔のマナー
11. 贈答と交際業務：中元・歳暮、お見舞い、接待・食事のマナー
12. テスト

履修上の留意点

グループワークによる実習を主体に進める。遅刻、居眠り、欠席などメンバーに迷惑をかける人の受講は望まない。受講者数を50名に制限するので、受講希望者は、第1回目の授業に必ず出席すること。授業に積極的な学生の参加を主体とするので、当日、受講希望についてレポート(400字程度、連絡先明記)を作成するので提出すること。結果は2、3日中に連絡する。

成績評価の方法

出席及びレポート提出もテストと同様に重視する。期限の送れた提出物は評価しない。予習、復習を自分できちんとしておくこと。ロールプレイングの実技テストも課する。

教 科 書

青木テル著『ビジネス・マナー』1995(早稲田教育出版)1,262円

そ の 他

欠席の届は、必ずしておくこと。やむを得ず事後の場合も下記へ届けること。
連絡先：miki.morimoto@nifty.com
morimom-228@ezweb.ne.jp
0467-33-1631 (tel&fax)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プレゼンテーション・スキルズ (前期)	ゆ あさ よう こ 湯 浅 陽 子	短英1・2選	2

講義のねらい

IT化が進みグローバル時代に突入した今、これまで日本人には不得手とされていた、積極的な自己表現力が求められるようになってきました。特にビジネス社会においては、多くの企業が競合し、多種多様な商品が市場に出回る中でビジネスを成功させるためには、商品の説明、企業の情報伝達、マーケティング等の分野において、従来にも増してより優れたプレゼンテーション能力が問われるようになってきました。プレゼンテーションの良し悪しが、ビジネスに直接影響を与える時代と言っても過言ではありません。パソコンは使えて当たり前、使いこなして実社会で求められるプレゼンテーションの仕方と、効果的な「表現力」について学びます。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 やってみよう紹介のプレゼンテーション
- 第3回 プレゼンテーションのスタート
- 第4回 構成が命
- 第5回 構成をつくる
- 第6回 言葉の使い方（言い回しのテクニック）
- 第7回 話し方のスキル
- 第8回 聴衆に好感をもたれる態度
- 第9回 効果的な環境設定
- 第10回 見やすい資料の作り方
- 第11回 効果的な資料を作ってみよう
- 第12回 総合演習
- 第13回 授業全体のまとめ（総括）

履修上の留意点

授業はグループ学習の形態をとります。また、コンピュータを使用して授業を進めますので、初回の人数によっては受講者数制限をします。グループは初回に編成します。
短い期間に盛りだくさんの内容を、受講者参加型で授業展開していく関係上、初回から参加しておかないと授業についていけませんので注意してください。

成績評価の方法

毎回の出席および作成したワークシートの提出（40%）、何回か回ってくる発表の為の準備度平均点（20%）、宿題レポート（20%）の総合で評価します。

教 科 書

プリント配布。

参 考 書 等

八幡糺芦史（2002）『戦略的プレゼンテーションの技術』ダイヤモンド社
野口吉昭編著（2000）『プレゼンテーションのノウハウ・ドゥハウ』PHP 研究所
Power Point の使い方を説明している本（どこの出版社でもよい）等を参考にしてください。

そ の 他

最良の学習環境を確保するために、場合によっては人数制限を行います。その際は、第1回目の授業時に抽選して受講者を決定し、受講許可書を発行します。その受講許可書を受取した者のみ、履修登録をすることができるので、希望者は必ず第1回目の授業に出席してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ジャーナリズム研究	はたのとしお 篠野 寿雄	短英1・2選	4

講義のねらい

ジャーナリズムとは何かについて学習した上で、ニュースの取材方法や報道のあり方を事例に則して分析する。こうした過程を通して、世界規模の情報社会のなかで情報を正確に取材・報道する人材（マスメディア志望者）、あるいは、情報をうのみにせず、冷静に解説・判断できる人間（読者）を育成する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主としてマスコミ、マスメディア、ニュースなどの基礎知識を習得する。取材から紙面化までの情報の流れも追う。後期は報道と人権、報道被害といった諸問題を、プライバシーや名誉棄損の裁判例なども参照しながら具体的に考える。

記者やアメリカ生活などの経験を生かし、全期を通して、その都度主要ニュースの解説、分析をするほか、アメリカの新聞記事の読解や日米ジャーナリズムの比較なども試みる。新聞社や新聞博物館の見学も行う。

履修上の留意点

実際に起こったニュースを中心にしたクラスなので、学生は常にニュースに関心と注意を払い、質問、意見表明などで授業に積極的に参加してほしい。そのためには、毎日、新聞を読むこと。

成績評価の方法

ニュース分析、学習結果を応用したレポート、記事スタイルの簡単なルポ、見学記など年間数本のレポートを提出してもらい、それらを総合して点数をつける。

教科書

使用しない。毎日の新聞を教科書として欲しい。

参考書等

その都度指示する。

その他

私語厳禁、公語（意見発表）歓迎。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネスイングリッシュ	まちいやすし 町井 靖	短英1・2選	4

講義のねらい

『商品の輸出入に関する英文の手紙』を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階でよく使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育法 A (前期)	いしだ さゆり 石田 小百合	短英1・2選	4

講義のねらい

日本語を教える際に必要な、日本語に関する知識を身につける。知識をうのみにするのではなく、自分で考え、分析し、判断できる能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

日本語の体系（音声、語彙、文字、表記、文法） 日本語の運用（社会言語学） 異文化コミュニケーション

履修上の留意点

受講者には、日本語に関する知識だけではなく、自分の頭で考え、分析し、判断できる能力を養ってほしい。そのため授業は基本的に受講者主体で行う。毎回課題をこなし、全日程出席できる意欲ある者に受講してほしい。最初の授業で授業内容の詳細を説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

試験及び出席、授業態度、課題提出などを総合して評価する。

教科書

後日指定する。

英
文
科

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語教育法 B (後期)	まつしろ りょうこ 松代 涼子	短英1・2選	4

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示します。

成績評価の方法

出席状況、平常のミニテスト等総合して成績を評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
表現法（話すこと） （前期）	はぎ 原 義 雄 秋 原 義 雄	短英1・2選	2

講義のねらい

《パフォーマンス》

1, 話すこと

話し方には一対一で向かい合って特定の人と話す話し方と、複数の人に対して語りかけるように話す人前での話し方とがあります。このとき、同じ日本語でも標準語でなく自分の生まれ育った地域のことばで話すとしたら、この話し方はどう変貌するであろうか……。たとえば、青森出身の人と鹿児島出身の人が話しをしたら、どうでありましょう。また、ことばの豊富な多様性の高い人とまったくことばの知らない人とが会話したらどうなるでしょうか。さらに、話し手の発話テンポはどう影響するのでしょうか、実際の話し方のパフォーマンス表現者たちを毎回授業時間にお招きし、その会話表現の奥義を掘り取って見ようではありませんか。このことから、その話し方の特性について解明を進めて見たいと考えています。

2, 読むこと

声にだして読む、これを“朗読”といいます。声に出さずして目でおって読む、これを“黙読”といいます。後者の“黙読”は、どの程度のスピードさで、どの程度理會して読んでいるのか第三者には定かではありません。ですが、前者の“朗読”については、声の質や抑揚で、ある読み上げのテンポ・リズムカルさなどから、朗読する側の伝達感覚状況をつぶさに知ることになります。ここでその読み方について、「音曲・語り・落語」などの多種多様の観点から考察を試みてみたいと思います。

英
文
科

講義の内容・
授業スケジュール

話し方のパフォーマンス表現者の顔ぶれ

- 1、海外歌舞伎公演のプロデュースアシスタントを手がけてきた関 健二さん
- 2、駒澤大学出身テレビ朝日アナウンサー藤井 たかしさん
- 3、駒澤短期大学出身新人テレビタレント「王様のランチ」の内藤 千晶さん
- 4、数学者で大道芸人そして『美しく面白く日本語』の著者ビタ フランクルさん
- 5、映画監督として今も発信しつづけている〇〇さん

以上五人（時間調整と出向交渉のため変更すべきことも今後ありますので、1から5としましたが、順位不動とさせていただきます）の方々をお招きし、トォウク・ディスカッションを交えながら、とっときな乙なお話を聞かせていただくとともに、その会話の魅力に迫ってみたいと考えています。

履修上の留意点

情報センタ教室を使用のため、人数制限があります。

成績評価の方法

課題は、毎回お招きした方々からの貴重な意見やその洞察力を素に自らがどこまでそれらの話し方のパフォーマンスを習得しえたか、そこから得た実際の密度の高い能力を、最後に四分開スピーチとしてまとめて表現していただきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
表現法（書くこと） （後期）	はぎ 原 よし お 萩 原 義 雄	短英1・2選	2

講義のねらい

《パフォウマンス》 次世代を超越して、人と人が出会うことのできる記憶媒体の形態として「書く」というパフォーマンスが存在します。何千年・何百年の過去の人物との出会える、いわば未来に残し、伝えようとするメッセージ作成システムでもあります。これを受信した人が、これをどう見つけ、どう捉え、どう表現しているのでしょうか。実際、書くことのシステム領域を認識し、その書きぶりを知り、次にあなた自身が次の世代へ伝えていくメッセージャとして書く技術をどう生かしていくかを含め、大いに考えてみたいと考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

前期の最後に実施した話すパフォウマンスをこんどは画像と文字という形態を用いて活写していきます。多くの書く要素を私自身が皆さんに毎回問いかけ、これをキャッチしていただき電子の紙芝居を作っていくことを試みます。書くことの素晴らしさ、楽しさを存分に味わってみてください。

- 1 電子紙芝居とは、いったいどんなものか？ 実際、プレゼンテーションします
- 2 電子紙芝居（「パワポ」の操作と手順）の説明
- 3 画像面を最低十枚を設定構成してみます 画像面のファイル取り込みと加工
- 4 画像に併せてセリフ文章を取録します 複写→再編成
- 5 このなかに、名言名句・慣用句・四字熟語などをちりばめて調和の取れた文脈にしてみましよう
- 6 接頭辞「御（お、み、ゴ、ギョ）」を用いた表現がどの程度反映されているかを知覚してみましよう
- 7 象徴語表現（オノマトペ）を入力し、場面を引き立ててみましよう
- 8 二人称会話表現をとりいれ、会話表現がなされたものとしてみましよう
- 9 作品提出し、これを実際に動かして見ましよう

履修上の留意点

情報センタ教室を使用のため、人数制限があります。

成績評価の方法

電子紙芝居による作品の提出をもって評価します。画像面は最低十画面とし、はじめと終わりまでが一続きのものとして仕上げてください。評価は、4から8までの講義課題を基準点としまして採点します。

II 專 門 教 育 科 目

3 放 射 線 科

放射線科

放射線科

II. 専門教育科目

(3) 放射線科

放射線物理学	〈小山正希〉	307
電気工学	〈佐藤昌憲〉	307
放射線機器概論	〈氏家盛通〉	308
放射線写真学	〈古川克治〉	309
解剖学 A	〈作山攜子〉	309
解剖学 B	〈吉川宏起・作山攜子〉	310
生理学	〈樋口雄三〉	310
環境保健医学〔平成12年度以前入学生：衛生学及び公衆衛生学〕	〈吉田稔〉	311
画像技術学概論〔平成12年度以前入学生：画像検査技術学概論〕	〈西尾誠示〉	311
放射線基礎数学	〈熊坂さつき〉	312
近代物理学序論	〈佐藤昌憲・小林久夫〉	312
放射化学序論	〈原田和正〉	313
実験 I A	〈西尾誠示・熊坂さつき 長谷川武・原昌代・三浦康平〉	314
実験 I B	〈小山正希・佐藤昌憲 中北倫男・中本淳・森啓〉	315
実験 I C	〈山本裕右・榎尾英次・原田和正〉	315
実験 I D	〈山本裕右・榎尾英次 高田健夫・原田和正・村上雅彦〉	316
医学概論	〈吉川宏起〉	317
臨床医学概論	〈吉川宏起〉	317
放射線生物学	〈早川吉彦〉	318
病理学	〈吉川宏起〉	318
生物化学	〈原田和正〉	319
画像数学〔平成12年度以前入学生：応用数学〕	〈熊坂さつき〉	319
原子核物理学	〈青木清〉	320
放射化学	〈原田和正〉	320
電子工学	〈杉田徹〉	321
放射線機器工学	〈中北倫男〉	321
画像工学	〈高野正雄〉	322
画像技術学	〈西尾誠示〉	323
放射線計測学	〈小山正希〉	324
関係法規	〈一守俊寛〉	325
実験 II A	〈西尾誠示・阿部敏 氏家盛通・金谷信一・原昌代〉	326
実験 II B	〈小山正希・佐藤昌憲・中北倫男・中本淳〉	327
実験 II C	〈杉田徹・青木清・川副護・木村登〉	327
実験 II D	〈杉田徹・青木清・木村登・吉田正廣〉	328
実験 II E	〈榎尾英次・一守俊寛・中北倫男・原昌代〉	328
病院実習 I	〈氏家盛通〉	329
放射線医学概論	〈作山攜子〉	329
機器制御工学〔平成12年度以降入学生：自動制御工学〕	〈青木清〉	330

医用機器工学	〈榎尾英次〉	331
放射性同位元素応用機器工学	〈小山正希〉	332
画像情報学	〈西尾誠示〉	333
核医学検査技術学〔平成12年度以前入学生：放射性同位元素検査技術学〕		
	〈氏家盛通〉	334
放射線治療技術学	〈高山誠〉	334
放射線管理学	〈一守俊寛〉	335
放射線学演習	〈西尾誠示〉	335
実験Ⅲ	A 〈小山正希・佐藤昌憲・羽生毅〉	336
実験Ⅲ	B 〈青木清・杉田徹・永井喜則・原昌代〉	337
実験Ⅲ	C 〈山本裕右・原田和正・村上雅彦〉	338
実験Ⅲ	D 〈榎尾英次・氏家盛通・小林久夫・高野正雄〉	339
病院実習Ⅱ	〈氏家盛通〉	340
医学英語	〈伊藤典子〉	340
臨床医学特論	〈休講〉	
臨床放射線特論	〈星川嘉一〉	341
統計学	〈休講〉	
情報工学	〈休講〉	
画像処理論	〈榎尾英次〉	341
放射化学特論〔平成12年度以前入学生：化学特論〕		
	〈山本裕右〉	342
応用計測学	〈榎尾英次〉	342
放射線学特論	〈休講〉	
放射線学基礎演習	〈氏家盛通〉	343
放射線学基礎演習	〈熊坂さつき〉	343
放射線学基礎演習	〈杉田徹〉	344
放射線学基礎演習	〈高野正雄〉	344
放射線学基礎演習	〈山本裕右〉	345
放射線学基礎演習	〈吉川宏起〉	345
放射線学特別演習	〈青木清〉	346
放射線学特別演習	〈榎尾英次〉	346
放射線学特別演習	〈佐藤昌憲〉	347
放射線学特別演習	〈高野正雄〉	347
放射線学特別演習	〈西尾誠示〉	347
放射線学特別演習	〈原田和正〉	348
放射線学特別演習	〈山本裕右〉	348

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線物理学	小山正希	短放1必	2

講義のねらい

診療放射線学の基礎的概念である放射線（ここでは主として光子）と物質との相互作用を中心として、最も多用されている X 線の発生機構を含めて、放射線とその作用効果の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

主たる項目とその学習順序は凡そ次の通りである。

- 1) 放射線・放射能の定義と概念。
- 2) 放射線の種類と分類。
- 3) 光子（X 線・ γ 線）の粒子性。
- 4) 光電効果。
- 5) 原子の構造・粒子の波動性。
- 6) X 線回折・ブラック反射。
- 7) 軌道電子のエネルギー準位。
- 8) 輝線スペクトル。
- 9) 制動 X 線・特性 X 線の発生機構。
- 10) X 線の線質。
- 11) 光子と物質との相互作用（光電効果・コンプトン効果・電子対生成効果・トムソン散乱など）。
- 12) 吸収端現象とその応用。
- 13) 電子と物質との相互作用（電離・励起・制動放射・チエレンコフ放射など）。
- 14) 光子の減弱（吸収係数・再生係数・平均自由行程など）。
- 15) 電子の飛程。
- 16) 放射線の単位。

X 線による写真や電子機器を通して得られる人体に関する画像は総べてここで学習する X 線と物質との相互作用に依っている。即ち放射線の利用も、また放射線による損傷効果も、その基本的過程は相互作用にあると言える。従ってこの科目の内容は診療放射線学全体の理解に要する最も基本的な概念知識となっている。放射線の単位は、その内容が本科目での知識なしには理解し得ないので、最後に学ぶ事になるが、学習の各段階で折にふれ概要を説明する。

放射線科

成績評価の方法

定期試験の他、2～3 回行う中間試験および出席状況により評価する。

教科書

教科書は使用しないが、参考となる書籍とその部分については適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
電気工学（後期）	佐藤昌憲	短放1必	2

講義のねらい

交流回路理論の基礎知識を得ることを目的としている。この科目は、診療放射線技師国家試験科目であるので、十分な演習と中間テストも合わせて講義をする。

講義の内容・授業スケジュール

次の内容で授業を進める。

- 1) 交流回路の基礎
- 2) 交流の平均値・実効値
- 3) 正弦波交流の基本回路
- 4) 交流の直列回路
- 5) 交流の並列回路
- 6) 交流の電力
- 7) 複素数とベクトル
- 8) 交流回路の計算
- 9) 相互インダクタンスを含む回路の計算
- 10) 三相交流の基礎
- 11) 三相の結線方法と電圧・電流の関係
- 12) 三相交流の電力と力率
- 13) 平衡三相交流回路の計算
- 14) 電気計測（電圧・電流・電力の測定）
- 15) 変圧器の基礎

成績評価の方法

中間テストと定期テストの結果より評価する。また、授業の出席数や課題レポートも加味する。

教科書

- 『新電気基礎問題集』（綜文館）800 円
- 『電気基礎上』（東京電気大学）2,472 円
- 『電気基礎下』（東京電気大学）2,369 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線機器概論(前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放1必	1

講義のねらい

診療放射線業務を行うには医療用放射線機器や器具が必要である。それらのうち診療用の各種 X 線機器・装置・用具の構造・動作原理や取扱い方法・精度維持や安全管理に必要な知識について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①診療 X 線機器：X 線機器の概要、X 線管の構造、用具・感光材料の基礎知識。
- ②一般撮影装置：X 線装置・X 線発生装置、X 線制御装置。
- ③ X 線源装置、X 線用高電圧ケーブル、X 線高電圧発生装置、電源設備。
- ④ X 線機械装置：透視撮影装置、保持装置・撮影台、その他の特殊装置。
- ⑤関連用品：散乱 X 線除去用グリッド、フィルムカセット、イメージング装置。
- ⑥診断用 X 線装置：外科系、消化器系、呼吸器系、頭部系等撮影装置。
- ⑦特殊 X 線装置：乳房用 X 線装置、泌尿器・婦人科系 X 線装置、乳幼児撮影装置。
- ⑧ X 線断層撮影装置、X 線間接撮影装置、X 線拡大撮影法・立体撮影法。
- ⑨循環器系 X 線検査装置：連続撮影装置、X 線シネ装置と関連機器。
- ⑩ X 線 CT 装置：原理と画像再構成、前処理と補正、X 線 CT 走査方式。
- ⑪ X 線 CT 検出器、寝台、X 線発生装置、X 線管、コンピュータシステム。
- ⑫ X 線 CT 装置の特徴：スリッピング方式、画像記録装置、画像記憶・表示装置。

放射線科

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な X 線装置などの基礎的知識について教科書を用いて講義する。

成績評価の方法

定期試験の結果および出席状況による。

教科書

『診療放射線技術』上巻（南江堂）7,004 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線写真学（後期）	ふるかわかつはる 古川克治	短放1必	1

講義のねらい

画像診断の根幹をなす、各種医用画像の画像形成につき、感光材料、感熱材料等の X 線センサー科学とその最新技術につき理解を深める。
また、近年話題が高まっている環境問題についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

i) 講義項目

- ① 感光材料（湿色フィルム）概論
- ② 感光理論・現像理論
- ③ X 線写真の成り立ち・各種 X 線センサーの特性
- ④ X 線画像とその評価、センチメートル、鮮鋭度、粒状性
- ⑤ ドライ感光材料とその記録方式・各種モダリティ画像
- ⑥ 放射線写真に関する環境問題

ii) スケジュール

感光材料／感光理論 H 15/9～10
画像の成り立ち、画像とその評価 H 15/10～11
ドライ感材／環境関連 H 15/11～12

履修上の留意点

- ① 期中 3 回前後のミニテスト実施予定。出席点は重視しない。
- ② 教科書、参考書、文献等（OHP、Video、PC）で理解を深める。
- ③ 各種臨床写真を供覧し、理論と写真を一体化させ、理解を深める。

成績評価の方法

期末試験を重視。出席状況、ミニテストを参考に最終評価する。
追試のみ実施。再試は「無」。

教科書

『放射線写真学』（富士フィルムメディカル株）5,700 円

参考書等

- ① 日本写真学会編『改訂 写真工学の基礎 [銀塩写真編]』（コロナ社）
- ② 友田宜忠著『写真科学』（通商産業研究社）
- ③ 笹井明『写真の化学』（写真工業出版社）
- ④ 内田勝『放射線画像情報工学（Ⅰ）（Ⅱ）』（通商産業研究社）
- ⑤ T. H. James *The Theory of the Photographic Process, 4th Ed. '77* (Macmillan Co.)
- ⑥ T. S. Curry et al *Christensen's Introduction to the Physics of Diagnostic Radiology, 3rd Ed. (Lea & Febiger '84)*
- ⑦ 日本医用画像工学会監修『医用画像工学ハンドブック』（篠原出版）' 94
- ⑧ 環境法研究会編『環境六法 平成 14 年版』（中央法規）

その他

授業方法：講義…Video、OHP、PC、臨床写真を活用

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
解剖学 A（前期）	さくやまけいこ 作山攜子	短放1必	1

講義のねらい

この科目は、専門的な知識を学ぶに必要とされる学習姿勢・考え方を培うため、具体的な事例をもとに講述する。

講義の内容・授業スケジュール

単純 X 線写真、CT、US、MRI、MRA などの画像を参照して理解する。

履修上の留意点

将来診療放射線技師としてどの分野に従事するとしても基本的事項であるため、授業後は復習をし、疑問点については次の時間に質問をする。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。中間試験は評価の参考とする。

その他

講義を主とするが、OHP、模型、プロジェクタ(PC等)を用いて重要なポイントを強調する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
解 剖 学 B (後期)	よしかわ こうき さくやま けいこ 吉川 宏起・作山 攜子	短放1必	1

講義のねらい

医療の道を歩む者にとって人体解剖学は最も基礎的な学問である。特に臨床の分野に従事する技師にとっては必須のものである。現状では画像は身体の前後像のみならず軸位、矢状、冠状各断層像に加え、3Dイメージなどによって診断が行われている。これらの画像を撮像するためにも解剖の理解は重要である。

講義の内容・
授業スケジュール

骨格系、筋肉系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌、神経系などについて学ぶ。

履修上の留意点

将来診療放射線技師としてどの分野に従事するとしても基本的事項であるため、授業後は復習を疑問点については次の時間に質問をする。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。中間試験は評価の参考とする。

教 科 書

吉川、屋、林共著『解剖生理学』（金原出版）3,000円

そ の 他

講義を主とするが、OHPや模型を用いて重要なポイントを強調する。

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 理 学 (後期)	ひ ぐち けいこう ぞう 三 樋 口 雄 三	13以降入学生/短放1必	1
		12以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

生体の生命現象について、単にその調節機序を解説するのではなく、それらが互いに有機的に関連しあい恒常性が維持されていることをホリスティックな視点から理解を深めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 生命と健康
2. 体液
3. 循環
4. 呼吸
5. 消化吸収
6. 栄養・代謝・体温
7. 排泄
8. 内分泌
9. 神経の興奮
10. 中枢神経系
11. 末梢神経系
12. 感覚
13. 筋収縮と運動
14. 生体の防御機構
15. 生殖

履修上の留意点

講義内容は、教科書よりも高いレベルで重点的に話すのでノートを必ずとること。出席を重視する。

成績評価の方法

筆記試験。出席点を与える。

教 科 書

松村・越智・豊田著『臨床検査技術学⑥生理学』（医学書院）3,914円

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境保健医学(後期)	よしだのり 吉田 稔	13以降入学生/短放1必	1
衛生学及び公衆衛生学(後期)		12以前入学生/短放1必	2

講義のねらい

衛生・公衆衛生学は、人々を疾病から守り、健康を保持、増進および福祉の向上を目的とした学問である。しかも個人、家族、地域社会および国民の健康を対象とし、疾病のみならずすべての健康からの偏りを予防、コントロールし、積極的な健康の達成を目指すものである。しかしながら、健康の保持には環境、病因、宿主の間のバランスが重要である。今日では地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨といった地球規模での環境破壊が健康保持に深刻な問題を投げかけている。ここでは公衆衛生が果たす役割のみならず環境問題についても学ぶ。

教科書

鈴木庄助・久道茂編集『シンプル衛生・公衆衛生学』改訂7版(南江堂)2,400円

参考書等

『国民衛生の動向』(厚生指標 臨時増刊)厚生統計協会
厚生省編『厚生白書』(厚生省統計協会)
環境庁編『環境白書』(大蔵省印刷局)

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像技術学概論(後期)	にしおせい 西尾 誠示	13以降入学生/短放1必	2
画像検査技術学概論(後期)		12以前入学生/短放1必	

放射線科

講義のねらい

医療場において診療放射線技師の果たす役割とその関連事項及び診療画像技術学を学ぶ上で基礎となるX線画像の基礎知識について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①医療社会と放射線技師
医療社会の構成、病院組織、関連職種、チーム医療などについて
- ②放射線技師の役割と医療人の条件
社会における診療放射線技師の役割、放射線学の歴史、将来の展望等について
- ③X線撮影の基礎
X線の発生、線質、物質との相互作用、写真効果などについて
- ④X線画像の成り立ち
X線照射量に依存する写真濃度と画像の拡大、歪み、重責効果など
- ⑤画質の基礎知識
画質を評価するときの対象となるコントラスト、鮮鋭度、粒状性について
- ⑥良い画像と、画質を左右する要因
管電圧、フィルター、散乱線とグリッド、フィルム・増感紙などについて
- ⑦撮影条件の設定と考え方
最適な画像を得るための理論的な考え方、撮影部位ごとの課題と改善策について
- ⑧体の基準線と名称
X線撮影を行う上で重要な基準線、ランドマーク、専門用語、体表解剖学について
- ⑨画像検査の種類
単純撮影、造影法、特殊撮影の原理と検査の基礎的知識について

履修上の留意点

講義はプロジェクターを用いるが、必ずノートをとること。

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、各自の学習意欲、授業態度も採点に加える。

教科書

立入弘著『診療放射線技術』(南江堂)6,800円

参考書等

講義用CD及びプリント

その他

授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線基礎数学(前期)	くま さか 熊 坂 さつき	短放1必	2

講義のねらい

放射線の科学・技術は数学ぬきでは考えられない。精密な画像解析も、数学的手法を使えば可能になる。本講義では、ターゲットを「放射線学に応用されている数学の世界」にターゲットを絞って学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 微分、積分
テイラー展開など
2. 三角関数
三角方程式や三角関数の合成など
3. 複素数の初歩
オイラーの公式
ド・モアブルの公式
4. ベクトルの初歩

成績評価の方法

試験(1又は2回/年)、レポート

教科書

氏原真代『画像数学入門』(東洋書店)

参考書等

Paul C. Du Chatateau 著 *Ordinary Differential Equations* (Harper Perennial 社)
和達三樹『微分積分』(岩波書店)
矢嶋信男『常微分方程式』(岩波書店)

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代物理学序論(前期)	まどう まさのり こばやし ひさお 佐藤 昌憲・小林 久夫	短放1必	2

講義のねらい

基礎物理学で学習した程度の内容を基礎とし、近代物理学成立に至るまでの物理学のうち、最も基礎となる力と運動、波動、熱さらに電磁気学を中心として学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 力学と運動
(速度、加速度、円運動、放物運動、運動量、エネルギー)
2. 波動の物理学
(音と光、共鳴、ドブラー効果、干渉と回折、偏光)
3. 熱力学
(熱と温度、熱力学の第一法則、第二法則)
4. 電磁気学
電界(真空中の静電界、導体系による電界、静電界におけるエネルギーと力)
磁界(静磁界、電流による磁界、電流に及ぼす作用と電磁誘導)
5. 電磁波
(自由空間における電磁波)

履修上の留意点

この科目は前期での集中授業である。近代物理学序論Aでは、力学、波動性および熱力学を、近代物理学序論Bでは、電磁気学と電磁波を中心に講義する。知識の単純記憶ではなく理論に基づいた思考過程を身につけてほしい。

成績評価の方法

近代物理学序論A・Bの出席数、小テスト、定期試験により評価する。

教科書

近代物理学序論A 原 康夫著:『物理学通論I』(学術図書出版社) 1,900円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 化 学 序 論	ほら だ かず まさ 原 田 和 正	短放1必	2

講義のねらい

本講義では「放射化学」、「放射線写真学」、「生化学」などを学ぶ上で必要となる化学の基本事項について理解することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 原子・分子・モル
2. 電子配置と周期表
3. 化学結合
4. 化学平衡
5. 酸・塩基、酸化・還元
6. 反応速度論
7. 化学熱力学

成績評価の方法

中間試験、定期試験の結果と平常点で評価する。

教 科 書

井本稔・岩本振武著『化学 その現代的理解』（東京化学同人）1,930円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 I A	西尾 誠示・熊坂 さつき 長谷川 武・原 昌代 三浦 康平	短放1必	実験 I (I A ~ I D) 5

講義のねらい

X線装置及び周辺機器の構造を理解し、正しい使用法を習得する。
X線画像を左右する要因と基礎的な画質評価について実験を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① X線量と写真濃度
被検体からより多い情報を得るための適切な線量を求める。ファントムを用いて、照射を行いX線の吸収と写真濃度を理解する。
- ② 撮影条件表の作成
アクリル板を用い、その厚さの変化に対する適正な線量、電圧を求め、条件表を作成する。
- ③ 照射野の線量分布と撮影距離
X線照射野とフィルム・X線焦点間距離を変化させ写真濃度を測定し、照射野内のX線分布を把握する。
- ④ フィルムの特性曲線の作成
距離の逆二乗則を利用した距離法にて複数の特性曲線を作成する。特性曲線と相対線量の関係を理解するとともに、その利用方法を学ぶ。
- ④ 撮影電圧とコントラスト
電圧とフィルター厚を変化させ、線質の違いが画質に及ぼす影響を調べる。
X線吸収差の少ない被写体のコントラスト、微小検体の描出度を評価する。
- ⑤ 増感紙の感度
フィルムの特性曲線を作成し、各種増感紙の相対感度を求める。増感紙とフィルムの正しい組合せ、および感度と被曝線量の関係について学習する。
- ⑥ フィルム・増感紙の鮮鋭度/解像力
矩形波チャートを用いたコントラスト法にて、フィルム・増感紙のMTFを求める。マイクロデントメータの取扱いを習得する。
- ⑦ 散乱線の評価
上記の特性曲線を用いて、鉛ディスク法による散乱線含有率を求める。被写体厚と照射野を変化させて散乱線の量を測定し、臨床における量を把握する。
- ⑧ グリッドの性能評価
鉛ディスク法にて散乱線透過率、直接線透過率、全X線透過率から露出倍数、コントラスト改善度、選択度を求め、グリッドの基本的性能を評価する。

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、実技試験、学習意欲、レポートについて総合的に判定する。

教 科 書

実験内容を記したプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I B	<small>こやま まさき さいとう まさのり</small> 小山 正希・佐藤 昌憲 <small>なかきた つねお なかもと あつし</small> 中北 倫男・中本 淳 <small>もり あきら</small> 森 啓	短放1必	実験 I (I A~I D) 5

講義のねらい

多くの学生にとっては初めての実験であると思われるので、前半・後半と分けて、前半は器具・機器の扱い方の練習をする。後半はデータを処理する方法を扱う実験を用意してある。現象を通じて理論を理解することも同時に身に付けてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

内容は手引書を製作してあるのでこれを参照すること。少人数で実験をするために班分けをする。そのためにスケジュールは個人によって異なる。入学後のガイダンスの際に班分けによるスケジュールを発表する。

成績評価の方法

1. レポート 2. 実験 3. 質疑応答 4. 調査・検索について点数化して総得点で評価する。

教科書

放射線科でいくつかの実験のために用意した手引書を制作してある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I C	<small>やまもと ゆうすけ せしお えいじ</small> 山本 裕右・樫尾 英次 <small>はらだ かずまさ</small> 原田 和正	短放1必	実験 I (I A~I D) 5

放射線科

講義のねらい

1年次後期で並行して学ぶ「放射線写真学」および2年次で学ぶ「画像工学」の基礎となる事項について実験を行う。医療用フィルム画像をよりよく理解するために、フィルムの現像、定着の化学から始まり、フィルム現像、エックス線フィルムの特性を測定するセンチメートルに至る実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の項目について実験を行う。
1. 基礎実験 I (ハロゲン化銀の性質、現像液の単薬調合)
 2. 基礎実験 II (現像液組成薬品の科学的性質、定着液組成薬品の化学的性質)
 3. フィルム現像
 4. 引伸しプリント
 5. センシトメトリー (感光計によるエックス線フィルムの特性曲線の作成)
 6. 現像薬品と画像 (異なる現像薬品組成をもつ現像液処理による画像の比較)
 7. スライド作成 (カラーホイルおよびポジフィルムによるスライド作成)
 8. エックス線フィルム画像の複写
 9. マイクロデンシトメータによる濃度測定
 10. プートストラップ法による特性曲線の作成
 11. 安全光試験

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

高尾慶人他『新しい放射線写真学』新版 (富士メディカルシステム) 5,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験 I D	<small>やまもと</small> 山本 裕石・ <small>かしお</small> 榎尾 英次 <small>たかだ</small> 高田 健夫・ <small>ほらだ</small> 原田 和正 <small>むらかみ</small> 村上 まさひこ <small>みやま</small> 雅彦	短放1必	実験 I (I A~I D) 5

講義のねらい

医療分野において必要な化学に関する実験を通して、化学の基本原理や概念を理解すると共に、化学実験における基本操作、薬品取扱時の基礎知識を学ぶ。また、実験で得られたデータを客観的に評価し、分子レベルで化学的に考察してレポートにまとめる能力を育成する。

化学実験は常に危険を伴うが、その危険は実験前の下調べ、正しい実験操作および実験中の注意深い観察により避けることができるし、また、得られた実験結果に伴う誤差には原因があり、その原因を突き止め、誤差をいかに最小限にとどめるかは、実験者の洞察力と腕の見せ所である。これらのことは、実際に実験を行ってのみ経験でき、養えることである。

必ずしもよい結果だけを追いかける必要はない。失敗もまた次への大きな手がかりとなる。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. ガラス細工、器具の洗浄
3. 容量、重量の測定、試薬の調製法
4. ハロゲン化銀の感光性と現像、定着試薬との反応
5. 中和滴定による酸の定量
6. 薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定
7. 分子模型実習
8. pHメータによる緩衝能の測定
9. 硫酸銅(Ⅱ)五水和物の合成
10. ヨウ素滴定による銅(Ⅱ)の定量
11. o-フェナントロリン法による鉄(Ⅱ)の比色分析
12. イオン交換樹脂の交換容量の測定

放射線科

履修上の留意点

- ・欠席しないこと：実験操作を段階的、体系的に学習できるようにテーマを設定してあるので、欠席をすると次の実験に支障をきたす。
- ・遅刻しないこと：冒頭で実験についての注意事項を説明する。遅刻すると、これらの説明を聞かないで実験することになり、操作の誤りや、事故を起こしかねないので危険である。したがって、遅刻者には当日の実験を許可しない。
- ・予習、下調べをして実験のフローチャートを作製してくること：実験の詳細はプリントして2週間前に配布するので、当日までにフローチャートを作り、使用する薬品の性質、器具の使用方法について下調べしておく。
- ・実験室内での規則を守ること：化学実験には危険や事故が付きまとう。これらをできる限り排除するように努力すべきである。そのためにはガイダンスでの注意事項を厳守する必要がある。
- ・レポートの提出：各テーマごとに実験終了1週間後にレポートを提出する。ガイダンスで説明する形式が守られていない場合、内容に誤りがあるか不十分な場合は再提出となる。最終的にレポートが受理されて初めてその実験が終了となる。

成績評価の方法

平常点、レポート、定期試験により評価する。

教科書

プリント使用。

参考書等

新版『実験を安全に行うために(正)事故・災害防止編』(化学同人) 800円
 新版『実験を安全に行うために(続)基本操作・基本測定編』(化学同人) 700円
 以上2冊は、実験時に常に持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学概論（前期）	吉川宏起	短放2必	2

講義のねらい

現代医学で行われている実際の医療について幅広く理解し、その中での放射線医学の役割について理解する。さらに医療従事者として必要な人権を尊重した医療倫理について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

病院や診療所で行われている医療について、医療現場の構造やそこで働く医療従事者の役割分担について具体例を挙げながら解説する。この医療全般の中における放射線医学、すなわち放射線診断学、核医学、放射線治療学それぞれの役割について解説する。とくに個々の分野で使用されるモダリティー（X線撮影装置、X線CT（computed tomography；コンピュータ断層撮影）、MRI（magnetic resonance imaging；磁気共鳴映像法）、超音波装置、核医学装置、放射線治療装置など）についてその原理や特徴の概略を解説する。さらに医療従事者として必要とされる医療倫理およびそれに裏打ちされたマネジメントケアについて解説する。

履修上の留意点

広範囲にわたる放射線医学について理解を深めることが重要で、数多くの放射線診断あるいは放射線治療モダリティーの特徴、すなわち臨床的有用性と限界について理解することが重要である。

成績評価の方法

筆記試験の他、レポート提出。

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床医学概論（後期）	吉川宏起	短放2必	2

講義のねらい

医学概論で学んだ知識を基に、更に一歩進んで主要疾患に対する核医学を含めた放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。IVR（interventional radiology）や近年、注目を浴びている遺伝子治療の中での放射線医学の役割についても概略を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

中枢神経系および循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌系、泌尿生殖器系、運動器系の腫瘍疾患について放射線診断法あるいは放射線治療法について解説する。放射線医学で使用される各種診断モダリティーおよび核医学装置、放射線治療装置の有用性と限界について解説する。またX線造影剤およびMRI（磁気共鳴映像法）用造影剤の種類と使用方法について概略を解説する。近年、急速な発展を遂げている血管あるいは血管以外におけるIVRの現況や放射線学における遺伝子治療についても概説する。

履修上の留意点

診療放射線技師として必要な種々の疾患の概念を習得し、実際の臨床に結びつく放射線医学（放射線診断学、核医学、放射線治療学）の基礎的知識を獲得することが重要である。

成績評価の方法

筆記試験の他、レポート提出。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線生物学(前期)	はや かわ よし ひこ 早 川 吉 彦	短放2必	1

講義のねらい

放射線が生体に及ぼす影響を、分子や細胞のレベルから個体や集団にレベルにわたって総合的に理解する。専門基礎分野の科目として、今後治療技術学や安全管理学を学んでいく上での基礎となる「被曝の影響を正しく評価するための知識」を身につける。

ここ四半世紀に及ぶ遺伝子工学の時代に、生体への放射線影響の解析は著しく進歩した。この講義では、高線量及び低線量の放射線の生物影響研究の最新の知識を伝えたい。

講義の内容・授業スケジュール

次の各項目よりなる。

- 1 放射線生物学の基礎：細胞、遺伝子
- 2 放射線生物作用の初期過程：物理・化学的作用
- 3 放射線による細胞死、細胞の生存率曲線
- 4 放射線損傷とその回復
- 5 放射線影響の修飾：酸素効果と温度効果
- 6 放射線影響の修飾：LETとRBE、細胞周期
- 7 DNA損傷とその修復
- 8 突然変異と染色体異常
- 9 組織・臓器レベルでの放射線影響
- 10 早期放射線障害と後期放射線障害、胚と胎児への影響
- 11 放射線による発がん遺伝的影響
- 12 腫瘍の放射線生物学
- 13 放射線障害の防護、放射線被ばくのリスク

履修上の留意点

授業開始時刻厳守のこと。

成績評価の方法

期末に筆記試験を行う。

教科書

使用しない。

参考書等

江島洋介, 木村博編, 放射線技術学シリーズ『放射線生物学』(オーム社) 2002年

その他

講義。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
病 理 学 (後期)	よし かわ こう き 吉 川 宏 起	13以降入学生/短放2必	1
		12以前入学生/短放2必	2

講義のねらい

病理学総論では各種疾患の種類と原因について理解し、各論では各臓器や器官の生理学を理解した上での種々の疾患の機序について理解する。

講義の内容・授業スケジュール

体の健康な状態を学ぶ生理生化学や解剖学の知識を基礎として、各臓器での疾患(奇形、炎症、外傷、血管性病変、腫瘍など)の原因と病態、治療あるいは進行過程について、できるだけ多くのイラストや画像を用いた講義をめざす。近年、急速な発展を遂げている遺伝子解析と疾患との関係についても概説していく。

履修上の留意点

病理学は生理生化学や解剖学での知識の上になり立つ学問である。解剖名や病名など膨大な記憶力が求められているため、繰り返しての履修が必要となるが、重要なポイントは記憶前段階での確実な理解である。

成績評価の方法

筆記試験の他、レポート提出。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生化学 (前期)	原田和正	13以降入学生/短放2必	1
		12以前入学生/短放2必	2

講義のねらい

生化学の分野から、診療放射線技師にとって最低限必要と思われる項目に重点を置いて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 細胞 2. 酵素とビタミン 3. 代謝 4. 核酸と遺伝子 5. タンパク質の生合成

成績評価の方法

定期試験の結果と平常点で評価する。

教科書

猪飼篤著『化学入門コース8生化学』(岩波書店) 2,913円

参考書等

林典夫・廣野治子編『シンプル生化学』(南江堂) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像数学 応用数学	熊坂さつき	13以降入学生/短放2必	2
		12以前入学生/短放2必	

講義のねらい

放射線技術者として社会に出た時、必要となる画像数学の知識を養うことを目的とする。そのため、本講義では、主題を画像において、数学はその画像解析や画像処理の手段として位置付けた講義と演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①三角関数と画像変換
- ②微分・積分の画像への応用
- ③オイラーの公式
ド・モアブルの公式
- ④テーラーの定理
マクローリン展開

成績評価の方法

試験(1回/年)、レポート

教科書

氏原真代『画像数学入門』(東洋書店) プリントを配布

参考書等

『応用数学-1工学専攻者のための』(内田老鶴圃新社)
英保茂『医用画像処理』(朝倉書店)
今里悠一『画像処理』(昭晃堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
原子核物理学	あおき きよし 青木 清	短放2必	2

講義のねらい

放射線物理学で学習した内容を基礎とし、原子核と放射線に関する講義を行う。特に α ・ β 壊変と γ 線放射は、今後、放射性同位元素の応用を考える上での基礎となるものである。きちんと理解すると共に、他の科目との関連を意識しながら受講すること。

講義の内容・授業スケジュール

1. 原子核の性質（構成粒子、質量、結合エネルギー、核力、核模型、磁気モーメント）
2. 放射性壊変（放射能、 α ・ β ・ γ 線、壊変図）
3. α 壊変（ α 線のエネルギー、ガイガースタルの法則、トンネル効果）
4. β 壊変（ β -壊変、 β^+ 壊変、 β 線のエネルギー、電子捕獲、カーブプロット）
5. γ 線放射（ γ 線の角運動量、核異性体、内部転換、メソバウアー効果）
6. 核反応（核反応の種類、Q値、しきい値、核反応断面積、複合核、光核反応）
7. 中性子（中性子の性質、中性子発生源、エネルギーによる分類）
8. 原子炉（核分裂と放出エネルギー、中性子の減速、原子炉の構造、中性子捕捉療法）

履修上の留意点

講義中は板書したこと以外でも、大切そうなことはノートするように心がけてほしい。講義の後には、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験以外に中間試験を2回行い、その結果から成績を評価する。出席は重視する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

上原周三著『放射線物理学』（南山堂） 田島英三著『原子核物理概論』（地人書館）

その他

授業の中では演習問題も出題する。電卓を用意しておくこと。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射化学	はらだ かず まさ 原田 和正	短放2必	2

講義のねらい

診療放射線技師として必要な放射性同位元素の化学について学ぶ。
本講義では、すでに1年次に学んだ「放射化学序論」および「放射線物理学」、さらに2年次で平行して学ぶ「原子核物理学」で得た、化学的、物理的知識を基に、放射性同位元素の化学について解説する。またここで学ぶ事柄は、3年次の「実験ⅢC（放射化学実験）」を履修するための必要不可欠な学問的基礎となるものであると同時に、「放射性同位元素検査技術学」、「管理学」に必要な放射化学的知識の基礎となるものである。
なお、診療放射線技師国家試験科目として「放射化学」がある。

講義の内容・授業スケジュール

- 上記の観点から以下の内容について講義する。
1. 天然に存在する放射性同位元素
 2. 放射能、放射壊変および壊変則
 3. 放射平衡
 4. 放射性同位元素の製造
 5. 放射性同位元素の分離、精製
 6. 放射能を利用する分析法
 7. 放射性標識化合物の合成法

成績評価の方法

中間試験、学年末試験および平常点により評価する。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編「アイソトープ手帳」（日本アイソトープ協会）1,600円を使用する。講義には必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
電子工学	すぎた 杉田 徹 <small>とおる</small>	短放2必	2

講義のねらい

電子工学の主役は「電子」である。電子工学はまず電子の挙動を制御する素子の理解に始まり、その展開上に回路技術を習得する。現在、電子工学は医療分野に於ける基礎技術として考えなければならない。そのような観点から、次に掲げる項目に従い講義を進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. 電子の性質
2. 場との相互作用
3. 素子への展開と周辺技術
4. 基礎的な回路技術
5. 電子応用機器の概論

履修上の留意点

時間的制約があり概論的な講義になるが、基本的な知識の修得を心掛けて欲しい。

成績評価の方法

中間試験、定期試験、出席状況により成績評価を行う。

教科書

宇佐美晶、曾根福保共著『テキストブック・電子工学概論』（日本理工出版会）2,500円

その他

国家試験該当科目である。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線機器工学	なかきた つねお 中北倫男	短放2必	2

講義のねらい

診療用 X 線発生装置および X 線映像装置の構成、構成要素の構造、機能、特性、装置の動作原理、動作特性などについて学び、装置を取り扱うための基礎知識を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

X 線発生装置は、X 線管部、直流高電圧発生部および制御部などから構成される。直流高電圧の発生形式により、自己整流式、単相ならびに三相全波整流式、インバータ式およびコンデンサ式などの種別がある。また X 線映像装置として X 線 TV 装置とミラーカメラ装置がある。前期は X 線管装置から単相ならびに三相全波整流式 X 線装置について講義し、後期はインバータ式、コンデンサ式および自己整流式 X 線装置と、X 線 TV 装置およびミラーカメラ装置について講義する。

履修上の留意点

X 線発生装置は、高電圧応用機器の一種でさまざまな技術要素を内包する。また X 線映像装置はエレクトロニクスと光学の応用機器である。

したがって、この教科をよく理解するには、電気工学、電子工学、物理学、化学、自動制御工学などを併せ履修することが望ましい。

教科の内容については、基本的事項を理解し身に付けることが第一で、さらに、原理や特性など、因果関係・論理の筋道を重視したい。

成績評価の方法

年度内に行う試験（中間試験、定期試験）および出席状況により評価する。

教科書

青柳泰司ほか著『改訂 放射線機器工学（I）X 線診断機器』（コロナ社）5,900円、内容の誤りや誤植がいくつかあるので、講義の中で指摘訂正する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 工 学 (前期)	たかのまさお 高野正雄	短放2必	1

講義のねらい

X線画像形成過程を対象に画質の評価及び解析方法について、理論的に学習する。特に最近主流になるつつあるデジタル画像については、実習を行ない理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 医用画像情報の役割
2. アナログ X 線画像の評価解析法
3. 画像解析の基礎数学
4. ROC、DQE 他
5. デジタル X 線画像の形成過程
6. デジタル X 線画像処理
7. ネットワークシステム

履修上の留意点

講義時間に対して範囲が広いので、自習を心がけてください。

成績評価の方法

定期試験とレポートの総合点。

教 科 書

医用放射線科学講座第 14 巻 岡部、瓜谷編集 『医用画像工学』(医歯薬出版) 4,800 円

そ の 他

理解を深めるために、演習や実習も行います。欠席をしないように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画 像 技 術 学	にし 西 尾 誠 示	13以降入学生/短放2必	4
		12以前入学生/短放2必	2

講義のねらい

画像技術学はX線解剖学や基礎的な画像工学を元にした幅広い分野から構成される。体表解剖、解剖・生理を裏付けとした整位、及び理論的な撮影条件を始めとして臨床画像の評価まで含めて講義を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① X線撮影の基礎的知識
- ② 胸部の特殊性と胸部撮影の理論
- ③ 胸部撮影技術と画像
- ④ 頭部の撮影技術
- ⑤ 側頭骨・聴器の撮影技術
- ⑥ 副鼻腔・眼窩・顔面の撮影技術
- ⑦ 椎骨の撮影技術
- ⑧ 四肢骨・その他の骨の撮影技術
- ⑨ 腹部の特徴とその撮影技術
- ⑩ 乳房・軟X線撮影の理論と技術
- ⑪ 上部消化管検査の技術
- ⑫ 小腸・大腸の検査について
- ⑬ 肝・胆・膵の画像検査について
- ⑭ 泌尿器系の画像検査について
- ⑮ 心臓・大血管及び冠動脈の検査について
- ⑯ 腹部の血管造影検査について
- ⑰ 脳神経系の画像検査について
- ⑱ CTの基礎
- ⑲ MRIの基礎

放射線科

履修上の留意点

講義はプロジェクターを用いるが、必ずノートをとること

成績評価の方法

定期試験及び中間試験が基準であるが、各自の学習意欲、授業態度も採点に加える。

教 科 書

稲本一夫編『放射線画像技術学』（医歯薬出版）4,800円

参 考 書 等

『診療画像技術学』（日本放射線技術学会出版）価格未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放 射 線 計 測 学	こ やま まさ き 小 山 正 希	短放2必	2

講義のねらい

万能である放射線計測系は存在していない。即ち、測定対象と必要なデータとを接続する計測系は測定対象によっても、また、必要とされるデータによっても様々に異なってくる。診療放射線学における放射線計測学とは一般に、状況に応じて変えなければならない計測系を如何に選択し、かつ使用するかを主としている。ここで必要とされる素養はこのことを念頭に置いて、現存する多種類の検出系、計測系の放射線応答を出来る限り詳細に知ることであろう。これらの系の選択に当っては絶対的なものが無い以上、あくまでも相互比較によってより適切な物を決定する必要がある。従って単に事項の項目的理解では計測学を学んだことにならない。本科目ではこれらの点に留意して学習する。

講義の内容・授業スケジュール

主として取り上げる事項は次の通りである。

- 1) 放射線検出器分類上の着眼点。
- 2) 放射線検出器の全体像とそれぞれの検出器の位置づけ。
- 3) 電離箱型検出器の基本動作原理。
- 4) 電子及びイオンの運動。
- 5) 電離箱型検出器の基本特性。
- 6) 電離箱型検出器の種類とその概要。
- 7) 電離箱型検出器の出力回路と動作モード。
- 8) 各種電離箱（自由空気型、指頭型、空洞型、外挿型、シャロー型、均質型など）の基本原理とその実際。
- 9) 線量計測とその実際。
- 10) 各種計数管（GM・比例・シンチレーション計数管など）の動作原理と特性。
- 11) パルス計測の基本とその応用。
- 12) 計測データの統計処理。
- 13) 半導体検出器の原理と応用。

検出器や計測系について、既成のコンポーネントの組合せでは目的が達せられない場合、必要なコンポーネント自身を研究開発し、実用に供するのが次の段階の計測学の内容となる。このレベルを念頭に置き学習したい。

成績評価の方法

定期試験の他、2～3回行なう中間試験および出席状況により評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
関 係 法 規 (後期)	いち ちり とし ひろ 一 守 俊 寛	13以降入学生/短放2必	2
		12以前入学生/短放2必	1

講義のねらい

法律上、放射性同位元素及び放射線発生装置に関しては放射線障害防止法により、診療用放射線装置に関しては診療放射線技師法により、放射性医薬品に関しては医療法・薬事法によって規制される。しかしながら、保護法益、取扱いの態様等により更に電離放射線障害防止規則等により規制される。法令で定められている事項を正確に把握するには相当な努力が要求される。整理・関連性等を重視し効率的な理解を旨とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- * 関係する各種法令の体系的な把握
- * 各法令での定義、規制に関する共通・特異性のある事項の抽出
- * 管理技術との関連性に着目して法令条項の理解度を増大させる。
- * 数値的規制が与えられている項目についての整理と数値の意味の把握
- * 係わる各種業務に対応した法令の把握
- * 想定される各種実務に対する整理された法令の理解・把握

履修上の留意点

国家試験該当科目「放射線管理学」に対応し、基本的事項を確実に把握するよう心掛けて欲しい。

成績評価の方法

出席率、定期試験により評価する。

教 科 書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版KK) 4,000円 配布資料

参 考 書 等

日本アイソトープ協会
『医学における放射線の防護と安全』 ICRP Publication 73 2,400円
『医療放射線防護関係法令集』 1,900円
『放射線障害の防止に関する法令』 概説と要点 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II A	にし西尾 せいじ誠示・阿部 敏 うじい氏家 もりみち盛通・金谷 信一 はら原 昌代	短放 2 必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

X線装置等を用い、実際に人体ファントムを撮影する。実際の検査手順と体表解剖学を踏まえた撮影手技を学び、撮影法と得られた画像の関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①頭部 X 線撮影法
頭部ファントムを用い、頭部の撮影法を学ぶと共に、頭部の画像解剖を理解する。
- ②副鼻腔 X 線撮影法
頭部ファントムを用いて副鼻腔の撮影法を学び、画像解剖とその意義を理解する。
- ③側頭骨 X 線撮影法
頭部ファントムを用いて聴器の撮影法と画像解剖を理解する。
- ④上肢の X 線撮影法
手関節、肘関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑤下肢の X 線撮影法
膝関節、足関節のファントムを用い、撮影技術を習得する。
- ⑥椎骨、骨盤の X 線撮影法
頸椎、腰椎骨盤ファントムを用い、頸椎、腰椎の撮影技術を習得する。
- ⑦胸部の撮影技術と感光材料
胸部ファントムを用い、胸部の撮影手技を学び最適な撮影条件と検出系を選択する。
- ⑧乳房 X 線撮影 (Mammography)
乳房用 X 線装置、乳房ファントムを用いて照射条件毎の画像の変化を評価する。撮影に用いる機器類、感光材料から軟線撮影の特殊性を理解する。
- ⑨胃造影検査法
X 線 TV 装置の操作法を習得するとともに、造影剤とファントムを用い透視・撮影法を学ぶ。特に体位と画像評価が重要になる。
- ⑩ X 線 CT 検査法
X 線 CT 装置の原理と構造を理解し、ファントムを用いた検査手技、撮像法を習得する。
- ⑩ CR の取扱法と画像処理
上記の実験と平行して CR (コンピューテッド・ラジオグラフィ) 装置の原理・構造と基礎的な画像処理について学ぶ。

放射線科

履修上の留意点

授業は実習の基礎となるので、病院実習と同じ心構えで望むこと。

成績評価の方法

定期試験、学習意欲、レポート・試問について総合的に判定する。

教科書

実験マニュアルを配布する。参考：稲本一夫編『放射線画像技術学』(医歯薬出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅡB	小山 正希・佐藤 昌憲 中北 倫男・中本 淳	短放2必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

実際に放射線を測定することで、検出器を含む計測系の放射線応答から放射線についての知識の確認をすることを主眼とする。その題材として、ここでは診断用X線発生装置からの制動X線の実効エネルギー、エネルギー分析のためのパルス波高選別の基礎的手法、診療に用いられる放射線場測定の主たる検出器である電離箱の基本特性、計数管型検出器のパルス計数処理の基本である統計処理の基礎的手順などを取り上げて実験し、考察する。

講義の内容・授業スケジュール

実験項目は次の通りである。

- 1) 制動X線の実効エネルギーの測定。
連続エネルギー分布である制動X線を実効的に代表する単一なエネルギー値に置き換える。
- 2) シングルチャンネル波高分析器によるエネルギー分布測定。
シンチレーション型プローブを用いてγ線のエネルギー分布測定のためのパルス波高分析の基礎的手法を学ぶ。
- 3) X線による物質の2次電子平衡厚の測定。
2次電子平衡の概念を理解する為に、60Co線源によって電離箱壁厚を変化させた時の出力応答を測定する方法により求める。同時に電離電流出力の飽和特性などの電離箱型放射線検出器の基本特性を求める。2次電子平衡の概念は、吸収線量率や照射線量率の概念形成にきわめて重要な係わりがあることを確認する。
- 4) GM計数管の基本特性と計数の統計。
最も普遍的な計数管であるGM計数管の基本的応答特性と得られる計数率の統計処理の基礎を学ぶ。GM計数管の分解時間と電子回路系の弁別レベルとの関係、ダブルパルス分解能、プラトー特性の意味、印加電圧レベルの与える効果、実測された計数率から確からしい値を得る方法などの計数率の統計を学ぶ。

放射線科

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、定期試験によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅡC	杉田 徹・青木 清 川副 護・木村 登	短放2必	実験Ⅱ (ⅡA～ⅡE) 7

講義のねらい

電子工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行うものと各自が行うものがある。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験を行う。

1. 真空管（三極真空管の静特性）
2. 半導体素子（ダイオード、トランジスタ、サイリスタの代表的特性）
3. 集積回路（オペアンプとデジタル素子）
4. パルス波形の観測（シンクロスコープによる観測）
5. 波形変形回路（微、積分回路、ダイオードクリッパー）
6. 波形整形回路（シュミット・トリガー回路の特性）
7. パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅰ）
8. パーソナルコンピュータ（図形処理Ⅱ）

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教科書

『実験書（ⅡC・ⅡD・ⅢB）〔第五版〕』

その他

パーソナルコンピュータの実験は情報教育センターで行う。
前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II D	杉田 徹・青木 清 木村 登・吉田 正廣	短放 2 必	実験 II (II A~II E) 7

講義のねらい

電気工学分野の実際を経験する。数人のグループ構成で行う。下記の項目について実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. コンデンサーの充放電特性
2. 直、並列共振（共振現象の基礎知識を得る）
3. 交流ブリッジ（インダクタンス、キャパシタンス）
4. R-C 回路（インピーダンスとベクトル）
5. 整流回路（整流と平滑、定電圧回路）
6. 変圧器（電磁誘導、巻数比と電圧比）
7. 三相 12 ピーク整流回路（多相整流）
8. 高電圧発生回路（倍電圧、コッククロフト回路）

履修上の留意点

出来る限り遅刻、欠席はしないこと。
レポートは期限内に提出すること。

成績評価の方法

レポートの結果と定期試験、出席状況を加味して評価する。

教 科 書

『実験書（II C・II D・III B）〔第五版〕』

そ の 他

前期、後期の初めにガイダンスを行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 II E	榎尾 英次・一守 俊寛 中北 倫男・原 昌代	短放 2 必	実験 II (II A~II E) 7

講義のねらい

放射線機器工学で学修する理論を実験を通じて理解させることに主眼を置き、併せて各種装置・機器の取扱法を習熟させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

実験を遂行する上で必要な説明を加えながら、以下のテーマについて実験を行う。1. X 線管焦点寸法の測定 2. X 線管電圧、X 線管電流の測定 3. 撮影時間の測定 4. インバータ式 X 線装置の特性

履修上の留意点

実験は結果の修得のみを目的として行うものではなく、あくまでも関連する理論の学修を助け、より確実な知識修得を図る目的で設置された科目であるため、実験中はすでに学修済みの内容の確認とか、理論との間に生じる問題点などの把握に心掛けて欲しい。

報告書（レポート）の作成に当たっては、所定の書き方によるのは当然であるが書かれている内容を理解することが最も重要である事を認識して欲しい。報告書提出時の試問は記載内容の理解度を確認、評価するために行っているもので、理解度が極めて低い場合には再提出を求めることもある。

成績評価の方法

実験態度、報告書、試問、中間試験および定期試験などの結果によって総合評価する。

教 科 書

配布プリント

参 考 書 等

『JIS ハンドブック 放射線（能）』（日本規格協会）最新版（隔年発行）

そ の 他

実験科目の単位取得には所定のテーマをすべて終了することが必要で、やむを得ない理由により欠席した場合は、追実験をうけなくてはならない（実験 II の単位認定は II A~II E すべて合格が条件である）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
病院実習 I	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	13以降入学生/短放 2 必	4
		12以前入学生/短放 2 必	3

講義のねらい

病院実習は指定規則により、診療放射線技師国家試験受験資格所得のための必須科目です。2学年期末までの履修科目や実験で修得した基礎知識が、実習病院ではどのように応用されているかを知ると共に、実習指導者等による臨床の場での指導により研修し、将来の診療放射線技師としての資質を養う機会となる。特に学内では経験できない患者接遇のあり方など意義深いものがある。また学内での学習で不足していた点などに気付き、その後の学習意欲へつながることが多い。病院実習に先立って、実習ガイダンスを担当教員と、実習病院の実習指導者などによって学内で学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 病院実習の目的、実習手続上必要な書類と記入方法。
- ② 各実習病院の施設説明。実習生の実習病院希望調査。実習要項の説明。
- ③ 実習病院の決定。実習報告書についての説明。
- ④ 病院実習のための知識。病院の組織と業務や病院の機能について。
- ⑤ 患者待遇と患者心理について。
- ⑥ 病院実習における実習上の心得。
- ⑦ 実習病院の実習指導者による実習項目別ガイダンス。
 - a. 一般撮影系
 - b. 透視撮影系
 - c. 血管造影検査系
 - d. X線 CT 検査系
 - e. 救急検査系
 - f. 超音波・MR 検査系

放射線科

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と実習生が提出する実習報告書・調査書等を参考として決定する。

教科書

病院実習要項・専門教育科目教科書参考書

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線医学概論(後期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	13以降入学生/短放 3 必	1
		12以前入学生/短放 3 必	2

講義のねらい

診療放射線技師として特に必要な解剖学の復習をする。特に身体の矢状断、冠状断の理解と復習をする。さらに診断学、治療学の発達の歴史、現状および今後の展開について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 単純 X 線写真
2. 超音波
3. CT
4. MRI, MRA
5. 血管撮影
6. IVR

履修上の留意点

将来放射線技師として医療に携わるものにとって放射線業務の医学への役割を知ることがきわめて大切である。自分の職業に対する自覚をもてるような講義とし、自由に発言できる機会をもつようにしたい。

成績評価の方法

定期の筆記試験。出席は重視する。

教科書

大澤忠編集『臨床放射線医学』(系統看護学講座別巻 7) (医学書院) 1,900 円

その他

スライド、コンピュータまたは OHP 使用のこともある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
機器制御工学(前期)	あおき きよし 青木 清	13以降入学生/短放3必	2
自動制御工学(前期)		12以前入学生/短放3必	

講義のねらい

近年の医用装置は自動化が進んでおり、これを使いこなすには自動制御の考え方を理解しておくことが大切である。ここでは自動制御の基礎的な理論を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自動制御の概要 (自動制御の意味と種類、目標値、制御対象、制御量)
2. フィードバック制御
 - ①ラプラス変換とラプラス逆変換
 - ②制御系の構成 (基本的構成と種類、サーボ機構、ブロック線図、伝達関数)
 - ③動作特性 (過渡特性、インディシャル応答、定常特性、定常偏差)
 - ④周波数特性 (周波数伝達関数、ベクトル軌跡、ボード線図)
 - ⑤安定判別 (ナイキストの安定判別法、ゲイン余有、位相余有)
3. シーケンス制御
 - ①基本素子 (命令スイッチ、検出スイッチ、電磁リレー)
 - ②リレー回路 (自己保持回路、AND回路、OR回路、NAND回路、NOR回路、論理図)
 - ③基本回路 (優先回路、禁止回路)

履修上の留意点

講義の後は、短時間でも必ず復習を行うこと。

成績評価の方法

定期試験により成績評価を行う。出席は重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

柳瀬著『自動制御の入門』(東京電機大出版局)、深海・藤巻監『制御工学』(東京電機大出版局)

その他

自動制御に関する実験を実験ⅢBにて行う。実験の内容も良く理解しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
医用機器工学(後期)	かし 檀 尾 英 次	短放3必	1

講義のねらい

この科目は医用画像診断装置の中で、X線CT装置とMRIを重点に講義する。また、放射線治療などに用いられる加速器についてはその概要を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. X線CT装置
 - 1) X線CTの原理および種々の方式
 - 2) 検出器およびデータ収集系
 - 3) システムおよび画像再構成
2. MRI装置
 - 1) 核磁気共鳴の物理的原理
 - 2) MRIシステムの概要
 - 3) 画像形成の原理(1)
 - 4) 画像形成の原理(2)
3. 加速器
 - 1) 加速器の概要、コッククロフト型とバンデグラーフ型加速器
 - 2) 直線加速器
 - 3) サイクロトロン、シンクロトロン
 - 4) ベータトロン、マイクロトロン

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。X線CT、MRI、および加速器の各講義の後演習を行う。過去の放射線機器工学の国家試験問題を事前に勉強しておくこと。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射性同位元素応用機器工学(前期)	こ やま まさ き 小 山 正 希	短放3必	2

講義のねらい

2年次における放射線計測学を基礎として、更に中性子計測・電子線計測・個人被曝線量計測について検出系の検出原理、応答特性、実測上の問題点などについてそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 中性子計測の全体像。
中性子の計測は、それが間接電離粒子であるという理由と荷電粒子への変換過程が光子ほどの普遍性がないことなどによって、他の放射線の計測に比較して未発達であると言える。従って計測系は種々の方法に分散している状況にある。ここでは現状での考え方を整理して中性子計測理解の一助とする。
- 2) 中性子検出の原理
中性子の検出には荷電粒子変換物質を選択利用するのが一般的である。ここでは変換物質の種類とその目的に応じた選択・利用法について学ぶ。
- 3) 電離箱によるもの。
変換された荷電粒子を電離箱で測定する方法について見る。
- 4) 計数管によるもの
計数管を用いて変換荷電粒子を測定する際の得失を見る。
- 5) 半導体検出器によるもの。
半導体検出器を利用する意味を把握する。
- 6) 核反応を利用した箔物質による測定法
- 7) 中性子線量測定
- 8) 電子線の測定と検出器
- 9) 個人被曝管理用検出器の原理と実際。
電離箱式・TLD・ガラス線量計・エキソ電子線量計・エレクトレット線量計など。
計測学は計測器による計測値を如何に評価するかの問題を常に含んでいる。アンフォールディング処理などもその一環であるが最も基本となるのは計測値の確度であり、従ってトレーサビリティを常に念頭に置く必要がある。ここではこれらの点についても考える。

成績評価の方法

定期試験の他、随時おこなう中間試験、出席状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
画像情報学(前期)	にし 西尾 せい 誠 じ 示	13以降入学生/短放3必	1
		12以前入学生/短放3必	2

講義のねらい

X線画像、CT、MRIなどの臨床画像を主体に講義を行う。学生は実際の臨床写真を観察し、その伝達理論と画像評価を習得すること、最低限正常像の画像の解説ができることが望ましい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①画像情報概論
- ②画像形成に影響を与える因子と画質の評価尺度
- ③胸部の画像について
X線画像の最適化、CT画像を加えて立体的な画像解剖を学ぶ。
- ④腹部領域の画像
診断目的に応じた画像技術と画像解剖。CT画像との対比。
- ⑤乳房のX線画像
軟線と画質、CR画像、正診率、被曝線量、集団検診の現状など
- ⑥頭部の画像
頭部単純写真、CT像、MR像の画像評価の基礎
- ⑦椎骨と四肢骨の画像解剖

履修上の留意点

講義はプロジェクターを用いるが、必ずノートをとること。

成績評価の方法

定期試験を基準にするが、各自の学習意欲、授業態度も採点に加える。

教科書

稲本一夫編『放射線画像医学』（医歯薬出版）3,800円

参考書等

臨床画像入り講義用CD

その他

授業は講義形式であるが、内容により質問あるいは意見を求める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
核医学検査技術学	うじ いえ もり みう 氏 家 盛 通	13以降入学生/短放3必	2
放射性同位元素検査技術学		12以前入学生/短放3必	

講義のねらい

検査技術学は、放射線医学のひとつである核医学部門の検査技術学である。核医学は医学・理工学・薬学の諸分野と緊密に結びつき、それぞれの進歩とともに発展してきた専門分野である。疾病の診断のために放射性医薬品を利用して、病態生理、生化学的な代謝と機能状態を核医学検査機器にて行う検査法である。

これらの検査法は測定の対象に従って、生体の測定（患者検査）および医学試料の測定（血液・糞尿など）に大別される。これらは放射性医薬品を生体内に投与するもの（インビボ法）と投与しないもの（インビトロ法）の2種類となる。核医学検査法に関する放射性医薬品、試薬キット類、検査機器、検査手技、データ処理法などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 核医学検査概論、検査装置、機器、放射性医薬品概論、放射性医薬品の体内集積機序。
- ② 医薬品ジェネレータ、薬剤管理、検査法概論、シンチグラフィ概論。
- ③ 検査法前処置、放射性医薬品投与法、画像処理の基本概念、RI動態検査法。
- ④ RI動態検査データ解析法、臓器摂取・代謝機能測定法・RI動態機能検査装置。
- ⑤ RI試料測定装置、ポジトロン断層装置・ヒューマンカウンタ。
- ⑥ インビボ検査各論、脳神経系シンチグラフィ。
- ⑦ 脳循環動態計測、甲状腺摂取率測定・シンチグラフィ。
- ⑧ 甲状腺癌・副甲状腺・副腎皮質・髄質シンチグラフィ。
- ⑨ 肺血流・肺換気・肺吸入シンチグラフィ、心筋シンチグラフィとデータ解析法。
- ⑩ 心プールシンチグラフィ、心機能データ解析法、末梢循環・血栓・脾シンチグラフィ。
- ⑪ 腫瘍・炎症・リンパ節シンチグラフィ。
- ⑫ ヘパトグラム、肝血流測定法、メッケル憩室、消化管出血、唾液腺シンチグラフィ。
- ⑬ VB 12 吸収試験、蛋白漏出試験、腎・腎動態シンチグラフィとレノグラム。
- ⑭ 循環血液量・血漿量・血球量測定・鉄代謝・赤血球寿命測定。
- ⑮ 血小板寿命・カルシウム代謝測定、ポジトロン断層検査法。
- ⑯ インビトロ検査概論。インビトロ放射性医薬品・検査法の原理・B/F分離法
- ⑰ 測定試薬、基準値、精度管理、インビトロ検査の臨床的意義。
- ⑱ インビトロ検査各論。AFP、CEA、CA 19-9、エクスターゼ、PA、CA 125、CA 15-3、NSE 他の腫瘍マーカー。ACTH、T 3、T 4、PTH、HB 他。

成績評価の方法

中間試験・定期試験の結果および出席状況による。

教科書

『最新核医学検査技術』（メディカルドビューン）5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療技術学	たが やま まこと 高 山 誠	13以降入学生/短放3必	4
		12以前入学生/短放3必	2

講義のねらい

前半では癌治療における放射線治療の役割や意義を中心とした放射線治療概論について講ずる。放射線の人体に対する影響などの放射線生物学や実際の臨床に用いられる放射線治療機器について解説を行い、放射線治療の計画と実技、線量分布や照射方法（外部照射、密封小線源治療等）の総論的項目について考える。

また後半では各疾患別の放射線治療について各論的項目を検討していく。

教科書

村上晃一著『放射線治療技術』
立入 弘監修『診療放射線技術』下巻 改訂第5版

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線管理学(前期)	いちもりとしひろ 一守俊寛	13以降入学生/短放3必	1
		12以前入学生/短放3必	2

講義のねらい

放射線防護の観点からは、人間の被曝を伴う諸活動に対して適切に安全な諸条件を作り上げ維持することが重要であり、そのための基本的な理念と指針を与えている「国際放射線防護委員会(ICRP)の勧告」の概要について理解し、放射線計測・線量測定技術に支えられた放射線・放射性物質の取扱・管理についての知識を修得することを目的としている。また、国内法令による管理基準との関係について注意をはらう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 基本的な概念
- 2) 放射線生物学上の考察
- 3) 線量制限の体系と放射線防護体系
- 4) 放射線防護実施の一般原則
- 5) 職業上、医療上の被曝
- 6) 放射線モニタリング技術
- 7) 被曝計測評価
- 8) 個人被曝管理
- 9) 放射性同位元素の管理と取扱
- 10) 放射線遮蔽

履修上の留意点

学術面よりも実務上で役立つことを重視する。《関係法規》の知識と関連させた視点で理解するよう心掛けて欲しい。

成績評価の方法

定期試験、出席状況により評価する。

教科書

医用放射線科学講座4『放射線安全管理学』(医歯薬出版KK) 4,000円
配布資料

参考書等

日本アイソトープ協会
『国際放射線防護委員会勧告』ICRP Publication 26
『国際放射線防護委員会の1990年勧告』ICRP Publication 60 2,800円

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学演習(後期)	にしおせいじ 西尾誠示	短放3必	2

講義のねらい

放射線科の課程全科目の理解を深めることを目的とし、総合的な評価が行われる。即ち学生が診療放射線技師として最低限必要な知識を習得し、日常業務を遂行するに耐えうる能力、学力を身につけることをこの授業の目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

専門科目に応じてそれぞれ担当教員が講義を行うが、学生が主体となって教員支援のもとに国家試験対策を強化してゆく。セミ形式の学習体制をつくり、学生の能力、到達度に応じた指導を行う。

成績評価の方法

中間試験と定期試験を合わせ、計6回の成績を元に総合的に評価する。

教科書

『診療放射線技師国家試験対策全科(平成15年度版)』(金芳堂) 8,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅢA	小山正希・佐藤昌憲 はぶ ぬし ぎ	短放3必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

放射能の測定手順・放射能測定計測系の機能・放射線治療を念頭に置いた吸収線量測定の概念と実測技術の基礎を把握する。

講義の内容・
授業スケジュール

主として行なわれる実験題目とその概要は次の通りである。

1) 吸収線量の測定。

高エネルギー放射線による治療では人体組織に対する吸収線量の附与レベル決定がきわめて重要な因子である。ここでは ^{60}Co 線源を用いて、指頭型電離箱と樹脂ファントムの組合わせによる吸収線量測定の基礎的手順を学ぶ。 ^{60}Co 線源に対する照射線量率定数・指頭型電離箱の特性と使用法・線源-ファントム-電離箱の幾何学的位置関係の効果・吸収線量率値とファントム厚さとの関係などに注意する必要がある。

2) フィルムによる放射線場の測定。

計測器としてのフィルムは実時間(リアルタイム)応答の計測器では容易に得ることのできない特性を持っている。ここでは ^{60}Co 線源を使用して、照射線量分布・肺近以不均等物質での深部線量百分率補正などの実測手順を学ぶ。

3) 半導体検出器による α 線の測定。

表面障壁型半導体検出器を使用して α 線による波高分布を測定する。逆方向電圧による電荷集取率・エネルギー分解能などへ与える効果、空乏層との関係を中心として学ぶ。

4) GM計数管による線源の β 壊変率測定。

GM計数管を検出器とする比較的簡単な測定装置を用いて線源の壊変率を求める手順と、その補正の考え方を学ぶ。

実験で取上げる項目は少ないものであるが、各々の知識が実際にはどの様に係わり、結果に影響してくるかを実感して欲しい。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況、随時おこなう中間テストなどにより評価する。

参考書等

放射線学会編『吸収線量の標準測定法』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 Ⅲ B	青木 清・杉田 徹 永井 喜則・原 昌代	短放3必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

自動制御に関する基礎的実験を行うことにより、放射線機器で使用されている自動制御機構についての理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

下記の項目について実験する。

1. フィードバック制御Ⅰ（二次遅れ要素および基本的な自動制御回路について、過度特性、定常特性、安定性、周波数特性を測定し、理論との比較を行う。）
2. フィードバック制御Ⅱ（自動電圧調整器について実験し、電圧調整特性、定常偏差、整定時間、インディシャル応等と増幅部特性との関係について調べる。）
3. シーケンス制御Ⅰ（エックス線撮影用ホトタイマの模擬装置を使用し、装置構成要素である積分器、比較器、NOR回路、ソリッドステートリレー等の特性を測定する。）
4. シーケンス制御Ⅱ（各構成要素をつなぐことによりホトタイマを組み上げ、その制御特性を種々の条件の条件で測定する。）
5. コンピュータ制御Ⅰ（パソコンにAD変換器をつなぎ、その制御プログラムを作成する。）
6. コンピュータ制御Ⅱ（AD変換器とデジタル入出力ボードにより温度の制御を行う。）
7. コンピュータ制御Ⅲ（パーソナルコンピュータを組み立て、構造を調べる。）

履修上の留意点

実験の前に実験内容を予習し、必要をなるグラフ用紙や電卓などを用意しておくこと。自動制御の理論については「自動制御工学」で講義する。実験の前に講義の復習もしておくこと。

成績評価の方法

実験の実施状況、実験レポート、定期試験により成績評価を行う。

教科書

『実験書（IIC・IID・IIB）第五版』

その他

一つのテーマについての実験を3～4人のグループで実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
実験ⅢC	<small>やまもと</small> 山本 <small>むらかみ</small> 村上 <small>ゆうすけ</small> 裕右 <small>はらた</small> 原田 <small>かずまさ</small> 和正 <small>まさむね</small> 雅彦	短放3必	実験Ⅲ (ⅢA～ⅢD) 5

講義のねらい

主として放射化学領域における実験を行う。
 本実験では、2年次に学んだ「放射化学」、「放射線計測学」での知識を基に、放射性核種の製造、放射平衡、放射化学的分離法について実験を通して学ぶ。また、マルチチャンネル波高分析器によるガンマ線スペクトルおよびその経時変化を測定し、半減期ならびに放射性核種純度を測定する。本実験は、3年次で並行して学ぶ「放射線管理学」の実践の場でもある。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下の項目について実験を行う。
- 99mTc のミルキング
 - コールドラン
 - ホットラン：99Mo の製造、溶媒抽出法による99mTc のミルキング、ガンマ線スペクトルの測定、半減期の測定
 ホットランは学外実習として行う。
 - マイクロピペットの検定（重量法、吸光光度法）
 - フリッケ線量計による吸収線量の測定（線量計の調製、線量測定）

履修上の留意点

非密封放射性同位元素は医学、化学、生物などの研究においてきわめて有用な情報を我々に与えてくれるものであると同時に、放射能汚染や被曝の問題など、危険な側面ももっている。従って、実験に対する準備を十分におこない、事前に実験操作、手順を理解しておくと同時に取り扱う放射性同位元素の性質を熟知しておくことが必要である。

成績評価の方法

実験レポート、試問、平常点、試験により評価する。

教科書

実験プリント

参考書等

日本アイソトープ協会編 『アイソトープ手帳』（日本アイソトープ協会） 1,680円

放射線科

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
実 験 Ⅲ D	<small>かしの</small> 榎尾 <small>まいじ</small> 英次・ <small>うじい</small> 氏家 <small>もりみち</small> 盛通 <small>こばやし</small> 小林 <small>ひさお</small> 久夫・ <small>たかの</small> 高野 <small>まさお</small> 正雄	短放 3 必	実験Ⅲ (Ⅲ A～Ⅲ D) 5

講義のねらい

核医学検査技術学、医用機器工学、画像処理および放射線計測学に関連するテーマについて実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 主な実験テーマは次の通り。
- 1) ガンマカメラの性能評価
ガンマカメラの均一性・分解能・直線性などの基本性能試験を行う。
 - 2) ポジトロン同時計数測定
PET の基本的な実験として、ポジトロン核種を用いた同時計数の実験を行う。
 - 3) 超音波の各種特性の測定
超音波装置を使用して、超音波が水中を伝播中に生じる反射、散乱、減衰などの特性と装置の主要な性能を測定する。
 - 4) マルチチャンネル計測法
マルチチャンネル波高分析器を使用して、未知の核種を測定し、そのデータより核種を同定する。
 - 5) X 線 CT 装置による画像処理
X 線 CT 装置を使用して水ファントム、校正用ファントムを測定する。このデータを画像処理し、結果を表示させる。
 - 6) ガンマカメラの各種撮像法
ガンマカメラで静止画像・全身画像・SPECT 画像の撮像実験を行う。
 - 7) C 言語による画像処理
サンプルの画像データを使用して、濃度ヒストグラムの作成、階調表示および空間フィルタリング等について画像処理を行う。
 - 8) FCR による画像処理と画質
前期は撮影管電圧、撮影 X 線線量の変化と階調処理、後期は“ボケマスク処理法”による空間周波数処理を行い画質との関係を調べる。

放射線科

履修上の留意点

あらかじめ実験ガイダンスを行うので、実験の前に予習しておくこと。

成績評価の方法

報告書と中間試験および定期試験により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
病院実習Ⅱ	うし いえ もり みち 氏 家 盛 通	13以降入学生/短放3必	4
		12以前入学生/短放3必	3

講義のねらい

3学期の病院実習も2学期と同じ、指定規則による必須科目となっている。実習科目は、核医学検査技術学と放射線治療技術学および放射線管理技術学に関する実習である。実習病院では、診療業務を実施しながら指導してくれる。実習生は限られた期間内で確実な結果を得るよう積極的、意欲的に知識と技術を習得し、医療技術者としての修練と、自覚を高め目的意識を把握することによってこの貴重な体験を将来に活かして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 病院実習の内容、実習に必要な手続上の書類の説明と記入方法。
- ② 病院実習施設の説明と実習先希望調査。
- ③ 病院実習先の決定と学制定期の申請
- ④ 実習要項（核医学系）の説明
- ⑤ 実習要項（放射線治療系）の説明
放射性同位元素の取り扱い上の注意。
- ⑥ 非密封放射性元素管理。
- ⑦ 実習報告書の説明。
- ⑧ 患者接遇（3学期実習関係）について。
- ⑨ 病院実習における実習生の心得。
- ⑩ 実習病院の実習指導者による実習項目と内容の説明。
 - a. 核医学検査法
 - b. 放射線治療法
 - c. 核医学診療・放射線治療の放射線管理。

放射線科

成績評価の方法

実習病院からの実習成績評価報告書と実習生が提出する実習報告書・調査書等を参考として決定する。

教科書

病院実習要項と3学期で使用している教科書等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学英語（前期）	い とう のり こ 伊 藤 典 子	短放2選	1

講義のねらい

人間が生涯を通して健康に生きるための基本的問題、医療従事者の役割、最新の治療法、医療と倫理に関して、Health Care 関連の英文を読みながら理解を深めていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

前期だけの全13回の開講科目です。各課に多様な練習問題とさらに、場面設定された医療従事者と患者の英語会話を通して、読む力・書く力・話す力・聞く力の4技能を育てていきたいと考えています。まず、英文を読解し、医療と倫理をよく理解して、英語会話を練習し、医学英語を学んで、練習問題を行っていきます。翌週に必ず採点をして、誤った箇所を訂正して返すので、フィードバックをしてください。

成績評価の方法

毎授業後、練習問題を行って提出したものと、授業への参加を最終評価とします。学期末試験は実施しません。欠席ということは練習問題未提出ということですから、0点となり、総合点が低くなります。

教科書

西村月満・Joseph Dias 他編著『英語で学ぶ医療と健康—新訂版—Health Care Today—The New Edition—』（朝日出版社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
臨床放射線特論(後期)	ほし かわ よし かず 星 川 嘉 一	短放3選	1

講義のねらい

既に学んだ放射線物理学、写真学や解剖学の基礎の上に実際の画像を見ながら、医師、看護師、放射線技師等で形成される医療チームにおける臨床放射線技師の役割を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

単純写真、造影検査、CT、MRI、血管造影等のモダリティ別、又は頭部、頸部、胸部、腹部、四肢等の臓器別に実際の症例を見ながら臨床に則した形の内容とする。

履修上の留意点

一方的な受け身ではなく、積極的な発言等の授業への参加を求める。

成績評価の方法

基本的には期末試験の結果で評価するが、授業への出席やその態度についても参考にする。

そ の 他

授業の方法は実際のレントゲン写真、スライド、ビデオ、PCを使用し、学生の参加を主体として進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画像処理論(後期)	かし お さい し 檀 尾 英 次	短放3選	1

放射線科

講義のねらい

コンピュータのハードウェアの小型化は、マルチプロセッサの使用を可能とし、大容量で高速な画像処理が可能となった。それに伴いコンピュータを用いた画像処理が、今後ますます盛んになるものと思われる。

コンピュータによる画像の処理と認識は、その処理の柔軟性からさまざまな応用が考えられ、その重要性が高まるであろう。

最近の医用画像診断機器は、ほとんどがコンピュータを内蔵し、画像処理した結果を出力としている。講義では画像の処理と認識の基本を修得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次の通り。

- 1) 画像の処理と認識について
- 2) 画像の入出力
- 3) 画像のフィルタリング
- 4) 画像の直交変換
- 5) 2値画像処理
- 6) 特徴空間とクラスタリング
- 7) パターンマッチング
- 8) 構文解析的パターン認識
- 9) 画像の領域分割
- 10) 立体認識
- 11) 神経回路網による画像認識

履修上の留意点

画像処理の基本を理解するように努力されたい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教 科 書

安居院猛、長尾智晴共著『画像の処理と認識』(昭晃堂) 3,675円

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射化学特論(後期)	やまもと ゆう すけ 山本 裕 右	13以降入学生/短放3選	1
化学特論(後期)		12以前入学生/短放3選	

講義のねらい

核医学で用いられる放射性同位元素および標識化合物についての各論を学ぶ。現在、放射性医薬品として使われている放射性核種は99m-テクネチウムを中心として、133-キセノン、67-ガリウム、123、125、131-ヨウ素など多種にわたる。これらの核種を利用しての核医学検査技術学的な面については、3年次の「核医学検査技術学」で学ぶが、本講義においては in vivo 放射性医薬品の体内での挙動を理解するうえで基礎となる事項を中心に解説する。

講義の内容・授業スケジュール

上記の観点から、in vivo 放射性医薬品として使用されている放射性同位元素を同族元素別にまとめ、以下の内容について講義する。

1. テクネチウム(発見の歴史、核的性質、化学的性質、製造法、ジェネレータ、標識化合物の性質と標識法)
2. キセノン、クリプトン(希ガス発見の歴史とその存在、化学的性質、核的性質、製造法、81Rb-81mKr ジェネレータ)
3. ガリウム、インジウム、タリウム(発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)
4. ヨウ素(発見の歴史、化学的性質、核的性質、製造法、標識化合物の性質と標識法)

成績評価の方法

学年末試験と平常点により評価する。

教科書

使用しない

参考書等

データブックとして日本アイソトープ協会編『アイソトープ手帳』(日本アイソトープ協会) 1,680円を使用する。講義には必ず持参すること。
その他、参考書として厚生省薬務局審査課編「放射性医薬品基準ハンドブック」(日本アイソトープ協会) 2,310円をもつとよい。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用計測学(前期)	かしお えい じ 檀 尾 英 次	短放3選	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。
医用画像診断装置で核医学診断装置および超音波診断装置を主体とするが、PACSおよびCRについてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 核医学診断装置
 - 1) 放射性核種および放射線計測の基礎
 - 2) ガンマカメラ
 - 3) SPECT
 - 4) PET
 - 5) 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2 超音波診断装置
- 3 PACS(医用画像管理システム)
- 4 CR(コンピューテッド・ラジオグラフィ)

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習(前期)	うじ いえ もり みち 氏 家 盛 通	短放1選	1

講義のねらい

将来診療放射線技師として医療に従事する者にとって、これから放射線関連の多くの専門科目を履修しなければならない。そこで放射線や放射能に関連する文献を選び、具体的な事例をもとに講述する。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ①生活環境と放射線
- ②奥の細道と放射線
- ③植物と放射線
- ④食品中の放射性物質
- ⑤核実験と放射能
- ⑥食生活と人工放射能
- ⑦実効線量当量
- ⑧線量限度の考え方
- ⑨海洋の放射能
- ⑩病院での放射線

生活の中の放射線を話題として取り上げて、放射線に関する人・団体・施設・機器・種類や単位などを身近なものにする。

成績評価の方法

小論文・学習状況・出席などにより評価する。

教科書

授業に使用する資料は、毎回配布する。

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習(前期)	くま さか 熊 坂 さつき	短放1選	1

講義のねらい

放射線技術者になるために、第1歩をふみ出した人達に、これからの指針の1つの手がかりになるような学習を行う。授業は小グループによるゼミ形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ビデオを用いて医療現場と医者、スタッフの役割について学ぶ。
- ・ビデオを用いて、研究者とは何かについて学ぶ。
- ・簡単な実験を行い論文を書いてみる。

成績評価の方法

レポート

教科書

使用しない
プリントを配布する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習(前期)	すぎ た とおる 杉 田 徹	短放1選	1

講義のねらい

放射線科の学生諸君には、将来、医療界における正確な生体情報提供者としての役目が課せられている。その問題意識にたつて情報についての基礎を学ぶことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

半期のゼミ形式で進める授業である。基礎情報学を中心に、視聴覚教材を利用して授業を進める。キーワードは情報の定義、発生、伝達、情報の価値、創造的情報活動。

履修上の留意点

問題意識とやる気のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

試験は行わない。レポートと平常点によって評価、単位認定を行う。

教 科 書

教科書は使用しない。資料は毎回配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学基礎演習(前期)	たか の まさ お 高 野 正 雄	短放1選	1

講義のねらい

新入生諸君はこれまで、受身で知識を勉強し蓄積してきた。これからも、さらに高度な知識を学び、放射線技師の道へと進んで行くことになるが、できうることならば、知識を生かして創造力を発揮できる技師に育ててもらいたい。本講では、身近かな課題に対する解決策を討論し、創造性とは何かを理解することを試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

事前にテーマ(文献等も有り)を出し、それに対する自分なりの検討結果を発表し、討論する。

履修上の留意点

正しいか、正しくないかは気にせずに、自分なりの考え方をしっかりともつこと。

成績評価の方法

学習状況と出席などにより評価する。

教 科 書

毎回必要なものはプリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習(前期)	やまもと ゆうすけ 山本 裕 右	短放1選	1

講義のねらい

自然科学においては物事をどのように捉え、解釈し、理解するのか。また未知の事柄に対してどのように取り組むのか。これらの一端を覗くことをしてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

原子および放射線、放射能、原子力についての基礎的事項をいくつか限定して取り上げ、少し深くまで探ることをする。具体的には以下のようなテーマを取り上げ、ゼミ形式で進める。また、パソコンを使つての数値計算も随所で行う。

- ・原子とは
- ・原子の中の電子
- ・安定同位体と放射性同位体
- ・放射能とは
- ・放射線とは
- ・エネルギー問題と原子力

履修上の留意点

ただ座っていたのでは何も与えられません。自ら積極的に調べ、発表し、疑問な点は遠慮なく質問してください。そして、自分にとって未知の物事がはっきり見え出したときの喜びを味わってください。

成績評価の方法

平常点

教科書

その都度プリントを配布する

参考書等

授業時間中に指示する

放射線科

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線学基礎演習(前期)	よし かわ こうき 吉川 宏 起	短放1選	1

講義のねらい

放射線の種類と性質などの基礎知識と自然放射線を含めた放射線の生体への影響、放射線の医療への利用について概略を解説する。

講義の内容・授業スケジュール

放射線発見の歴史を含めた過去の放射線利用について遡って、医学における放射線利用の光と影について概説する。放射線の医療応用における目覚ましい開発としてX線画像のデジタル化とX線CT (computed tomography; コンピュータ断層撮影) の2つが挙げられる。とくに後者ではMD-CT (multidetector CT; マルチディテクターCT) の開発によって高い時間分解能と高い空間分解能が実現し、心臓の冠動脈造影での有用性も示されるようになってきている。しかしこのMD-CTの発展によって一方では医療被曝の増大も指摘されている。本講義ではこうした臨床医療におけるX線利用の功罪についても具体的な臨床例を挙げながら解説する。

履修上の留意点

放射線についての正しい知識を得ることが重要で、医療における有用性を理解するとともに正しい検査適応を理解することが重要である。

成績評価の方法

筆記試験の他、レポート提出。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	あおき きよし 青木 清	短放3選	2

講義のねらい

診断用엑스線およびその散乱線の線量と線質に関する実験を行い、研究発表ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

엑스線の測定は線量計や半導体検出器を用いて行う。測定結果はパソコンにより処理し、実効線量や実効エネルギーを求める。テーマによってはパソコンによるシミュレーションも行う。これらの結果から、診断時の患者・術者の被曝線量を求めると共に、被曝低減の可能性を考える。

活動は下記のような順序で行う。

1. 論文や報告書の講読
2. 実験テーマの設定
3. 実験の実施
4. 報告書の作成
5. 研究発表

履修上の留意点

通常の学生実験と異なり、テーマや方法が最初から決まっているものではない。それらは学生同士がお互い議論の中から決めていくものであり、自主的な取り組みが最も大切である。

成績評価の方法

普段の活動状況、報告書、研究発表の内容から成績を評価する。試験は行わない。

教科書

使用しない。

参考書等

テーマに即した内容の論文や報告書を使用する。

その他

ゼミ形式で論文講読や討論を行うと共に、個人またはグループ単位で実験を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	かし おい し 檀 尾 英 次	短放3選	2

講義のねらい

パソコンを利用したデータ処理に関する分野からテーマを選び、データ処理の実験を行い、研究レポートとしてまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムについての基礎を学習し、これの基本的なプログラムについてパソコンを利用して実習する。

- 1) テキストおよび論文の講読
- 2) 実験テーマの選定
- 3) 実験
- 4) 研究レポートの作成
- 5) 研究発表

履修上の留意点

あらかじめ本演習についての大綱を示すので、実験テーマおよび実験計画について、全員で討議して決める。

成績評価の方法

ゼミの活動状況、研究レポートおよび研究発表を総合して評価する。

教科書

ゼミのテキストとして適したものを採用する予定である。

その他

ゼミ形式で講読を行い、メンバー全員が参加して実験を進める。メンバーの自主的な活動を期待する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	佐藤昌憲	短放3選	2

講義のねらい

この特別演習では、放射線線量計測に関するテーマを選び、実験を行い、論文としてまとめ、発表できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- テーマ
- 自由空気外挿電離箱の開発
 - 電離箱による X 線線量の評価
 - 電離箱による γ 線線量の評価
 - パソコンによるシミュレーション

成績評価の方法

研究論文にて評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	高野正雄	短放3選	2

講義のねらい

読影／診断に有用な画質の画像をつくり出す知識と技法を身につけることが大切である。本演習では、そのための文献、総説の講読と実験を行い、レポートとしてまとめる。

講義の内容・授業スケジュール

履修者と相談のうえ各自1年間のテーマを決める。1年間で実験、まとめをおこない、レポートとして提出する。

履修上の留意点

本演習では、研究とは何か？を理解することに重点をおく。そのため、履修者の工夫や創意が強く要求されます。

成績評価の方法

学習への姿勢及びレポート。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線学特別演習	西尾誠示	短放3選	2

講義のねらい

画質を維持・改善するためには、画像評価を含めた基礎的な画像工学的知識が必要不可欠である。最初に画像形成過程における事象について知識を持つこと、更に良質な画像を得るための諸条件を研究すること、得られた画像について理論的な評価ができることが望ましい。将来、学会発表ができる基礎的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ①画質を左右する諸因子について実験を行う。
- ②画質の物理的・視覚的評価法の研究を行う。
- ③毎週、専門・関連領域をテーマにして討論会を行う。

履修上の留意点

学生個人で研究テーマを定め、学内発表会で結果を報告できるようにする。

成績評価の方法

研究に対する意欲、報告書の内容について評価する。

そ の 他

関連学会、研究会および講習会に参加する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	はら だ かず まさ 原 田 和 正	短放3選	2

講義のねらい

各種の発光体材料など、放射線技術学に関連が深い物質について実験を行い、その特性やメカニズムを理解するとともに、実験結果について考察する力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

各自一つの研究テーマを設定し、そのテーマに沿って行った実験の結果をレポートとしてまとめ、発表する。また、関連分野の文献について輪読を行う。

履修上の留意点

学生実験とは異なり、研究実験において「模範解答」は存在しない。各自が得た実験結果から、未知の解答を各自が導き出すものである。1年間、研究テーマに対して自発的・積極的に取り組む姿勢が必要である。

成績評価の方法

レポートの内容と平常点で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線学特別演習	やま もと ゆう すけ 山 本 裕 右	短放3選	2

講義のねらい

放射線技術学の分野では、放射線検出のために熱ルミネセンス、輝尽発光、ラジオルミネセンス（シンチレーション）など種々の発光現象が利用されている。本演習においては、これらの発光を示す発光体材料を実際に取り扱い、新しい発光体の開発、あるいは既存の発光体について種々の特性を測定することにより、発光現象をより深く理解すると共に、得られたデータを解析、考察し、一つのレポートとしてまとめる作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

学年当初に履修者と相談のうえ各自の1年間のテーマを決定する。それぞれの学生は各自のテーマについて実験を行い、学年末までにレポートをまとめる。また、得られた成果についての発表会を行う。

さらに、各自のテーマとは別に、発光体関係の基礎的な文献または専門書を選び輪講を行う。

履修上の留意点

本演習を履修するにあたっては、学生各自の独自の工夫や創造性が要求される。すなわち、指示されたことを受け身で行うのではなく、各自が積極的に自分のテーマに取り組み、文献調査を行い、独自の観点からまとめることが必要である。

成績評価の方法

平常点。

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

他
学
部
履
修
科
目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	353
中国禅宗史	〈石井修道〉	353
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	354
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	354
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	355
仏教概論	〈吉津宜英〉	356
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	356
中国仏教文化史	〈永井政之〉	357
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	357
中国古典語初級	〈石井公成〉	358
中国哲学史	〈前川亨〉	358
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	359
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	359
中世文学研究Ⅰ	〈武田昌憲〉	360
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	360
比較文学	〈満谷マーガレット〉	361
西洋思想史	〈柴野博子〉	361
演劇概論	〈阿部由香子〉	362
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	362
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	363
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	363
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	364
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	364
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	365
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	366
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	366
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	367
時事英語	〈荒井良雄〉	367
地理思想史	〈吉田敏弘〉	368
地形学	〈小池一之〉	369
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	369
考古学特講Ⅲ	〈休講〉	
日本仏教史Ⅱ	〈松本信道〉	370
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	370
哲学史	〈山口祐弘〉	371
歴史哲学	〈山口祐弘〉	371
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	372
社会福祉発達史	〈林千代〉	372
国民所得論	〈吉野紀〉	373
日本経済史	〈橋野知子〉	374
中小企業論	〈吉田敬一〉	375
社会政策	〈光岡博美〉	376
日本経済論	〈小林正人〉	377

ア	ジ	ア	経	济	論	鄭	章	淵	378
中	国	経	济	济	論	小	林	修	379
ア	メ	力	欧	济	論	瀬	戸	紘	379
口	シ	東	政	政	策	山	岡	弘	380
商	ア	業	イ	ン	グ	番	縣	博	381
マ	一	ケ	理	ン	論	曾	場	信	382
経	営	テ	理	論	國	我	島	弘	383
勞	務	管	理	論	堀	龍	龍	二	384
財	務	管	計	論	小	栗	崇	資	385
会	計	會	査	論	森	田	佳	宏	386
管	理	監	計	論	石	川	祐	二	387
貿	政	会	各	論	古	沢	紘	造	388
銀	較	易	憲	論	休	講			
行	洋	行	制	論	金	子	昇	平	389
比	一	法	論	法	西	修			389
親	口	族	治	法	五	島	京	子	390
相	一	統	治	法	門	廣	乃	里	390
西	口	法	治	史	北	野	か	ほ	391
英	一	米	治	法	北	野	か	ほ	392
経	口	濟	治	法	岡	田	外	司	393
ヨ	一	パ	治	(1)	中	野	裕	二	394
ヨ	口	パ	治	(2)	中	野	裕	二	395
国	一	政	治	学	小	堀	訓	男	396
地	口	自	治	学	富	井	幸	雄	396
比	方	政	治	学	三	竹	直	哉	397
現	較	国	家	論	大	塚	桂		398
比	代	憲	務	法	休	講			
経	營	務	營	論	休	講			
国	際	業	論	茂	垣	廣	志		399
商	營	經	史	山	田	勝			399
保	險	會	論	石	名	坂	邦	昭	400
財	務	分	論	渡	邊	惠	一	郎	401
経	營	会	論	片	桐	仲	夫		402
税	務	情	論	高	木	克	己		403
経	報	報	論	高	井	徹	雄		404
情	營	理	計	西	村	和	夫		405
経	報	統	学	長	国	強			406
医	療	教	学	休	講				
医	療	濟	学	休	講				
国	宗	性	学	片	山	晴	賢		406
女	經	語	史	萩	原	義	雄		406
文	語	性	史	高	嶋	め	ぐ	み	406
国	性	概	論	菌	部	幹	生	他	407
古	特	殊	究	小	林	治	他		407
メ	曲	と	現	岡	田	万	里	子	407
時	ア	英	語	松	田	直	行		407
臨	射	線	論	岡	本	誠			407
	床	特	論	休	講				

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	短国・短英	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）や駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）および田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③円悟克勤④大慧宋杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 禅 宗 史	き とう しゅう こう 佐 藤 秀 孝	短国・短英	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西の能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粋僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教 科 書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参 考 書 等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

他学部履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 I	い し い しゅう どう 石 井 修 道	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者として伝えられ、最も読まれてきた『六祖壇経』を今年度は読む。『六祖壇経』は六祖慧能（638～713）の伝記と説法の記録である。テキストには大きく3種ある。敦煌本・恵昕本・宗宝本（流布本）である。この講義では恵昕本『六祖壇経』を講読する。慧能の言行を知らないでは、禅を学んだとは言えない。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に六祖慧能の伝記（400字詰め5枚以上）のレポートの提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教 科 書

プリント配布

参 考 書 等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 Ⅲ	いし い きよ すみ 石 井 清 純	短国・短英	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の宗峰妙超の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ること、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法と漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

『禅入門4大燈』（講談社）
講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	よし づ よし ひで 吉 津 宜 英	短国・短英	4

講義のねらい

仏教概論とは仏教を全体的に把握し、仏教とは何かを明示することを目的とします。ただ、釈尊以来の仏教は多彩であり、ある場合には相互に対立したり、矛盾する場合があります。私は釈尊の自洲（自己を拠り所にする）と法洲（法を拠り所にする）の教えを重視します。法洲の立場では、この範囲の教えを仏教と認定して良いとの基準があると思います。ただ、問題は自洲です。人間は千差万別ですから、さまざまな自覚の形態があり、それによってさまざまな仏教観が生まれることとなります。この仏教概論では釈尊の教えとして縁起と中道を中心として把握し、私自身は現代の日本社会に生きる仏教研究者としての自覚の一端を披瀝します。ただ、仏教の特色は仏教だけを認識していても明らかになるものではありません。仏教以外の思想や宗教などを比較検討して初めて仏教の特色が鮮明になることもあります。そこで、私は現代の世界で無視できない思想や宗教として、一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム）、儒教、ヒンズー教、そして科学思想の四つを選び、仏教と対峙させてみたいと思います。それらとの比較によって、仏教の特色が強い点や弱い面、また濃い点や薄い面などとして総合的に把握され、現代社会で仏教の果たすべき役割も具体的に浮き彫りにされると考えております。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に釈尊の縁起や中道の教えの意義をインド思想史の立場から明らかにします。次に、それらの教えを私自身がいかに関心し、実践しているかを語ります。さらに、現在の世界で盛んに活躍している思想や宗教を取り上げ、それらの特色や意義を把握します。また、それらの思想や宗教と仏教との比較検討を行います。その上で、現代における仏教の意義や役割を明らかにします。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を記録すると共に皆さん方の意見や疑問を書き留めていって下さい。結果的に1年間の受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいことを希望します。私が講義している最中でも手を挙げて質問して下さい。ただ、私語は厳禁であり、厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回の出席、年間2～3回の課題提出、最後の期末試験、これらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しませんが、参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

講義の中で、随時参考図書などを紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド 仏教 文化 史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	短国・短英	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頹にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	<small>なが い まま し</small> 永井 政之	短国・短英	4

講義のねらい

中国で成立した「禅」は、難解とも言える「禅問答」でその名を馳せます。しかし「問答」が繰り返されるのは、それなりの理由があるからです。方外の人である禅僧といえども、社会と全く無縁では存在しませんでした。今年の講義は中国の民衆と禅との関係を考える一環として、禅僧の言葉にあらわれた中国の文化、特に風俗習慣との関係を論じてみたいと思います。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席、課題図書についてのレポートなどを総合して評価します。

教科書

適宜プリントを配布します。大切に保管してください。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	<small>ほかま や のり あき</small> 袴谷 憲昭	短国・短英	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、その問題に応じた関連文献を講読することを通じて、批判的に考察することを主眼とする。取り上げられる問題は多様になるかもしれないが、できれば、通史的に扱っていきたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

講義において取り上げられる問題やその順序をここに明記することはできないが、だいたいは、下記に示すような予定である。

- 序 : 仏教東漸—半珈思惟像
- 第1章 : 『玉虫厨子』と捨身供養
- 第2章 : 『往生要集』と地獄極楽
- 第3章 : 『一言芳談』と後世物語
- 第4章 : 『日本史』における仏教
- 第5章 : 『新論』の国体論と仏教
- 結 : 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

渡辺照宏著『日本の仏教』（岩波新書、1958年第1刷、2002年4月第61刷）定価740円＋税

参考書等

末本文美士著『日本仏教史』（新潮文庫）

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語初級	いし かい こう せい 石 井 公 成	短国・短英	4

講義のねらい	漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。
履修上の留意点	口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。
成績評価の方法	試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。
教科書	使用せず、コピーを配布する。
参考書等	教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	短国・短英	4

講義のねらい	中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視点を見失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにすることは、中国思想の強い影響を受けている日本人の思考様式を相対化することにもつながるであろう。今日の我々の主観的な価値観によって過去を断罪するような態度からはっきり一線を画し、評価する前にまず理解するように勉めよう。
講義の内容・授業スケジュール	今年度は唐代から始めて近代（辛亥革命時期）に至る時代を扱う。その場合にも、断代史的にではなく、問題史的に進めていくつもりである。唐代以前の時代についても、前提となる知識には触れるように努める。「近代とは何か」特に「中国近代とは何か」ということが、全体を貫くテーマとなるであろう。
履修上の留意点	中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもつことが望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。積極的な問題関心をもっているひとの受講を期待する。継続して出席する意志と意欲をもたない者の受講はお断りする。
成績評価の方法	授業内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらおう。ただし、継続して出席しないで、レポートだけ提出しても、決して単位を取得することはできない。
教科書	特に必要としない。
参考書等	授業中に適宜紹介する。
その他	できるだけ多くの知識を提供するため講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起・討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	小野寛 <small>ひろし</small>	短国・短英2年	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみることを。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	松岡智之 <small>ともゆき</small>	短国・短英	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 世 文 学 研 究 I	たけだまさのり 武 田 昌 憲	短国・短英 2 年	4

講義のねらい

無常観の美学に触れる—「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり」で始まる、格調高くも、また人の心を打つ『平家物語』の調べを鑑賞。本作品は平安貴族の優美・鎌倉武士の勇壯さを併せ持ち、また、琵琶法師が語り歩いたという不思議な作品です。平清盛、木曾義仲、源義経、那須与一、などの英雄像。建礼門院、祇王、巴御前などの女性像を追って人間の生きる美しさをみます。

講義の内容・授業スケジュール

軍記の定義と流れ—軍記の発生・将門記。軍記の展開・陸奥話記。軍記の成長・保元物語・平治物語。軍記の達成・平家物語。
作品読解—祇園精舎。祇王—白拍子と遊び女・清盛の悪行。源氏揃え—源頼政の位置。橋合戦。木曾の最後—乳母子との愛・巴との愛。那須与一—扇の的美学
その後の軍記—太平記の世界・後期軍記の世界。

履修上の留意点

授業中の私語、遅刻は厳禁。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験またはどちらかレポート。また、教場レポート、出席状況、授業態度を含め、総合的に評価する。

教 科 書

佐藤謙三校注 角川文庫『平家物語』上・下（角川書店）

参 考 書 等

参考書その他は授業の都度、紹介・指示する。

そ の 他

授業方法は講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近 世 文 学 研 究 I	このえのりこ 近 衛 典 子	短国・短英 2 年	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教 科 書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

そ の 他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	みつたに 満谷マーガレット	短英	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	しばのひろこ 柴野博子	短国・短英	4

講義のねらい

前半は、西洋哲学史の古代・中世・近代を概観する。その後、現代哲学の一つとして生の哲学をとりあげたい。とくにデイルタイの解釈学とその現代的発展に力点をおき、解釈学が現代に生きる私達にどのような意味をもつか考えてみたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	あ べ ゆ か こ 阿 部 由 香 子	短国・短英	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多様であるのはなぜなのか？演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、演劇と近代化の問題、劇壇と文壇との関係、劇団や女優の問題などをとりあげていく。

講義の内容・授業スケジュール

近代、現代の日本演劇の流れを中心に講義するとともに、いくつかの作品の戯曲を読み、ビデオを鑑賞する時間も取り入れる。

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ足をはこんで観劇してもらった場合があるので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講がのぞましい。

成績評価の方法

前期は試験をおこない、後期はレポートの予定。出席点、平常点も加味する。

教 科 書

教場で指示する。

参 考 書 等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講 I	い し はら こう さい 石 原 孝 哉	短国・短英 2年	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。
成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教 科 書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

そ の 他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	短国・短英2年	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受け入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざきとしちろう 岡崎寿一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むつかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	<small>なか おか ひろし</small> 中岡 洋	短国・短英2年	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には Charlotte Bronte (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらおう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	<small>ふじがわ よし ゆき</small> 富士川 義之	短国・短英2年	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。とくにロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性について文化史的背景のなかで述べる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸小哲雄	短国・短英2年	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自律していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを見出すことです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・ *Elements of fiction* by R.Scholes（英宝社）
- ・ プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	短国・短英2年	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	短国・短英2年	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めるときも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちろ あい かず あき 落合和昭	短国・短英2年	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-) 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

プリント

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	あら い よし お 荒井良雄	短国2年	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper English と Radio English を中心に、Current English を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current English と英米文化の背景を研究し、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

『ニュース英語パワーボキャビル4,000語』(語研) 1,900円

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 思 想 史	よし だ とし ひろ 吉 田 敏 弘	短国・短英2年	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景画史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・授業スケジュール

配布資料・Powerpointを用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教 科 書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参 考 書 等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）
 織田武雄『地図の歴史』（講談社）
 織田武雄『古地図の世界』（講談社）
 葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）
 小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）
 水津一朗『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）
 野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

他 履 修 科 目
学 部

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池 一之	短国・短英2年	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事象（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：
 地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
 地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形、
 組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形
 （火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
 小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	小泉 雅弘	短国・短英2年	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史Ⅱ	まつもと のぶ みち 松本 信 道	短国・短英2年	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を政治的・社会的・思想的・宗教的環境のなかで有機的にとらえてゆくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的な視点とし、古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートで評価したい。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史』古代編（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	たにぐち みつぎ 谷口 貢	短国・短英2年	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の霊魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	短国・短英2年	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	山口祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	短国・短英2年	4

講義のねらい

「すべての真の歴史は現代の歴史である」というクローチェの言葉を手引きとして、「歴史とは何か」という問題を様々な思想家の見解によりつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生の様態と歴史の類型（ニーチェ）
2. 歴史の哲学的考察（カント）
3. 哲学的歴史の構想（ヘーゲル）
4. 歴史認識と価値（ヴィンデルバンド）
5. 文化科学の客観性（ウエーバー）
6. ホモ・ファーベルとポイエーシスの世界（西田幾多郎）
7. 歴史の存在構造（メルロ・ポンティ）

成績評価の方法

出席を重視する。成績は平常の学習態度と期末に課す小論文の評価によって判定する。

教科書

E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書）
B・クローチェ『歴史の理論と歴史』（岩波文庫）

他
履修
学
部
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 勝 川 本 勝	短国・短英2年	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーション活動の現代的特質と社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
 ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 ・社会生活とコミュニケーション行動。
 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
 ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

特に用いない。

参考書等

講義中に適宜指示する。

他学部履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉発達史	はやし 千代 林 千代	短国・短英2年	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの吉野 おさむ 紀	短国・短仏	4

講義のねらい

わが国の労働力は就業者 6,660 万人（平成 12 年）を数え、その内で約 5,600 万人の人が事業所等で雇用者として働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを 1 年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言って GDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは 4,400 万にのぼる家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の 1 年間の規模は平成 12 暦年の GDP によって 514 兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとするれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その 1 つ 1 つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5 回
GDP、GNP などの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成 13 年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4 回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第 3 講で活躍する IS 曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第 3 章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8 回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS 曲線と LM 曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第 9 章
4. 「金融政策、財政政策」……………4 回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP 出版）第 4 章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5 回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2 回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J.ゴードン「現代マクロエコノミックス（上）」（第 6 版）（多賀出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済史	橋野知子 <small>はしのともこ</small>	短国・短仏	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・
授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 近代日本経済史へのアプローチー日本経済史を学ぶ意義 | 3. 明治維新 |
| 2. 幕末の経済と開港 | 5. 近代産業の発達／軽工業と重工業 |
| 4. 殖産興業と松方財政 | 7. 第一次大戦と日本経済 |
| 6. 日清・日露戦争と日本経済 | 9. 高橋財政 |
| 8. 1920年代～昭和恐慌へ | 11. 戦後経済改革 |
| 10. 戦時経済 | 13. 高度経済成長 |
| 12. 経済復興 | 15. 平成不況と現代経済 |
| 14. 高度成長の終焉～バブルの時代へ | |

成績評価の方法

レポートと試験により評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教科書

特に指定しません。毎回資料を配付します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

この講義は週2回おこなわれ半期で終了する集中科目です。

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	短 仏	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業員は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えしてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

参 考 書 等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか ほく み 光 岡 博 美	短国・短仏	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対峙していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教 科 書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	短国・短英2年・短仏	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節日に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 経 済 論	ちよん ちやん よん 鄭 章 淵	短 仏	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に白筆のノート参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	短仏	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴=機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行き止まった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産諸負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかっていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止(授業に集中できない人は出席不可)。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』(龍溪書舎) 4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』(古今書院) 3800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	短仏	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

- ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳 青木書店 1994年)をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	短仏	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教 科 書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

そ の 他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ぼん ば ひろ めき 番 場 博 之	短 仏	4

講義のねらい

商業政策（流通政策）とは、流通に関わる企業の活動に対する公的な介入（政策）を意味する。日本ではグローバルスタンダードの名のもとに規制緩和が進んでいるが、欧米では必ずしもそうではない。日本の商業政策とは何か、どのような特徴を持つのかを本講義では考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は総論、後期は各論を行う。総論では流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の商業政策体系を解説する。各論では競争政策と出店政策を中心に説明する。また、講義の流れとは別に、テーマ講義を数回行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。詳細なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。必要に応じて小レポートを課すことも検討しているが加点の程度は高くない。

教 科 書

前期の総論では使用しないが、後期の各論では使用する予定である。書名等は後期の開講時に提示する。

そ の 他

講義ではOHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。

問い合わせ先、E-mail: h2banba@cuc.ac.jp、HP: <http://www.cuc.ac.jp/~h2banba>

科目名	担当者名	配当学科	単位
マーケティング	曾我信孝	短国・短仏	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いにして

講義の内容・授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャンネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャンネル（販売チャンネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャンネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2~4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていのかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教科書

指定なし

参考書等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	くにしまひろゆき 國島弘行	短国	4

講義のねらい

経営管理論では、人間の集団労働に対する計画、組織、指揮、統制などの管理の問題を、主として企業において検討します。

講義では、経営管理の多面的側面を学び、企業の実践的課題の歴史的展開に従って進化してきた具体的内容と現代的課題とを考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ロマン（社会的使命）とそろばん（所有、市場競争、利益）
- 2) 科学的管理の歴史的条件と理論的・技術的構造
- 3) フォード・システムと日本的生産システム
- 4) 職能論的管理論、組織構造論、日本の組織構造
- 5) 人間関係論、モチベーション、労働の人間化
- 6) 企業文化、日本的企業文化、企業倫理
- 7) 近代的管理論と意思決定
- 8) 経営戦略論と環境適応、戦略経営と創発的戦略
- 9) 情報ネットワーク経営、バーチャル企業、価値創造経営

履修上の留意点

現在、経営管理は、大量生産・販売・廃棄からの転換、グローバル化、情報ネットワーク化のもとで、革新が求められている。経営管理の基本を学ぶなかで、人間生活や市民生活を本当に豊かにする価値創造のための経営革新のあり方を考えていきたい。

成績評価の方法

出席状況、数回の試験

教 科 書

國島他著『経営革新のアプローチ』（八千代出版）3,200円

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
労務管理論	ほり 堀 りゅう 龍 じ 二	短仏	4

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大層リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	お栗 <small>ぐり</small> たか <small>たか</small> し <small>し</small> 資	短国・短英2年	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	短 仏	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教 科 書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

財財務会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いしかわ ゆうじ 石川 祐二	短仏	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜配布する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古沢 紘造	短仏	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かねこしょうへい 金子昇平	短仏	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて説明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にしおさむ 西修	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 20点 ②前期試験 40点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART 3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『世界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	ごとう きょう こ 五 鳥 京 子	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族〔第4版増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選〔第6版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かど ひろ のりこ 門 広 乃 里 子	短国・短仏	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価する。

教 科 書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続〔第4増補版〕』(有斐閣双書) 1,600円

参 考 書 等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』(有斐閣) 2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 米 法	きたの 北野 かほる	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法
 - (2) 二大法体系
 - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴
 - (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域
 - (2) 法源
 - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性
 - (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念
 - (2) 法システムにおける裁判の位置
 - (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論
 - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法
 - (2) 判決における法考察
 - (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠
 - (2) 内実
 - (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ
 - (2) 厳格な分離解釈の理論

履修科目
他学部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

昨年度から講義計画に変更が生じているため、シラバスが一部大きく変更になっている。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がる。各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 法	お だ と し ひ ろ 岡 田 外 司 博	短 仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論（1）	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	短国・短英	2

講義のねらい

平成15年（2003年）度の「ヨーロッパ政治論（1）」はフランスを対象とする。フランスの政治制度を概観した後、近年のフランス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 大統領も首相もいる国
2. 「半大統領制」
3. 「合理化された議会制」

第2章 社会編成原理としての共和制

1. フランス共和制の理念
2. 共和制の現実
3. 「フランス的統合」

第3章 移民問題

1. 移民の概観
2. 移民問題の顕在化
3. 移民問題とフランス共和制

第4章 国民戦線の台頭

1. フランスの新右翼
2. 新右翼の主張
3. 国民戦線台頭の意味

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
フランス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらおう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年
畑山敏夫『フランス極右の新展開』国際書院、1997年
山口定・高橋進編『ヨーロッパ新右翼』朝日新聞社、1998年
奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』早稲田大学出版部、1993年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
長部重康『変貌するフランス』中央公論社、1995年
渡邊啓貴『フランス現代史』中央公論社、1998年
本間圭一『パリの移民・外国人』高文研、2001年
三浦信孝編『普遍性か差異か』藤原書店、2001年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論（２）	なかのゆうじ 中野裕二	短国・短英	2

講義のねらい

平成15年（2003年）度の「ヨーロッパ政治論（2）」はイギリスを対象とする。イギリスの政治制度を概観した後、近年のイギリス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 複合国家から準連邦国家へ
2. 議会優位

第2章 政党政治——サッチャリズムからブレアの「ニュー・レイバー」へ

1. 準備作業——概念、理論の確認
2. イギリスの伝統的政党制
3. サッチャリズム
4. ブレアの「ニュー・レイバー」

第3章 北アイルランド紛争

1. 北アイルランド紛争の歴史的経緯
2. 北アイルランド紛争の基底

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
イギリス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
梅川正美『イギリス政治の構造』成文堂、1998年
山口二郎『イギリスの政治 日本の政治』筑摩書房、1998年
舟場正富『ブレアのイギリス』PHP 研究所、1998年
自治・分権ジャーナリストの会編『英国の地方分権改革』日本評論社、2000年
豊永郁子『サッチャリズムの世紀』創文社、1998年
川勝平太／三好陽編『イギリスの政治』早稲田大学出版部、1999年
ポール・スノードン／大竹正次『イギリスの社会』早稲田大学出版部、1997年
鈴木良平『アイルランド問題とは何か』丸善、2000年
M・イグナティエフ『民族はなぜ殺し合うのか』河出書房新社、1996年
富田正史『「多文化主義ネイション」に向けて』晃洋書房、1996年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 政 治 学	こ ぼり のり お 小 堀 訓 男	短国・短英	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 方 自 治 法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	短国	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。

なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	三 竹 直 哉 <small>み たけ なお や</small>	短国・短英	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2003年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2002年度用です。2003年度用の情報は、2003年4月に入ってから確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教科書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参考書等

適宜指示します。

その他

授業では、みなさんがせっかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

他学部
履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 国 家 論	おおつか かつら 大塚 桂	短国・短英	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1 国家論の課題 2 幕末政治過程 3 幕末政治思想（水戸学、国学） 4 公議政体論 5 太政官制・内閣官制 6 大日本帝国憲法 7 法典整備・司法制度 8 統帥権・戒厳（令） 9 地方官官制 10 自由民権運動 11 帝国議会 12 財政制度 13 教育勅語 14 国家神道 15 社会主義運動 16 大正デモクラシー 17 天皇機関説 18 天皇制ファシズム 19 統制経済 20 まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教 科 書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3300円

参 考 書 等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3000円

そ の 他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志	短仏	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	山田勝	短国・短仏	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険経営論	いしな ぎか くに あき 石名坂 邦 昭	短仏	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わたなべ えいちろう 渡邊 恵一郎	短仏	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著「財務会計講義」（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたぎり のぶ お 片桐伸夫	短仏	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

* レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆ 提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

* テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆ 質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税 務 会 計 論	たがき かつみ 高 木 克 己	短 仏	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容の概要は次のとおりである。
1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
 2. 同族会社と青色申告
 3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
 4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
 5. 受取配当金益金不算入
 6. リース取引
 7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
 8. 交際費及び寄付金
 9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
 10. 圧縮記帳
 11. 引当金と準備金
 12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ハイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
 13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	たか い てつ お 高 井 徹 雄	短国・短仏	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営情報とシステムの観点（前期）
 - (1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）
情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。
 - (2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）
情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。
 - (3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）
経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。
- II. 情報の利用技術（後期）
 - (1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）
調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。
 - (2) シミュレーション（11月～12月：4週）
複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。
 - (3) DSSとES（12月～1月：3週）
人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

他学
部履修
科目

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 理 論	にしむらかずお 西村和夫	短国・短仏	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしていきます。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクタとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ きょう 長 国 強	短仏	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：季節指数、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定

統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

他学部履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま はる かた 片 山 晴 賢	短英	4

(P.195) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	はぎ はら よし お 萩 原 義 雄	短英	4

(P.196) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性史	たか しま 高 嶋 めぐみ	短英	4

(P.224) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化概論	<small>そのへ</small> 園部 幹生・井上 優 <small>きとう</small> 佐藤 憲昭・町田 尚子 <small>すえふじ</small> 末藤美津子・内藤 寿子 <small>おじ</small> 藤田 和美	短英	4

(P.222) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	<small>こばやし</small> 小林 治・鈴木 裕子 <small>そのへ</small> 園部 幹生・松田 直行	短英	4

(P.206) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	<small>おか</small> 岡 だ まり 子 <small>だ</small> 田 方 里 子	短英	4

(P.230) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	<small>まつ</small> 松 だ なお けい <small>だ</small> 田 直 行	短英	4

(P.225) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	<small>おか</small> 岡 もと まこと <small>もと</small> 本 誠	短国	4

(P.276) 参照

他学部
履修科目

履修科目
他学部

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

日本事情
日本語

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	413
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	413
日 本 語	II	〈佐野典子〉	413
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	414
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	414
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	415
日 本 語	IV	〈石川守〉	415
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	415
日 本 語	V	〈石川守〉	416
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	416
日 本 語	VI	〈石川守〉	417
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	417

《日本事情科目》

日本事情 I〔地理〕	(前期)	〈須山 聡〉	417
日本事情 II〔自然〕	(前期)	〈清水 善和〉	418
日本事情 III〔歴史〕	(後期)	〈宮本 由紀子〉	419
日本事情 IV〔思想〕	(前期)	〈赤羽 由規子〉	419
日本事情 V〔社会〕	(後期)	〈李 妍 炎〉	420
日本事情 VI〔政治・法律〕	(後期)	〈中野 裕二〉	421
日本事情 VII〔文学〕	(後期)	〈奥原 淳子〉	421
日本事情 VIII〔文化・芸術〕	(後期)	〈赤羽 由規子〉	422
日本事情 IX〔経済〕	(前期)	〈吉田 敬一〉	422
日本事情 X〔経営〕	(前期)	〈鈴木 幸毅〉	422

「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	短国・短英	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	短国・短英	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要と思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

日本語
日本事情

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	短国・短英	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	たたらあきこ 多田羅 哲子	短国・短英	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	たたらあきこ 多田羅 哲子	短国・短英	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
- 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	短国・短英	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	短国・短英	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教科書

授業中に配布する。

参考書等

特になし。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	短国・短英	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし かわ まもる 石川 守	短国・短英	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行っていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	た た ら あ き こ 多田羅 哲子	短国・短英	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	石川 守 <small>いし かわ まもる</small>	短国・短英	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Vで学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	多田羅 哲子 <small>たたら あき こ</small>	短国・短英	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。

文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリントを配布。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I (前期) 〔地理〕	須山 聡 <small>す やま さとし</small>	短国・短英	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 事 情 Ⅱ (前 期) 〔 自 然 〕	し 清 水 よし かつ 清 水 善 和	短 国 ・ 短 英	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

なし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ(後期) 〔歴史〕	<small>みやもと ゆきこ</small> 宮本 由紀子	短国・短英	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教科書

なし

参考書等

その都度知らせる。

その他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ(前期) 〔思想〕	<small>あかば ゆきこ</small> 赤羽 由規子	短国・短英	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ(後期) 〔社会〕	李 妍 炎 り けん えん	短国・短英	2

講義のねらい

この講義では、一般的に「日本的」「日本型」「日本らしい」と言われるような社会事象を発見し、その意味を探り、それについて理解し、検討していくことを目的とする。それによって、受講生とともに日本社会への理解を深めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞記事や映像などを素材として、受講生が「日本的」「日本型」「日本らしい」と思うようなものを選んで、授業で発表する。その発表をベースにコメントや議論を加えて授業を進めていく。大まかなテーマとスケジュールは以下のとおりである。

1. ガイダンス
2. 日本の政治 (政治家)
3. 日本の経済 (企業)
4. 日本の外交 (国際交流・国際援助)
5. 日本の教育 (学校・子育て)
6. 日本の若者
7. 日本の芸能
8. 日本の事件簿
9. 日本の事件簿
10. 日本の暮らし
11. 日本の暮らし
12. ディスカッション: 「日本的」と「日本らしい」から考える日本社会論
13. まとめ

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

平常点 (出席) とレポートによる。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅵ(後期) 〔政治・法律〕	なかの ゆうじ 中野 裕二	短国・短英	2

講義のねらい

この講義は、日本語を母語としない学生を対象にして、日本の政治制度を概観し、現在の日本政治の争点と課題を理解することを目的とする。
項目ごとにまず講義を行い、そのうえでその項目に即したテーマを設定し、受講生の間で討論をして内容の理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

取り上げる項目は次のとおり。

1. 国会
2. 政党政治
3. 首相
4. 官僚
5. 地方政治
6. 政治参加

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。できるだけ双方向型の授業にしたいと考えている。

成績評価の方法

①出席、②質問、発言など授業への積極的参加度、③期末試験を総合的に評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。毎回プリントを配布するので、そのプリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

適宜紹介する。

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅶ(後期) 〔文学〕	おくはら じゅんこ 奥原 淳子	短国・短英	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。

テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。

第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・レポート

教科書

その都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ(後期) 〔文化・芸術〕	あかばゆきこ 赤羽由規子	短国・短英	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ(前期) 〔経済〕	よしだけいいち 吉田敬一	短国・短英	2

講義のねらい

第2次世界大戦に敗れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経営〕	すずきこうき 鈴木幸毅	短国・短英	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教科書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

V 教職課程・資格講座

教職課程
資格講座

※大学（学部）に開講されている下記の科目を履修することができます。
ただし、できるかぎり短大の開講科目を履修することが望ましいです。やむを得ず履修しなければならない場合は教職窓口（教務部②番）に相談して下さい。

科目名

「教職入門」「教育とメディア」「道徳教育の研究」「特別活動」「生徒指導論（進路指導を含む）」
「教育臨床」「総合演習」「学校経営と学校図書館」「読書と豊かな人間性」
「学校図書館メディアの活用」「情報メディアの活用」「学習指導と学校図書館」

V. 教職課程・資格講座科目

I 教 職 課 程

(1)教職に関する専門科目 (必修)

教 職 入 門	〈藤 木 篤 典〉	427
教 育 の 思 想	〈北 村 三 子〉	428
教 育 と 社 会	〈北 村 三 子〉	428
発 達 と 学 習 の 心 理 学	〈大 浜 幾 久 子〉	429
カ リ キ ュ ラ ム と 学 習	〈大 浜 幾 久 子〉	429
教 育 と メ デ ィ ア	〈石 橋 達 也〉	430
国 語 科 教 育 法	〈小 林 治〉	431
英 語 科 教 育 法	〈ア シ ュ エ ル, T.〉	431
特 別 活 導	〈山 田 忠 行〉	432
生 徒 指 導 論 (進 路 指 導 を 含 む)	〈遠 藤 司〉	432
道 徳 教 育 の 研 究	〈山 田 忠 行〉	433
教 育 臨 床	〈遠 藤 司〉	433
総 合 演 習 [現 代 生 活 を 見 直 す]	〈北 村 三 子〉	434
教 育 実 習 II	〈坂 本 信 昭〉	434
教 育 実 習 II	〈荻 原 建 次 郎〉	435

(2)教科又は教職に関する科目

教 育 関 係 法 規	〈広 沢 明〉	436
学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	436
読 書 と 豊 かな 人 間 性	〈山 田 節 子〉	436
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	〈源 昌 久〉	436
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	〈源 昌 久〉	436
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	436

教職課程
資格講座

II 学校図書館司書教諭講座

学 校 経 営 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	437
読 書 と 豊 かな 人 間 性	〈山 田 節 子〉	437
学 校 図 書 館 メ デ ィ ア の 構 成	〈源 昌 久〉	438
情 報 メ デ ィ ア の 活 用	〈源 昌 久〉	438
学 習 指 導 と 学 校 図 書 館	〈山 田 節 子〉	439

資格講座
教職課程

I 教職課程

(1)教職に関する科目（必修）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教職入門（後期）	ふじ き あつ のり 藤 木 篤 典	教職1必(短国・短英)	2

講義のねらい

高度消費社会のもと、国際化・情報化の進展の中で、過密・過疎、少子化による人間関係への影響、近年の不況等が及ぼす多様化した生徒をどう教育するか。日本の教育界は価値観の多様化で多くの問題を抱えている。

それらの問題を解決するための力量が教師に求められる。制度面でも多様な高校（通信制、昼夜間定時制、全・定単位制、総合学科）が設立されている。

この講義では、教師になるための勉強の第一歩として、知ってほしいことを学びます。生徒は、教師の接し方、アドバイス等で大きく変化します。

講義の内容・授業スケジュール

- ・教員免許状と学校
- ・特別教育活動
- ・教育相談
- ・採用試験
- ・指導面：各教科、選択科目・種目
単位・科目の成立 板書の工夫
- ・教育内容：知・徳・体育 教育目標
禁止される教育
- ・教育方法
- ・制限・禁止されるもの——校内委員会
セクシャルハラスメント 両性の平等
性・人種・民族・出自による差別
- ・地域との関係：学校評議員制度
- ・関係団体：PTA 同窓会 後援会
- ・研修：内地留学制度 校外での研修
- ・その他：ジェンダー 国際交流
障害児教育
- ・生徒指導：生徒の身分に変化のあるもの

・教育課程の成立

・学校行事

・特色ある学校

・勤務条件と身分

成績評価の方法

出席点とレポート等の提出による評価

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	短国・短英1必	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていききたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したものうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周辺のだった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	短国・短英1必	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質…近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて…教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参考書等

教場で指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま 幾久子	短国・短英1必	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習	おおはま 幾久子	短国・短英1必	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育とメディア	いし ばし たつ や 石 橋 達 也	教職1・2必(短国・短英)	2

講義のねらい

本授業では、情報化社会が著しく進展していく今日の状況での教育の在り方について学んでいきます。はじめに、教育／学習あるいは授業の捉え方や教育におけるメディアの利用の仕方について、教育心理学や教育方法学の観点から眺めます。それに続いて、インターネットなどを含めたコンピュータ活用教育について焦点を当て、その実践のために必要な操作や教師としての姿勢などについて学ぶとともに、コンピュータ利用上の注意点や問題点についても検討していきます。

講義の内容・授業スケジュール

授業のスケジュールとしては、およそ以下に示すテーマに沿って進めていく予定です。1. 教育の情報化と教育方法、2. 授業と学習過程の理解、3. 学習者特性の理解、4. 授業モデルと授業設計、5. 教育メディアとメディアリテラシー、6. 教育へのコンピュータの導入、7. コンピュータと情報活用能力、8. インターネットの活用と協同学習、9. インターネット社会の参加態度など。

履修上の留意点

履修する学生には、この授業が教職を目指す上で必要な科目であることを自覚して、毎回まじめに出席することと授業に積極的に取り組むことを期待します。

成績評価の方法

成績の評価は、期末試験の得点を中心にして、授業への出席状況や参加態度などの平常点を加味して行ないます。

教科書

使用する教科書については、初回の授業の中で伝える予定です。

参考書等

授業の中で必要に応じて、参考文献・関連資料・ビデオ映像などを紹介していく予定です。

その他

授業の中で、毎回コンピュータを使用する実習時間があります。初歩的なレベルから始めていきますので、初心者でも積極的な「学ぶ意欲」があれば、安心して学習していけるはずです。教室のパソコンの台数にあわせて、受講者数を制限する場合があります。前期の1回目の授業に出席して、担当者の指導に従ってください。また、学部（昼間）の後期に履修を希望する者も、前期の1回目の授業に出席することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語科教育法	小林 治 <small>こばやし おさむ</small>	教職1必(短国)	4

講義のねらい

本講座の受講生は、その大半が一年後には教育実習生として、教室で生徒を前に授業という形で国語の教科指導を行なうことになる。あるいは、将来、教師として教壇に立つこともあるだろう。そのような時に、国語という科目をどのように教えることができるか、その方法と実際を学ぶための講座である。

国語という科目は大きく分けて、理解と表現という二領域があると考えられる。理解とは、論説文、文学作品などの読解、鑑賞であり、表現とは、文章表現(書く)、口頭表現(話す・聞く)に関わることである。そして、この二領域を横断する要素として、考えること(思考)がある。これらの領域、要素にまたがって、様々な教材を使って生徒の総合的な国語力修得をはかることが、教科指導の目的である。しかし、教育現場において生徒一人一人は、その能力、適性、学習の進度に大きな差があり、一律には指導できない。その多様さに応じた学習指導上の工夫も必須であると言えよう。よって、本講座では従来の一斉授業の枠の中でその長所を把握し、そこにおける効率的学習のあり方を考えることを経て、個人差に応じた学習指導の工夫を試みる授業形態を考えていくことになろう。

講義の内容・授業スケジュール

1. 2002年実施の新学習指導要領について。
2. 国語科教育の基本的な知識と方法。
3. 中学校教科書を用いた授業展開例の紹介と、その問題点の把握。
4. 実際に教育現場で行なわれている新しい指導法の紹介。
5. 指導案の作成。
6. 中学校教科書を用いての受講者一人一人の模擬授業。

履修上の留意点

受講生が教育現場で教壇に立った時に遭遇する様々な困難を想定し、それに対処できるような実践力の養成を行ないたいので、漠然とした教師への憧れや、安易な資格取得目的による受講がないよう希望する。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容(教科指導案を含む)、模擬授業の内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教科書

『実践的国語科教育法』(新典社)2,000円 中学校教科書『現代の国語1』(三省堂)690円(五月以降に購入可能)

参考書等

その都度指示する。なお、適宜、プリントを配布する。

その他

ビデオ等を使って各校の授業展開例を紹介する予定。

教職課程
資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語科教育法 (前期)	アシュウェル, T.	教職1必(短英)	4

講義のねらい

中学校での英語科教育法を中心に、日本の英語科教育を検討していく。

履修上の留意点

3回以上欠席した者には単位を与えない。

成績評価の方法

どのぐらい責任をもって授業に取り組むか・テストの結果・出席などから総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
特別活動（後期）	やま だ なた ゆき 山 田 忠 行	教職1・2必(短国・短英)	2

講義のねらい

「特別活動」は、望ましい集団活動を通して、好ましい人間関係を形成し、社会の一員としての自覚と責任ある態度を身につけるとともに、人間としての生き方を探求し自己を生かす能力などを養うものである。この「特別活動」の教育的意義や目標及び内容、方法等について、理論と実践の両面から研究を行う。特に、実践的な面では、特別活動の活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行い、実践的な指導力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

①特別活動の教育的な意義 ②特別活動の歴史的変遷 ③特別活動の目標 ④学級の役割
⑤学級活動の特質 ⑥学級活動の内容 ⑦学級活動の展開と生徒指導 ⑧学級活動の指導案
⑨生徒会活動の特質と活動内容 ⑩学校行事の特質と活動内容 ⑪ボランティア活動、地域との連携 ⑫ガイダンスの機能の充実、総合的な学習の時間

履修上の留意点

人間形成に果たす特別活動の役割について研究を深めるとともに、特別活動の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法等など、実践的な指導力を身に付けてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説—特別活動編—』（ぎょうせい）70円

参考書等

森嶋昭伸・鹿嶋研之助編著『中学校新教育課程の解説—特別活動—』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した、小レポートを提出する等

科目名	担当者名	配当学科	単位
生徒指導論 (進路指導を含む)(前期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	教職1・2必(短国・短英)	2

講義のねらい

教師が生徒の生活面を指導することは、現在の学校において様々な形で行われている。将来、教職に就こうとしている人間として、生徒（他者）の生活を指導することの意味を改めて問いなおし、無意識のうちにもっている自らの生徒指導観、あるいは進路指導観を自覚的にとらえなおすことが本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生徒指導、進路指導の理論、歴史とその目的の変遷
2. 「問題行動とは何か」という問いに関わる諸問題
3. 不登校、いじめ等の実際の事例を通しての実践的考察
4. 教師－生徒関係の中での生徒指導、進路指導
5. 個の尊重と組織・集団活動との相克の中での生徒指導、進路指導

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということを授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行なう。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等については授業中適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
道徳教育の研究(前期)	やま だ ただ ゆき 山 田 忠 行	教職2必(短国・短英)	2

講義のねらい

「道徳教育」の充実が、我が国の大きな課題であり、学校教育全体において充実した取り組みが必要である。そのために、小・中学校においては教育課程に「道徳」が位置付けられ、高校においては、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行わなければならない。この「道徳教育」の教育的意義や目標及び内容、方法等について理論と実践の両面から研究を行う。道徳教育を進めるに当たっては、豊かな体験を通して生徒の内面に根ざした道徳性の育成が求められる。教師としての実践的な指導力を身につけるために、道徳教育の内容や活動内容の取り扱い方及び指導計画の作成、指導方法などについての具体的な研究を行う。

講義の内容・授業スケジュール

①道徳教育の歩み ②今求められる心の教育 ③道徳教育の基本的な在り方 ④道徳教育の目標 ⑤道徳の指導計画 ⑥道徳の指導内容 ⑦道徳の学習指導案 ⑧道徳の資料の開発と活用 ⑨全教育活動における道徳教育 ⑩内面に根ざした道徳性の育成 ⑪家庭や地域社会との連携 ⑫道徳教育の充実のための課題

履修上の留意点

文献に基づく道徳や道徳教育に関する理論的な研究とともに、道徳教育の具体的な指導計画の作成や指導内容、指導方法等について理解を深め、指導力を身に付けてほしい。

成績評価の方法

試験、出席状況、学習指導案の作成やレポート等を総合的に判断し、評価する。

教科書

文部科学省『中学校学習指導要領解説－道徳編－』（財務省印刷局）260円

参考書等

七條正典・押谷慶昭編著『中学校新教育課程の解説－道徳－』（第一法規）1,300円

その他

講義、指導案の立案、毎時間講義内容に則した、小レポートを提出する等

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育臨床(後期)	えん どう つかさ 遠 藤 司	教職1・2必(短国・短英)	2

講義のねらい

心の教育が重視されている現在の教育現場において、生徒が自らの生き方を考え、自己を確立するために、一方的な指導ではなく、相互の対話を基に生徒との関係を作ろうとする教師の姿勢が求められている。特に、カウンセリングに代表されるような、臨床心理学的視点をもつ教師の育成が求められている。この授業においては、臨床心理学的視点に学びながら、生徒が陥りやすい心の危機に対する対処法や援助法について、実践的に学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人が人と関係をもつことの意味
2. カウンセリングマインドとは
3. 教師としてカウンセリングマインドをもつことの意味
4. 教師-生徒関係の見直しと再生の過程
5. 人間の生涯における思春期・青年期の諸問題

履修上の留意点

考えることを厭わない学生の履修を望む。また、「ただその場にいる」だけではなく、積極的に参加しているということ、授業者に伝えるよう努めることを望む。

成績評価の方法

学期末のレポート提出を基とするが、授業への参加の仕方を総合的に判断して評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。参考書等は授業中適宜紹介する。

教職課程
資格講座

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合演習 〔現代生活を見直す〕(後期)	きたむらみつこ 北村三子	教職2必(短国・短英)	2

講義のねらい

環境汚染は日々深刻さを増してきており、私たちの子供や孫の世代が健康に暮らしているかどうかさえ怪しくなっている。人類の未だ経験したことのないこの危機に、私たちはどう対処していったらよいのだろうか。この授業では、現代人の生活を見直すことを通じて、私たちに何ができるかを考えていきたい。また、「総合的な学習」の指導にもこの演習が役立つようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

「総合的な学習」についての解説したあと、食品など健康に関する問題を中心に検討したい。文献を読み議論することが中心となるが、必要に応じて自分達で調査することも試みたい。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価する。

参考書等

教場で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育実習Ⅱ	さかもと のぶ あき 坂本信昭	教職2必(短国)	5

講義のねらい

教育実習での失敗を未然に防ぎ、あるいはできるだけ少なくすることよりも、むしろ、不必要な先入観を捨て、持ち合わせている力で、全身で意欲的に向う姿勢に高め、教育実践の場で、間違いや失敗したことについて悩み、苦しむことを通じて、自覚的に主体的に一つ一つの教育事象について考える機会にしたい。そのためには、いわゆる事前指導も大事であるが、事後指導(教育)も大事にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)等に関する講義とビデオ教材なども視聴し、実習に際しての事前指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、各自の教育実習報告、レポート作成(提出)、教育問題にかかわるビデオの視聴、ディスカッションなどから教育への理解を深め、教育とは何か―どうあるべきか―について、各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像等についても一緒に考えたいと思う。

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

(1) 実習校からの教育実習評価及び教育実習ノート、(2) 教育実習報告(口頭報告)及び報告レポート、(3) ビデオ視聴のコメント(感想)、(4) 年度末試験(または、課題レポート)によって、総合的に評価します。なお、(1)～(4)について重視する度合は、全て同グレードに考えている。

教科書

栗原敦雄他編『教育実習ガイド』(宣協社)1,500円

参考書等

寺崎昌男他編『教育実習57の質問』(学文社)1,000円
西村絢子他編『現代教育を考える』(昭和堂)2,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 実 習 Ⅱ	はぎ わら けんじろう 萩 原 建次郎	教職2必(短英)	5

講義のねらい

教育実習をはさんで、教育実践体験を受講者同士で深め合い、教育実現を深くつかんでいくまなごしや、教師としての身体技法を養っていききたい。

講義の内容・
授業スケジュール

実習前には実習に関するビデオを見たり、模擬授業をおこないながら、指導案作成の方法を学び、実習することの意義や心がまえなどを考えたい。実習後は各自体験レポートを持ち寄り、実習のふりかえりと分かち合いをおこなう。そこから共通して考えるべきテーマ、話題があれば適宜とりあげて受講者同士と共に考えていきたいと思っている。

履修上の留意点

教育実習を中心とした体験学習、参加型の学習なので、受講者の主体的な参加が求められる。

成績評価の方法

実習校からの評価、口頭発表、レポート、出席等により総合的に評価する。

教 科 書

教科書・参考書等はそのつど指示する。

参 考 書 等

教科書・参考書等はそのつど指示する。

教科又は教職に関する科目（選択）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育関係法規	ひろさわ 明	教職1・2選(短国・短英)	4

講義のねらい

憲法、教育基本法、学校教育法など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、いじめ、内申書、日の丸、君が代、宗教、教科書検定、障害児、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 学校の種類
2. 教育の機会均等（民族・性・障害）
3. 義務教育
4. 教育の中立性（政治・宗教）
5. 教育行政
6. 懲戒

履修上の留意点

ただ漠然と聴講するだけでなく、授業で取り上げたテーマにつき、自ら調べたり考えたりする前向きな姿勢を求める。

成績評価の方法

試験と出席状況によって評価する。毎回出席をとり、その結果は成績にかなり反映される。

教科書

『解説教育六法』（三省堂）を必携。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 （前期）	やま だ せつ 子	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.437) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 （後期）	やま だ せつ 子	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.437) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校図書館メディアの構成 （前期）	みなもと しょう 昌久	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.438) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報メディアの活用 （後期）	みなもと しょう 昌久	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.438) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 （前期）	やま だ せつ 子	教職1・2選(短国・短英)	2

(P.439) 参照

II 学校図書館司書教諭講座

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学校経営と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選(短国・短英)	2

講義のねらい

学校教育における学校図書館の果たす役割を明らかにし、学校図書館の理念、発達過程と課題・教育行政との関わり、学校図書館経営のあり方など、学校図書館全般についての基本的な理解をめざす。また司書教諭の任務と担うべき役割を明確にし、校内の協力体制作り、司書教諭としての研修の重要性にもふれる。さらに、学校図書館のメディア・学校図書館活動・他の館種を含めた図書館ネットワーク等についての基本的な理解を図る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 学校図書館の理念と教育的意義
- 2 学校図書館の発展と課題
- 3 教育行政と学校図書館
- 4 学校図書館の経営
- 5 司書教諭の役割と校内の協力体制、研修
- 6 学校図書館メディアの選択と管理、提供
- 7 学校図書館活動
- 8 図書館の相互協力とネットワーク

成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

参考書等

- 全国 SLA 図書館学編集委員会編『学校図書館学1 学校図書館の原理と運営』
- 全国 SLA 編『司書教諭の任務と職務』
- 福永義臣編著『学校経営と学校図書館』(樹村房)

そ の 他

講義・討論・ビデオ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
読書と豊かな人間性 (後期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい

現代社会に生きる子どもの発達や、読みの多様化などの進展している実態に即した読書教育の理念を探る。さらに、子どもたちの読書生活の実情と読書資料の現状についての理解に基づき、子どもと本を結びつけ、読書の生活化を図る方法を探る。これらを通じて子どもたちの豊かな人間性の涵養に資するため、司書教諭の役割と自らの責務を中心に、活動の原理と方法、技能についても、具体的に体得してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 読書の意義と目的
- 2 子どもの読書実態と指導
- 3 読書資料の種類と活用
- 4 発達段階に応じた読書指導
- 5 子どもと本を結ぶための方法
- 6 読書指導推進活動と教員の責務
- 7 地域社会の関連施設等との連携

成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

参考書等

- 全国 SLA 編『学校図書館白書2 学校図書館と子どもの読書の現状と課題』
- 赤星隆子編著『読書と豊かな人間性』(樹村房)

そ の 他

この科目の受講は下記の1、2を終了してからが望ましい。

1. 学校経営と学校図書館 (前期)
 2. 学習指導と学校図書館 (前期)
- 講義・ビデオ・読みきかせ等の演習

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
学校図書館メディアの構成 (前期)	みなもと しょう きゆう 源 昌 久	司書教諭1・2必 (短国・短英)	2

講義のねらい	本講義は、学校図書館メディアの構成に関する理解および実務能力の育成を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 学校図書館メディアの概念的フレーム・ワーク 2) 分類法(表)の解説・演習 3) 目録の解説・演習 4) 資料組織の機械化 5) 多様な学習環と学校図書館メディアの配置
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教 科 書	『日本十進分類法 改訂9版』(日本図書館協会)セット定価 6,000円 『日本目録規則 1987年版 改訂版2版』(日本図書館協会) 3,500円
参 考 書 等	講義中に指示する。
そ の 他	必要に応じて、ビデオを活用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報メディアの活用 (後期)	みなもと しょう きゆう 源 昌 久	教職1・2選(短国・短英)	2

講義のねらい	学校図書館における多様な情報メディアの特性と活用方法の理解を図る。
講義の内容・ 授業スケジュール	1) 情報化社会と人間 2) 情報メディアの特性と選択 3) 視聴覚メディアの活用 4) 学校図書館におけるコンピュータの活用 5) 情報検索
履修上の留意点	予習・復習をしっかりと行ってほしい。
成績評価の方法	平常点および試験の成績を併せて評価する。
教 科 書	講義中に指示する。
参 考 書 等	志保田務(他)編『図書館と情報機器・特論—情報メディアの活用12章—』2,000円
そ の 他	必要に応じて、ビデオを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
学習指導と学校図書館 (前期)	やま だ せつ こ 山 田 節 子	教職1・2選(短国・短英)	2

講義のねらい

学習において学校図書館が果たすべき役割は大きい。学習図書館は、児童生徒が、「自分で調べて学ぶ」学習を中心に、教育活動のさまざまな場面で、メディアを積極的に利用するよう指導し、それを活用する能力の育成を図らなければならない。

この科目は、その原理と方法を学ぶと共に教師に対するサービス・支援のあり方に関し、理解を深めることを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 教育課程の展開と学校図書館
- 2 発達段階に応じた学校図書館メディアの選択
- 3 児童生徒の学校図書館メディア活用能力の育成
- 4 学習課程における学校図書館メディア活用の実際
- 5 学習指導における学校図書館の利用
- 6 学校図書館における情報サービス
- 7 教師への支援と働きかけ

成績評価の方法

レポートと小テストによる平常点

参 考 書 等

- 「新学校図書館学」編集委員会編『学習指導と学校図書館』（全国 SLA 刊行）
- 朝比奈大作編著『学習指導と学校図書館』（樹村房）

そ の 他

講義・討論・ビデオ・演習

資格講座
教職課程

專 攻 科

(放射線技術科学専攻)

科学專攻
放射線技術

専攻科（放射線技術科学専攻）

応用医療生物学	〈日下部 正 宏〉	445
放射線の生物影響	〈日下部 正 宏〉	445
放射線生物学研究	〈休 講 〉	
放射線生物学特別実験	〈休 講 〉	
疾病と画像	〈作山 攜子〉	446
放射線治療効果	〈作山 攜子〉	446
画像医学研究	〈作山 攜子・氏家盛通・西尾誠示・吉川宏起〉	446
画像医学特別実験	〈作山 攜子・吉川 宏起〉	447
線量計測工学	〈小山 正 希〉	447
放射線検出器工学	〈小山 正 希〉	447
放射線計測工学研究	〈小山正希・青木 清・佐藤昌憲・杉田 徹〉	447
放射線計測工学特別実験	〈小山 正 希〉	448
放射線感光化学	〈山本 裕 右〉	448
放射線化学特論	〈山本 裕 右〉	448
応用放射線化学研究	〈山本 裕右・原田 和正〉	448
応用放射線化学特別実験	〈山本 裕 右〉	449
放射線リスク評価学	〈一 守 俊 寛〉	449
最新放射線治療技術	〈久保田 進〉	450
診療機器工学研究	〈檀尾 英次・中北 倫男〉	450
診療機器工学特別実験	〈中北 倫 男〉	451
診療機器システム基礎工学	〈中北 倫 男〉	451
診療機器材料・デバイス工学	〈中北 倫 男〉	452
放射線画像工学研究	〈高野 正雄・熊坂さつき〉	452
放射線画像工学特別実験	〈高野 正 雄〉	452
放射線画像解析工学	〈高野 正 雄〉	453
放射線画像処理工学	〈高野 正 雄〉	453

科学專攻
放射線技術

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応用医療生物工学(前期)	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

ヒトの体の構造と機能を理解する。また、生物に共通する現象や法則性についても理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

医療人として必要となる、解剖学、生理学、分子生物学の知識を、最近のトピクスを含めて講義する。

- 1) 神経系の構造と機能
- 2) 循環系の構造と機能
- 3) 呼吸系の機能と構造
- 4) 消化器系の機能と構造
- 5) 泌尿器系の機能と構造
- 6) 生命と遺伝情報

履修上の留意点

授業に出席すること。

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教 科 書

特に指定しない。配布プリント。

参 考 書 等

中野昭一著『学生のための生理学』（医学書院）
松田幸次郎ら共訳『医科生理学の展望』（丸善）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線の生物影響(後期)	くさかべ まさひろ 日下部 正 宏	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線が生物に与える影響について理解する。また放射線治療学の基礎となる学習としても理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

放射線作用の特徴、放射線の分子・細胞レベルにおける作用機構、放射線が臓器および個体に与える影響について講義する。

- 1) 放射線と分子生物学
- 2) 放射線と臓器および個体
- 3) 放射線と温熱作用
- 4) 放射線治療の基礎
- 5) 放射線ホルミシス効果

履修上の留意点

授業に出席すること。英語の辞書を持参すること

成績評価の方法

定期試験とレポートにより評価する。

教 科 書

特に指定しない。配布プリント。

参 考 書 等

菅原努 監修『放射線基礎医学』（金芳堂）
ERIC J. HALL, *Radiobiology for the Radiologist* (Lippincott Company)

科目名	担当者名	配当学科	単位
疾病と画像(前期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の主な疾患について理解するとともにその疾患の主なレントゲン所見を知ること为目标とする。また各疾患に最も必要な検査法は何かをも理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①頭頸部
- ②胸部(心臓、血管系を含む)
- ③消化器系(肝、胆道系を含む)
- ④泌尿生殖器
- ⑤骨軟部組織
- ⑥小児放射線
- ⑦救急放射線医学
- ⑧ Interventional Radiology

これらの臓器のうち代表的疾患について単純写真、CT、超音波、MRI、血管撮影、核医学の画像を理解し、疾患を最もよく描出するための技術を学ぶ。

履修上の留意点

コンピュータ、スライドおよびOHPなどを用い実際の症例について検討する。

成績評価の方法

出席と授業時間内のテストの結果による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線治療効果(後期)	さく やま けい こ 作 山 攜 子	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各臓器の悪性腫瘍のstage分類、TMN分類を決める前の検査としてのCT、MRIの有用性とその所見を理解することを第一とし、これらの異常所見の描出するための技術的方法の習得を目標とする。放射線治療後の経過観察のための検査法の選択と画像診断の所見について検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①頭頸部および顔面(副鼻腔を含む)
- ②肺
- ③腹部臓器
- ④男性性器(前立腺、睾丸)
- ⑤女性性器(子宮、卵巣、付属器)
- ⑥乳房
- ⑦骨軟部組織
- ⑧骨髄・リンパ節

成績評価の方法

授業時間内テストの結果による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
画像医学研究	さく やま けい こ にしお せいじ 作 山 攜 子 ・ 西 尾 誠 示 うじい え もりみち よしかわ こうま 氏 家 盛 通 ・ 吉 川 宏 起	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

各種の画像診断の技術は日々発展し続けている。各画像診断法の基礎的研究と臨床への応用と発展に対応できる知識を身につけるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

日本語による文献による討論、さらに欧米の文献による知識を得ることも心がける。自分が選んだ論文を発表すること、また指定した論文のこともあり得る。

成績評価の方法

授業時間内テストの成績によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
画像医学特別実験(前期)	さくやま けいこ よしかわ こうき 作山 攜子・吉川 宏起	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

現在すでに利用されている診断法でもさらに新しい撮像法が実行されている。例えばヘリカルCTは一般的なものとなり、3Dイメージ、マルチスライスCTは日常の検査法である。したがって適切な診断を行うための適切な撮法と条件の設定は診療放射線技師の判断に負うところが多い。そのために十分な医学的知識と実戦力を養うための実験を行う。

成績評価の方法

出席率・授業時間内テストにより評価。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
線量計測工学(前期)	こ やま まさ き 小 山 正 希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

照射線量、吸収線量、等価線量を定めるための測定ではまず各線量概念を明確にすることが必要である。次にこれらの線量概念を実測するための測定装置について、現時点での対応とその問題点について明らかにし、これら問題点を解決するための方針について考える。国際勧告で提示される線量概念とその同定法に関する指針に準拠し、かつ在来の測定法に必ずしもとらわれずに計測系を構成することを考えてゆく。又、同一条件下で異なる検出系、例えば電離箱型と半導体検出器との測定結果を比較することで測定対象をより明らかにするなどの手法を考えてみる。

成績評価の方法

中間テストによる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線検出器工学(後期)	こ やま まさ き 小 山 正 希	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

主として比較的新しい形式の検出器の内容を紹介し、計測系全体を見渡して特定のものを選択する場合の参考となるようにしたい。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
放射線計測工学研究	こ やま まさ き あおき きよし 小 山 正 希 ・ 青 木 清 さとう まさのり すぎた とおる 佐藤 昌憲 ・ 杉田 徹	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

- ・ Radiation Research
- ・ Physics in Medicine & Biology
- ・ Medical Physics
- ・ Nuclear Instruments and Methods
- ・ British Journal of Radiology

等の関連外国雑誌から主として医療に係わる、或は関連のある論文を主題にして放射線計測についての新しい知見と在来技術との関係などについて議論する。

成績評価の方法

授業時間内テストによる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線計測工学特別実験(前期)	こやま まさき 小山正希	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

半導体放射線検出器による制動 X 線のエネルギー分布測定など、放射線線束、被放射場の特性及び線量計測システムに関する実験を行う。

成績評価の方法

実験レポート、実験実施状況などにより評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線感光化学(後期)	やまもと ゆうすけ 山本裕右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

放射線の感光材料としてはフィルムが最も一般的であり広く使用されているが、本講義においては、医療分野でフィルムと組み合わせて使用される増感紙、および放射線に対する新しい感光材料として近年使用されている輝尽発光体について、放射線と物質の相互作用に注目して解説する。増感紙については、まずラジオルミネセンスについて触れ、発光機構を説明すると共に、種々の増感紙材料の化学および発光特性について解説する。また、輝尽発光体については、輝尽発光の発光機構について説明し、種々の輝尽発光体材料の化学および発光特性について解説する。

成績評価の方法

試験およびレポート。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線化学特論(前期)	やまもと ゆうすけ 山本裕右	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

本講義においては、固体の放射線化学のうち、特に、放射線と固体との相互作用を利用した放射線線量測定に関係する領域について解説する。まず、イオン結晶、共有結晶、ガラスについて放射線の固体への効果を概観し、固体に残される放射線効果と格子欠陥の関係、空孔と捕獲中心などに触れながら、放射線のエネルギーがいかにして固体中に蓄積されるか、また、蓄積されたエネルギーをいかにして開放するかを解説する。さらに、以上の事を基礎として、熱ルミネセンス、輝尽発光、エキソ電子放出現象について言及する。

成績評価の方法

試験およびレポート。

放射線技術
科学専攻

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用放射線化学研究	やまもと ゆうすけ はらだ かづまさ 山本裕右・原田和正	放射線技術科学専攻	

講義のねらい

Journal of Luminescence, Journal of Physics, physica status solidi, Journal of Applied Physics などの洋雑誌および専門書から、固体線量計、特に TLD および輝尽発光体に関する最近の代表的な研究論文、総説などを講読し、この分野における最新の研究状況に触れると共に、種々の研究法の詳細、および得られたデータの解釈についての理解を深める。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用放射線化学特別実験 (前期)	やまもと ゆうすけ 山本 裕 右	放射線技術科学専攻	

講義のねらい

熱ルミセンス発光体 (TLD)、輝尽発光体 (FCR プレート) および増感紙についてその基本原理、基本特性および使用上の注意点等を理解するための実験を行う。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線リスク評価学(後期)	いちもり としひろ 一 守 俊 寛	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

人の感覚器官である目、耳、鼻、舌、皮膚は生物組織で構成された融通性の高い代表的なセンサであるといえる。センサを必要とする分野は広範囲にわたっており、特に医療分野においては益々重要度を増してくると考えられる。本講義では各種センサ素子の物理機構・特性に焦点をあて、それを利用したセンシング技術について理解を深めることを主目的としている。特に、対象に対する理解から新しい発想への展開を考えることを大切にする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 観測とは (感覚する・測定する)
- 2) センサの分類・物理・基礎特性
- 3) センサ素子としての半導体
 - 3.1 センサ用半導体材料
 - 3.2 センサの変換機能
- 4) 磁気センサ
- 5) 光ファイバセンサ
- 6) 超音波・マイクロ波センサ
- 7) 温度センサ
- 8) 化学センサ
- 9) バイオセンサ
- 10) 直接測定とリモートセンシング
- 11) センサの未来像
- 12) クオーツで測る、光でものを測る

成績評価の方法

出席率、課題レポートで評価する。

教科書

配布資料

参考書等

S. M. Sze *Semiconductor Devices Physics and Technology* (Willy 1985)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
最新放射線治療技術(前期)	くぼた すすむ 久保田 進	放射線技術科学専攻	

講義のねらい	放射線による癌治療の歴史、現状、将来について学び、癌治療と放射線を考える。
講義の内容・授業スケジュール	4月から7月まで週一回、講義を行います。講義の内容はHPにも書かれており、前日までに変更しています。
履修上の留意点	講義中に直接、また電子メールで、質問してください。sk1950@katakuri.sakura.ne.jp
成績評価の方法	7月に試験を行います。
教科書	久保田進著『放射線治療ハンドブック』(ERC 出版) 私のHPも見てください、リンクもたくさんあり、人間の幅が広がります。 gooなどのサーチエンジンでURLを探してください。
参考書等	館野之男編『原典で読む放射線治療史』(エムイー振興協会)
その他	講義中に質問できなかったこと、後で疑問に思ったことは電子メールで質問してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
診療機器工学研究	かしお えいじ なかきた つねお 檀尾 英次・中北 倫男	放射線技術科学専攻	

講義のねらい	内外の学会誌、専門誌、技術誌掲載の論文、総説などを講読し、診断、治療機器の現状と課題について展望をもつ。
講義の内容・授業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ American Journal of Roentgenology ・ Radiology ・ British Journal of Radiology ・ Medical Physics ・ INNERVISION ・ 新医療 ・ 医用機器メーカー技術誌 などに所載の論文等の中から数編を選び講読することによって、論文の読み方に慣れるとともに、診療機器およびそれらを用いた診断技術について最新の動向と課題の一端を知る。
履修上の留意点	辞書を引くことを億劫がらずに取り組むこと。
成績評価の方法	論文の講読状況による。
教科書	必要な論文等は予めコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器工学特別実験(前期)	なかきたつお 中北倫男	放射線技術科学専攻	

講義のねらい

診療機器に用いられるサブシステム、デバイスや要素を取り上げ、それらの機能や特性を実験あるいはソフトウェア・シミュレーションにより調べることによって、診療機器について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

事例として、今年度は方形波インバータおよび直列共振形インバータの模擬回路を用いて、インバータ式 X 線発生装置における、管電圧、管電流および撮影時間の代表的な調整方法が、どのようになされているか調べる。模擬回路各部の電圧や電流波形を観測すると共に、電圧、電流、周波数、パルス幅などを計測し、調整パラメータとの関係を求める。若干の解析と合せて理解を確かなものとする。

履修上の留意点

予め実験教材等をよく読み、実験内容を理解しておく。

成績評価の方法

実験への取り組み状況とレポートによる。

教科書

実験に関係する理論、実験装置の概要、実験の手順、実験結果についての検討・考察課題を記載した教材プリントを配布する。

参考書等

青柳泰司ほか著「改訂 放射線機器工学 (I) X 線診断機器」(コロナ社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器システム基礎工学(後期)	なかきたつお 中北倫男	放射線技術科学専攻	

講義のねらい

診療機器のシステムの取扱いの基礎と、診療機器そのもの、その構成要素などの動向、さらに画像診断機器を用いた診断コストの評価および医療技術評価などについて解説し、診療機器への理解を深めるとともに視野を広げることで幅広く活躍できる素地を与える。

講義の内容・授業スケジュール

診療機器は病院情報システム、放射線部門システムや医用画像保管通信システムなどのサブシステムであると同時に、それ自体多くの構成要素またはサブシステムからなるシステムとみなすことができる。そこで、これらの信頼性や安全性をどうとらえるか、理論の基礎を解説する。次に、サブシステムとしての二三の例として超伝導磁石システムや X 線平面検出器などを取り上げる。また、最近進歩の著しい CT や MRI の動向を述べる。さらに、MRI 診断や CT 診断のコスト評価例を示し、最後に医療技術評価の問題に触れる。

履修上の留意点

専門分野の深耕と周辺知識の拡大に意欲的であること。

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

教科書

必要に応じ教材プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
診療機器材料・デバイス工学(前期)	なかきたつねお 中北倫男	放射線技術科学専攻	

講義のねらい

診療機器を構成する材料やデバイスについて、基本的理解を深めるために、固体物性論の基礎的なところを解説し、次いで診療機器で使用される材料について概観する。さらに、最近なお進歩を続けている二三のデバイスについて述べ、幅広く活躍できるよう素地を与える。

講義の内容・授業スケジュール

固体物性論の序論として、簡単な量子力学の解説に始まり、結晶、格子振動、固体のエネルギー帯理論、磁性および誘電特性などの説明を行う。これらを踏まえ、金属材料、セラミックス、磁性材料およびプラスチックなどが、どのような物性を前提にして、診療機器のどのような部分に使用され効果を発揮しているか概観する。さらに、ステントなどのデバイスについて述べる。

履修上の留意点

専門分野の深耕と周辺知識の拡大に貪欲になること

成績評価の方法

筆記試験、レポート、受講態度などによる。

教科書

必要に応じて教材プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線画像工学研究	たかのまさお くまさか 高野正雄・熊坂さつき	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

国内外の学会誌、専門雑誌から画像形成システム、画質評価と解析及び画像処理等に関する研究論文や総説を講読し、先端技術の理解を深めると共に、報告書のまとめ方なども学習する。

講義の内容・授業スケジュール

月1回、配布された論文を講読発表する。

履修上の留意点

関連する文献の調査をしっかりとこなうこと。

成績評価の方法

講読発表の理解度を評価。

放射線技術
科学専攻

科目名	担当者名	配当学科	単位
放射線画像工学特別実験(前期)	たかのまさお 高野正雄	放射線技術科学専攻	1

講義のねらい

アナログ/デジタルのX線画像形成システムを使用して、画質の評価法、画像処理法にチャレンジする。実験学習に対する考え方や進め方、まとめ方等をきちんと学習する。

講義の内容・授業スケジュール

テーマは協議して決定する。

履修上の留意点

関連する文献の調査が大切。

成績評価の方法

学習姿勢とレポート

その他

積極的に討論することが良いレポートになります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線画像解析工学(前期)	たかのまさお 高野正雄	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

より確かな放射画像の読影／診断を行うためには、優れた画質の像を作ることが必要である。そのためには、対象となる画像形成システム全体の画質の解析と評価をしなければならない。本講では、その基礎となる理論と具体的な手法について言及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. フーリエ解析 I. アナログ
2. II. デジタル
3. ウェブレット解析の基礎
4. その他画像の基礎理論
5. 画像のデジタル化と評価解析

履修上の留意点

難しい内容なので自習をやるように。

成績評価の方法

演習とレポートの総合点。

教科書

内田勝監修『デジタル放射線画像』（オーム社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
放射線画像処理工学(後期)	たかのまさお 高野正雄	放射線技術科学専攻	2

講義のねらい

今日、病院で取り扱われている医用画像の多くは、デジタル信号化され画像処理されて出力している。また、これらの信号は、保管や検索さらに伝送のための圧縮／伸張などの画像処理がおこなわれ、画像診断分野の合理化、スピードアップ等に活用されている。大変重要な技術で、IT時代の医療人としては不可欠なものである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 画像処理の基礎
 1. 画像のデジタル化
 2. 入出画像の単純変換処理
 3. 空間フィルター処理
 4. 直交変換フィルター処理
 5. 画像の表示
 6. 2値化画像
 7. 可逆符号化
 8. 非可逆符号化
 9. ウェブレット変換
- II. イメージングシステム

履修上の留意点

毎週演習をおこないます。自習をしっかりとって下さい。

成績評価の方法

試験とレポートの総合点

教科書

英保茂著『医用画像処理』（朝倉書店）3,200円

科学專攻
放射線技術

仏教科—夜間開講—

I 全 学 共 通 科 目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間〈大西龍峯〉 463

宗教教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	おおにしりゅうほう 大西龍峯	短仏1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		短仏2年	

講義のねらい

仏教の教えが、現代人にとってどんな意味をもち、またどんな役割をはたしうるかについて考えていくことが、本講座の目的であります。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ現在われわれの身のまわりに起こっている問題をとりあげ、それに対し仏教がどういう考え方を示し、対処をなしうるかを検討し、あわせて仏教の基本的教義や、その宗教的特質を明確にしていきたいと思えます。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

テキスト、資料等は、授業の中で配布します。

宗教教育

2. 教 養 教 育 科 目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	〈菅原壽清〉	469
宗教学〔比較宗教文化〕	〈田中かの子〉	470
文学(1)(3)〔日本文学「古典」〕	〈合瀬純華〉	470
文学(2)〔日本文学「近代」〕	〈保明陽子〉	471
歴史学(1)〔日本近代史〕	〈林彰〉	471
歴史学(2)〔中国古代史〕	〈小林惣八〉	472
歴史学(3)〔中国古代思想史〕	〈小林惣八〉	472
哲学〔西洋思想の源流〕	〈河谷淳〉	472
哲学〔近代の人間観と世界観〕	〈伊古田理〉	473
哲学〔現代文明と人間〕	〈鈴木聡〉	473
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈伊古田理〉	474
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈麻生享志〉	474
倫理学〔現代と倫理〕	〈古田知章〉	475
倫理学〔人生と倫理〕	〈末木恭彦〉	475

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鷄徳啓登〉	476
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川日出世〉	476
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松正行〉	477
経済学〔現代経済と人間〕	〈明瀬政治〉	478
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉炳三〉	479
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪敏〉	479
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〉	480
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上新二〉	480
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉井純一〉	481
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈村井良太〉	482
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村恒雄〉	482

(3) 自然分野

心理学 (1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木順一〉	483
心理学 (2)〔人間関係を考える〕	〈鈴木順一〉	483
生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	484
生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	486
コンピュータ基礎(1)(3)〔コンピュータと情報〕	〈竹田洋一〉	487
コンピュータ基礎(2)(4)〔コンピュータと情報〕	〈上原隆平〉	487
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	〈山縣毅〉	488
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	〈藤井享〉	489
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原正雄〉	490
自然環境論〔環境と保全〕	〈山縣毅〉	491
情報数論学〔情報と論理〕	〈小沢誠〉	491

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔聖と俗〕	すが わら とし きよ 菅 原 壽 清	短仏選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと考えております。授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は聖と俗を手がかりに、日本人の生死観、東南アジアや中国雲南など、具体的な地域の事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について、順次考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
 - 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
- 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 - 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈聖なるコスモロジー〉
- 5、聖と俗
 - 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
 - 7、シャーマニズム
 - 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし。

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

ビデオ・スライドなども使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	たなか のこ 田 中 かの子	短仏選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのようになってくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげるものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

比較宗教文化の具体例としては、仏教美術とキリスト教美術を取り上げる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 (1) (3) 〔日本文学「古典」〕	おせ すみ か 合 瀬 純 華	短仏選	4

講義のねらい

平賀源内といえはエレキテルの発明家であり、本草学者、鉾山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『根南志具佐』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、変体仮名の解説を目標とする。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用（含メール）は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』（岩波書店、日本古典文学大系）
その他。

その他

4月開講第一回目の授業時に詳細なシラバスを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 (2) 〔日本文学「近代」〕	ほあき ようこ 保 明 陽 子	短仏選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品を本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を探求し、そして実際にその本を読み、そこで獲得した読みの成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴史学 (1) 〔日本近代史〕	はやし あきら 林 彰	短仏選	4

講義のねらい

今年度は、幕末から明治・大正時代にかけての思潮・思想を中心に概観していく予定でいる。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、日本化されていくか、他方、伝統的な思想が天皇制を核にいかにかに展開し、近代思想とどう錯綜・対立していくのか。それらを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は近代史の概説をこころみる。その後、近代の思潮動向をおっていく。とくに、体制側の思想や反体制側の思想を運動もからめてみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2) 〔中国古代史〕	小林 惣八 <small>こばやし とう はち</small>	短仏選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晋南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3) 〔中国古代思想史〕	小林 惣八 <small>こばやし とう はち</small>	短仏選	4

講義のねらい

ユーラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	河谷 淳 <small>がわ 谷 あつし</small>	短仏選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。
 (1) ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
 (2) キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
 (3) 近代哲学（デカルト、ロック、カント）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いごた まさる</small>	短仏選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「歴史」について検討する。近代において、「歴史」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要などころをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>	短仏選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑的パラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	短仏選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。
具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系Ⅰ～命題論理 ③公理系Ⅱ～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。
詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさ お たか し 麻 生 享 志	短仏選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えたいです。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	古田知章 <small>ふる た とも あき</small>	短仏選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	末木恭彦 <small>すえ き やす ひこ</small>	短仏選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関わりの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋(特に中国・日本)に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる(板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること)

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』(農山漁村文化協会)

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	短仏選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - ①法の意義 ②法発生背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - ①民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - ②憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - ③国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	は せ が わ ひ で よ 長谷川 日出世	短仏選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわり合いを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	短 仏 選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学 〔現代経済と人間〕	みょうせまさはる 明瀬政治	短仏選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるだけ平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に墮することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
- ② きょうは「経済学」か、と言わせたい

そして、

- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りて業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教科書

教科書は、開講時に指示します。基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参考書等

幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤元重 著『入門経済学』（日本評論社）
 林俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 呉 びよん さん 炳 三	短仏選	4

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のよように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし づめ さとし 橋 爪 敏	短仏選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通して「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての子備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基本的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	短仏選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を導き出す道具で、経営・経済をはじめとする社会現象の解析、意志決定など幅広い分野で活用されています。本講義は統計学の入門として、基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

①記述統計 ②標本空間と確率 ③確率変数と確率分布 ④母集団と標本 ⑤推定 ⑥検定
⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して出席していくことが大切です。

成績評価の方法

出席・課題・試験を統合して評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	かわかみ しんじ 川上 新 二	短仏選	4

講義のねらい

世界にはさまざまな文化を背景として暮らす人々がいるが、その彼らのもつさまざまな文化を理解すること（異文化理解）が、すなわち彼らを理解することにつながる。また異文化理解は我々以外の文化を理解するというだけではない。異文化を理解することは、我々の文化の再発見、再認識にもつながる。さらにさまざまな文化の理解は、それを生み出した人間の理解にもつながる。この講義では、さまざまな異文化を紹介しながら、その理解のための見方を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

先ず、文化とは何か、文化人類学における文化のとらえ方について紹介した後、婚姻、家族、親族、宗教、儀礼、経済行為などさまざまな場面で見られる世界各地の事例を紹介しながら、異文化理解のための視点を養うことにする。

成績評価の方法

出席状況、レポートの提出状況および内容、定期試験によって評価する。原則として遅刻、途中退出を認めず、また頻繁に授業内容のまとめ等のレポートを提出してもらうことを考えている。

教科書

教科書は指定しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 人 類 学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゆん いち 杉 井 純 一	短 仏 選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と人間
 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. 儀礼の構造
 3. 儀礼・神話・世界観
 4. 神聖王権
 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	むらいりょう 村井良太	短仏選	4

講義のねらい

日々耳にするニュースの多くは、直接間接に政治と関係しています。消費税や公共事業に見られるように、政治は私たちの生活一般に深く関わっているのです。また私たちは主に選挙を通じて政治をつくる立場にもあります。日本のような民主主義社会において、政治への理解は社会人の大切な素養であるといえます。本講義は、政治参加とそれを支える政治システムに注目しながら、社会人の素養としての政治学、政治を見る目を養うことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

講義は基本的に下記教科書を下敷きにおこないますが、各テーマごとに話をふくらませたり、政治史など新たにテーマを加えたりしながら進めていきます。講義内容としては、官と民の関係、地方分権、選挙、政治参加、マスコミと政治、国会、官僚制、首相のリーダーシップ、国際政治、経済交渉など政治学に基本的なテーマに、占領、講和、日本の国際社会復帰など政治上の知識を加味していきたいと思っています。詳しい予定は第一回目の講義でお知らせします。

履修上の留意点

履修する学生に求めるのは何より政治を知りたいという熱意です。積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポート、学年末試験により評価します。

教科書

真淵勝・久米郁男・北山俊哉『はじめて出会う政治学』（有斐閣）1,700円＋税。

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	やまむらつね 山村恒雄	短仏選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゆん いち 鈴 木 順 一	短仏選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですていただきます。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゆん いち 鈴 木 順 一	短仏選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようであるが、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	短仏選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系（エコ・システム）
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量

- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆した web 版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中 村 敏 枝	短仏選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは羅病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに
2. 生物の生活
 - a. 地球の歴史・生命の起源
 - b. 生命の誕生
 - c. 生命の維持——いのちを支える物質とエネルギー
 - d. 植物の物質生産
 - e. 遷移——溶岩上に森林が成立するまで
 - f. 遷移——植物群落の世代交代
 - g. 個体群の内部構造——順位制となわばり
 - h. 生殖行動——こどもを確実に残すための作戦
 - i. 生態系——めぐる生命の輪
3. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質がつくる豊かな生活
 - b. ゴミ焼却とダイオキシン
 - c. ダイオキシン汚染
 - d. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・バイオテクノロジー
 - e. 遺伝子組み換え生物
 - f. クローンと動物工場
 - ・地球温暖化とエネルギー問題
 - g. 地球温暖化のメカニズム
 - h. 生態系におよぼす影響
 - i. 新エネルギー革命
 - j. 原子力利用の諸問題

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科ははじめ各教科の知識を本講義の前提とする。意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学・地球に生きるいのちを考える』（官協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	たけ だ よう いち 竹 田 洋 一	短仏選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことのない初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらう課題、そして学期末に行うテスト（実技+筆記）の三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎(2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	短仏選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやwwwなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 毅	短仏選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN4-8343-4002-3C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	藤井 享 <small>ふじい すすむ</small>	短仏選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	篠原まさお しのばらまさお	短仏選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 宇宙と地球
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

石田恵一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた たけし 山 縣 毅	短仏選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわ まこと 小 沢 誠	短仏選	4

講義のねらい

実社会に起こる種々の問題をグラフで表現し、具体的な解決方法を導き出すことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、グラフと部分グラフ・木・連結度・オイラー回路とハミルトンサイクル・マッチングを学び、その応用として、最短道問題・連結子問題・信頼できる通信ネットワーク・中国郵便配達夫問題・巡回セールスマン問題・適正割り当て問題を取り扱う。後期に、辺着色・独立集合とネットワーク・点彩色・平面的グラフ・有向グラフ・ネットワークを学び、その応用として、時間表問題・Schurの定理・Mengerの定理を取り扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

J. A. Bondy & U. S. R. Murty (立花俊一・奈良知恵・田澤新成訳) 『グラフ理論への入門』(共立出版) 2,800円

参考書等

R. Diestel(根上生也・太田克弘訳) 『グラフ理論』(シュプリンガーフェアラーク東京)4,200円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

3 . 外 国 語 科 目

3 . 外国語科目

英語 I	〈丹治弘昌〉	497
英語 I〔再クラス〕	〈丹治弘昌〉	497
ドイツ語 I	〈清水修〉	497
ドイツ語 I〔再クラス〕	〈本橋右京〉	498
フランス語 I	〈八木明美〉	498
フランス語 I〔再クラス〕	〈桑田禮彰〉	498
中国語 I	〈東映全〉	499
中国語 I〔再クラス〕	〈東映全〉	499
スペイン語 I	〈大岩功〉	500
スペイン語 I〔再クラス〕	〈栗林ゆき絵〉	500
ロシア語 I	〈廣田英靖〉	501
ロシア語 I〔再クラス〕	〈杉山秀子〉	501
英語 II	〈前期：大淵利春・後期：八十木裕幸〉	502
英会話 I	〈永野光一〉	502

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I	丹治 弘昌 <small>たん し ひろ まさ</small>	短仏1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

成績評価の方法

成績評価は原則として3分の2以上の出席を最低限として、数回の小テスト並びに年2回の期末テストによって判定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I 〔再クラス〕	丹治 弘昌 <small>たん し ひろ まさ</small>	短仏2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

成績評価の方法

成績評価は原則として3分の2以上の出席を最低限として、数回の小テスト並びに年2回の期末テストによって判定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I	清水 修 <small>しみず おさむ</small>	短仏1年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

この授業においては「読む・書く」に重点を置いて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。

ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補っておいてください。

成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断する。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法(改訂版)』(朝日出版社)

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	短仏2年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確実なものとし、習得を助けます。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I	や ぎ あけ み 八 木 明 美	短仏1年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I 〔再クラス〕	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	短仏2年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、できるかぎり分かりやすく初級文法を説明しながら、簡単な文章読解・練習問題・会話表現を通じて、フランス語の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

大津・楠瀬・村岡『赤い風船』（朝日出版社）

参考書等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I	あずま 東 えい 映 ぜん 全	短 仏 1 年	2

講義のねらい

中国語を構成する諸要素（発音、語彙、語法など）を体系的に習得し、中国語の基礎を築くことが、この授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音練習から一步一步着実に前進させながら基本的な語彙と語法を習得させる。中国の文化・社会・風俗習慣などもできる限り紹介する。

履修上の留意点

①反復練習することが語学上達の秘訣である。②辞書を用意し、活用することである。

成績評価の方法

試験、出席、授業態度等総合的に判断する。

教 科 書

斎藤道彦等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,500円＋税（テープつき）

そ の 他

1回目の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I 〔再クラス〕	あずま 東 えい 映 ぜん 全	短 仏 2 年	2

講義のねらい

中国語を構成する諸要素（発音、語彙、語法など）を体系的に習得し、中国語の基礎を築くことが、この授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

まず発音練習から一步一步着実に前進させながら基本的な語彙と語法を習得させる。中国の文化・社会・風俗習慣などもできる限り紹介する。

履修上の留意点

①反復練習することが語学上達の秘訣である。②辞書を用意し、活用することである。

成績評価の方法

試験、出席、授業態度等総合的に判断する。

教 科 書

斎藤道彦等共著『中国を知ろう』（神保出版）2,500円＋税（テープつき）

そ の 他

1回目の授業に必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I	大岩 功	短仏1年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I 〔再クラス〕	栗林 ゆき絵	短仏2年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	短 仏 1 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・
授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I 〔再クラス〕	すぎ やま ひで こ 杉 山 秀 子	短 仏 2 年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

参 考 書 等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 II	前期：大 瀨 利 春 後期：八十木 裕 幸	短仏2年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとしました。日本語と英語の違いに注目して、英語表現の特徴を掴むこと。次に、コミュニケーションを行ううえで大切な英語表現の文体的特徴を学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

日英比較；主語、述語、修飾語、前置詞、肯定と否定、語法、慣用表現、文体；informale style, formal style, selection and unity of style...

履修上の留意点

文法、作文が中心になります。予習をしっかりやって、授業に臨んでください。

成績評価の方法

欠席－4点減点、レポート－1回4点、小テスト－1回2点、前期後期テスト－合計100点、授業態度（発表など）を総計して評価します。

教科書

英語表現法入門、武田良一、英宝社、1900円＋税プリント

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	永 野 光 一	短仏選	2

講義の内容・授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

4 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	507
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	507
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田 浩一・三幣 晴三〉	508
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈川村 正義〉	509
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈内山 雅博〉	509
健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳平〉	510
健康・スポーツ論 (前期)	〈田中 佳孝〉	511

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おおいし 大石 武士	短仏1選	2

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかはし 高橋 俊介	短仏1選	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬま はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	短仏1選	2

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教科書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

その他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (卓球)	かわむらまさよし 川村正義	短仏1選	2

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特に二部学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：〃
- 15 時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教科書

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	うちやままさひろ 内山雅博	短仏1選	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム(1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム(1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム(1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム(2次リーグ)
- 7~9 時限目：実技テスト、ゲーム(2次リーグ)
(バレーボール)
- 10 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム(リーグ戦)
- 11 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム(リーグ戦)
- 12 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム(リーグ戦)
- 13~15 時限目：実技テスト、ゲーム(トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)、60点以上を合格とする。

その他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	短仏1選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：　　〃
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：　　〃
- 14 時限目：　　〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	短仏1選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数不足した者は不合格とする。

教科書

なし

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
 『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サロインステキ症候群』
 ／『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

保健
体育

II 專 門 教 育 科 目

II. 専門教育科目

基礎	仏教	学	〈木村誠司〉	517
坐禅		禅	〈志部憲一・下室覚道〉	517
宗学	学	研究	〈休講〉	
禅学	研究	究	〈奥野光賢〉	518
仏典	研究	I	〈木村誠司〉	518
仏典	研究	II	〈石井公成〉	519
仏典	研究	III	〈袴谷憲昭〉	519
仏教	語解	説	〈池田道浩〉	520
中国	禅宗	史	〈須山長治〉	520
日本	禅宗	史	〈石井公成〉	521
インド	仏教	史	〈池田道浩〉	521
中国	仏教	史	〈奥野光賢〉	522
日本	仏教	史	〈袴谷憲昭〉	522
禅籍	講	読	〈志部憲一〉	523
仏典	講	読	〈大西龍峯〉	523
仏教	伝	道	〈荒井裕明〉	524
中国	古	典	語	〈須山長治〉
書			道	〈那須隆吉〉
仏教	と	文	化	〈奥野光賢〉
仏教	と	現	代	〈モンテイロ, ジョアキン〉
外国	語	仏書	演習	〈袴谷憲昭〉
インド・チベット	仏教	演習	〈木村誠司〉	526
中国	仏教	演習	〈奥野光賢〉	527
仏教	思想	演習	〈袴谷憲昭〉	527
仏教	文	演習	〈石井公成〉	528
宗学	演	習	〈休講〉	
日用	経典	概	説	〈奥野光賢〉
宗教	哲	学	説	〈紺野馨〉
キリスト	教	概	説	〈紺野馨〉
仏教	特	講	I	〈荒井裕明〉
仏教	特	講	II	〈三橋正〉
宗学	特	講	I	〈熊本英人〉
宗学	特	講	II	〈晴山俊英〉

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基 礎 仏 教 学	木 村 誠 司 <small>きむら せいし</small>	短仏1必	4

講義のねらい

文字通り、仏教の基礎を学習する。教理上の重要概念を修得するとともに、資料の使い方、原典の読み方、研究の方法などを学び、次のステップに進むための土台を作る。

成績評価の方法

平常点とペーパーテストによって行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅	志 部 憲一・下 室 覚道 <small>しべ けんいち しむむろ かくどう</small>	短仏1必	4

講義のねらい

短大仏教科は「仏教とは何か」という基本的な研究の場であるとともに、曹洞宗宗侶の養成機関でもあり、曹洞宗教義の重要な実践としての坐禅の実修を必修科目としている。将来僧侶となることを希望する学生にとっては、宗門の重要な修行である坐禅の意義とその実践方法を学ぶ科目であり、一般学生にとっても坐禅という修行のほんとうの意義を知りそれを実際に体験できる科目として重要な意義もっている。

講義の内容・授業スケジュール

この科目は、専ら坐禅を実修する。よって、教場は坐禅堂（禅研究館4階）である。坐禅を実際に修行し、曹洞宗の両祖の坐禅に関する教えを学びながら、坐禅の意義や作法を習得していただきたい。

実修時間の前半は只管打坐、後半は坐禅に関する文献の提唱をする。提唱には指定の講本を用いるので、各自購入して持参すること。筆記用具は不用。

履修上の留意点

坐禅は修練ではない。仏行である。従って服装・態度・動作等の厳粛・整齐であることが望まれる。

成績評価の方法

科目の性格上、評価方法は出席状況に重きをおくが、それに加えて服装・態度・動作・坐相等総合的な評価をするので、充分自覚して授業に臨んでいただきたい。原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者には、単位を認定しない。

教 科 書

『坐禅－講本－』（更生社）2,200円

参 考 書 等

なし。

そ の 他

身体上の不自由がある者は、予め申し出て指示を受けること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学研究	おくのみつよし 奥野光賢	短仏1・2選必	4

講義のねらい

研究は山登りに似ているように思われる。いきなり頂上を目指して、高度な専門分野に飛び込んでいったとしてもさしたる成果は得られないだろう。やはり、基礎からコツコツと学んでいかなければならないものと思われる。この授業は、これから本格的に「禅学」を学んで行くために必要な基本的事項の授業を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「禅学」を学ぶ上で必要となる基礎知識（文献・歴史等）の解説を中心に授業を進める。

後期は、前期の授業を踏まえた上で、実際に文献講読を行う。講読する文献は、追って指示する。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

前期の「解説」は講義形式、後期の「講読」は演習形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究 I	きむらせい 木村誠司	短仏1・2選必	4

講義のねらい

インド・チベット仏教の考え方に慣れることが、本講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

始めに、インド・チベット仏教の重要な教理を学び、次に、日本語訳された原典を講読し、教理の再考を行う。中国や日本の仏教との比較もする。

成績評価の方法

レポートによって行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究Ⅱ	石井公成	短仏1・2選必	4

講義のねらい

漢訳の原始仏教経典を講読する。漢訳経典は、早い時期に翻訳されているため、現存するパーリ語などのテキストより古い内容を伝えていることも多く、資料として貴重である。パーリ語テキストやその日本語訳なども適宜参照しつつ、初期の素朴な仏教のあり方を検討してゆきたい。語法・用例を徹底的に調べつつ厳密に読むために、パーソナル・コンピュータ(PC)を用いた研究法を体得できるようにする。本年はPerlによる分析も試みる。

講義の内容・授業スケジュール

仏教漢文の訓練もかねるため、初めは漢文の基礎を説明しながら進めてゆき、平易な経典から読む。秋からは注釈の読み方なども指導する。授業は主にコンピュータ教場を利用して実際にPCを使いながら進めてゆき、インターネット上のデータの探し方や活用方法などについても紹介する。

履修上の留意点

仏教漢文が中心となる。必ず漢文の力がつくよう指導するが、自分から取り組もうとする姿勢が必要とされる。日本語入力の方やインターネット入門などを指導する時間はないため、それらについては、各自で身につけておくこと。柔軟で複雑な検索方法などについては、わかりやすく説明するが、自宅で練習することが求められるため、進んでそうした練習に取り組む意欲のある学生でないと、授業についていけないだろう。1年間がんばれば、必ずPCを活用した研究ができるようにするので、努力を期待したい。

成績評価の方法

平常点によって判定するが、授業中に熱心に取り組んでいた者については、考慮する。

教科書

コピーを配布する。読む経典については、希望があれば考慮する。

参考書等

読む経典に応じて教場で一覧を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏典研究Ⅲ	袴谷憲昭	短仏1・2選必	4

講義のねらい

この演習は、日本の仏教文献の講読を通して、仏教思想を研究しようというものである。日本の仏教は、南都の六宗、平安の二宗、計八宗によって確立されたが、それらは、あたかも一旦源信に流れ込み、それがまた再び仏教の諸思想となって展開したかのような観を呈している。その意味で、源信は、日本の仏教を学ぶ上での原点と言ってもよい存在である。しかるに、その源信(942-1017)は、『往生要集』があまりにも有名であるため、彼の思想的著ともいってよい『大乘対俱舎抄』や『一乗要決』の研究が却って遅れているといった状況を呈している。本演習では、この両者のうち、『大乘対俱舎抄』の方を取り上げて、丁寧に講読していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本テキストは、『俱舎論』本頌に、それに見合った大乘の教義を、大乘仏教の諸漢訳テキストよりの引用によって対応せしめたものである。本演習においては、それらの引用の原典にまで遡ることによって、アビダルマ教義と大乘教義との対応の意味を、順次に検討していくであろう。

履修上の留意点

初めは困難なようにみえても、扱われている内容は、仏教思想の基本的なものであるから、それを自ら講読してみたいと願うものが望ましい。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。

教科書

源信『大乘対俱舎抄』(大日本仏教全書85)
入手困難なものについてはコピーを用意する。

参考書等

大久保良順訳註『一乗要決』(大蔵出版)1990年 5,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教語解説	いけ だ みち ひろ 池 田 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

本講義は多くの仏教語に触れ、その言葉によって表現される仏教教理を理解することを目的とする。基礎的な仏教の術語を理解した後、その言葉の背景に存在するさまざまな思想的問題を考察していく。一つの語句が多様に理解され、その意味が変容していったことにぜひ関心をもってもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、教科書によって多くの仏教語の基本的な意味を理解し、その後、必要に応じて多くのテキストを参照し、仏教思想の基礎的な概念を考察する。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験あるいはレポートによって評価する。

教科書

水野弘元『仏教要語の基礎知識』（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	す ずま ちよう じ 須 山 長 治	短仏1・2選	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	いし 井 ころ せい 石 井 公 成	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅宗以外の禅の日本への伝来、禅宗の伝来に始まり、道元禅師・瑩山禅師を経て現代に至る日本の禅宗の歴史を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

時代別に概観してゆくが、重要な問題については、時代別にこだわらずに検討する。

履修上の留意点

漢文・古文の訓練をかねる。最初はまったくできなくても良いが、わかりやすく指導してゆくため、漢文・古文の力を少しでもつけようとする姿勢が望まれる。

成績評価の方法

年度末の試験によって判定するが、質問したり発表を譚とするなど、授業に積極的に関わっていた者については、特に考慮する。

教科書

コピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教史	いけ だ みち ひろ 池 田 道 浩	短仏1・2選	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 仏 教 史	おくのみつよし 奥野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

中国における仏教の展開を、主として「教理史」に力点をおいて概説する。同時に中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解説も行なう。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、中国仏教を学ぶ上で必要となる各種文献の解説を行なう。それを踏まえた上で、時代を追って中国における仏教の展開を見ていくこととする。各種文献に対する基礎的知識を習得しておけば、講義の中で興味をもった事柄について、各自が直接原資料にあたって調査・研究ができるようになるはずである。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

鎌田茂雄『新中国仏教史』（大東出版社）定価2,500円（税別）を教科書とするので、受講者はかならず用意すること。その他、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は講義方式で進めるが、受講生には授業のたびに何らかの質問をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	はかまやのりあき 袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
- 1 古代宗教の解釈 2 日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
- 1 大陸仏教の意味 2 仏教伝来と影響 3 聖徳太子と仏教 4 作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義
- 1 仏教思想と学問 2 三論宗と成実宗 3 法相宗と俱舍宗 4 華嚴宗と律宗と
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開
- 1 国家体制と仏教 2 天台宗教義概観 3 真言宗教義概観 4 浄土教と諸思想
- 第4章 中世社会の展開と仏教の変様
- 1 権門体制と仏教 2 法然と浄土思想 3 親鸞道元日蓮と 4 本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想
- 1 キリスト教伝来 2 寺檀制度の確立 3 排仏毀釈と仏教 4 近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教
- 1 現代思想と仏教 2 現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を白らに課さんとすることが望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだいで変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読	志 部 憲 一 <small>し べ けん いち</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

テキストは『正方眼蔵随聞記』を使用。この本は日本曹洞宗開祖・道元禪師（1200-1254）の説法を弟子の懷辨禪師が記録したもの。中国留学から帰朝した若い道元禪師が門下に対して修行の用心や秘訣等を丁寧に示したもので、禅の入門書的な本といえる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は本文及び関連する問題を適宜解説する形で行う。

成績評価の方法

出席日数と定期試験（毎年一月実施）の結果を重視。

教 科 書

コピー本を講義初日に無料配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 典 講 読	大 西 龍 峯 <small>おお にし りゅう ほう</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は長い歴史をもち、伝承も複雑多岐にわたることから、その教えを示す仏典も多様かつ膨大なものがあります。

本講座では、仏典として今日伝承されるものの概要を示し、かつ実際にそれらの仏典の一部に触れることを目的としております。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ仏典に関する知識を広げてもらうために、特定の文献をひとつ選んで通読するのではなく、むしろ傾向の異なるさまざまな文献から教材となりそうなものを取りあげて講読してみようと思います。本年度は『維摩経』を中心に、それに関連した文献をとりあげ、その思想の特徴と影響を考えていきたいと思っています。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

随時配布します。

参 考 書 等

随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 伝 道	あら い ひろ あき 荒 井 裕 明	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教を伝道することの理念と実践について講義をする。伝道とは、宗教的真理を言葉とわざとを通して伝達し広めることである。仏教を学ぶ者として、自らが学び得た仏教を人々の為に広く説くことは極めて重要である。僧侶を目指す諸君にとっては避けて通れない課題でもあろう。

講義の内容・授業スケジュール

仏教の伝道と一口に言っても、内容は複雑であり、また、その内容をわかり易く表現することは簡単ではない。そこで、まず仏教の伝道の基本的なあり方を釈迦自身に求めることによつて、これからの仏教伝道のあり方を学んでいきたい。また、現代の寺院における僧侶の仏教伝道活動の場は、檀信徒の方々を対象とした、葬儀や法事が中心となっている。その実状を踏まえた伝道のあり方を考えていきたい。

成績評価の方法

定期試験と講義の出席状況によって評価する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

講義の際に必要なに応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 古 典 語	す やま ちよう じ 須 山 長 治	短仏1・2選	4

講義のねらい

昨年度に引き続き、『論語』を読む。中国の古典で最も有名なものは、何と言っても孔子とその弟子の言行録『論語』である。中国思想史としても、この書を中心として儒家の思想は展開する。本年度も『論語』を精読することによって、孔子を中心とした当時の人々の考え・思いそしてあり方を読み取っていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『論語』二十卷は、それぞれ断片的な短文の集りである。まずはその一文一文をきちんと訓読できるようにする。その上で口語訳を試み、そこで語られる内容を細かに分析し、2500年前の“現在”を浮き彫りにする。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述と訓読・口語訳。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

金谷治訳注『論語』（岩波文庫）等。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
書 道	那 須 隆 吉	短仏1・2選	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等)について理解を深める。
- ・中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。)

成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

教 科 書

『書の世界』(中教出版)約1,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 文 化	奥 野 光 賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

日常生活において何気なく使われている言葉の中から、仏教に関わるものを毎回取り上げて、その言葉の持つ本来の意味、語義の変遷等を考察することによって、「仏教と文化」の問題を考えてみたい。その際、教理史・仏教史に対する知識は必要不可欠になるので、講義は必然的に教理史・仏教史を再度確認しながら進めることになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、上記に記したねらいにしたがって毎回ある「仏教語」を取り上げて講義形式で授業を進める。後期は、「仏教語」だけでなく日常行なわれている「仏教行事」等にも眼を向けて授業を進める予定である。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

そ の 他

授業は講義形式とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と現代	モンテイロ, ジョアキン	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教と現代社会との関係を問題にすることにさいいて、近現代のインドにおける不可触民解放運動の指導者であり、〈新仏教〉(NEO-BUDDHISM)の提唱者であったアンベードカル(BHIMRAO RAMJI AMBEDKAR, 1891-1956)の思想が問題にならざるを得ないと考えられる。勝れた法律学者であったアンベードカルは独自の政治思想を展開した人であったと共に、〈人権思想〉の〈社会正義モデル〉の先駆者として評価してよい人でもあったと考えてよい。アンベードカルは、また、独自の批判的な宗教哲学のあり方を提唱することによってインドにおけるカスト制度に対する批判の根拠としての〈新仏教〉を展開した人でもあった。本講義はアンベードカル思想の論点に基づいた社会倫理と関連する仏教諸文献の読解を中心目的としているのである。

成績評価の方法

平常点を重んじつつ、筆記試験を中心とする。

教科書

特に無し。

参考書等

- (1) SANGHARAKSHITA, *AMBEDKAR AND BUDDHISM*, WINDHORSE, 1986
- (2) GAIL OMVEDT, *DALITS AND THE DEMOCRATIC REVOLUTION - DR. AMBEDKAR AND THE DALIT MOVEMENT IN COLONIAL INDIA*, SAGE PUBLICATIONS, 1994
- (3) 山崎元一『インド社会と新仏教—アンベードカルの人と思想』(刀水書房)1979年
- (4) B. R.アンベードカル(山崎元一・吉村玲子訳)『カストの絶滅』(明石書店)1994年
- (5) B. R.アンベードカル(山際素男訳)『ブッダとそのダンマ』(三一書房)1987年

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国語仏書演習	袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい

19世紀のイギリスが生んだ不世出のサンスクリット学者、モニエル・ウィリアムズ(1819-1899)の著わした下記の作品を講読する。

講義の内容・授業スケジュール

講読を通して、ヒンドゥー教との対比において、仏教の特質をも考えていくことにしたい。プリントはこちらで用意する。

履修上の留意点

英文読解の力を白らつけたいと思っ、自ら下調べすることが要求される。

成績評価の方法

平常点とする。

教科書

Sir Monier Monier-Williams, *Hinduism, Non-Christian Religious Systems*, London, 1901

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド・チベット仏教演習	木村誠司	短仏1・2選	4

講義のねらい

本年度は、『俱舍論』と『中論』というインド仏教の代表的論書を対比しながら講読する。

成績評価の方法

レポートによって行う。

教科書

テキストや資料はコピーして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教演習	おくの野光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい	「演習」を通じて、中国仏教の歴史と教理の把握、および仏教文献の読解力養成を主たる目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	わが国、鎌倉時代の碩学、凝然（1240-1321）の『八宗綱要』を講読する。本書は、仏教各宗の歴史と教理を要領よくまとめた名著として古来より知られているものである。部分的な誤りは指摘されているにせよ、その価値は今日においてもいささかも減ずるものではない。本演習では、本書の講読を通じて、中国仏教各宗の歴史と教理を把握することを目標としたい。今年度は本書冒頭より読み始める。最初に講義形式で基礎的事項に関する説明をなした後、毎週当番を決めて演習形式で授業を進める。
履修上の留意点	演習なので事前の下調べが必要となる。指導にしたがって、一年間継続すれば、相当な力がつくはずである。指導は懇切丁寧に行なう。受講生の人数等にもよるが、授業の進め方や内容は適宜変更していく。
成績評価の方法	純然たる演習科目なので、成績評価は通常点のみの評価となる。
教科書	鎌田茂雄『八宗綱要』（講談社学術文庫）
参考書等	授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教思想演習	はかまやのりあき 袴谷憲昭	短仏1・2選	4

講義のねらい	この演習は、仏教文献、特に、日本のそれを通して、仏教思想を解明せんと設けられたものである。その目的のために、当面は、源信（942-1017）に先立つことほぼ一世紀前に活躍した我が国の安然（841-?）の著わした『真言宗教時義』を講読する。本書の四一教判によって、仏教の「全一思想」ともいふべき「本覚思想」が我が国においても確立されたと見做しうるのであるが、その「本覚思想」とはなにかを、この思想のその後の日本仏教へ与えた影響の大きさに鑑み、考察せんとするのが、本演習の目的である。
講義の内容・授業スケジュール	原漢文を最初より順次講読していく。
履修上の留意点	漢文の読解が苦手なものであっても、「本覚思想」のなんたるかを自ら吟味してみようと思うものであれば歓迎したい。
成績評価の方法	原則として平常点であるが、状況次第により変更することもありうる。
教科書	安然『真言宗教時義』、大正新修大蔵経、第75巻、374頁上-450頁上所収のものをテキストとする。入手困難なものにはコピーを用意したい。
参考書等	国訳一切経、和漢撰述部、諸宗部18。末木文美士訳『安然・源信』（大乘仏典、中国・日本篇19、中央公論社、1991年）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教文学演習	いし せい 石井 公成	短仏1・2選	4

講義のねらい

仏教は総合的な文化体系であって文学・音楽・美術・医学・建築その他の領域にまたがっており、それぞれの国の文化に大きな影響を与えている。本講義では、仏教文学と呼ばれる作品だけでなく、経典・論書・戒律などであっても文学的に価値の高い仏教文献をとりあげ、そこに現れた思想と表現の関係について検討すると同時に、それぞれの国の文化の特徴について考察を加える。漢文・古文の文献を主とするが、現代日本語訳や英訳を用いる場合もある。本年は漢詩を木版本で読む楽しさを味わうことができるようにすることを目標の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

男女の愛情・無常・自然観・夢その他のテーマを選び、そうしたテーマにかかわる散文や韻文の文献をいくつか比較しながら読んでゆく。テーマについては希望のものがあれば考慮する。

履修上の留意点

学生諸君への問いかけと応答を通じて検討を進めてゆくとともに、積極的に参加しようとする意欲が必要である。希望する文献を選んで発表してもらおう機会を持つようにしたい。

成績評価の方法

発表と日頃の応答によるが、討議などに積極的に参加していた者については評価する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

テーマが決まった段階で、参考書や参考文献を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日用経典概説	おく の みつ よし 奥野 光賢	短仏1・2選	4

講義のねらい

この講義は、曹洞宗で日頃、読誦されている経典（教典）、回向文に対する解説を主たる内容とする授業である。

講義の内容・授業スケジュール

講義は当然のことながら、曹洞宗で日頃、読誦されている経典（教典）を主として扱うことになるが、内容は必然的に経典一般に及ぶことになる。したがって、前期は経典の成立史から講義をはじめめる。その上で、個々の経典に対して、曹洞宗の関わりから解説を試みる。後期は、曹洞宗で読誦される聖典のうち、主として『修証義』に的を絞り、種々の問題を考察することとしたい。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席日数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は基本的には講義方式とするが、受講生の人数によっては演習形式とする場合もある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 哲 学	紺 野 馨 <small>の かおる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい	現代世界における宗教の意味を考える。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は前提として「理性と信仰」の関係を、主にヨーロッパ近代思想史の文脈のなかで考える。これには哲学だけではなく、科学思想史、宗教史、宗教学などの成果をも視野に入れる。後期は「現代社会と宗教」と題して、宗教の歴史的展開、近代化と宗教、さらには現代日本における宗教の様相などをフィロゾフィーレンする（哲学する）。
履修上の留意点	なるべく受講生諸君にも身近な事柄を糸口として講義するが、古典的著作を読む課題もあるので、受講生諸君にも積極的な「参加」の意欲をもって出席してほしい。
成績評価の方法	レポートによって評価する。出席も重視する。
教 科 書	プリントを配布する。
参 考 書 等	参考書等は教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
キ リ ス ト 教 概 説	紺 野 馨 <small>の かおる</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい	キリスト教の教義等のみならず、キリスト教ヨーロッパの精神史を紹介する。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期は聖書を中心に、キリスト教の成立を主題とする。後期は、キリスト教史を中心に、歴史的形成物としてのキリスト教を考える。
成績評価の方法	前期・後期それぞれ学期内に試験を行なう。出席も重視する。
教 科 書	教室で指示する。
参 考 書 等	教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 特 講 I	荒 井 裕 明 <small>あらかい ひろあき</small>	短仏1・2選	4

講義のねらい	『成実論』を中心として、仏教の様々な教理について勉強します。基本的な仏教用語の理解を深めながら、仏教内外の諸派の学説の相違に関しても言及したいと思います。
講義の内容・ 授業スケジュール	『成実論』は漢訳（『大正新脩大蔵経』32巻所収）のみが現存するので、これを基本的なテキストにするが、その国訳を必要に応じて利用する。
履修上の留意点	積極的に発言して講義に参加してほしい。
成績評価の方法	講義の出席状況と定期試験によって評価する。
教 科 書	テキストはコピーして配布する。
参 考 書 等	『新国訳大蔵経、成実論I・II』、大蔵出版等

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教特講Ⅱ	みつほし 三橋 正	短仏1・2選	4

講義のねらい

日本仏教の特質について考えます。現代においても日本人にとって仏教は切り離せない存在ですが、教義の上から説明できないことも数多く存在します。死者を「ほとけ(仏)」、死ぬことを「往生」「お迎えが来る(=来迎)」などというのはどうしてでしょうか。「戒名」とは受戒の時に師から授かる名前ですが、なぜ葬式の場で死者に付けるのでしょうか。日本の神様は仏教によって排除されることなく信仰の対象となり続けますが、そもそも神信仰(神祇信仰・神道)とは何なのでしょう。神と仏はどのように使い分けられ、また融合(習合)したのでしょうか。このような日本人にとって身近な問題を取り上げ、それを歴史学的に検証していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初は講義によって日本仏教の歴史を概観し、基本的な問題点を整理します。それをもとに皆さんに討論してもらいます。また、授業の内容に沿った形で、博物館見学などの学外の授業も取り入れていきたいと思っています。

履修上の留意点

問題意識を持って授業に積極的に参加し、予習復習をしっかりとってください。

成績評価の方法

レポート(夏休み明けと年度末の2回提出)とテストによって評価します。

教科書

教科書は特に定めず、必要に応じてプリントを配ります。

参考書等

参考書は、各自のレポートの題目に従って指導します。

その他

授業では講義とともにレポート作成の指導に力を入れます。各自の決めたテーマに従って文献を探し、調査し、文章にまとめる。一年を通じてこの作業を繰り返し、年度末には各自の「日本仏教論」を組み立てていただきたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗学特講Ⅰ	くま ちと えい にん 熊本英人	短仏1・2選	4

講義のねらい

主に曹洞宗の寺院徒弟を対象として、曹洞宗寺院の諸行事法要の意味と意義の理解のための講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

曹洞宗寺院の主な法要の回向文の解説を中心に講義を進める。あわせて、1988(昭和63)年の曹洞宗行持軌範の改訂の意味についても触れたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験

教科書

櫻井秀雄著『修訂曹洞宗回向文講義』(曹洞宗宗務庁刊)1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 学 特 講 II	ほれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	短仏1・2選	4

講義のねらい

禅家における種々の儀軌と集団生活の規範の根本は、いわゆる清規に求められる。現代においては他宗と比較してその独自性が強調され勝ちであるが、宗門の清規が禅家古来の正統を色濃く継承している点を明らかにしていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

戒律史上における清規と禅戒の特色を講じた後、『永平清規』を講読し、宗門における僧堂生活の基礎を知るとともにその有効性について考えてみたい。講義はノートをとる方法を中心に進める。

履修上の留意点

自らの日常生活と照らし合わせ、出家と在家との現実的な境界線を模索してみたい。また、寺院徒弟ならば、今後予想される僧侶としての人生に、自分なりの意義付けを試みられたい。

成績評価の方法

レポートの提出に出席の状況を加味して評価したい。

教 科 書

適宜プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	537
社会思想史	〈休講〉	
国際経済論	〈徳永俊明〉	538
社会政策	〈休講〉	
価値理論	〈荒木勝啓〉	539
国民所得論	〈休講〉	
銀行論	〈休講〉	
中小企業論	〈吉田敬一〉	540
人口論	〈森岡仁〉	541
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	542
ヨーロッパ経済論	〈休講〉	
貿易論	〈古沢紘造〉	543
会計監査論	〈休講〉	
管理会計論	〈石川祐二〉	544
法思想史	〈河見誠〉	545
日本法制史	〈休講〉	
西洋法制史	〈北野かほる〉	546
経済法	〈岡田外司博〉	547
国際関係論	〈南山淳〉	547
地方自治法	〈富井幸雄〉	548
国際紛争解決法	〈王志安〉	549
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	549
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	550
経営財務論	〈高田光明〉	551
経営組織論	〈日野健太〉	552
公益企業論	〈園田哲男〉	553
管理会計論	〈猿山義広〉	553
会計監査論	〈阿部一人〉	554
日本経済論	〈休講〉	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	おお ぐさ かつ お 大 吹 勝 男	短国・短英	4

講義のねらい

近年、経済学部にもヤンキーだか、モンキーだかわからない、以前の駒大生にはみかけなかった入学者が出現している（風体ではなく、受講態度）が、本学もまた大学であるかぎり、真理を探究する学問の場でなければならない。したがって、まず講義の妨害となる集団的私語をするような入学者諸君の受講は遠慮願いたい。

さて、講義の内容であるが、本講義も、現代の風潮にしたがい、企業はいかにすればより多くの利潤・利益を取得・実現することができるか、その方法を探ることを課題とする。すなわち、いかにしてサラリーマンおよび労働者を搾取（この言葉がわかるかな）するか、経営者の立場からその方法を考えるということである。これは、裏を返せば、経営者になることのないほとんどの諸君からみれば、いかに自分が搾取されているかを学ぶことになる。さらに現代風にいえば、なにゆえにこれほどまでに多くの若くて将来のあるサラリーマンが過労死や過労自殺に追込まれるのか等々を考えるてだてにもなる。以上のような問題を意識しつつ授業では流通論を講義するものであり、その内容からして流通経済論といいかえてもよいとおもう。諸君は、流通理論の習得に努めるとともに単なる知識ではなく、将来社会にでても使い捨てのサラリーマンになることのないように、それらを学ぶ過程において、論理的に思考する能力を身につけてもらいたい。そして、単なる入学者ではなく、大学の学生となって卒業してもらいたい。そのためには、一年間を通して授業に出席することが必要である。また、本講義は、諸君が履修するであろうマーケティングおよび商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、下記の項目にしたがってすすめるが、本年度は現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論に重点をおいて講義する。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通費用）
- (4) 商業資本論（電子商取引、eコマース）
- (5) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は、期末試験によるが、講義の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また、各講義項目が終る毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とする。再試験は実施する。

教科書

1. 大吹勝男著『流通費用の基礎理論』（梓出版社、4月刊行予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	とく ^{なが} 徳 永 ^{とし} 俊 ^{あき} 明	短国・短英	4

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きていてもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱として重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ (予定)〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日 = 第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源的蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済

貿易・国際通貨制度・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)・〈南北問題〉と新国際経済秩序

- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績評価の方法

成績は読書ノート(2~3回)および講義の基本的内容の理解を確認する学年末レポートで評価します。(追・再試験は行ないません)

参 考 書 等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらきよしひろ 荒木勝啓	短国・短英	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される *as if* パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 小 企 業 論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	短国・短英	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかつた、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えしてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

参 考 書 等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	短国・短英	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえてくると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

その他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡 紘	短国・短英	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の子備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーク著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	短国・短英	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. WTO と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り、授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本などを教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
管 理 会 計 論	いし かわ ゆう じ 石 川 祐 二	短国・短英	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自らの状況を把握し、それに基づいて自らを管理していかなければならない。とりわけ、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的な話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会計学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教 科 書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個々人の成果を反映したテキストとなる。

参 考 書 等

講義において適宜紹介する。

そ の 他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	かわみ まこと 河見 誠	短国・短英	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想(ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス)、
中世ローマ・キリスト教の法思想(キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス)
近代：自然権・社会契約論(ホッブス、ロック、ルソー)、ドイツ観念論(カント、ヘーゲル)
近代から現代へ：社会主義法思想(マルクス)、新カント派法哲学(ケルゼン、ラートブルフ)、新しい自然法論(コーイング、カウフマン、フィニス)、現代の法思想状況について

履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること (<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>)。

成績評価の方法

定期試験(後期終了後1回)を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教科書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

参考書等

田中成明他『法思想史(第2版)』(有斐閣Sシリーズ、1997年)1700円。
三島淑臣『法思想史(新版)』(青林書院、1993年)5000円
その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	短国・短英	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	岡田 外司博 <small>おか だ としひろ</small>	短仏	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	南山 淳 <small>みなみ やま あつし</small>	短仏	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念的な理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題を取りあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

教科書

進藤榮一 著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡 完 著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井幸雄	短仏	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房) 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おうしあん 王 志 安	短仏	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしつかりと取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめみやまきや 雨宮 眞也	短仏	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえつつ、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するか学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改定作業が進められているので、開講時に指定する。

参考書等

同様に開講時に指定する。

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業開始時期に当たる場合、授業の進捗状況によって若干変更することがある。（2003年度『アメリカ経営学』授業計画）

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

〈期末試験の出題形式〉

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たかだみつあき 高田光明	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達がいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
 染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 組 織 論	ひ の けん た 日 野 健 太	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) グループダイナミクス
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織におけるパワーとコンフリクト
- (6) 組織の環境適応
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) イノベーションと組織変革
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

学期末2回の定期テストのウエイト80% 小テスト等のウエイト20%
講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、基本的に成績評価には加味しない。

教 科 書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参 考 書 等

高橋・山口・磯山・文『経営組織論の基礎』（中央経済社）
桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	そのだてつお 園田哲男	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、単元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	まるやまよしひろ 猿山義広	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教科書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参考書等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	あ べ かず ひと 阿 部 一 人	短国・短英・短仏	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として牛みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1)
 - ①監査の必要 ②監査の意義
 - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的 (2)
 - ①監査の目的 ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査 ②商法監査
 - ③その他の監査制度
8. 監査基準 (1)
 - ①必要性 ②生成と展開
9. 監査基準 (2)
 - ①意義 ②体系 ③一般基準 ④実施基準 ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試算
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調査
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教 科 書

大矢知司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円

参 考 書 等

- 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円
 高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円
 山榭忠恕・桧田信男『監査基準精鏡』(税務経理協会) 3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

Ⅳ 仏教学部開設科目

IV. 仏教学部開設科目

パーリ語初級	〈片山一良〉	559
サンスクリット語初級	〈金沢篤〉	559
チベット語初級	〈松本史朗〉	560
仏教美術	〈武笠朗〉	560
詩偈	〈塩崎幸雄〉	561
原始仏教	〈片山一良〉	562
宗教学史	〈長谷部八朗〉	562
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	563
真宗学概論	〈渡邊了生〉	563
浄土学概論	〈休講〉	
真言学概論	〈休講〉	
日蓮教学概論	〈北川前肇〉	564

科目名	担当者名	配当学科	単位
パーリ語初級	かた やま いち ろう 片 山 一 良	短仏	4

講義のねらい

パーリ語は、原始仏教を学ぶ者にとって不可欠な「聖典語」である。本講は、パーリ語文法の確実な習得につとめ、原始仏典の正しい読解をめざすものである。

講義の内容・授業スケジュール

前半は文法全体について講義し、後半は『清浄経』(Pāsādikā-sutta)を読みたいと思う。

履修上の留意点

習得に丁寧であることが望まれる。

成績評価の方法

レポート(夏期)および年度末テストによる。

教科書

コピーにて配布する。

参考書等

水野弘元『パーリ語辞典』(春秋社)

その他

随時、テープ等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
サンスクリット語初級	かな ざわ あつし 金 沢 篤	短仏	4

講義のねらい

仏教などインド起源の宗教・哲学や文化・歴史を本格的に学ぶために不可欠の語学であるサンスクリット語の入門。

講義の内容・授業スケジュール

定評ある以下の初等文法書に沿って、サンスクリット語の特徴・概要を知ると共に、適宜練習問題などをふんだんに実習して、サンスクリット文解読のための実際の・基礎的な力を養う。

履修上の留意点

予習・復習を怠らず、常に主体的・積極的に授業に参加することが望ましい。

成績評価の方法

平常点と期末・年度末の筆記試験。

教科書

J・ゴンダ著『サンスクリット語初等文法』(春秋社)

参考書等

辻直四郎著『サンスクリット文法』(岩波書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
チベット語初級	まつもと しろう 松本史朗	短仏	4

講義のねらい

チベット語は、仏教思想の研究には不可欠な言語である。何故ならば、チベット語に訳された仏典、及び、チベット人仏教者が著した仏典を学ぶことがなければ、インド仏教の思想的研究は不可能であると、今日では考えられているからである。本講義のねらいは、このような仏教研究の目的のために、チベット語の文法を習得してもらうことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義のスケジュールは、教科書に従い、チベット文字の習得から、名詞・形容詞・副詞・動詞・助詞・助動詞への説明へと進み、最後に、簡単な読みもの(チベット人の著作)を読んで、文法的知識を確実なものとする。

履修上の留意点

チベット文字を習得するまで、困難ではあるが、頑張ってもらいたい。

成績評価の方法

年度末の試験により、成績を評価する。

教科書

授業の中で指示する。(授業初回に必ず出席すること)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教美術	むかさあきら 武笠朗	短仏	4

講義のねらい

東洋(インド・中国等)及び日本の仏教彫刻を中心とする仏教美術の流れを通覧し、信仰の変容がもたらした造形への影響を考える。前期にインドと中国、後期に日本の飛鳥から平安時代ぐらいまでを考える予定である。各時代の主要作例や重要課題を中心にして検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 仏教美術の研究方法 | 11 朝鮮半島 |
| 2 尊像の種類とその姿形 | 12 飛鳥前期1(止利仏師) |
| 3 インド1(パールフトとサーンナー) | 13 飛鳥前期2(救世観音と百済観音) |
| 4 インド2(仏像の出現) | 14 飛鳥後期(半跏思惟像) |
| 5 インド3(ガンダーラ仏とマトゥラー仏) | 15 奈良1(興福寺阿修羅像など) |
| 6 インド4(仏伝浮彫り) | 16 奈良2(東大寺法華堂諸像と大仏) |
| 7 中国1(敦煌石窟と炳靈寺石窟) | 17 奈良3(鑑真と唐招提寺諸像) |
| 8 中国2(雲岡石窟) | 18 平安前期1(神護寺薬師如来像) |
| 9 中国3(龍門石窟) | 19 平安前期2(密教の造像) |
| 10 中国4(単独造像) | 20 平安前期3(一木造り木彫像) |

履修上の留意点

特になし

成績評価の方法

前・後期の試験(あるいはレポート)の成績を中心に、出席状況、展覧会見学レポートなどを総合して評価する。

教科書

なし。講義資料を配布する。

参考書等

『カラー版日本仏像史』(美術出版社)2002年。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
詩偈	しおごきお 塩崎幸雄	短仏	4

講義のねらい

漢詩をつくる行為とは、わが国民族伝統の破壊消滅を防遏する最後に残された橋頭堡なのである。わが国の文化は、大陸所伝の漢字で書かれた文書を解読することより始まった。その解読の當為（すなわち訓読）により、日本民族の文章語が産み出され日本文化の礎が形づくられたということをまず第一に肝に銘ずべきである。つまりそれ以前の時代においては、わが民族は文化を有しなかったどころか、「文」すらも有しなかったわけなのである。明治維新後、応神朝以来積み上げられてきた古典的伝統は打ち捨てられて、昭和20年においては完全に廃滅した。それより今日に至るまで50年以上の星霜が流れ、作詩という行為がきわめてアイロニカルであり、時代錯誤を感じさせる行いであると一般的に認識されるに至っている。だがしかし、現今有識者の間で叫ばれつつある〈教養埋没〉〈道義地を払う惨状〉〈人間的尊敬の解体〉といった問題の解決の鍵が、作詩というおよそ問題解決の即戦力とは程遠いとみなされがちな行為のうちに潜められているのである。疑問と思考者はわが教場に來たれ。諸君は本講義においてきわめて重要な事柄を把持するであろうと信ずる。詩をつくるという行為は、単なる文字遊戯などではない。それは古典世界への突破口であり、人格陶冶のための秘論なのである。

講義の内容・授業スケジュール

旧字体の読み書き、漢和辞典の引き方より始め、そののち漢文に習熟させるため例年の如く司馬遷『史記』『刺客列伝』荆軻の条を読み古典の人士的詩的志操と詩的美意識を体得する。漢文への習熟なくして作詩など到底ありえないのである。ついで簡単な「漢作文」のあと、試作を課し、各自の感懐を規矩準繩を無視して綴らせ、その上で諸種の法則について伝授する。さらに多くの詩題を与え、実作練習を繰り返す。

履修上の留意点

受講者各自の果敢なる創作意欲の発揮を期待する。好餌を前にした牛馬の如く旺盛貪欲に、能力の有無を問わず懸念なる挑戦を試みてもらいたい。単位は棚ぼた式に得られるものではなく、自ら努力して奪い取るものである。漫然と座席に座って講義を聴いているだけではなにも得られはしない。創作意欲に欠ける怠惰な学生は初回から最終回に至るまで出席謝絶である。

成績評価の方法

各自の提出した作品の程度により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

鈴木虎雄『支那詩論史』（弘文堂、昭和2年）、野口寧斎『少年詩話』（『寧斎詩話』（博文館、明治38年）所収）、森槐南『作詩法講話』（桑文社、昭和10年）、三浦梅園『詩歌』（『梅園全集』所収）、何文煥編『歴代詩話』（芸文印書館）、丁福保編『統歴代詩話』『清詩話』（芸文印書館）、郭紹虞編『清詩話統編』（上海古籍出版社、1983）

その他

本講義は、本来曹洞宗門子弟が将来住職となったときに葬儀時等に必要とされる作詩能力を養うためのものである。現在多くの寺院においては安直本や雛型を用いて「作詩をしたようなふりをする」悪弊が盛行しつつあると仄聞している。この授業では、かかる陋習を克服し、真に各自が自らの力で縦横無尽に作詩できるようになることを目標としている。己が感懐を己が言葉を駆使して詩に仕立ててゆくことをめざしているのである。すなわち各自が詩人としての意識を堅持し、真摯に受講することこそが要求されるのだ。したがって、本講義は本学のすべての授業のなかでも最も苛酷峻烈な授業といえようかと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原始仏教	かた やま いち ろう 片山一良	短仏	4

講義のねらい

原始仏教とは仏教の源泉である。いわゆる大乘仏教も小乗仏教もすべてここより発している。その教えとは何か、すなわち釈尊の智慧と慈悲による教えとは何か、を原始仏典の言葉より明らかにし、我々の身近な問題をも考えたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前半は仏伝を紹介しつつ、縁起・四諦の教え、あるいは無常・苦・無我の三相による見方について講じる。後半は原始仏典を読み、とくに中道（八正道）、戒律などの実践について講じる。全体として、智慧と慈悲の教えを「法」と「律」の立場から考えるものである。

履修上の留意点

従来の「仏教」に対する先入見を排除し、原始経典を直接に読むことを勧めたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書

とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教史	はせべ はち ろう 長谷部八朗	短仏	4

講義のねらい

本講義では、仏教を中心に日本宗教史の概説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期は古代、中世を、後期には近世、近代を扱う計画である。古代では、とくに天台宗、真言宗の展開に焦点を当てる。中世は、鎌倉仏教、神道流派の形成に着目する。次いで、修験道から本山派、当山派が興り、組織化を進めたことに触れる。近世では、徳川幕府の宗教政策との関連で、仏教、神道、儒教などの展開をたどる。また一向宗や日蓮宗不受不施派、隠れキリシタンなどの禁圧された宗教についても論ずる。さらに、修験系や法華系の講社が多数出現した社会的背景を探る。そして、近代においては、神仏分離、廃仏毀釈の打撃から仏教がどのように復興していったかをみる。新宗教の歴史にも言及したい。

成績評価の方法

未定である。なお、授業時に1、2回小論文を書いてもらい、評価に加算することも考えている。

教科書

用いない。板書を中心に進めるので、ノートの充実を望む。

参考書等

授業時に必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	短仏	4

講義のねらい	インド生まれの仏教を、広範で多岐多様なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。
講義の内容・授業スケジュール	神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。
履修上の留意点	仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。
成績評価の方法	年度末試験などで総合的に判断する。
教科書	指定なし（資料は教場で適宜指示する）。
参考書等	教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
真宗学概論	わた なべ のり お 渡 邊 了 生	短仏	4

講義のねらい	自らを「愚禿」と呼び、「いづれの行もおよびがたき身なれば、とても地獄は一定すみかぞかし」と信知する親鸞（1173～1262）。当講義では、その生涯にもふれながら、親鸞浄土教の思想的特色をおさえ、親鸞が「生死出づべき道」として明らかにした「他力念仏道」を見つめていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	①親鸞教学の成立背景にある浄土教思想の概要 ②親鸞の生涯 ③親鸞思想の特徴（親鸞の弥陀身土論・他力廻向義・信心の構造と現生正定聚説、等） 上記のごとく講義をすすめる。
履修上の留意点	講義中に快適な私語・さわやかな爆睡をむさぼりたい学生にとっては、不快な環境となるであろうことを留意されたい。
成績評価の方法	原則として定期試験により、出席点・平常点を加味する。
教科書	毎講義時にテキストとしてレジュメを配布する。
参考書等	前田専学・山崎龍明編『親鸞入門』（永田文昌堂）。その他の参考書・文献については講義時に説明する。
その他	講義形式を中心とするが、可能であれば質疑応答の場も設けていきたいと思う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日蓮教学概論	きたがわ ぜん ちよう 北川前肇	短仏	4

講義のねらい

日蓮（1222～82）の生涯をたどり、「法華経の行者」としての行動を確認する。そのことによって、日蓮の目指した仏弟子としての姿にせまる。

講義の内容・
授業スケジュール

日蓮の生涯と代表的著作である『立正安国論』を講読する。

履修上の留意点

鎌倉時代の仏教者（道元、親鸞等）との比較を試みたいので、鎌倉時代の仏教に関心をもってもらいたい。

成績評価の方法

前期のレポート、後期のレポートと、通常の出席点を加えて評価する。2/3の出席を必要とする。

教科書

北川前肇編『原文対訳立正安国論』（大東出版社）1,800円。プリント配布。

参考書等

立正大学日蓮教学研究所編『日蓮辞典』（東京堂出版）。渡辺宝陽・小松邦彰著『日蓮』（日本の仏典9）（筑摩書房）。

その他

講義および講読、演習形式。